

CW-C8020

詳細取扱説明書

製品概要

製品の特長について説明します。

セットアップ

製品の設置・設定作業について説明します。

製品の取り扱い

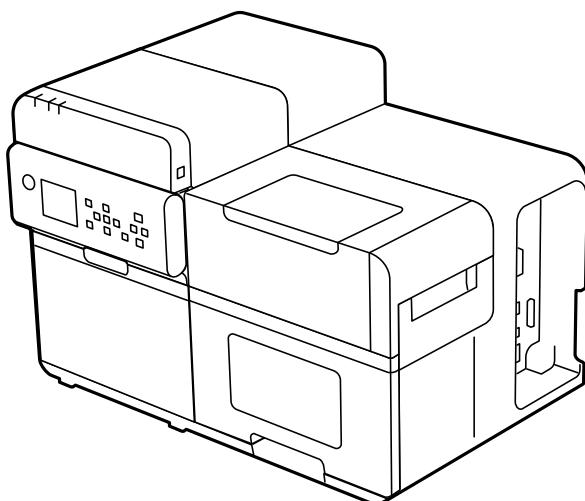
製品の基本的な取り扱い方法について説明します。

プリンターのクリーニング

製品のクリーニング方法について説明します。

トラブルシューティング

製品のトラブルへの対処方法を説明します。



アプリケーション開発情報

本プリンターの制御方法と、アプリケーションを開発する際に必要な情報について説明します。

付録

製品の仕様などについて説明します。

ご注意

- ・本書の内容の一部または全部を無断で転載、複写、複製、改ざんすることは固くお断りします。
- ・本書の内容については、予告なしに変更することがあります。最新の情報はお問い合わせください。
- ・本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
- ・運用した結果の影響については、上項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・本製品がお客様により不適切に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたことなどに起因して生じた損害などにつきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・エプソン純正品およびエプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。

商標について

Microsoft、Windows は、マイクロソフト グループの企業の商標です。

Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。セイコーエプソン株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。

Apple、Mac、macOS、OS X、ColorSync は米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。Zebra Technologies Corporation および ZPL II は Zebra Technologies Corporation 社の商標または登録商標です。

Pentium® は、アメリカ合衆国および / またはその他の国における Intel Corporation の商標です。

Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat、Photoshop、PostScript および Reader ロゴは、米国ならびに他の国における Adobe の登録商標または商標です。

IOS は、米国およびその他の国における Cisco Systems, Inc. の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されます。

Android™ は Google LLC の商標です。

QR コードは (株) デンソーウェーブの登録商標です。

BarTender® は Seagull Scientific, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。

CODESOFT は、TEKLYNX International の商標または登録商標です。

その他の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

©Seiko Epson Corporation 2024-2025

ご使用の前に

本章では、本製品をご使用いただく前に知っておいていただきたい情報について説明しています。

本製品マニュアルの使い方

紙のマニュアル

はじめにお読みください



本製品の同梱品の確認・設置・セットアップの方法について説明しています。また、本製品を取り扱う上での注意事項も記載しています。安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、ご使用の前には必ずお読みください。

パソコンで見るマニュアル

ユーザーズガイド



本製品の機能や操作方法、メンテナンスに関する情報や各種トラブルの解決方法について説明しています。以下の URL からご覧ください。

https://www.epson.jp/support/support_menu/ks/19.htm

パソコンで見るマニュアル

CW-C8020 詳細取扱説明書（本書）



本製品のセットアップや日常的に行う作業、システム開発に必要な情報を説明しています。

パソコンで見るマニュアル

Web 動画マニュアル



セットアップの方法を動画で分かりやすく説明しています。以下の URL からご覧ください。

https://support.epson.net/p_doc/95d/

動画の内容は変わることがあります。

最新版のダウンロード

プリンタードライバー、ユーティリティー、マニュアル類の最新版は、下記 URL からダウンロードできます。

https://www.epson.jp/support/support_menu/ks/19.htm

本文中のマークについて

本書では、以下のマークを用いて重要な事項を記載しています。

安全に関するマーク

本製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作やお取り扱いを次の記号で警告表示しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

一般情報に関するマーク



重要

ご使用上、必ずお守りいただきたいことを記載しています。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、本製品の故障や動作不良の原因になる可能性があります。



補足説明や知っておいていただきたいことを記載しています。



関連した内容の参照ページを示しています。



操作方法を操作パネルから確認できます。ホーム画面から？（ヘルプ）- 操作方法が知りたいを選択してください。



操作方法を Web 動画マニュアルから確認できます。QR コードを読み取ってください。

安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただくために、お使いになる前には、必ず本書および本製品に添付されているその他の取扱説明書をお読みください。本書は、製品の不明点をいつでも解決できるように大切に保管してください。

設置上のご注意



警告

本製品の通風口を塞がないでください。[22 ページ「本体右側面（コネクター）」](#)

通風口を塞ぐと内部に熱がこもり、火災になるおそれがあります。

布などで覆ったり、風通しの悪い場所に設置しないでください。また、マニュアルで指示された設置スペースを確保してください。



注意

- 不安定な場所、他の機器の振動が伝わる場所に設置・保管しないでください。落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。
- 油煙やホコリの多い場所、水に濡れやすいなど湿気の多い場所に置かないでください。感電・火災のおそれがあります。
- 本製品を持ち上げる際は、無理のない姿勢で作業してください。無理な姿勢で持ち上げると、けがをするおそれがあります。
- 本製品は重いので、1人で運ばないでください。開梱や移動の際は2人以上で運んでください。本製品の質量は[362 ページ「製品仕様」](#)を参照してください。
- 本製品を持ち上げる際は、本書で指示された箇所に手を掛けて持ち上げてください。他の部分を持って持ち上げると、プリンターが落下したり、下ろす際に指を挟んだりして、けがをするおそれがあります。

取り扱いのご注意



警告

- ・アルコール、シンナーなどの揮発性物質のある場所や火気のある場所では使用しないでください。感電・火災のおそれがあります。
- ・煙が出たり、変なにおいや音がしたりなど異常状態のまま使用しないでください。感電・火災のおそれがあります。異常が発生したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口に相談してください。
- ・異物や水などの液体が内部に入ったときは、そのまま使用しないでください。感電・火災のおそれがあります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口に相談してください。
- ・マニュアルで指示されている箇所以外の分解は行わないでください。
- ・お客様による修理は、危険ですから絶対にしないでください。
- ・可燃ガスおよび爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所では使用しないでください。また、本製品の内部や周囲で可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。引火による火災のおそれがあります。
- ・各種ケーブルは、マニュアルで指示されている以外の配線をしないでください。発火による火災のおそれがあります。また、接続した他の機器にも損傷を与えるおそれがあります。
- ・製品内部の、マニュアルで指示されている箇所以外には触れないでください。感電や火傷のおそれがあります。
- ・開口部から内部に、金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしないでください。感電・火災のおそれがあります。
- ・本体の画面が破損したときは、中の液晶に十分注意してください。万一以下の状態になったときは、応急処置をしてください。
 - * 皮膚に付着したときは、付着物を拭き取り、水で流し、石けんでよく洗い流してください。
 - * 目に入ったときは、きれいな水で最低 15 分間洗い流した後、医師の診断を受けてください。
 - * 口に入ったときは、速やかに医師に相談してください。



注意

- ・本製品の上に乗ったり、重いものを置いたりしないでください。特に、子どものいる家庭ではご注意ください。倒れたり壊れたりして、けがをするおそれがあります。
- ・各種ケーブルやオプションを取り付ける際は、取り付ける向きや手順を間違えないでください。火災やけがのおそれがあります。マニュアルの指示に従って、正しく取り付けてください。
- ・本製品を移動する際は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、全ての配線を外したことを確認してから行ってください。コードが傷つくななどにより、感電・火災のおそれがあります。
- ・電源がオンの状態で本製品に振動や衝撃を与えないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- ・本製品を保管・輸送するときは、傾けたり、立てたり、逆さまにしないでください。インクが漏れるおそれがあります。
- ・本製品の内部を引き出した状態で持ち運ばないでください。落下によりけがをするおそれがあります。
- ・平らな場所で本製品の内部を引き出してください。落下によりけがをするおそれがあります。



重要

シロキサンを含むシリコン系ガス（シリコン接着剤、シリコンオイル、シリコンパウダー等）、および、悪性ガス（硝酸、硫化水素、アンモニア、塩素等）が大気中に存在する場所で使用した場合、メカニカルスイッチ、DC モーター等のメカ接点部が、絶縁皮膜の付着または酸化により、短時間で接点障害を起こす場合があります。

電源のご注意



警告

- AC100V 以外の電源は使用しないでください。感電・火災のおそれがあります。
- 電源プラグは、ホコリなどの異物が付着した状態で使用しないでください。感電・火災のおそれがあります。
- 電源プラグは刃の根元まで確実に差し込んで使用してください。感電・火災のおそれがあります。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。また、付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。感電・火災のおそれがあります。
- 破損した電源コードを使用しないでください。感電・火災のおそれがあります。電源コードが破損したときは、エプソンの修理窓口に相談してください。また、電源コードを破損させないために、以下の点を守ってください。
 - * 電源コードを加工しない
 - * 電源コードに重いものを載せない
 - * 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
 - * 熱器具の近くに配線しない
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。
- テーブルタップへの接続、電源コードのたこ足配線はしないでください。感電・火災のおそれがあります。
- 電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。電源プラグを長期間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災になるおそれがあります。
- 電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らずに、電源プラグを持って抜いてください。コードの損傷やプラグの変形による感電・火災のおそれがあります。
- 本製品の電源を入れたままコンセントから電源プラグを抜き差ししないでください。感電・火災のおそれがあります。



注意

長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

インクパックに関するご注意



注意

- ・インクが皮膚に付着したときや目や口に入ったときは、以下の処置をしてください。
 - * 皮膚に付着したときは、すぐに水や石けんで洗い流してください。
 - * 目に入ったときはすぐに水で洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症をおこすおそれがあります。異常があるときは、速やかに医師に相談してください。
 - * 口に入ったときは、速やかに医師に相談してください。
 - ・インクパックを分解しないでください。分解するとインクが目に入ったり皮膚に付着するおそれがあります。
 - ・インクパックは強く振らないでください。強く振ったり振り回したりすると、インクパックからインクが漏れるおそれがあります。
 - ・インクパックは、子どもの手の届かない場所に保管してください。また、インクは飲まないでください。
 - ・良好な印刷品質を得るために、装着から1年以内に使い切ることをお勧めします。
 - ・インクパック上のICチップには触らないでください。
 - ・インクパックは、直射日光を避けて常温で保管してください。
 - ・弊社のプリンターは、プリントヘッドの品質を維持するためインクが完全になくなる前に動作を停止するように設計されており、使用済みインクパック内に多少のインクが残ります。ランニングコストは、お客様のご使用環境及びご使用状況により異なります。
 - ・インクパックに再生部品を使用している場合がありますが、品質には影響ありません。
 - ・製品の機種型番によって、使用できるインクパックが異なります。お使いのプリンターの機種型番に合うインクパックを使用してください。
- ☞ [390 ページ「インクパック」](#)
- ・新しいインクパックは、よく振ってからセットしてください。☞ [83 ページ「インクパックの交換手順」](#)
 - ・本製品のインクパックは、ICチップでインク残量などの情報を管理しているため、使用用途中に取り外しても再装着して使用できます。ただし、インクが残り少なくなったインクパックを取り外すと、再装着しても使用できないことがあります。また、再装着の際は、プリンターの信頼性を確保するためにインクが消費されることがあります。
 - ・ブラックインクを交換する際は、現在セットされているものと同じ仕様のブラックインクをセットしてください。本製品は異なる仕様のブラックインクをセットしても動作しません。
 - ・インクパックは、全色セットしてください。全色セットしないと印刷できません。
 - ・プリントヘッドを良好な状態に保つため、印刷時以外にもインクパック交換時・ヘッドクリーニング時などのメンテナンス動作で全色のインクが消費されます。
 - ・充填中（①（電源）LEDの点滅中）は、電源を切ったり、用紙カバー、上カバー、インクカバーを開けたりしないでください。カバーを開けると、閉じたときにインクが再度充填され、さらにインクが消費されます。また、正常に印刷できなくなるおそれがあります。
 - ・モノクロ印刷の場合でも、印刷、およびプリントヘッドを良好な状態に保つための動作で全色のインクが使われます。
 - ・インクパックを分解または改造しないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
 - ・取り外したインクパックはインク供給孔部にインクが付いていることがありますので、周囲を汚さないようにご注意ください。
 - ・インクパックの袋は、本体に取り付ける直前まで開封しないでください。
 - ・インクパックトレイまたはインクカバー内部に異物を入れたり落としたりしないでください。印刷できなくなるおそれがあります。異物を取り除く際は、傷をつけないように取り除いてください。
 - ・購入直後のインク初期充填では、プリントヘッドノズル（インクの吐出孔）の先端部分までインクを満たして印刷できる状態にするため、その分インクを消費します。そのため、初回は2回目以降に取り付けるインクパックよりも印刷できるページ数が少なくなることがあります。
 - ・インクの乾燥を防ぐためにプリントヘッドは自動的にキャップ（ふた）がされます。動作中に電源プラグを抜いたり、ブレーカーを切ったりしないでください。プリントヘッドにキャップ（ふた）がされない可能性があります。



注意

- アート紙等の表面撥水処理を施した用紙に印刷すると、インク速乾性が悪く印刷汚れを起こす場合があります。また、光沢紙に印刷した場合は、印刷面に触れると指の跡が付いたりインクが指に付着することがあります。印刷汚れを起こさない用紙を選定して、ご使用ください。
- インクパックを寒い所に長時間保管していたときは、4 時間以上室温に放置してから使用してください。
- 本製品を保管、または輸送するときは、本製品からインクパックを取り外さないでください。

メンテナントボックスに関するご注意



注意

- 子供の手の届かない場所に保管してください。また、インクは飲まないでください。
- メンテナントボックスを分解または改造しないでください。分解するとインクが目に入ったり皮膚に付着するおそれがあります。
- メンテナントボックス上の IC チップは触らないでください。
- 使用可能なメンテナントボックスを取り外して長期間放置した場合は再使用しないでください。
- メンテナントボックス上面のフィルムは剥がさないでください。
- インクが皮膚に付着したときや目や口に入ったときは、以下の処置をしてください。
 - 皮膚に付着したときは、すぐに水や石けんで洗い流してください。
 - 目に入ったときは、すぐに水で洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症をおこすおそれがあります。異常があるときは、速やかに医師に相談してください。
 - 口に入ったときは、速やかに医師に相談してください。
- 使用したメンテナントボックスは強く振らないでください。強く振ったり振り回したりすると、メンテナントボックスからインクが漏れるおそれがあります。
- 高温下及び凍結状態での保存は避けてください。
- 直射日光を避けてください。

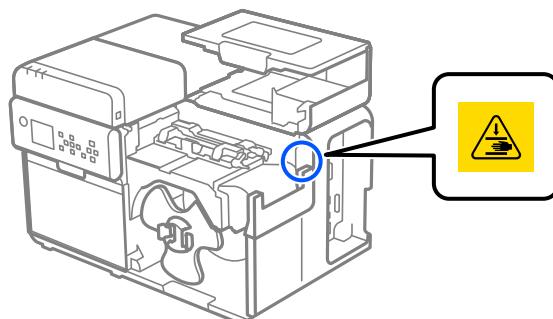
注意ラベル

本製品に貼付されているラベルは、以下の注意事項を示しています。



注意（指挟み）

用紙カバーを開閉するときは、手や指を挟まないでください。けがをするおそれがあります。



使用制限

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、きわめて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認の上、ご判断ください。

電波障害自主規制について

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

本書について

本書の目的

本書は、システムの開発、設計、設置、またはプリンターアプリケーションの開発、設計に必要な全ての情報を開発技術者に提供することを、その目的としています。

本書の構成

本書は以下のように構成されています。

第 1 章	製品概要
第 2 章	セットアップ
第 3 章	製品の取り扱い
第 4 章	プリンターのクリーニング
第 5 章	トラブルシューティング
第 6 章	アプリケーション開発情報
付録	製品仕様

掲載画面

お使いの製品および OS によって、本文中の表記と実際に表示される Windows、Mac の画面が異なる場合があります。本書では、特に指定がない限り Windows 11、mac OS Ventura の画面を掲載しています。お使いのプリンタードライバー、ユーティリティーのバージョンにより、本書で説明している画面とは表示が異なる場合があります。

もくじ

■ ご使用の前に	3
本製品マニュアルの使い方	3
本文中のマークについて	4
安全にお使いいただくために	5
設置上のご注意	5
取り扱いのご注意	6
電源のご注意	7
インクパックに関するご注意	8
メンテナントボックスに関するご注意	9
注意ラベル	10
■ 使用制限	11
■ 電波障害自主規制について	11
■ 本書について	11
本書の目的	11
本書の構成	11
掲載画面	11
■ もくじ	12

製品概要	18
■ 本製品のモデルについて	18
フォトインク仕様 / マットインク仕様	18
製品のファームウェアとドライバーのバージョン	18
■ 各部の名称と働き	20
本体前面	20
本体左側面	21
本体右側面（コネクター）	22
本体内部（前面）	23
本体内部（用紙経路）	24
操作パネル	25
■ ノズル自己診断システム	29
ノズルチェックの基本設定	29
印刷中のノズルチェックの設定	30
ノズル抜け補完機能	32
■ 定期自動クリーニング	33
定期自動クリーニングの開始時刻の設定	33
定期自動クリーニングの実行	33
印刷作業を中断しない効果的な設定例	33
■ 再印刷処理	34
■ 未完成ラベルのカット	35
未完成ラベルがカット位置にまだ到達していない場合	35
未完成ラベルがすでにカット位置を通り過ぎている場合	36
■ プリンターの状態を確認する	37

本体の画面から確認する	37
ノズルチェックパターンを印刷して確認する	38
ステータスシートを印刷して確認する	39
ネットワークの接続状態や設定情報を確認する	40

セットアップ	41
■ セットアップのフロー	41
■ 同梱品の確認	42
■ 保護材の取り外し	43
■ プリンターの設置	44
■ 電源ケーブルの接続	45
■ 電源の入 / 切	46
電源を入れる	46
電源を切る	46
■ 日時の設定	47
■ ブラックインク仕様の選択	47
■ インクパックの取り付けと初期充填	48
■ プリンタードライバーのインストールと接続	49
■ ネットワークの設定	50
■ ホストとの接続	51
有線 LAN に接続する	51
無線 LAN ルーターを使って無線 LAN (Wi-Fi) に接続する	51
Wi-Fi Direct を使って接続する	58
■ 用紙の設定	64
■ 用紙のセット	65
ロール紙のセット	66
ファンフォールド紙のセット	71
用紙の排出経路	76
手動での給紙方法	77
■ 印字確認	78
テスト印刷	79
■ 用紙を取り除く	80
■ インクパックの交換	83
インク残量の確認	83
インクパックの交換手順	83
■ メンテナンスボックスの交換	87
メンテナンスボックスの空き容量の確認	87
メンテナンスボックスの交換手順	87

製品の取り扱い	90
■ プリンタードライバー (Windows)	90
プリンタードライバーの開き方	90
プリンタードライバーの画面構成	91
用紙設定	92
ユーザー定義用紙	97
給紙方法・用紙検出の設定	102
お気に入り	104
バーコード印刷	107
2次元シンボル印刷	118
.NET 環境でバーコード / 2次元シンボル印刷	125
ユーザー定義情報	127
プリンタードライバー設定の書き出し / 取り込み	127
EPSON プリンターウィンドウ!3 の設定	132
プリンタードライバーから <i>PrinterSetting</i> を起動する	137
プリンタードライバーの制限事項	138
プリンタードライバーの分離	139
サーバー PC のプリンタードライバーを共有して印刷する	141
■ プリンタードライバー (Mac)	164
基本の印刷手順	164
プリンタードライバーのカスタマイズ	172
Epson Label Printer Utility	174
■ プリンタードライバー (Linux)	176
パッケージ (epson-inkjet-printer-cw-c8000) の入手	177
プリンタードライバーのインストール	177
I/O モジュールのインストール	177
CUPS にプリントキューを登録する	177
Epson Label Printer Utility for Linux のインストール	179
Epson Label Printer Utility for Linux を起動する	179
Epson Label Printer Utility for Linux を終了する	180
プリンタードライバー、Epson Label Printer Utility for Linux のアンインストール	180
■ SAP システムからの印刷	181
SAP システムからの印刷方式について	181
Direct printing で印刷するには	183
Indirect printing で印刷するには	183
High Volume printing で印刷するには	183
■ <i>PrinterSetting</i> (Windows)	184
<i>PrinterSetting</i> の起動	185
設定の反映	186
用紙を設定する	187
レイアウトを設定する	188
位置を調整する	190
印刷結果を調整する	192
プリンターにデータを登録する	193
プリセット画像を設定する	197
クリーニングを行う	201
プリンター本体の設定	202
色ずれ調整	203
パネルの設定	206

動作時間の設定	207
ノズルチェックの設定	208
高度な設定	209
プリンターの初期化	218
プリンター情報の表示	219
設定の保存と復元	221
オプション	222
■ 操作パネルの設定項目	223
■ パネル操作を制限する（管理者ロック機能）	233
管理者パスワードの初期値を確認する	233
管理者ロック機能を有効にする	233
管理者パスワードを変更する	234
管理者パスワードを初期化する	234
■ Web Config	235
■ Epson Device Admin	237
■ EPSON Cloud Solution PORT	238
プリンターの登録方法	238
■ Loftware 社の Loftware Cloud を使用する	241
プリンターの登録方法（Web Config）	241
プリンターの登録方法（Epson Device Admin）	248
接続状態の確認方法	256
トラブルシューティング	261
■ 特色の設定	262
特色設定を作成する	262
特色設定を使用して印刷する	267
■ 色補正方法	268
ドライバー上の設定と色補正方法と特色設定の関係	268
色補正方法の選択肢	269
プリンターの色補正エンジンで設定する	271
OS の色補正エンジンで設定する	273
アプリケーションの色補正エンジンで設定する	283
■ 先頭のラベルから印刷する	284
■ フチなし印刷のためのラベルサイズ / 用紙レイアウトの設定	285
フチなし印刷のための考え方	285
ラベル用紙の設定	286
■ ヘッド - 用紙間距離の調整を実行する	287
■ 検出器の感度やラベル検出のしきい値を調整する	288
■ ギャップ検出器の操作	289
ギャップ検出器の調整例	290
■ インク充填後の本製品の保存	292
本製品の長期保存	292
– 10 °C以下の環境での輸送や保存（マットインク仕様の場合）	293
本製品の再稼動	293
■ 輸送時の処置	294

プリンターのクリーニング	295
■ 外装のクリーニング	296
■ オートカッターのクリーニング	296
■ 用紙ガイドのクリーニング	297
■ 紙押さえローラーのクリーニング	299
■ ギャップ検出器（発光側）のクリーニング	301
■ プラテンのクリーニング	304
■ プリントヘッドのクリーニング	305
ノズルチェックパターンの印刷	305
ヘッドクリーニング	307
 トラブルシューティング	308
■ 画面にメッセージが表示された	308
■ 印刷品質の低下	313
■ 印刷できない	316
■ 連続印刷ができない	318
■ 外部供給ができない	318
■ ネットワーク接続診断のエラー	319
エラーコード	319
ネットワーク環境に関するメッセージ	321
■ ネットワークに接続できない	322
無線 LAN 接続でネットワーク機器に何らかの問題がある	322
機器と無線 LAN ルーターが離れていて電波が届いていない	322
無線 LAN ルーターを交換した場合、設定が新しいルーターに合っていない	322
接続している SSID がコンピューターやスマートデバイスとプリンターで異なっている	322
無線 LAN ルーターのプライバシーセパレーター機能が有効になっている	322
IP アドレスが正しく割り当てられていない	322
USB 3.0 ポートに接続している機器によって無線周波数干渉が起こっている	323
コンピューターやスマートデバイスのネットワーク設定に問題がある	323
■ コンピューターの画面にメッセージが表示された	324
■ コンピューターから印刷できない / 急に印刷できなくなった	325
プリンタードライバーのインストール確認	325
プリンターとコンピューターを再接続	325
プリンターとスキャナーの確認	326
印刷データの確認	326
電源がオンにならない	327
■ PC 上で印刷キャンセルしても本体パネル表示が「印刷中」のまま動かない	328
■ エラーを知らせるブザー音が止まらない	328
■ 本体パネルに表示されるジョブ数（印刷枚数）が「1/1」から変わらない	328
■ 用紙が詰まった	329

ロール紙が詰まった	329
ファンフォールド紙が詰まった	334

アプリケーション開発情報..... 339

■ プリンターの制御方法.....	339
■ Epson Inkjet Label Printer SDK を使用.....	340
動作環境.....	340
入手方法.....	340
■ iOS SDK / Android SDK / Web アプリケーション SDK を使用.....	341
入手方法.....	341
■ ESC/Label コマンドを使用.....	341
入手方法.....	341
■ ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターからの置き換え	342
2ステップ印刷から1ステップ印刷への切り替え.....	342
テンプレートの活用	359
■ ソフトウェアとマニュアル.....	360
ソフトウェア	360
マニュアル	360

付録

362

■ 製品仕様.....	362
動作環境.....	363
用紙仕様.....	364
紙検出方式	384
電気的仕様	385
信頼性	386
環境仕様	387
外形寸法	388
■ 消耗品仕様	390
インクパック	390
メンテナンスボックス	390
■ オプション	391
巻き取り装置 (TU-RC8000)	391
■ ドライバー、ユーティリティー、マニュアルのダウンロード	396
■ ラベル印刷アプリケーション	396
入手方法	396
■ お問い合わせ	397

製品概要

本章では、製品の特長を説明しています。

本製品のモデルについて

フォトインク仕様 / マットインク仕様

本製品は、フォトインク（BK）またはマットインク（MK）いずれかのブラックインクが使えます。初期充填時に、どちらのブラックインクを使用するのかを設定します。



重要

インクの初期充填時に設定したブラックインクの仕様は、一度設定したら変更できません。

製品のファームウェアとドライバーのバージョン

製品のファームウェアとプリンタードライバー、ユーティリティーは全て最新のバージョンの組み合わせでご使用ください。

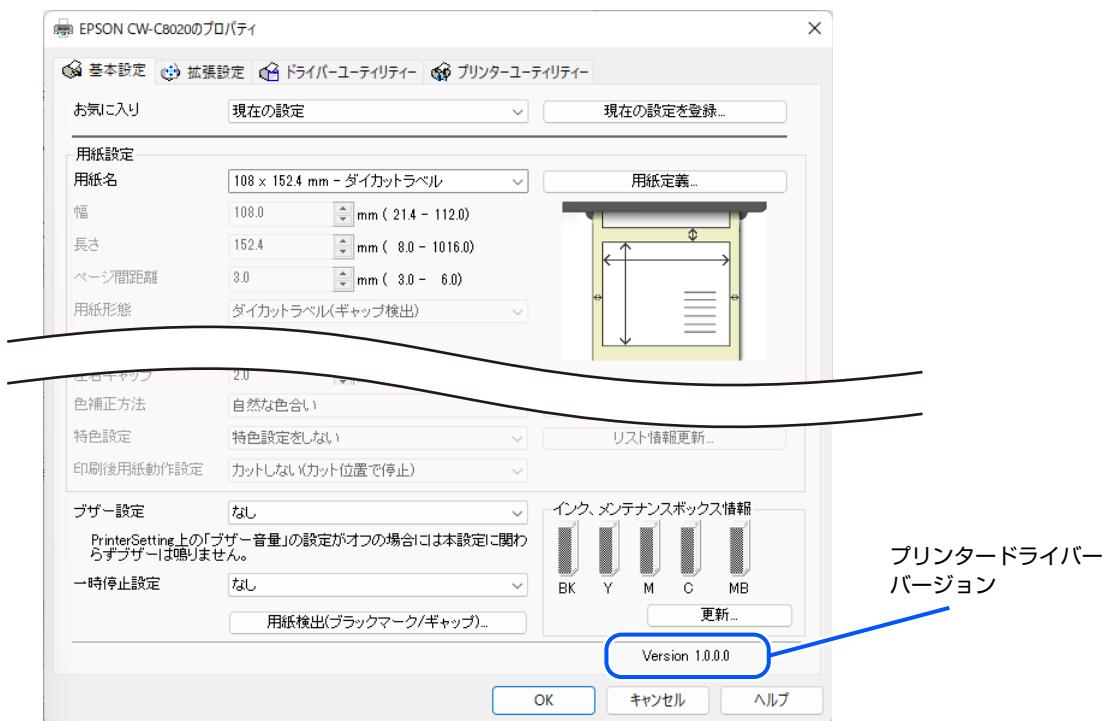
製品のファームウェアのバージョン確認方法

製品のファームウェアバージョンは次の方法で確認できます。

- ステータスシートを印刷する（[39 ページ「ステータスシートを印刷して確認する」](#)）
- 操作パネルから確認する（[223 ページ「操作パネルの設定項目」](#)）

プリンタードライバーのバージョン確認方法

プリンタードライバーの画面でバージョンを確認できます。

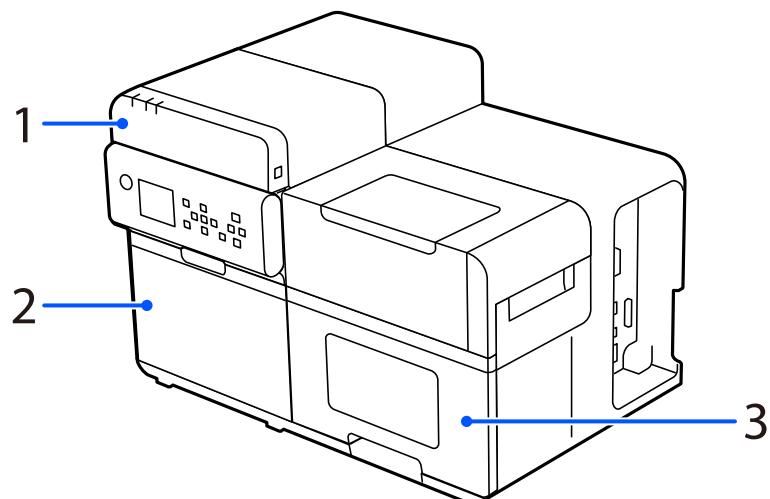


最新のドライバー、ユーティリティーの入手については [396 ページ「ドライバー、ユーティリティー、マニュアルのダウンロード」](#) を参照してください。

各部の名称と働き

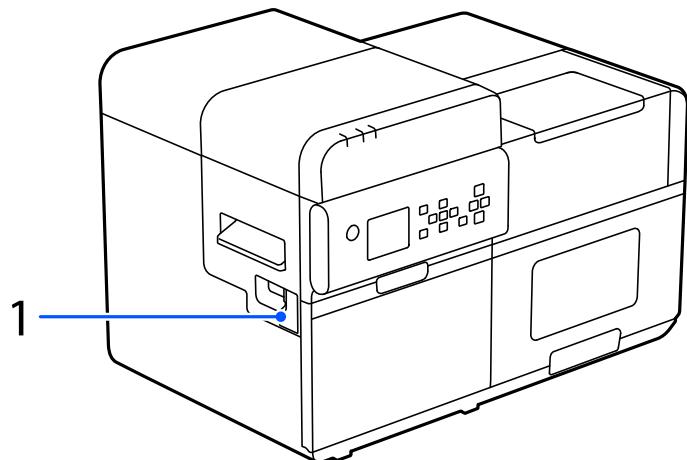
ここでは、主な操作部を説明します。

本体前面



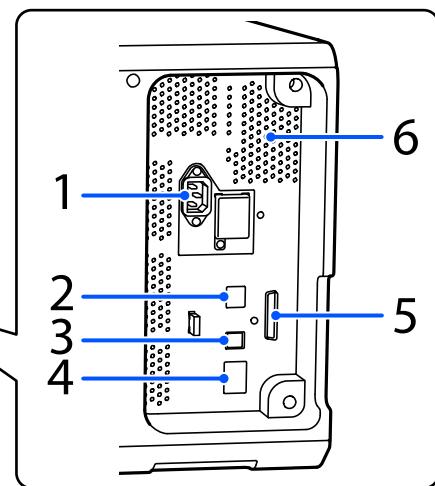
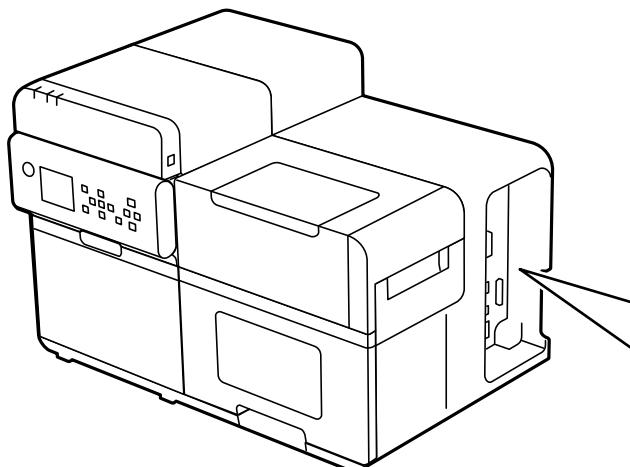
No.	名称	説明
1	上カバー	詰まった用紙を取り除くときや、クリーニングのときを開けます。
2	インクカバー	インクパックとメンテナンスボックスを取り付け / 交換するときを開けます。 ☞ 83ページ「インクパックの交換」 ☞ 87ページ「メンテナンスボックスの交換」
3	用紙カバー	用紙をセット・交換するときを開けます。

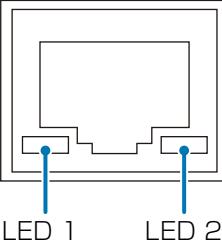
本体左側面



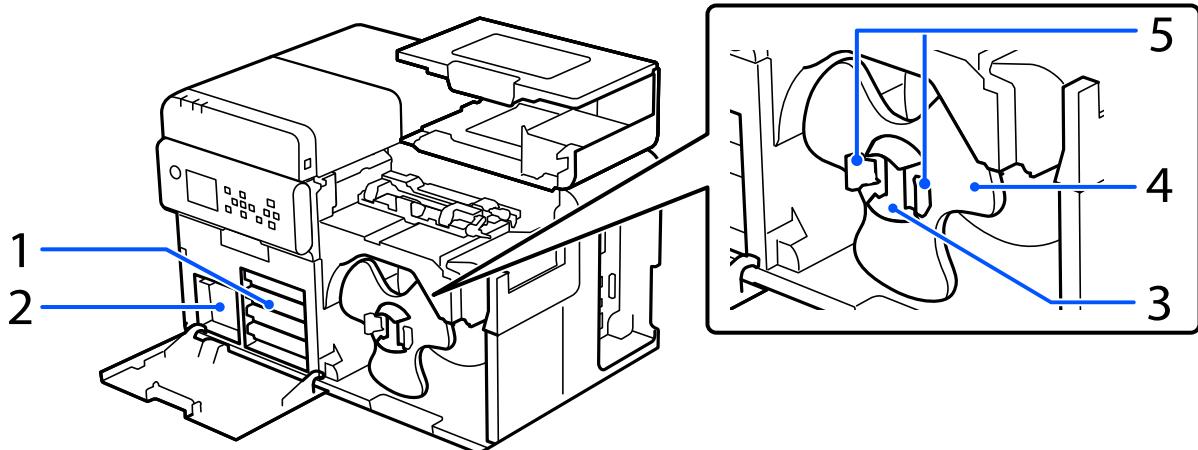
No.	名称	説明
1	巻き取り装置接続カバー	巻き取り装置（オプション）を取り付けるときに開けます。 391 ページ「巻き取り装置 (TU-RC8000)」

本体右側面(コネクター)



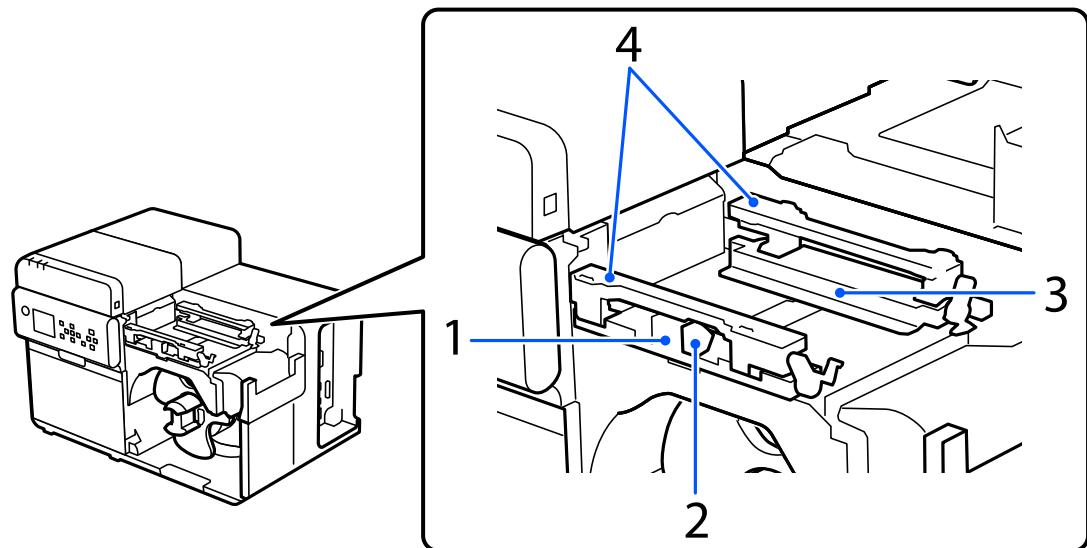
No.	名称	説明																	
1	電源コネクター	電源ケーブルを接続します。																	
2	USB A ポート(オプションの無線 LAN ユニット専用)	オプションの無線 LAN ユニットを接続します。																	
3	USB B ポート	USB (Type-B) ケーブルを接続します。																	
4	LAN ポート	<p>LAN ケーブルを接続します。</p> <p>LAN ステータス LED</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>LED</th> <th>LED の状態</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">LED1</td> <td>点灯 (黄色)</td> <td>いずれかの速度で接続</td> </tr> <tr> <td>点滅 (黄色)</td> <td>データ送受信中</td> </tr> <tr> <td>消灯</td> <td>接続なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">LED2</td> <td>点灯 (緑色)</td> <td>1000BASE-T で接続</td> </tr> <tr> <td>点灯 (橙色)</td> <td>100BASE-TX で接続</td> </tr> <tr> <td>消灯</td> <td>10BASE-T で接続または接続なし</td> </tr> </tbody> </table>	LED	LED の状態	説明	LED1	点灯 (黄色)	いずれかの速度で接続	点滅 (黄色)	データ送受信中	消灯	接続なし	LED2	点灯 (緑色)	1000BASE-T で接続	点灯 (橙色)	100BASE-TX で接続	消灯	10BASE-T で接続または接続なし
LED	LED の状態	説明																	
LED1	点灯 (黄色)	いずれかの速度で接続																	
	点滅 (黄色)	データ送受信中																	
	消灯	接続なし																	
LED2	点灯 (緑色)	1000BASE-T で接続																	
	点灯 (橙色)	100BASE-TX で接続																	
	消灯	10BASE-T で接続または接続なし																	
5	EXT.I/F	特定の使用者のみが外部機器制御に使用します。																	
6	通風口	本製品内の温度の上昇を防ぐため、内部で発生する熱を排出します。設置の際は、通風口から 10 cm 以上のすき間をあけ、風通しを良くしてください。																	

本体内部(前面)



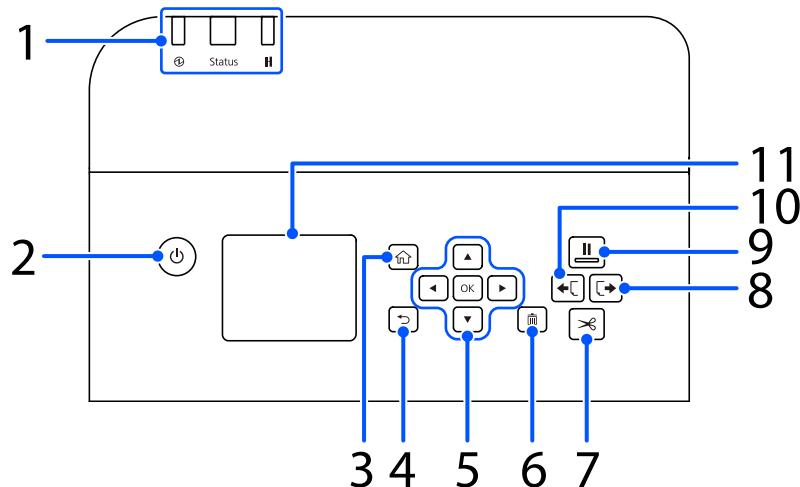
No.	名称	説明
1	インクパックトレイ	4色のインクパックをトレイにそれぞれセットします。画面に交換のメッセージが表示されたらトレイごと引き出します。 83ページ「インクパックの交換」
2	メンテナンスボックス	メンテナンスボックスは、ヘッドクリーニングで排出される廃インクをためる容器です。画面に交換のメッセージが表示されたらメンテナンスボックスを引き出します。 87ページ「メンテナンスボックスの交換」
3	軸	ロール紙を差し込んで使用します。
4	ロール紙フランジ	軸にセットしてロール紙を固定します。
5	レバー	レバーを押すことで、ロール紙フランジを軸へ挿入したり、取り外したりできます。

本体内部(用紙経路)



No.	名称	説明
1	用紙ガイド（可動）	用紙をまっすぐに給紙するためのガイドです。レバー（青）を押してスライドさせ、用紙の幅と白色のガイド板を合わせます。
2	レバー（青）	このレバーを押すことで用紙ガイド（可動）をスライドできます。
3	用紙ガイド	用紙をまっすぐに給紙するためのガイドです。白色のガイド板に用紙を沿わせてセットします。
4	用紙押さえ	用紙を上から押さえて、給紙の際に用紙が浮かないようにするために使います。

操作パネル



No.	名称	説明
1	LED	LED の点滅によって、プリンターの状態を確認できます。 <ul style="list-style-type: none"> ①(電源) LED プリンターの電源がオンのときに、点灯します。印刷中やインクの充填中に、点滅します。 Status LED プリンターに異常があるときに、点灯・点滅します。 II(ポーズ) LED プリンターが動作を中断しているときに、点灯・点滅します。
2	①(電源) ボタン	電源を入れたり切ったりします。
3	②(ホーム) ボタン	ホーム画面を表示します。
4	③(戻る) ボタン	前の画面に戻ります。
5	④▲◀▼▶(選択) ボタンとOK ボタン	▲◀▼▶ボタンでメニュー や項目を選択し、OK ボタンで確定します。
6	⑤(キャンセル) ボタン	印刷をキャンセルします。 プリンターの一時停止中に⑤(キャンセル) ボタンを押し、「キャンセル選択」画面で [先頭フォーマットのみ]、または [すべてのフォーマット] を選択し印刷のキャンセルを行います。
7	⑥(カット) ボタン	用紙をカットします。
8	⑦(バックフィード) ボタン	用紙交換の時のみ押します。⑥(カット) ボタンを押して印刷した用紙を切り取ってから、⑦(バックフィード) ボタンを長押しすると、用紙が後方に送られ、用紙を引き抜くことができます。

No.	名称	説明
9	■(ポーズ) ボタン	<ul style="list-style-type: none"> 印刷中に押した場合 印刷中のページを印刷後に一時停止し、■(ポーズ) LED が点灯します。もう一度押すと印刷を再開し、■(ポーズ) LED が消灯します。 印刷待機中に押した場合 プリンターが一時停止し、■(ポーズ) LED が点灯します。もう一度押すと印刷待機中になります。■(ポーズ) LED が消灯します。 エラーによる一時停止中に押した場合 プリンターの一時停止を解除し、■(ポーズ) LED が消灯します。
10	◀[(フィード) ボタン	<p>◀[(フィード) ボタンを押すと、以下の長さの用紙が紙送りされます。用紙の形態によって紙送りの長さが異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ブラックマーク基準、ギャップ基準 1 ページ分 その他 25.4 mm (1 in.) <p>上記の長さを紙送りした後も◀[(フィード) ボタンを押し続けると、ボタンを押している間は連続して紙送りされます。</p>
11	画面	本製品の状態やメニュー、エラーメッセージなどを表示します。

ホーム画面の操作

プリンターの状態を本体の画面から確認できます。

操作パネルの▲◀▼▶(選択) ボタンとOKボタンで画面を選択してください。

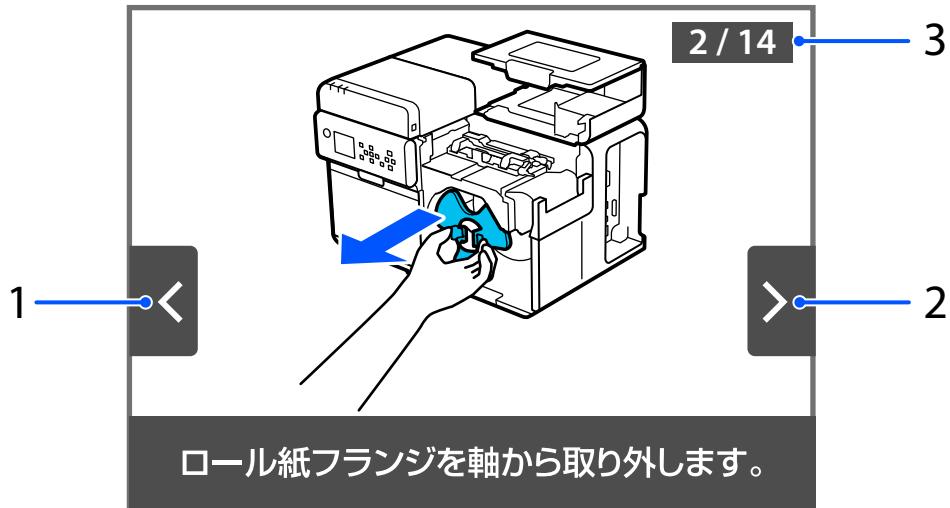


No.	名称	説明
1	情報表示欄	プリンターの状態やエラーメッセージなどを表示します。
2	給紙方法 / 用紙残量欄	給紙方法を確認できます。 ロール紙またはファンフォールド紙によって用紙のアイコンが切り替わります。【給紙方法】を【外部供給】に設定した場合は用紙のアイコンの下に「EX」が表示されます。 用紙残量は【給紙方法】を【内部供給】に設定したときに確認できます。

No.	名称	説明
3	用紙情報欄	<p>用紙設定の情報を確認できます。</p> <p>このエリアを選択すると、[Menu] - [用紙設定] と同じメニューが表示されます。</p> <p>参考：</p> <p>プリンタードライバーからも用紙設定ができます。操作パネルとプリンタードライバーで設定が異なる場合、プリンタードライバーの設定が適用されます。</p> <p>☞ 92 ページ「用紙設定」</p>
4	消耗品情報アイコン	<p>各色インクパックの残量と、メンテナنسボックスの空き容量の目安をバーの長さで示しています。バーが短いほど、残量や空き容量が少ないことを示しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [!] マーク インクの交換時期またはメンテナنسボックスの空き容量が限界に近づいていることを示しています。 • [x] マーク インク残量が限界値以下またはメンテナنسボックスの空き容量がない（交換が必要）ことを示しています。 • マットインク仕様の場合は、ブラックインクは「MK」と表示されます。
5	ヘルプメニュー	<p>困ったときの対処方法やプリンターの基本操作手順を確認できます。</p> <p>☞ 28 ページ「操作方法画面の操作」</p>
6	設定メニュー	メンテナنسやプリンターの動作設定、ネットワーク設定などを行えます。本書では [Menu] と表現しています。
7	ネットワークアイコン	オプションの無線 LAN ユニット(OT-WL06)を接続することで、無線 LAN で通信できます。ホーム画面にこれらのネットワークアイコンが表示されない場合は、もう一度無線 LAN ユニットが接続されていることを確認し、プリンターを再起動してください。

操作方法画面の操作

本体画面に操作方法が表示されます。操作パネルの▲◀▼▶(選択) ボタンとOKボタンを押すと、手順を切り替えられます。手順によっては、複数の図を自動で切り替えて表示することがあります。



No.	名称	説明
1	手順戻しボタン	操作パネルの◀(選択) ボタンを押して、前の手順を表示します。
2	手順送りボタン	操作パネルの▶(選択) ボタンを押して、次の手順を表示します。
3	手順番号	全手順数が表示されます。現在表示している手順は色が青に変化します。

ノズル自己診断システム

本製品は、ドット抜けを検出するノズル自己診断システムを搭載しています。印刷物のドット抜けに対してお客様の求められる要求レベルによって設定できます。

以下の場合にノズル自己診断を実行します。

- 印刷ジョブの開始時、またはノズル自己診断システムの検出間隔で指定された印刷枚数ごと
- 電源を入れたとき
- 紙詰まり後に、上カバーまたは用紙カバーを閉じたとき
- 定期クリーニングで指定した時刻になったとき
([33 ページ「定期自動クリーニング」](#))

また、ヘッドクリーニングを行ってもノズル抜けを解消できない場合は、近傍のノズルを使用する補完印刷ができます。この機能を使うことで、印字品質やバーコード品質の著しい低下を補うことができます。



重要

- 本機能は、100% ドット抜け防止を保障するものではありません。ドット抜け、インク滴の曲がりを 100% 検出することができません。
- ドット抜けにより文字の一部が印刷されず文字を読み違うことを防ぐ為、購入時の状態（初期値）での使用をお勧めします。初期値は [223 ページ「操作パネルの設定項目」](#) の [プリンターのお手入れ設定] - [ノズルチェックの設定] を参照してください。
- 極めて高い信頼性・安全性が要求される場合、印刷データで使用するフォントは、縦 3 ドット構成以上をお勧めします。



- [検出時のクリーニング] が [する] または [する (印刷中はしない)] に設定され、検出されたノズル抜け数が設定した [ノズル抜け許容数] を超過した場合は、自動でヘッドクリーニングを行いドット抜けを解消させます。ヘッドクリーニング後にもノズルチェックを行い、設定された [ノズル抜け許容数] を下回らない場合には、再度ヘッドクリーニングを行います。ヘッドクリーニング実行時にはインクが消費されます。
- ヘッドクリーニングはノズル抜けの状態によって、ノズル抜けを検出したヘッドおよびインクだけ、または全てのヘッドに対して行います。
- ノズル自己診断を行うため、微量のインクを使用します。

ノズルチェックの基本設定

ノズルチェックの基本的な設定は、以下の項目を設定します。

- ノズル抜け許容数
- 検出時のクリーニング

ノズル抜け許容数(ノズル抜けと判定する基準の設定)

ノズルチェックでノズル抜けと判定する数を設定します。ノズル抜けの数がこの値を上回った場合、[検出時のクリーニング] で設定した処理を実行します。また、ノズル抜けの数が [ノズル抜け許容数] に達しない場合は、ノズル抜け補完機能を使用することもできます。

ノズル抜け許容数の初期値は「6」です。

設定

本製品の操作パネルおよび PrinterSetting から設定できます。

[223 ページ「操作パネルの設定項目」](#) または [184 ページ「PrinterSetting \(Windows\)」](#) を参照

検出時のクリーニング(ノズル抜け検出時のクリーニング設定)

ノズルチェックでノズル抜けと判定された場合、自動でヘッドクリーニングを実行するか設定します。検出時のクリーニングの初期値は【する】です。

設定

本製品の操作パネルおよび PrinterSetting から設定できます。

- する
ノズル抜けを検出した時点で自動でヘッドクリーニングをします。
- する(印刷中はしない)
印刷中にノズル抜けを検出した場合は、印刷後に自動でヘッドクリーニングをします。
- しない
ノズル抜けを検出しても自動でヘッドクリーニングはされません。

[223 ページ「操作パネルの設定項目」](#) または [184 ページ「PrinterSetting \(Windows\)」](#) を参照

印刷中のノズルチェックの設定

印刷中のノズルチェックの設定は、以下の項目を設定します。

- ノズル抜け検出
- 検出間隔
- 検出時のノズル補完
- 検出時の印刷動作

ノズル抜け検出(印刷中のノズルチェックの設定)

印刷中にノズルチェックを実行するか設定できます。

ノズル抜け検出の初期値は【行わない】です

設定

本製品の操作パネル及び PrinterSetting から設定できます。

- 指定した枚数毎に行う
印刷中に【検出間隔】で設定したページごとにノズルチェックを実行します。
検出間隔は 1 ~ 25,000 ページで、1 ページ単位で設定できます。検出間隔の初期値は「500」です。
- 行わない
印刷中にノズルチェックは実行されません。

[223 ページ「操作パネルの設定項目」](#) または [184 ページ「PrinterSetting \(Windows\)」](#) を参照



検出間隔の累積枚数は、設定した枚数に達しノズルチェックを実施した場合と、本製品の電源を切った場合に初期化されます。

検出時のノズル補完(ノズル抜け補完印刷の設定)

ノズル抜けを検出した場合、ノズル抜け補完機能を使用するか設定します。(32 ページ「ノズル抜け補完機能」) 検出時のノズル補完の初期値は [有効] です。

設定

本製品の操作パネル及び PrinterSetting から設定できます。

- 無効
ノズル抜けを検出した場合、補完印刷は実行しません。
- 有効
ノズル抜けを検出した場合、近傍のノズルを使用して補完印刷を実行します。

[223 ページ「操作パネルの設定項目」](#) または [184 ページ「PrinterSetting \(Windows\)」](#) を参照

検出時の印刷動作(ノズル抜け検出時の印刷処理の設定)

ノズル抜けの数が設定した [ノズル抜け許容数] を超過した場合、印刷を継続するか停止するかを設定します。このとき、ノズル抜けを検出したことが本体の画面に通知されます。

検出時の印刷動作の初期値は [印刷継続] です。

設定

本製品の操作パネル及び PrinterSetting から設定できます。

- 印刷一時停止
ノズル抜け許容数を超えると、本体の画面へ通知を出し、印刷待機中  (ポーズ) となります。 (ポーズ) ボタンを押すことで印刷が再開されます。
- 印刷継続
ノズル抜け許容数を超えると、本体の画面へ通知が出ますが、印刷は継続されます。

[223 ページ「操作パネルの設定項目」](#) または [184 ページ「PrinterSetting \(Windows\)」](#) を参照

初期値に戻す(ノズルチェック設定の初期化)

ノズルチェック設定を購入時の状態（初期値）に戻すことができます。

設定

本製品の操作パネル及び PrinterSetting から設定できます。

[223 ページ「操作パネルの設定項目」](#) または [184 ページ「PrinterSetting \(Windows\)」](#) を参照

ノズル抜け補完機能

ノズル抜け補完機能とは、ノズル詰まりが発生した場合に、近傍のノズルを使用して補完印刷を行う機能です。自動補完可能なノズル詰まりは、合計 16 ノズル以下です。ただし、隣接するノズル詰まりの場合は、補完を十分に行えません。ノズル詰まりの合計が 16 ノズルを超えた場合は、16 ノズル分の補完は実施し、印字は継続することができます。

この機能は、ノズル自己診断システムが無効だと使用できません。ノズル自己診断システムも有効に設定してください。



- この機能は、「印字品質」や「バーコード品質」などを完全に補完するものではありません。
- この機能は、印刷開始時に既知のノズル抜け情報をもとに補完を行うため、印刷中に発生したノズル抜けを補完することはできません。
- 用紙種類が高光沢紙または光沢フィルムの場合、完全に補完できない場合があります。お客様で自身で印刷結果をご確認の上、お使いください。

設定

本製品の設定メニューおよび PrinterSetting から設定できます。

工場出荷時には「有効」に設定されています。

[223 ページ「操作パネルの設定項目」](#) または [184 ページ「PrinterSetting \(Windows\)」](#) を参照

定期自動クリーニング

本製品はプリントヘッドを良好な状態に保つために、自動でプリントヘッドのクリーニングを実行する場合があります。クリーニングには4～9分を要し、その間は印刷作業ができません。使用したいときにクリーニングが実行されることを避けるため、定期自動クリーニングの開始時刻の設定をお勧めします。

定期自動クリーニングは、あらかじめ設定した時刻になると自動でクリーニングを実行する機能です。プリンターがプリントヘッドのクリーニングの必要性を確認し、必要な場合に実行します。

お使いの状況に合わせて開始時刻を設定できるので、印刷作業を中断することなくヘッドクリーニングが実施できます。初期設定は「0:00」に設定されています。

定期自動クリーニングの開始時刻の設定

本製品の設定メニューおよびPrinterSettingから設定できます。

クリーニング中は印刷作業ができません。プリンターの電源が入っていて印刷を実施しない時間帯を設定してください。開始時刻は1分単位で設定できます。

設定方法は、[223ページ「操作パネルの設定項目」](#)または[184ページ「PrinterSetting \(Windows\)」](#)を参照してください。



- 定期自動クリーニングには4～9分を要します。
- 開始時間を現在の時刻から10分未満に設定した場合は、24時間後の設定時刻にクリーニングを実行します。

定期自動クリーニングの実行

設定した時刻になりプリンターの電源が入っていると、ヘッドクリーニングが必要な場合に定期クリーニングを実行します。



- 長時間、本製品の電源が入らない状態が続くと、電源を入れたときにクリーニングを実行する場合があります。
- 次のような場合は、設定した時刻にクリーニングが実行されません。次回、プリンターの電源を入れたときにクリーニングを実行します。
 - プリンターの電源がオフになっている。
 - インクパックの残量が不足している、または交換が必要な場合。
 - メンテナンスボックスの空き容量が不足している、または交換が必要な場合。

印刷作業を中断しない効果的な設定例

定期自動クリーニングの開始時刻を以下のように設定することで、印刷作業中に意図しないクリーニングが開始される確率を低くできます。

プリンターの電源が常時入った状態で使用している場合

印刷作業を行わない時間帯（例えば00:00）に設定すると、印刷作業には影響を与えません。

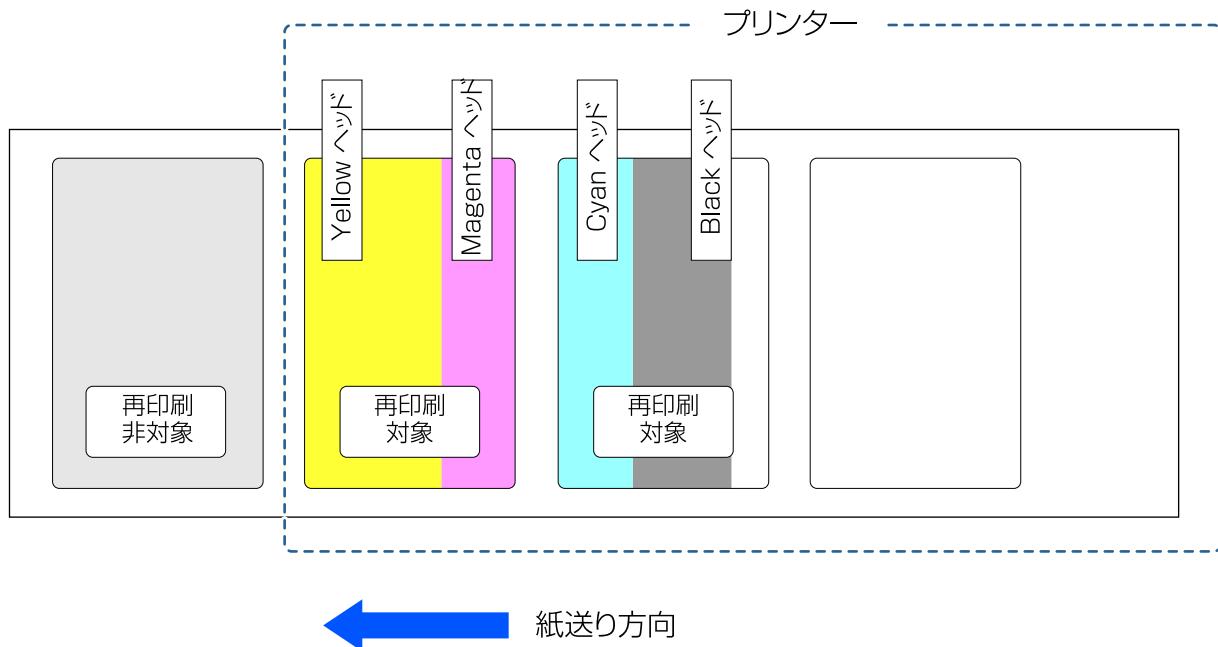
プリンターの電源を毎日入れなおす場合

- プリンターの電源が切れている時間帯（例えば00:00）に設定すると、その日の電源投入直後に定期クリーニングを実行するので印刷作業には影響を与えません。
- 昼休み等印刷作業を行わない時間帯（例えば12:00）に設定すると、作業再開時間までの間に定期クリーニングを実行するので印刷作業には影響を与えません。

再印刷処理

印刷中にフェータルエラーおよびメンテナンスエラー以外のエラーが発生した場合、再印刷が行われます。用紙なしエラーで未完成ラベルが発生した場合、未完成ラベルをオートカットできます。

☞ 35ページ「未完成ラベルのカット」



- 印刷中とは、頭出し動作からYellowヘッドの印刷動作が終了するまでの処理を指します。
- 本製品は4色ライン印刷方式を採用しているため、一部のヘッドまでの印刷が完了した未完成の印字が、使用するラベルの長さによっては複数枚発生する場合があります。
- 再印刷はページ単位で行われます。
- 再印刷要因となるエラーを、ジョブキャンセル、リセット、および電源の入／切により解除した場合、再印刷は行われません。

未完成ラベルのカット

本製品は4色ライン印刷方式を採用しているため、一部のヘッドまで印刷が完了した未完成のラベル（未完成ラベル）が発生することがあります。

用紙なしエラーで印刷が中断された場合、未完成ラベルと分かるように、設定した用紙の長さの半分の位置までフィード／バックフィード＊してオートカットされます。この機能は、操作パネルまたはPrinterSettingで設定できます。

* フィード、バックフィードできる長さには制限があります。設定した印刷速度と用紙の長さによっては用紙を半分の位置でカットできない可能性があります。



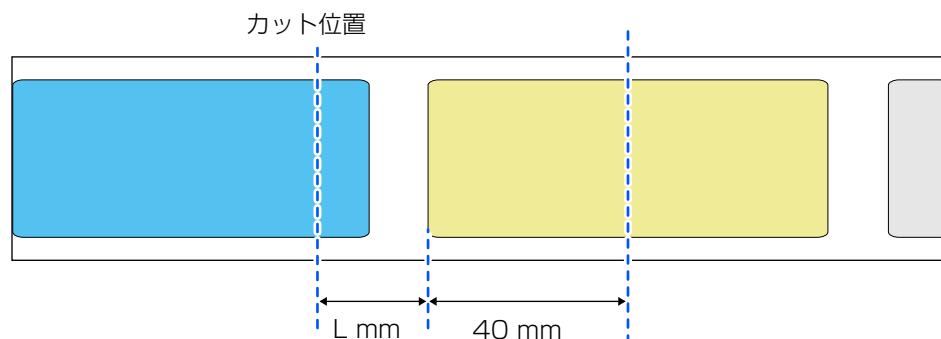
- 未完成ラベルが複数枚ある場合、先頭のラベルのみがオートカットされます。
- 用紙詰まりエラーなど、ほかのエラー発生時にはこの機能は使用できません。

ここでは、印刷速度が300mm/s、用紙の長さが80mmの設定で未完成ラベルが発生した場合を説明します。

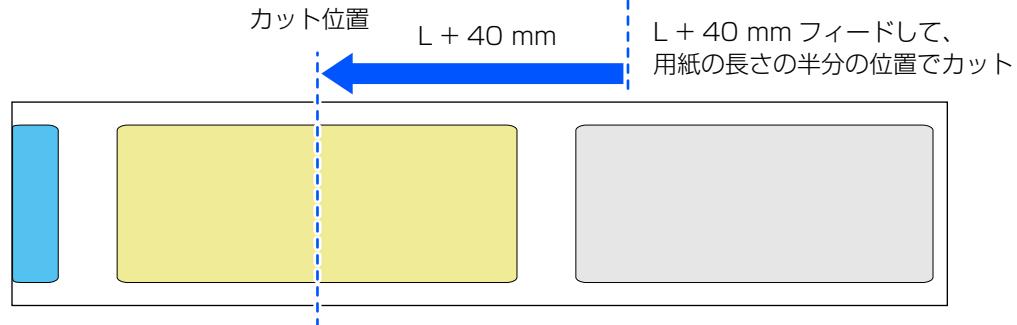
未完成ラベルがカット位置にまだ到達していない場合

← 紙送り方向 完成ラベル 未完成ラベル 未使用ラベル

印刷停止時



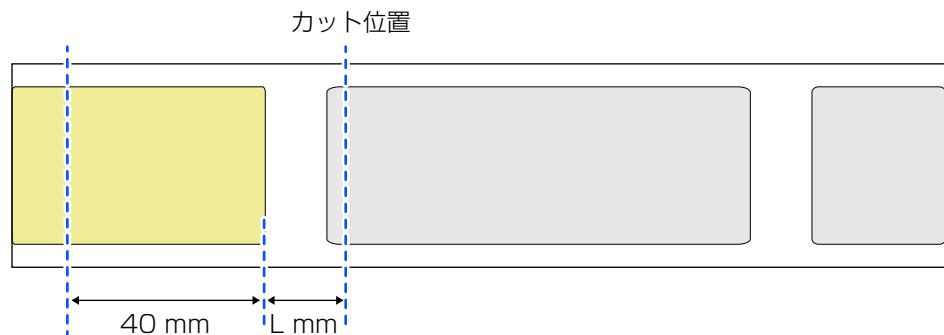
フィード後



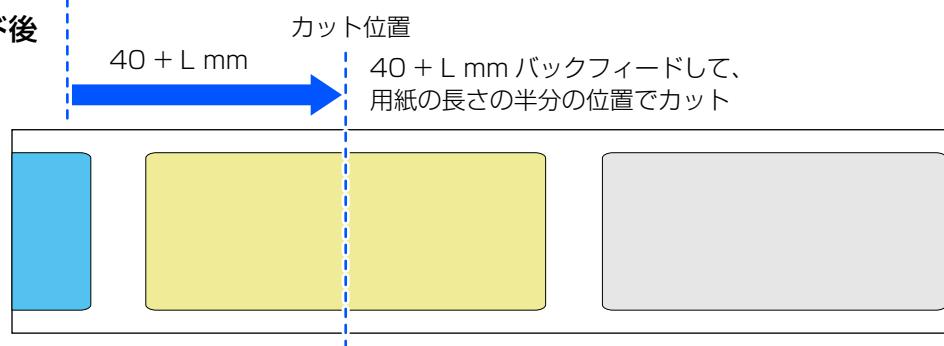
未完成ラベルがすでにカット位置を通り過ぎている場合

← 紙送り方向 完成ラベル 未完成ラベル 未使用ラベル

印刷停止時



バックフィード後



プリンターの状態を確認する

LED の点灯 / 点滅と本体の画面から、プリンターの状態を確認できます。

また、ステータスシート印刷でプリンターの各種設定を確認したり、ノズルチェックパターンでドット抜けの状態を確認したりできます。

☞ 39 ページ「ステータスシートを印刷して確認する」

☞ 305 ページ「ノズルチェックパターンの印刷」

本体の画面から確認する

プリンターの状態を本体の画面から確認できます。

操作パネルの ▲ ▶ ▶ ▶ (選択) ボタンと OK ボタンで画面を選択してください。



No.	名称	説明
1	情報表示欄	プリンターの状態やエラーメッセージなどを表示します。
2	給紙方法 / 用紙残量欄	給紙方法を確認できます。 ロール紙またはファンフォールド紙によって用紙のアイコンが切り替わります。[給紙方法] を [外部供給] に設定した場合は用紙のアイコンの下に「EX」が表示されます。 用紙残量は [給紙方法] を [内部供給] に設定したときに確認できます。
3	用紙情報欄	用紙設定の情報を確認できます。 このエリアを選択すると、[Menu] - [用紙設定] と同じメニューが表示されます。 参考： プリンタードライバーからも用紙設定ができます。操作パネルとプリンタードライバーで設定が異なる場合、プリンタードライバーの設定が適用されます。 ☞ 92 ページ「用紙設定」
4	消耗品情報アイコン	各色インクパックの残量と、メンテナンスボックスの空き容量の目安をバーの長さで示しています。バーが短いほど、残量や空き容量が少ないことを示しています。 <ul style="list-style-type: none"> 【!】マーク インクの交換時期またはメンテナンスボックスの空き容量が限界に近づいていることを示しています。 【x】マーク インク残量が限界値以下またはメンテナンスボックスの空き容量がない（交換が必要）ことを示しています。 マットインク仕様の場合は、ブラックインクは「MK」と表示されます。

No.	名称	説明
5	ヘルプメニュー	困ったときの対処方法やプリンターの基本操作手順を確認できます。 ☞ 28ページ「操作方法画面の操作」
6	設定メニュー	メンテナンスやプリンターの動作設定、ネットワーク設定などを行えます。本書では [Menu] と表現しています。
7	ネットワークアイコン	オプションの無線 LAN ユニット (OT-WL06) を接続することで、無線 LAN で通信できます。ホーム画面にこれらのネットワークアイコンが表示されない場合は、もう一度無線 LAN ユニットが接続されていることを確認し、プリンターを再起動してください。

ノズルチェックパターンを印刷して確認する

ノズルチェック印刷をすることで、ドット抜けなどの印字不良が発生していないかを確認できます。以下の手順でノズルチェック印刷を実行できます。

操作パネルから実行する

[Menu] - [プリンターのお手入れ] - [プリントヘッドのノズルチェック]

プリンタードライバーから実行する

[プリンターユーティリティー] タブの [ノズルチェック] をクリックします。

Web Config から実行する

[メンテナンス] タブの [ノズルチェック] を選択した後、[開始] をクリックします。

ステータスシートを印刷して確認する

ステータスシート印刷することで、ファームウェアのバージョンや印刷動作モード、用紙検出設定などの各種設定状態を確認できます。操作パネルから以下の種類のステータスシートを印刷できます。

[Menu] - [情報確認 / 印刷] - [本体ステータスシートの印刷]



ステータスシートを印刷する場合は、幅 101.6 mm (4.00 インチ)、長さ 152.4 mm (6.00 インチ) を超える用紙を使用することをお勧めします。

ステータスシート 印刷例	ステータスシート (ネットワーク設定) 印刷例
<pre> <Printer Status Sheet> Sheet Output Time YYYY.MM.DD hh:mm <Basic Information> Model XX-XXXXX BK Serial Number XXXXXXXXXX Main Firmware Version XXXXXXXX MAC Address XX:XX:XX:XX:XX:XX IP Address Setting Auto/Manual IP Address XXX.XXX.XXX.XXX Subnet Mask XXX.XXX.XXX.XXX Gateway Address XXX.XXX.XXX.XXX Head ID XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX </pre> <p>03 xxxx yyyy/mm/dd hh:mm 04 xxxx yyyy/mm/dd hh:mm 05 xxxx yyyy/mm/dd hh:mm 06 xxxx yyyy/mm/dd hh:mm 07 xxxx yyyy/mm/dd hh:mm 08 xxxx yyyy/mm/dd hh:mm 09 xxxx yyyy/mm/dd hh:mm 10 xxxx yyyy/mm/dd hh:mm</p>	<pre> HHH NetWork Status Sheet HHH <General Info> MAC Address xx:xx:xx:xx:xx:xx Firmware XXXXXXXXX <Ethernet> Network Status Auto(Disconnected) <TCP/IP IPv4> Obtain IP Address Manual IP Address xxx.XXX.XXX.XXX Subnet Mask xxx.XXX.XXX.XXX Default Gateway xxx.XXX.XXX.XXX HHHHHHHHHHHH 1/1 HHHHHHHHHHHH </pre>



- 本体に登録されているフォント・バーコードや、新規に登録したイメージ・テンプレートのリストの印刷も可能です。
- 無線 LAN ユニットを装着している場合、ステータスシート (ネットワーク設定) では、無線情報を印刷します。

ネットワークの接続状態や設定情報を確認する

ネットワーク接続診断レポートで確認できます。



ネットワーク診断レポートを印刷する場合は、幅 101.6 mm (4.00 インチ)、長さ 152.4 mm (6.00 インチ) を超える用紙を使用することをお勧めします。

ネットワーク接続診断レポート 印刷例

ネットワーク機能診断レポート

診断結果

OK

正常に動作しています。

何らかのトラブルが発生したときは、マニュアルなどをご覧の上、対処してください。

診断項目

ネットワークケーブル接続の確認

OK

IPアドレスの確認

OK

IP詳細設定の確認

OK

ネットワーク設定情報

プリンター名

XX-XXXXXX

プリンター型番

XXXXXXXXXX

IPアドレス

XXX.XXX.XXX.XXX

サブネットマスク

XXX.XXX.XXX.XXX

デフォルトゲートウェイ

XXX.XXX.XXX.XXX

MACアドレス

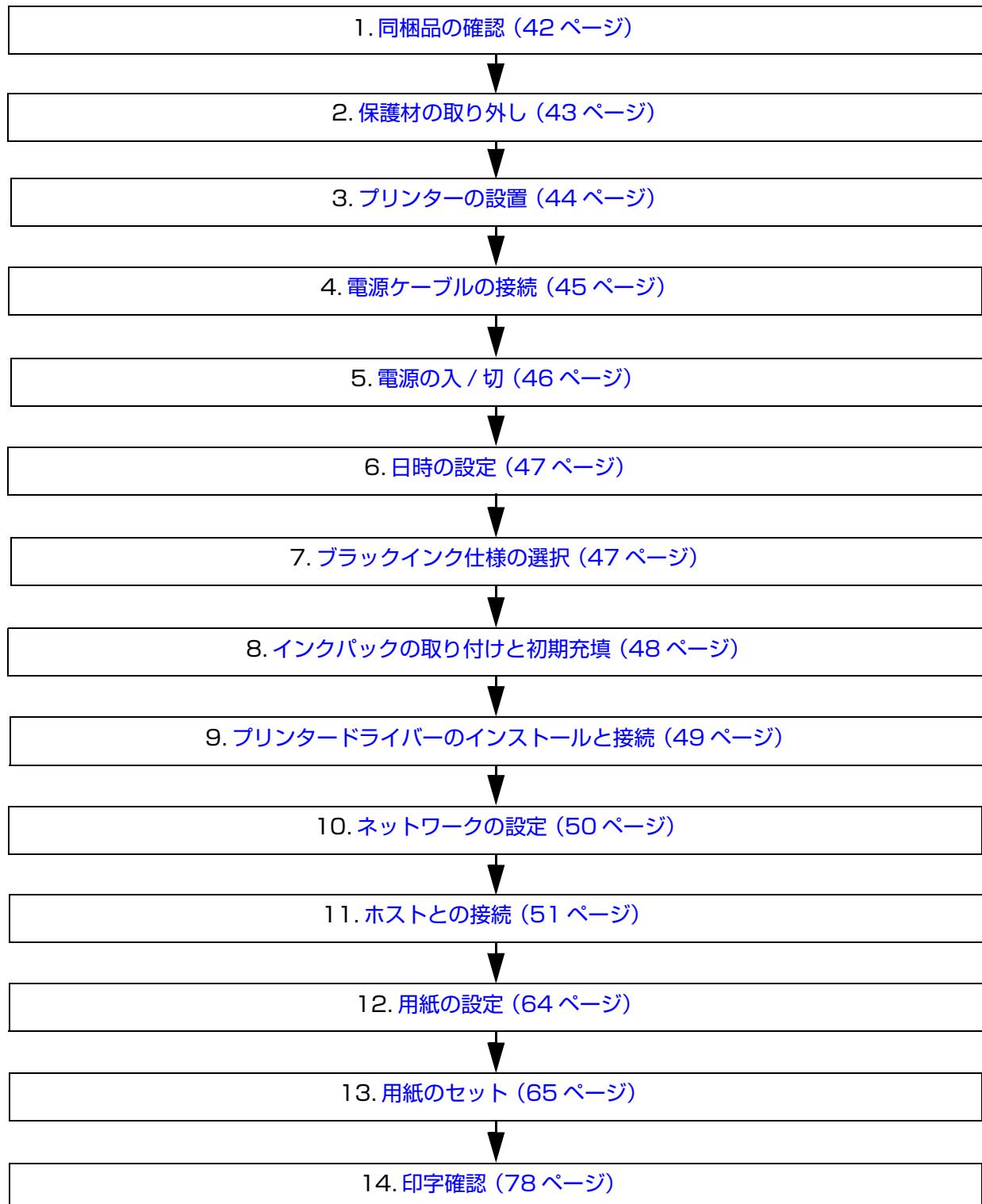
XX:XX:XX:XX:XX:XX

セットアップ

本章では、製品を使用する前に必要な、製品の設置と設定作業について説明しています。

セットアップのフロー

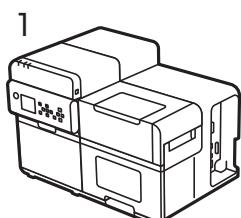
セットアップの作業フローは、以下の通りです。



同梱品の確認

初めて使用する場合、付属品が全て揃っていることと、本体および付属品に損傷がないことを確認してください。

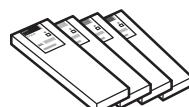
付属品は以下の通りです。



1

2

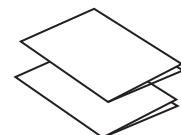
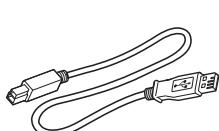
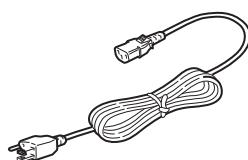
3



4

5

6



1	プリンター (CW-C8020)	2	インクパック C、M、Y、BK (MK) *
			(初期充填用) * ブラックインクはフォトインク (BK) またはマットインク (MK) のいずれかが同梱されます。
3	ロール紙 (動作確認用)	4	電源ケーブル
5	USB ケーブル	6	マニュアル

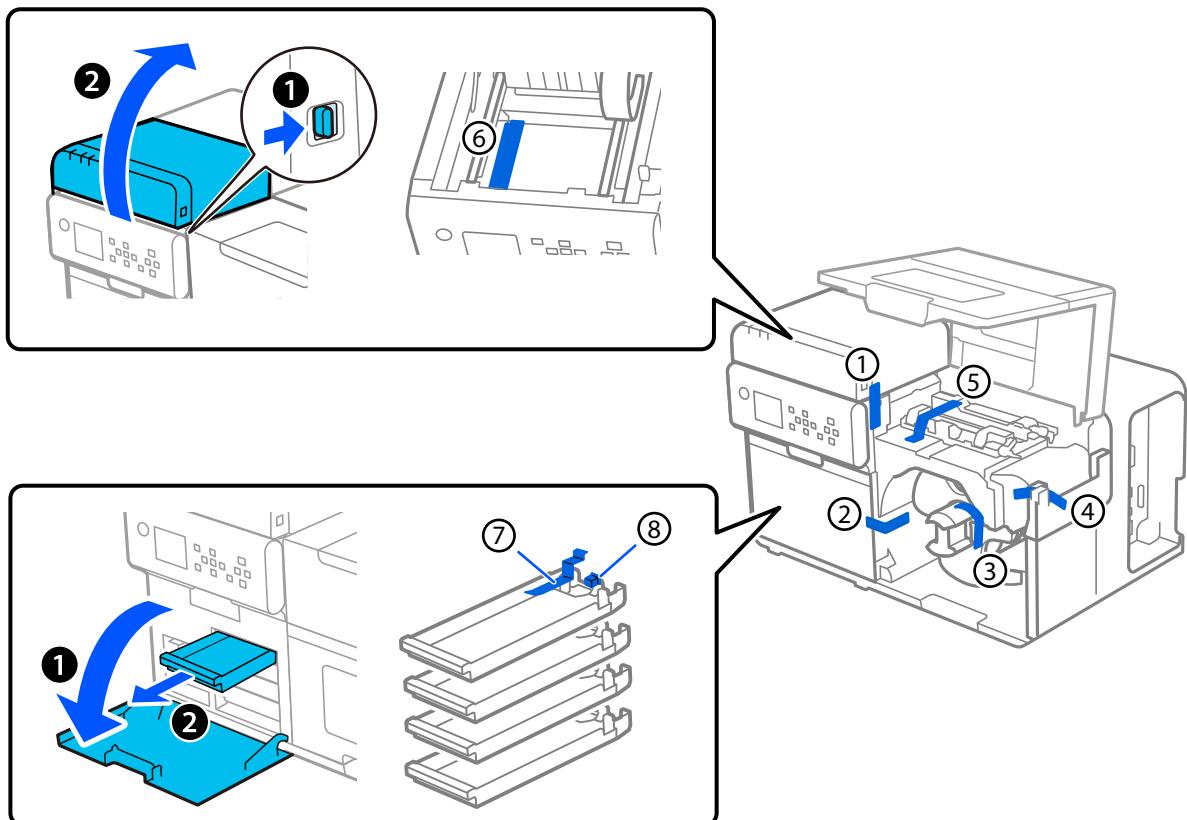


メンテナンスボックスは、製品本体にセットされています。交換方法は以下を確認してください。

☞ 87 ページ 「メンテナンスボックスの交換」

保護材の取り外し

テープやクッション材などの保護材を全て取り外します。保護材は、カバーを開けた内部にもあります



プリンターの設置

設置に適した次のような場所に十分なスペースを確保して設置します。

- ・本製品の質量（約 35 kg）に十分耐えられる水平で安定した場所
- ・本製品底面が確実に載る、本製品底面よりも広い場所
- ・振動や衝撃が加わらない場所
- ・専用の電源コンセントが確保できる場所
- ・用紙のセットや取り出しが無理なく行える場所
- ・付属品の取り付けや消耗品の交換、普段のお手入れに支障のないよう、周囲に十分なスペースを確保できる場所
- ・本製品右側面の通風口から 10 cm 以上すき間をあけた、風通しの良い場所
- ・以下の条件を満たす場所

詳細は [387 ページ「環境仕様」](#) を参照してください。

		温度	湿度
印刷時		5 ~ 35 °C	20 ~ 80% RH 非結露
保管時	フォトインク仕様	-15 ~ 40 °C	5 ~ 85% RH 非結露（出荷梱包状態）
	マットインク仕様	-10 ~ 40 °C	



注意

マットインク仕様でインク充填状態の場合、本製品の設置場所の温度が -10 °C 以下になることが想定されるときは、電源を切る前にインクの排出処理を行ってください。凍結によりプリントヘッドが破損するおそれがあります。詳細は [292 ページ「インク充填後の本製品の保存」](#) を参照してください。

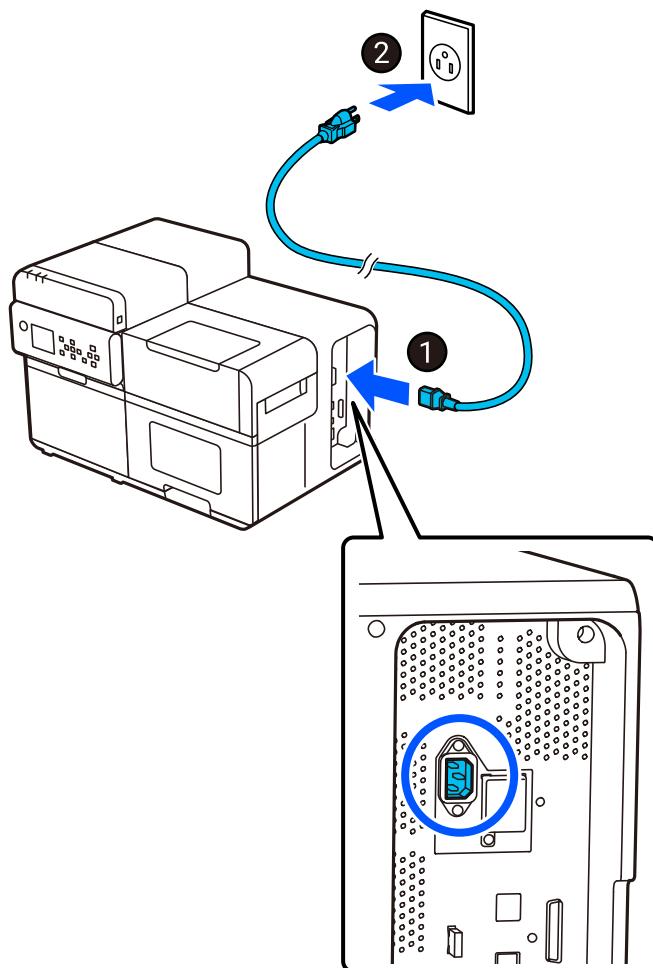
電源ケーブルの接続

以下の手順で、電源ケーブルを接続します。



- 警告**
- AC100V 以外の電源は使用しないでください。
 - 本製品は必ずコンセントの近くに設置し、異常が起きたときはすぐに電源プラグを抜けるようにしてください。

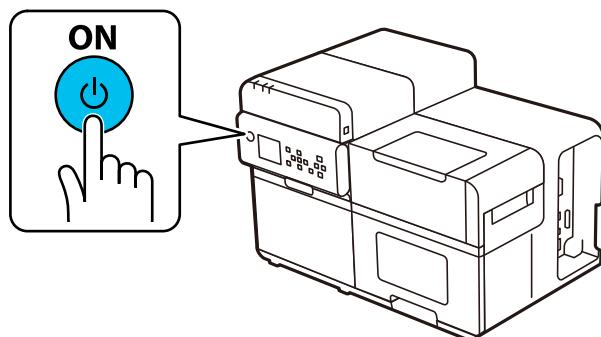
- 1 電源ケーブルを、プリンター右側面の電源コネクターに奥まで確実に差し込みます。
- 2 電源プラグを、アース付きのコンセントに奥まで確実に差し込みます。



電源の入 / 切

電源を入れる

①(電源) LED が点灯するまで、(電源) ボタンを押してください。

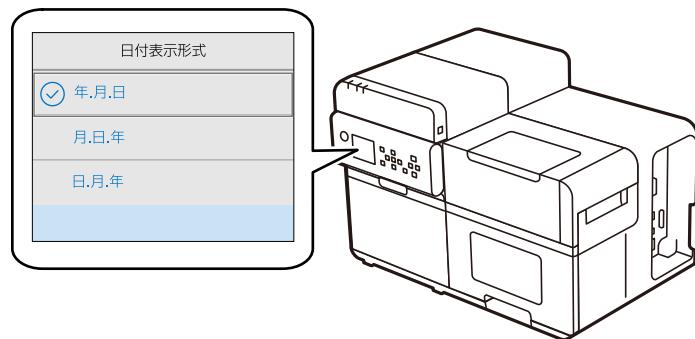


電源を切る

本体画面が電源を切る前の確認画面に切り替わるまで、(電源) ボタンを押してください。確認画面で [はい] を選択すると、①(電源) LED が消灯して電源が切れます。

日時の設定

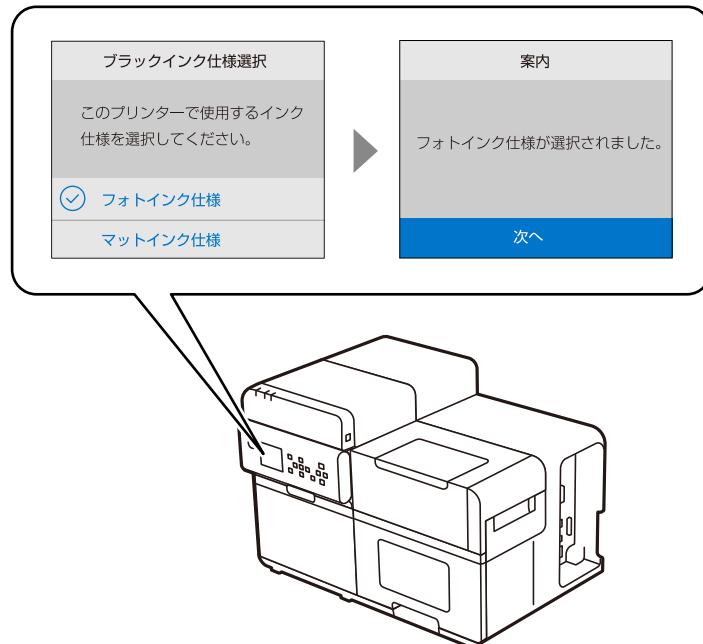
パネルの指示に従って、日時を設定します。



ブラックインク仕様の選択

パネルの指示に従って進めます。

- 1 ブラックインク仕様を確認します。
- 2 ブラックインク仕様を確認する画面で [次へ] を選択します。



インクパックの取り付けと初期充填

パネルの指示に従ってインクパックをよく振ってからセットします。

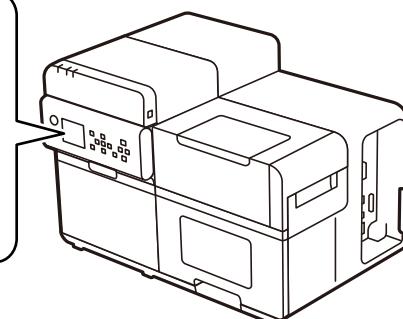
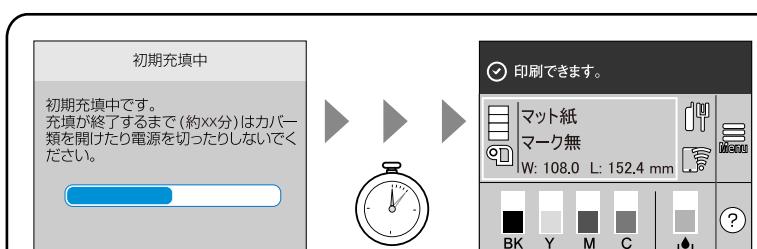
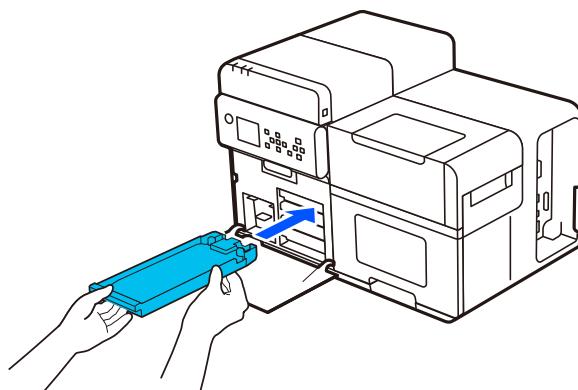
カバーを閉じると初期充填の開始を確認する画面が表示されます。[はい] を選択すると初期充填が始まります。初期充填が完了すると、初期充填完了画面が表示されるので [了解] を選択します。

初期充填の所要時間は約 10 分です。充填時間は状況により異なります。



注意

- ブラックインク仕様に合ったブラックインクをセットしないと、初期充填できません。初期充填開始後は、ブラックインク仕様は変更できません。
- 充填時間は状況により異なります。
- インクの充填中は、決してプリンターのカバーを開けたり、電源を切ったりしないでください。インク充填中にこれらの操作が行われた場合は、インクが著しく消費され、充填が完了する前にインクパックの交換が必要になるおそれがあります。
- インクパックを強く握らないでください。インクが漏れる可能性があります。



インクパックの交換方法は以下を確認してください。
[83 ページ「インクパックの交換」](#)

プリンタードライバーのインストールと接続



画面に案内が出るまで、コンピューターにプリンターを接続しないでください。

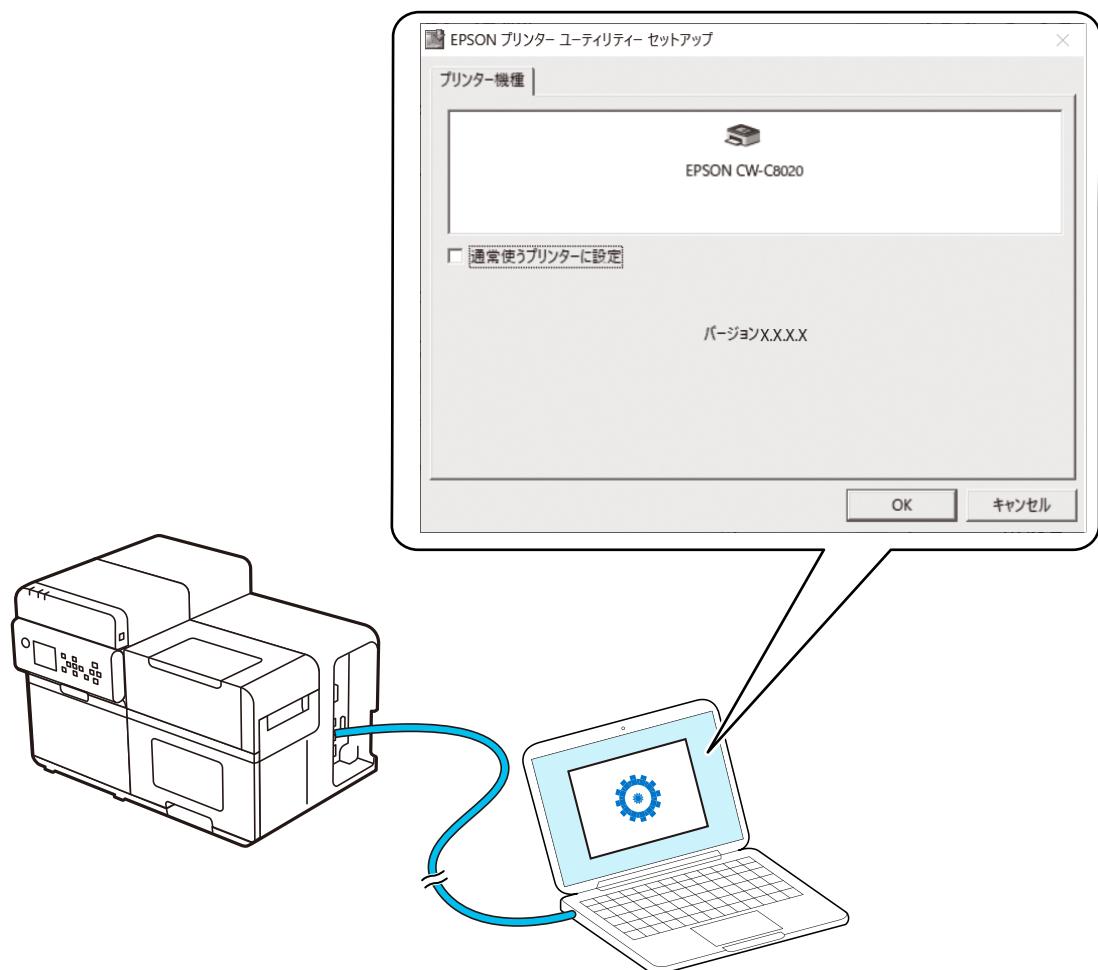
- 1 以下の Web サイトからプリンターの型番を検索し、プリンタードライバーをダウンロードします。

https://www.epson.jp/support/support_menu/ks/19.htm

- 2 プリンタードライバーを起動します。

- 3 画面の指示に従ってプリンタードライバーをインストールします。

インストールの途中でコンピューターとプリンターを接続する案内が表示されます。



ネットワークの設定

以下の手順でプリンターの IP アドレスを設定できます。

- 1** ホーム画面で [Menu] を選択します。
- 2** [本体設定] - [ネットワーク設定] - [詳細設定] - [TCP/IP] の順に選択します。
- 3** [TCP/IP 設定方法] を選択し、[自動設定] または [手動設定] へ変更します。
[自動設定] を選択した場合、ネットワークの設定は終了です。
[手動設定] を選択した場合、手順 4 に進んでください。
- 4** 同じメニューで IP アドレスやサブネットマスクを入力します。
各設定値を選択し、OK ボタンを押すことで入力・設定できます。
- 5** [設定を開始する] を選択します。

以上でネットワークの設定は終了です。

ホストとの接続

- USB 接続、有線 LAN 接続の場合
使用するインターフェイスケーブルをプリンター右側面のコネクターに接続します。
- 無線 LAN 接続の場合
オプションの OT-WL06 をプリンター右側面のコネクターに接続します。

有線 LAN に接続する

LAN ケーブルでネットワークに接続して、接続の確認をします。

- 1 プリンターとハブ (LAN スイッチ) を LAN ケーブルで接続します。
- 2 ホーム画面で [Menu] を選択します。
- 3 [本体設定] - [ネットワーク設定] - [接続診断] を選択します。
接続診断の結果が表示されます。正常に接続されていることを確認してください。

無線 LAN ルーターを使って無線 LAN(Wi-Fi)に接続する

オプションの無線 LAN ユニット (OT-WL06) を接続することで、無線 LAN で通信できます。プリンターを無線 LAN (Wi-Fi) に接続する方法はいくつかあります。お使いの環境や条件に合わせて接続方法を選択してください。

ここでは無線 LAN ルーターを使った以下の2種類の接続方法を紹介します。

無線 LAN ルーター (アクセスポイント) の情報 (SSID、パスワード) は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

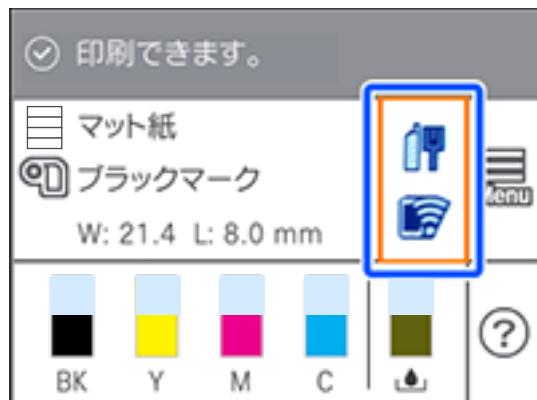
- 52 ページ 「SSID/ パスワードを使って接続する」
- 56 ページ 「プッシュボタン (AOSS/WPS) を使って接続する」



- ホーム画面に  が表示されない場合は、もう一度無線 LAN ユニットが接続されていることを確認し、プリンターを再起動してください。
- Wi-Fi Direct を有効にするとプリンターがアクセスポイントとして動作し、8 台までの機器と接続できます。
[58 ページ 「Wi-Fi Direct を使って接続する」](#)

SSID/ パスワードを使って接続する

- 1 プリンターに無線 LAN ユニットを接続し、電源を入れます。
- 2 プリンターのホーム画面から  ボタンで  を選択し、OK ボタンを押します。



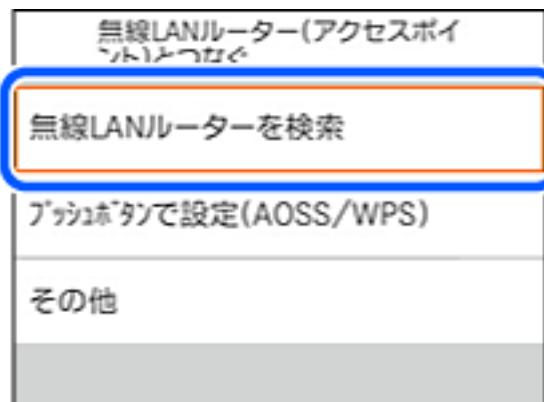
- 3 [ルーター] を選択し、OK ボタンを押します。



- 4 OK ボタンを押します。



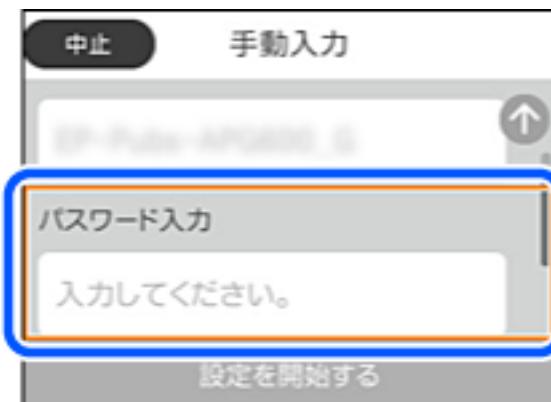
- 5 [無線 LAN ルーターを検索] を選択し、OK ボタンを押します。



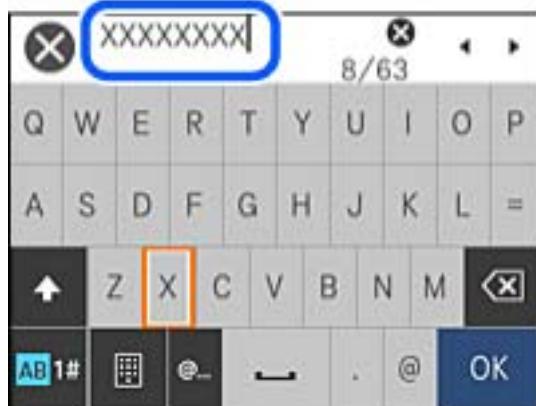
- 6 接続したい無線 LAN ルーターの接続名(SSID)をプリンターの操作パネルから選択します。



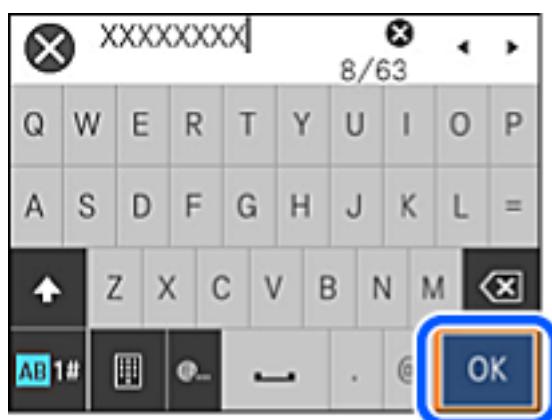
- 7 [手動入力] 画面で [パスワード入力] を選択し、OK ボタンを押します。



SSID を手動入力した場合は、[パスワード] を [あり] に変更した後、[パスワード入力] を選択して、OK ボタンを押してください。

8 無線 LAN のパスワードを入力します。

- ・パスワードは大文字・小文字を区別して入力してください。
- ・パスワードがわからないときは、無線 LAN ルーターの本体に情報がないか確認してください。無線 LAN ルーターには「暗号化キー」「XXX Key」などと書かれています。メーカー設定値のまま使用されている場合は、ラベルなどに書かれたパスワードが設定されています。

9 入力が終わったら [OK] を選択し、OK ボタンを押します。**10** 設定内容を確認し、[設定を開始する] を選択し、OK ボタンを押します。

11 OK ボタンを押します。



OK ボタンを押さなくても、一定時間が経過すると次の画面に進みます。

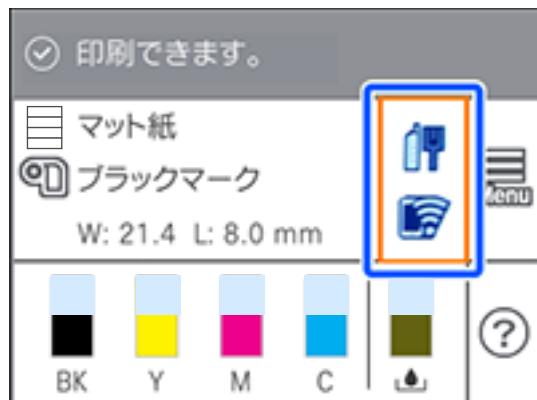


接続に失敗したときは、用紙がセットされていることを確認し、接続診断レポートを印刷します。
[接続診断結果を印刷する] を選択し、OK ボタンを押します。

12  ボタンを押します。

プッシュボタン(AOSS/WPS)を使って接続する

- 1 プリンターに無線 LAN ユニットを接続し、電源を入れます。
- 2 プリンターのホーム画面から  ボタンでを選択し、OK ボタンを押します。



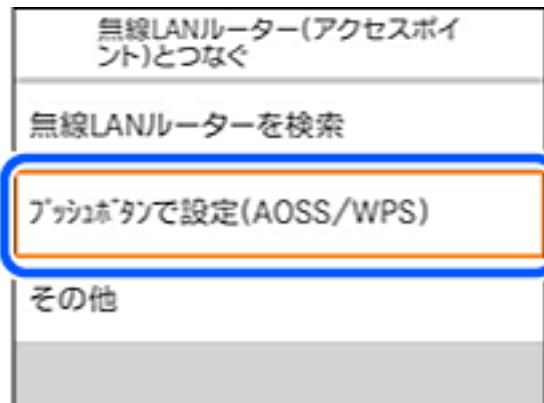
- 3 [ルーター] を選択し、OK ボタンを押します。



- 4 OK ボタンを押します。



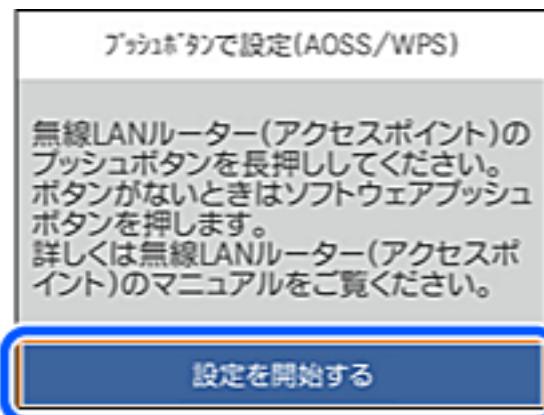
- 5 [プッシュボタンで設定(AOSS/WPS)] を選択し、OKボタンを押します。



- 6 無線 LAN ルーターの【AOSS】ボタンまたは【WPS】ボタンを、セキュリティランプが点滅するまで押します。

【AOSS】ボタンや【WPS】ボタンの位置がわからない、無線 LAN ルーターにプッシュボタンがない（ソフトウェアプッシュボタンで操作します）ときは、無線 LAN ルーターのマニュアルで確認してください。

- 7 プリンターの操作パネルで OK ボタンを押します。



- 8 OK ボタンを押します。



OK ボタンを押さなくても、一定時間が経過すると次の画面に進みます。

9  ボタンを押します。



Wi-Fi Direct を使って接続する

オプションの無線 LAN ユニット (OT-WL06) を接続することで、プリンターと通信できます。接続方法はいくつかあります。お使いの環境や条件に合わせて接続方法を選択してください。

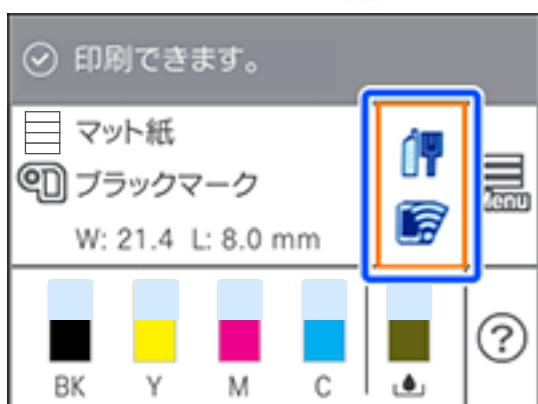
ここでは Wi-Fi Direct 機能を使った以下の2種類の接続方法を紹介します。

- 58 ページ 「iOS デバイスと接続する」
- 60 ページ 「その他のデバイスと接続する」

iOS デバイスと接続する

1 プリンターに無線 LAN ユニットを接続し、電源を入れます。

2 プリンターのホーム画面から  を選択し、OK ボタンを押します。



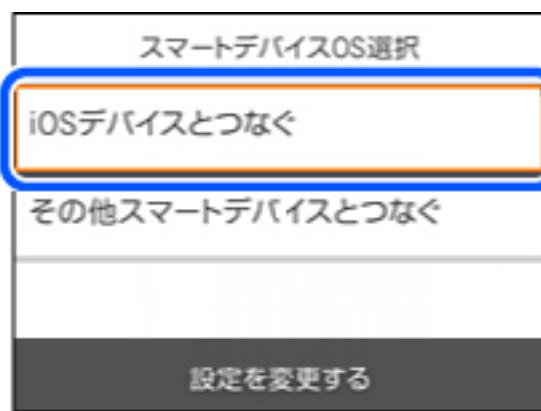
- 3 [Wi-Fi Direct] を選択し、OK ボタンを押します。



- 4 OK ボタンを押します。



- 5 [iOS デバイスとつなぐ] を選択し、OK ボタンを押します。



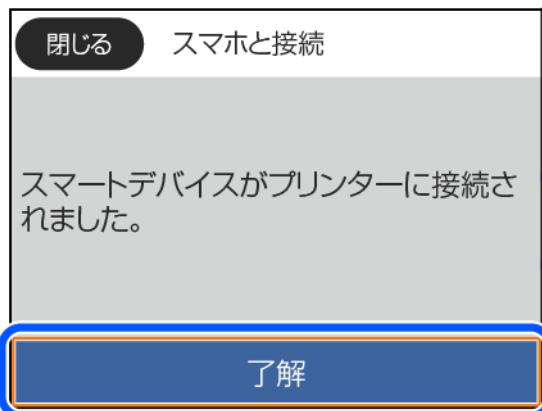
プリンターの画面上に QR コードが表示されます。

- 6 OS 標準のカメラアプリを開きます。

コード読み取り用のアプリでは動作しません。

- 7 写真モードで QR コードを読み取り、表示される通知をタップして、プリンターと接続します。

8 OK ボタンを押します。



9 [完了] を選択し、OK ボタンを押します。

10 ボタンを押します。



その他のデバイスと接続する

1 プリンターに無線 LAN ユニットを接続し、電源を入れます。

2 プリンターのホーム画面から ボタンで を選択し、OK ボタンを押します。



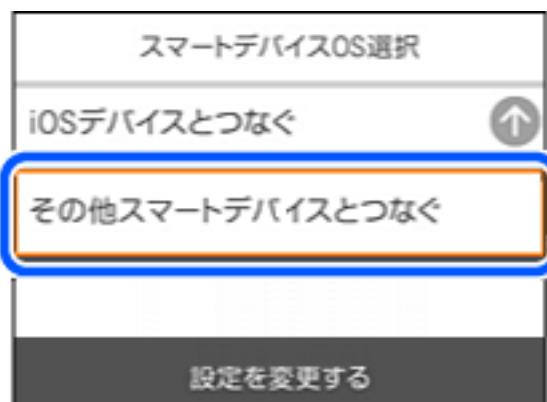
3 [Wi-Fi Direct] を選択し、OK ボタンを押します。



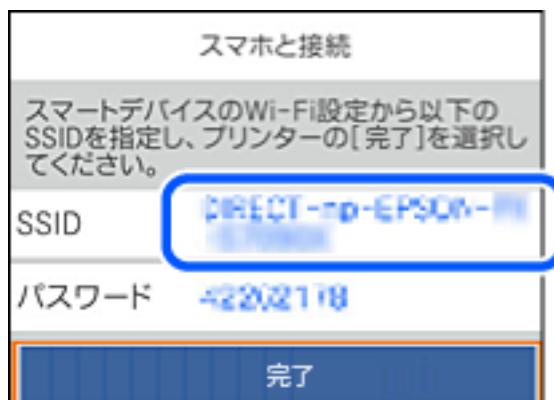
4 OK ボタンを押します。



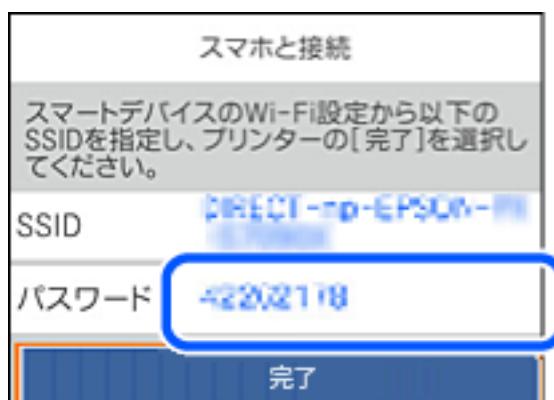
5 [その他スマートデバイスとつなぐ] を選択し、OK ボタンを押します。



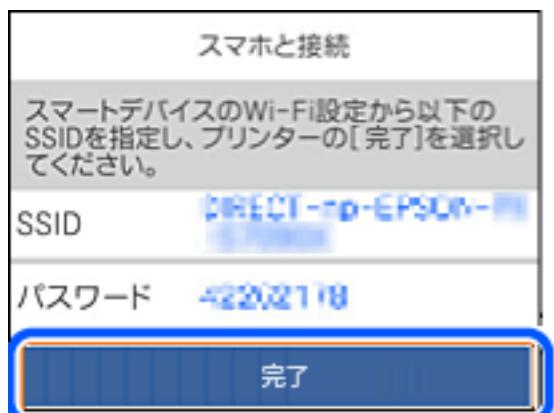
- 6 この手順は、コンピューターから操作してください。コンピューターのネットワーク接続画面から、プリンターの操作パネルに表示されているSSIDを選択します。



- 7 プリンターの操作パネルに表示されるパスワードを、コンピューターに入力して接続します。



- 8 接続できたら [完了] を選択し、OK ボタンを押します。



9 ボタンを押します。



用紙の設定

給紙方法、用紙種類、用紙形態、用紙検出などを設定します。

- プリンタードライバーで設定する場合

[プリンタードライバー \(Windows\)](#)

[プリンタードライバー \(Mac\)](#)

[プリンタードライバー \(Linux\)](#)

- 本体の設定を変更する場合

[PrinterSetting \(Windows\)](#)

[Epson Label Printer Utility](#)

[Epson Label Printer Utility for Linux](#)

[Web Config](#)

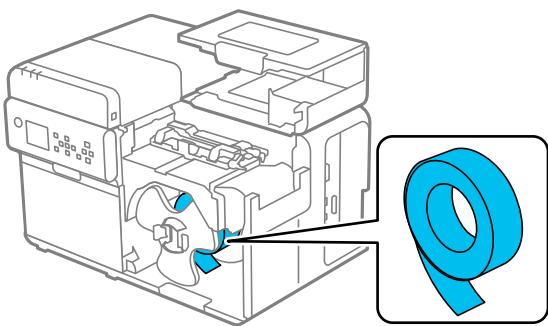
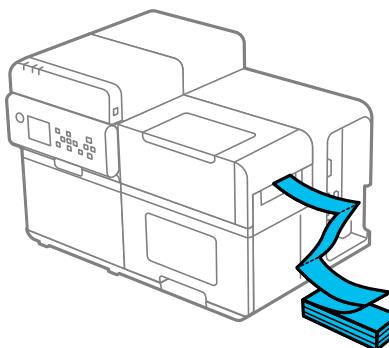
[操作パネル](#)



- プリンタ一本体の設定（操作パネル、PrinterSetting、または Web Config などで設定）と、プリンタードライバーの設定が異なる場合、プリンタードライバーの設定を適用して印刷します。
- 本製品で使用可能な用紙と用紙仕様については、[364 ページ「用紙仕様」](#)を参照してください。

用紙のセット

ここでは、用紙のセット・交換手順について説明します。用紙の交換方法は、給紙方法（内部供給／外部供給）によって異なります。

内部供給	外部供給
<p>ロール紙をプリンター内部へセットし、本体内部から用紙を供給します。</p> <p>☞ 66 ページ「ロール紙のセット」</p> 	<p>ファンフォールド紙をプリンター右側面へ置き、本体外部から用紙を供給します。</p> <p>☞ 71 ページ「ファンフォールド紙のセット」</p> 



- 外部供給でロール紙をお使いになる場合は、お客様ご自身で外部装置（用紙供給装置）をご用意ください。詳しくは販売店にお問い合わせください。
- ロール紙を巻き取る場合は、オプションの巻き取り装置（TU-RC8000）をご用意ください。巻き取り装置の操作手順は以下を参照してください。
- ☞ 391 ページ「巻き取り装置 (TU-RC8000)」
- 用紙の形状や形態、種類を変更する際には、用紙をセットする前に操作パネルまたはプリンタードライバーで用紙設定を変更してください。
- ☞ 37 ページ「本体の画面から確認する」
- ☞ 92 ページ「用紙設定」
- 用紙の厚さによってはプリントヘッドと用紙の距離が適切ではないことで、印刷がぼやけたり、文字が二重になったり、プリントヘッドと用紙がこすれて用紙が汚れることがあります。[ヘッド - 用紙間距離] を調整してください。
- ☞ 287 ページ「ヘッド - 用紙間距離の調整を実行する」

ロール紙のセット



用紙のセット手順を動画で見る

https://support.epson.net/p_doc/95d/

☞ 「ロール紙 / ファンフォールド紙のセット (CW-C8020)」



用紙のセット手順を操作パネルで見る

[? (ヘルプ)] - [操作方法が知りたい] - [印刷用紙のセット] - [内部供給]



注意

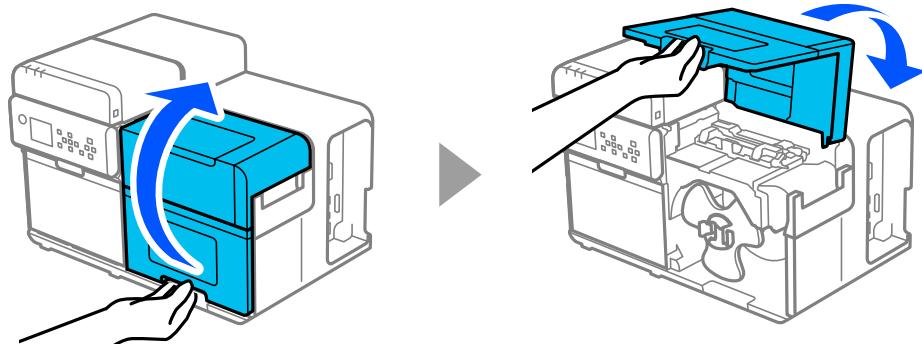
プリンターの電源を入れた後、操作パネルにホーム画面が表示されるまで待ってから用紙カバーを開けてください。ホーム画面が表示される前にカバーを開けると、正しく用紙がセットできない場合があります。

1 プリンターの電源を入れます。

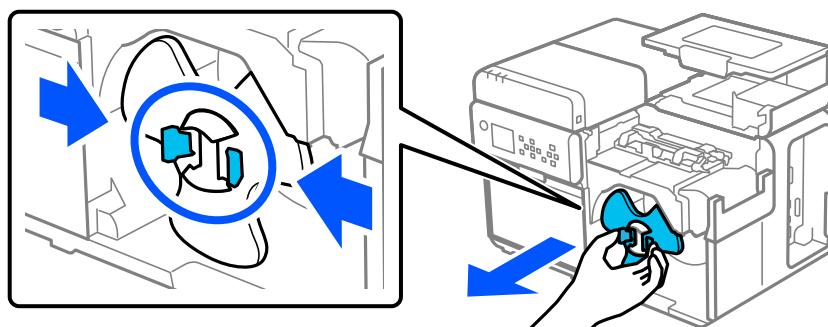
☞ 46 ページ「電源を入れる」

2 ホーム画面が表示されるまで待ちます。

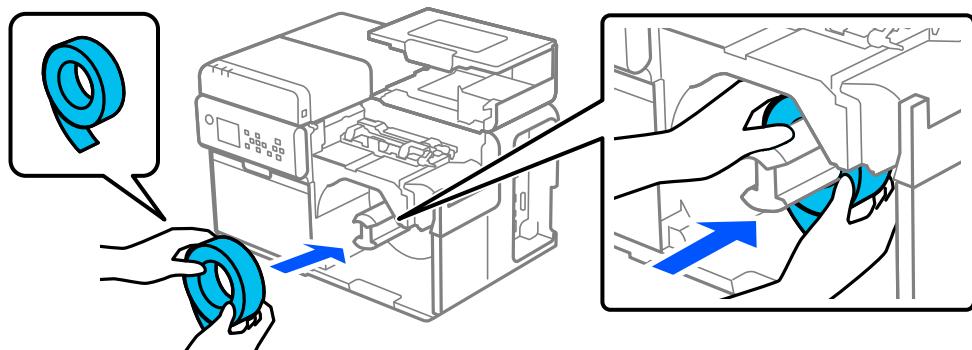
3 用紙カバーを開けます。



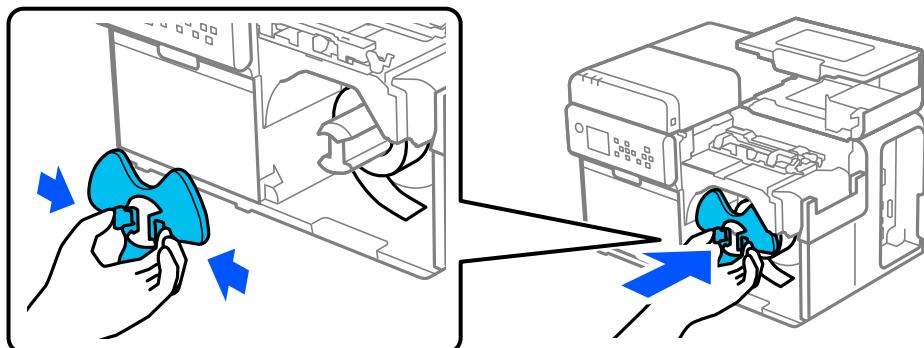
4 ロール紙フランジのレバーを内側へ押しながら、軸から取り外します。



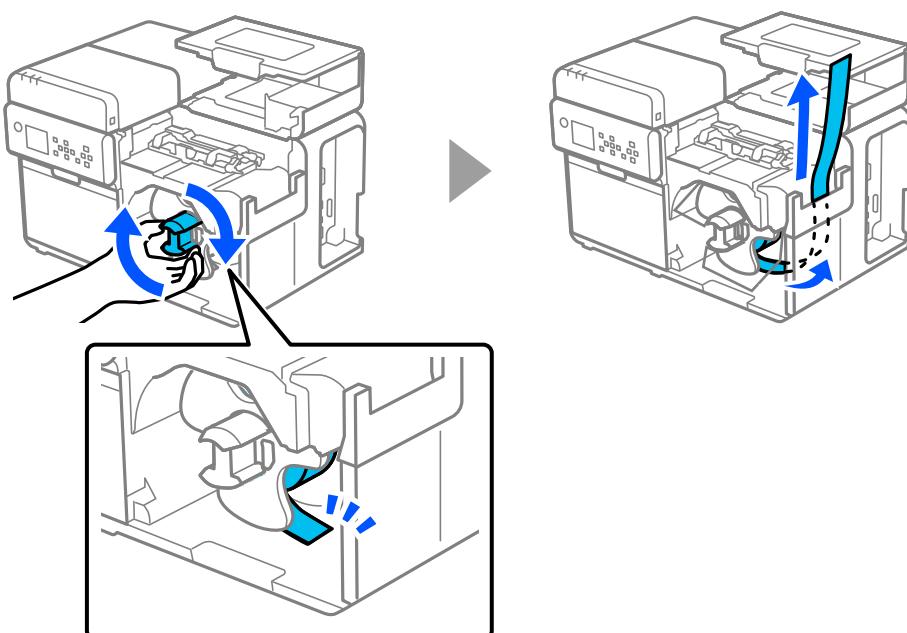
5 ロール紙を軸に取り付け、ロール紙の芯の部分を押して奥まではめ込みます。



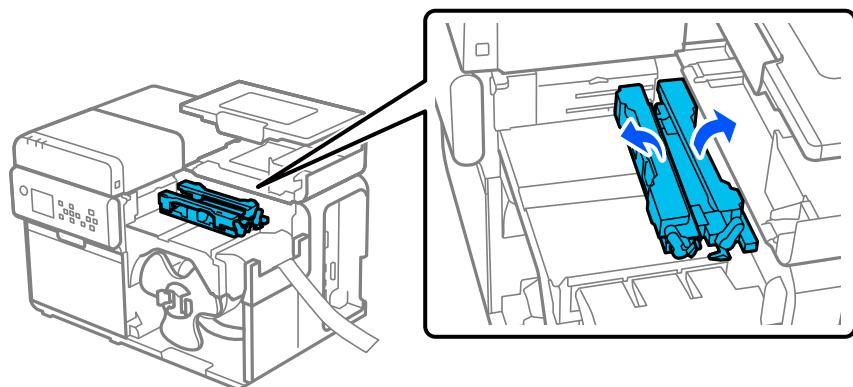
6 ロール紙フランジのレバーを押しながら、軸に取り付けます。ロール紙フランジとロール紙の間にすき間ができるないように奥まで移動させます。



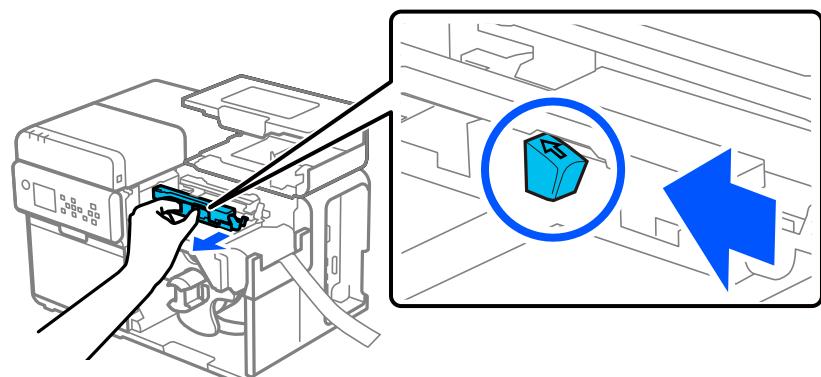
7 用紙の先端が底面に付くまでロール紙フランジを矢印方向に回して、ロール紙の先端を約300 mm引き出します。



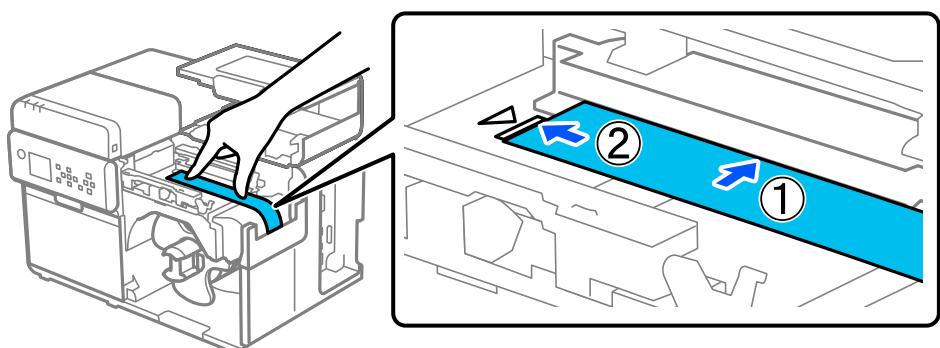
8 用紙カバー内部にある用紙押さえを開きます。



9 レバー（青）を押しながら手前の用紙ガイド（可動）をいっぱいまで広げます。



10 ロール紙を用紙ガイドに沿わせ、先端を ▽ マークに合わせます。



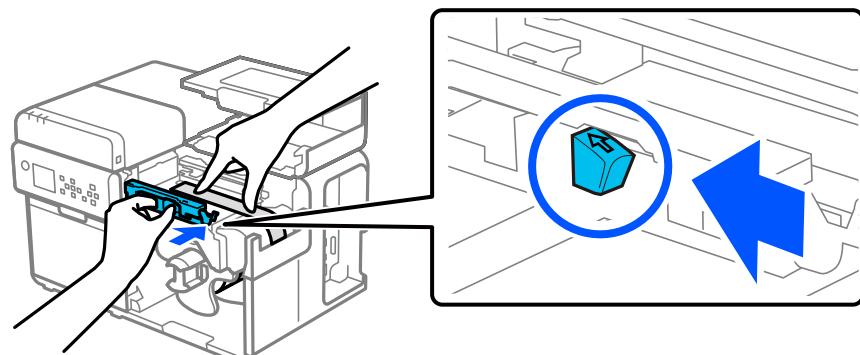
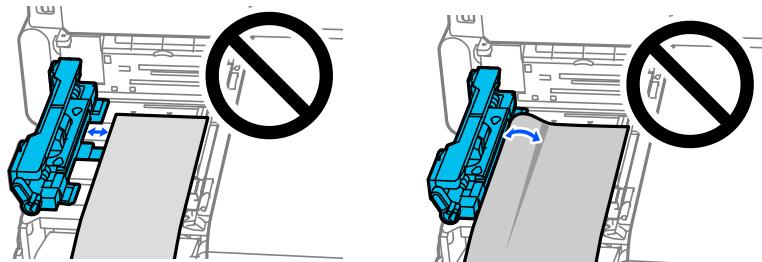
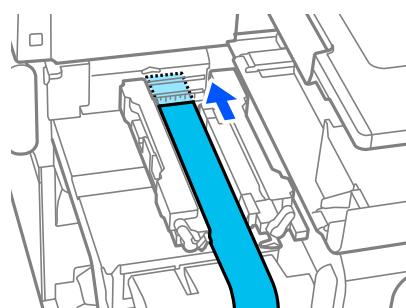
注意

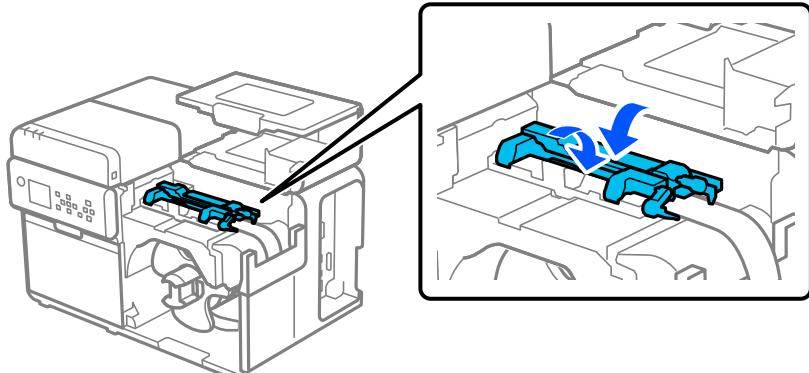
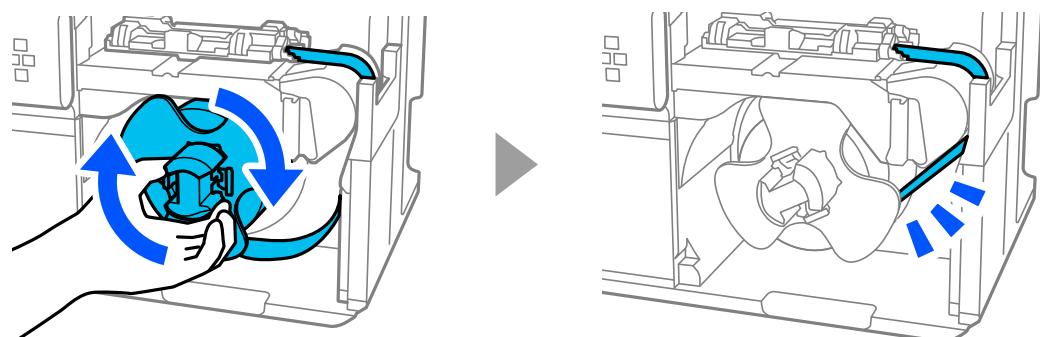
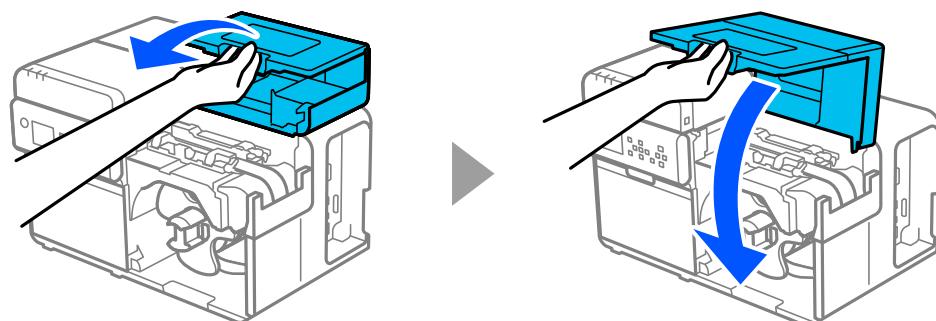
用紙の先端に、折れや破れ、しわ、剥がれなどの変形がないか確認してください。変形したまま挿入すると、正常に紙送りがされなかったり、印字ずれや紙詰まりの原因となったりします。

11 用紙が浮かないように手で押さえ、レバー（青）を押しながら手前の用紙ガイド（可動）を用紙の幅に合わせます。

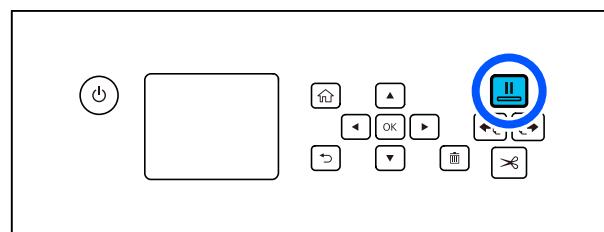
用紙ガイド（可動）が紙幅に合っていないと、印字のズレや紙詰まりの原因となります。
以下の点に注意してください。

- 用紙ガイド（可動）と用紙の端面との間にすき間をあけない
- 用紙ガイド（可動）を用紙の端面に強く押し付けない

**12** 自動で給紙されるまで、用紙の先端を用紙挿入口に差し込みます。

13 用紙押さえを閉めます。**14** ロール紙フランジを矢印方向へ回して、ロール紙のたるみを取ります。**15** 用紙カバーを閉めます。**16** II(ポーズ)ボタンを押します。

ホーム画面で印刷可能か確認してください。



ファンフォールド紙のセット



用紙のセット手順を動画で見る

https://support.epson.net/p_doc/95d/

☞ 「ロール紙 / ファンフォールド紙のセット (CW-C8020)」



用紙のセット手順を操作パネルで見る

[? (ヘルプ)] - [操作方法が知りたい] - [印刷用紙のセット] - [外部供給]



注意

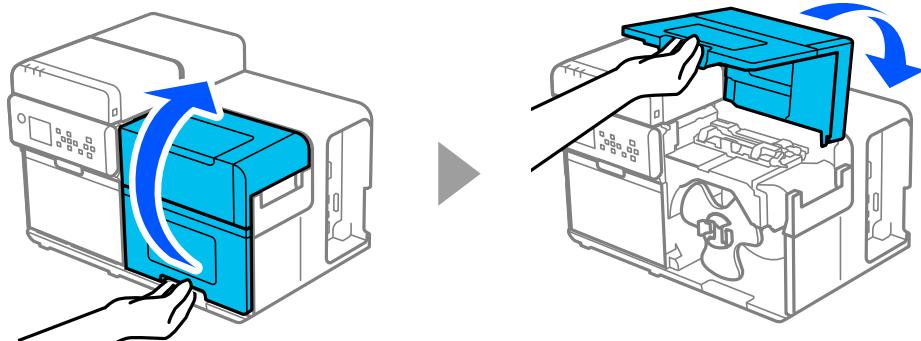
プリンターの電源を入れた後、操作パネルにホーム画面が表示されるまで待ってから用紙カバーを開けてください。ホーム画面が表示される前にカバーを開けると、正しく用紙がセットできない場合があります。

1 プリンターの電源を入れます。

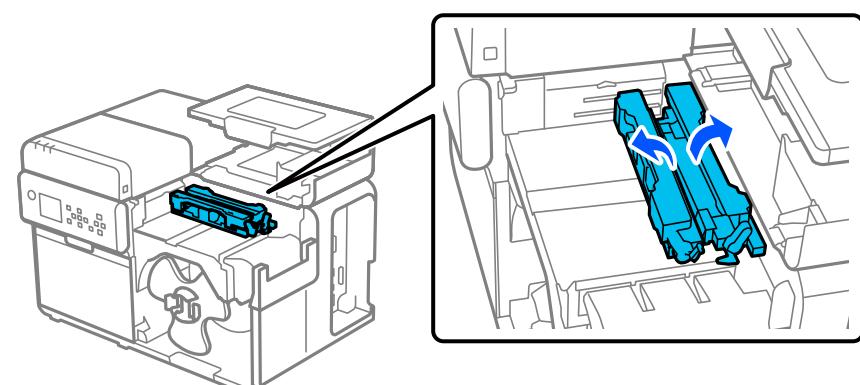
☞ 46 ページ「電源を入れる」

2 ホーム画面が表示されるまで待ちます。

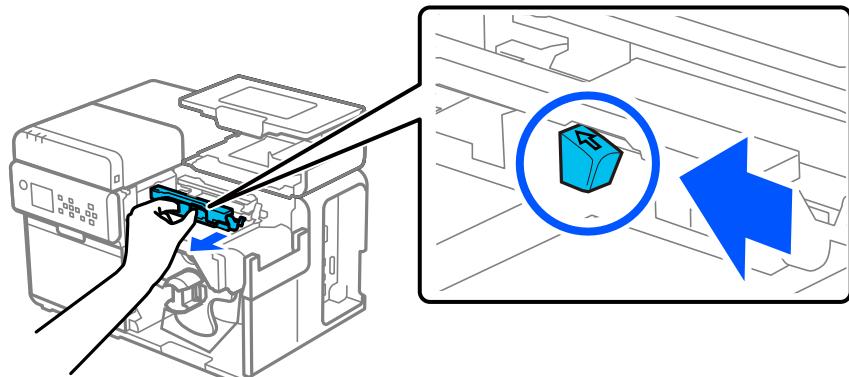
3 用紙カバーを開けます。



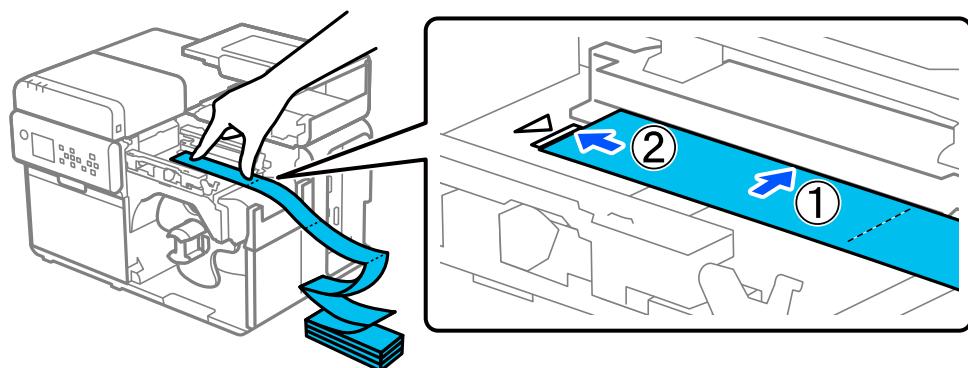
4 用紙カバー内部にある用紙押さえを開きます。



5 レバー（青）を押しながら手前の用紙ガイド（可動）をいっぱいまで広げます。



6 ファンフォールド紙を用紙ガイドに沿わせ、先端を ▽ マークに合わせます。



用紙の先端に、折れや破れ、しわ、剥がれなどの変形がないか確認してください。変形したまま挿入すると、正常に紙送りがされなかったり、印字ずれや紙詰まりの原因となったりします。

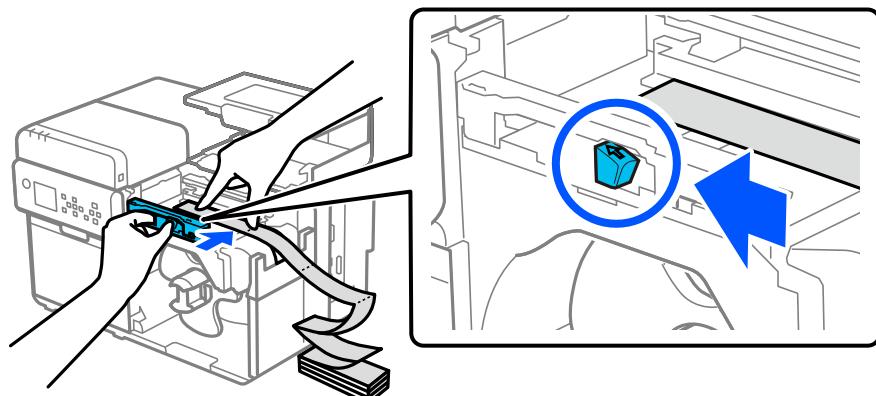
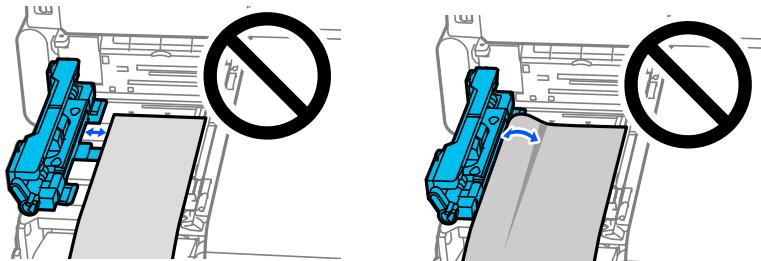
7 用紙が浮かないように手で押さえ、レバー（青）を押しながら手前の用紙ガイド（可動）を用紙の幅に合わせます。



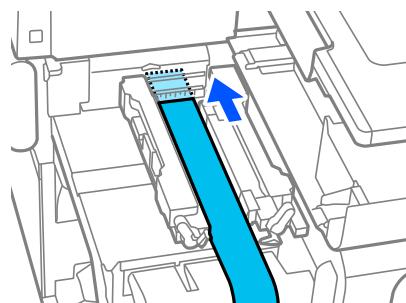
注意

用紙ガイド（可動）が紙幅に合っていないと、印字のズレや紙詰まりの原因となります。
以下の点に注意してください。

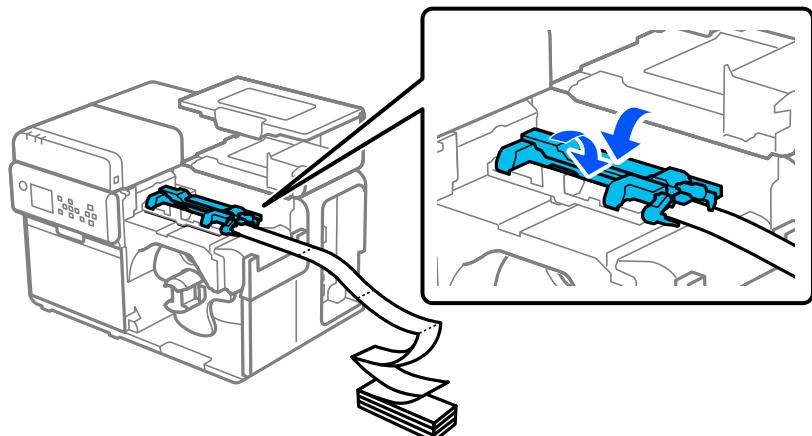
- 用紙ガイド（可動）と用紙の端面との間にすき間をあけない
- 用紙ガイド（可動）を用紙の端面に強く押し付けない



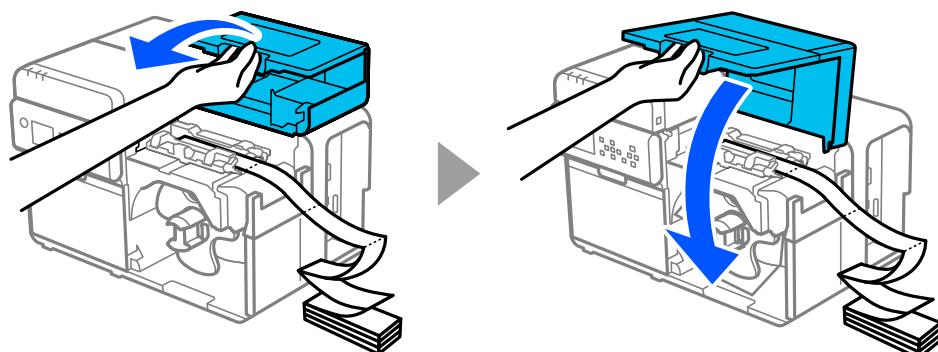
8 自動で給紙されるまで、用紙の先端を用紙挿入口に差し込みます。



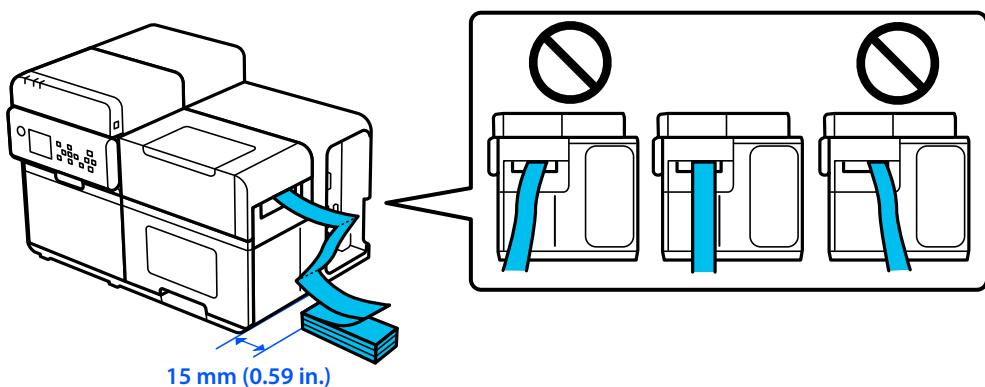
9 紙押さえを閉めます。



10 用紙カバーを閉めます。

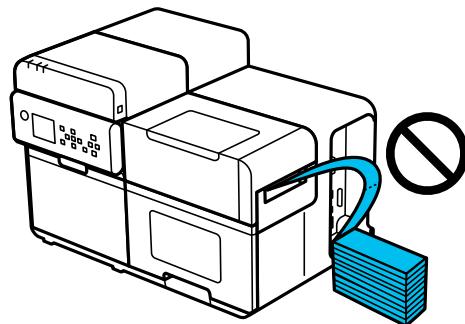


11 ファンフォールド紙をプリンターから 15 mm (0.59 in.) 以上離し、まっすぐ給紙されるように置きます。



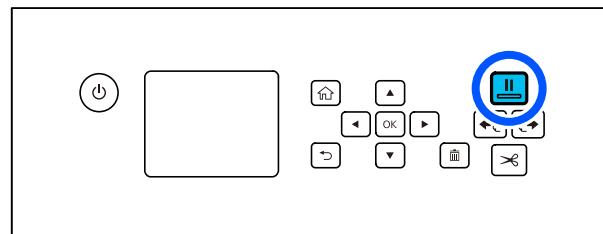


注意 ファンフォールド紙の給紙口付近で用紙が湾曲しないよう設置してください。用紙が変形し、紙詰まりや印字不良が発生する恐れがあります。



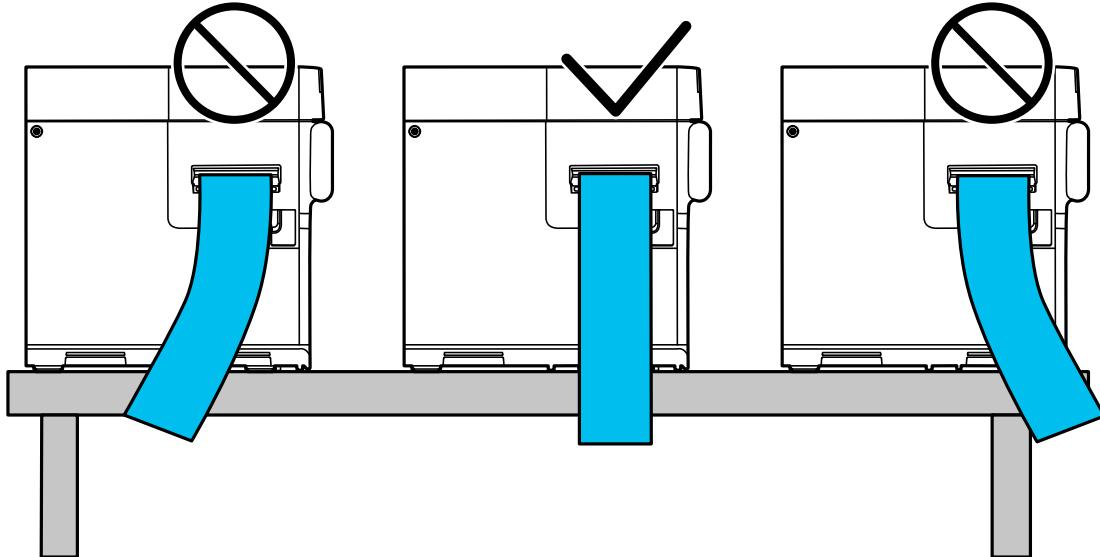
12 II(ポーズ)ボタンを押します。

ホーム画面で印刷可能か確認してください。



用紙の排出経路

印刷時は、下図のように排紙ガイドに沿ってまっすぐに紙を排出させてください。
障害物などにより、紙がまっすぐに排出されていない場合、印刷が乱れる可能性があります。



- 印刷を開始するとき、ラベルへ印刷位置を合わせるために逆送りが行われ、ラベルが本製品内部へ引き込まれます。プリンターがコンピューターから離れて設置されている場合、本製品の使用者は印刷開始のタイミングを把握できないため、ラベルが本製品内部に引き込まれるタイミングを本製品の使用者は把握できません。
そのため、巻き取り装置への用紙セットなど、排出用紙を操作する場合、■(ポーズ)ボタンを押してプリンター動作を停止させた後に操作してください。
- 同様に、ファンフォールド紙のミシン目を手で切り離す必要がある場合、ミシン目を手で切り離している時に逆送りによる紙詰まりを防止するため、■(ポーズ)ボタンを押してプリンター動作を停止させた後に操作するか、カットボタンでファンフォールド紙を切り離してください。
- 用紙のズレによる、紙詰まり、印刷位置のズレが発生する場合があるため、印刷中の用紙には手を触れないでください。

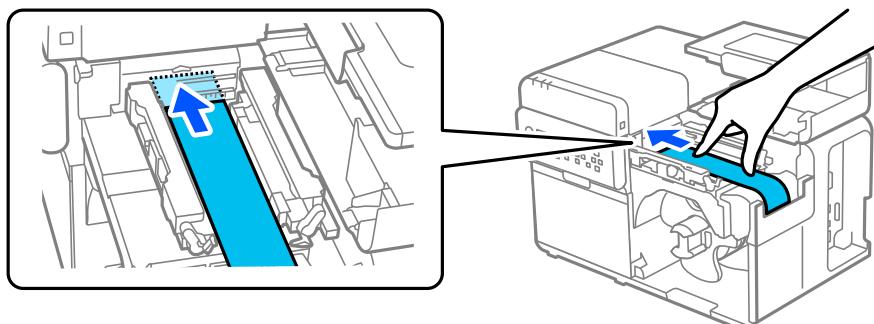
手動での給紙方法

特殊な用紙を使用していると、用紙の検出ができず自動給紙が開始されない場合があります。以下の方法で給紙してください。

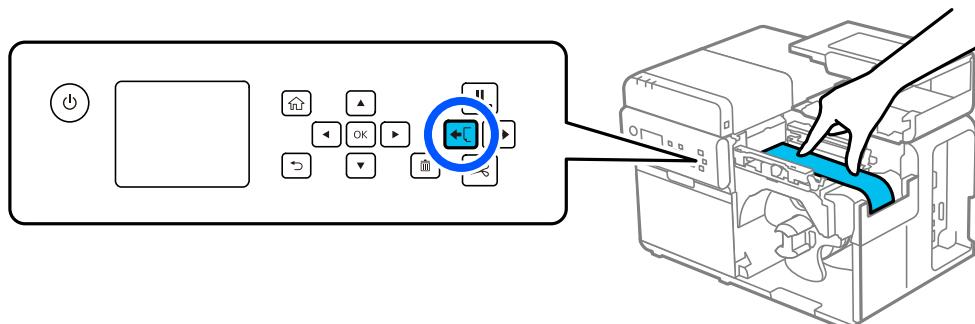


この方法で給紙した場合のプリンターの動作および印字品質は保証できません。

1 用紙を紙送り軸に突き当てます。



2 用紙を押さえながら◀(フィード) ボタンを押します。



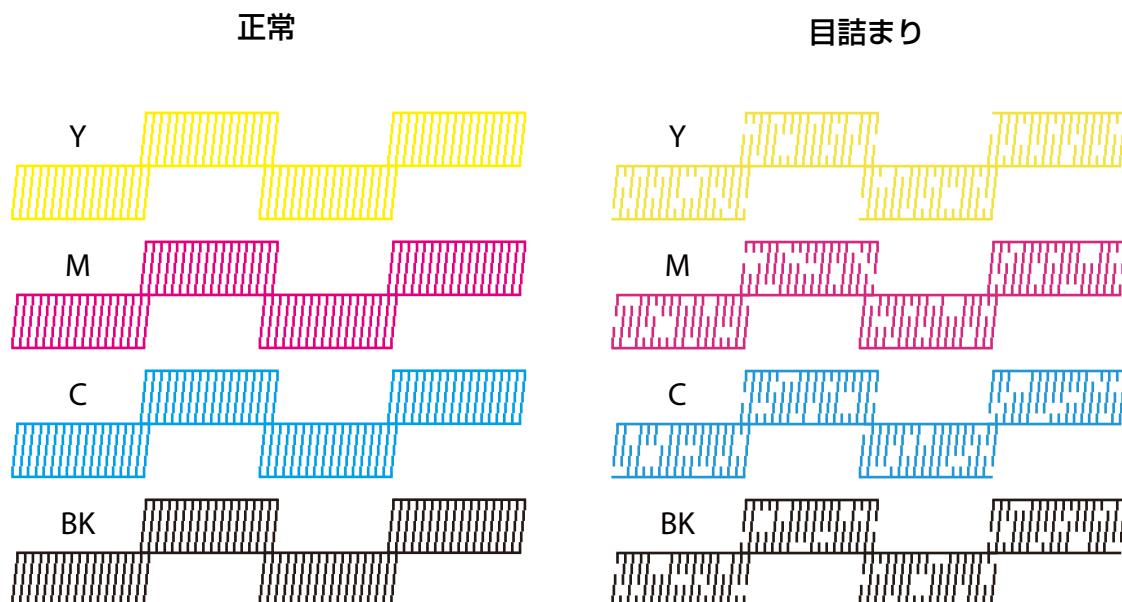
印字確認

プリンターが正常に動作するかどうかをノズルチェックパターンを印刷して確認します。

以下の手順で、ノズルチェック印刷をします。ノズルチェックでは、パターンを印刷して、その印刷結果でノズルの目詰まりを確認できます。

- 1 本製品の電源を入れます。
- 2 [Menu] を選択して、OK ボタンを押します。
- 3 [プリンターのお手入れ] を選択します。
- 4 [プリントヘッドのノズルチェック] を選択します。
- 5 [印刷開始] を選択します。
ノズルチェックパターンが印刷されます。
- 6 印刷されたノズルチェックパターンを確認します。
正常な場合は、左下図のように全てのラインが印刷されます。
右下図のように印刷されないラインがある場合は、目詰まりしています。ヘッドクリーニングを行ってください。

例:フォトインク仕様のノズルチェックパターン



テスト印刷

プリンタードライバーをインストール済みの場合、テスト印刷をすることができます。
以下の手順でテスト印刷をします。

- 1 [プリンターとスキャナー] を開きます。
- 2 [EPSON CW-C8020] をクリックし、[プリンターのプロパティ] をクリックします。



プリンターの登録名が [EPSON CW-C8020] の場合の表示です。

- 3 プロパティ画面が表示されます。[テストページの印刷] をクリックします。

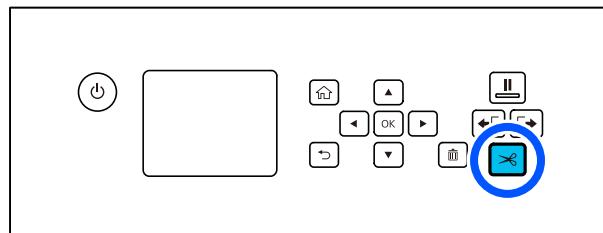


[用紙検出方法] が [ギャップ] または [穴検出] の場合、先頭のラベルから印刷できません。ただし、設定を変更することで先頭のラベルから印刷できます。

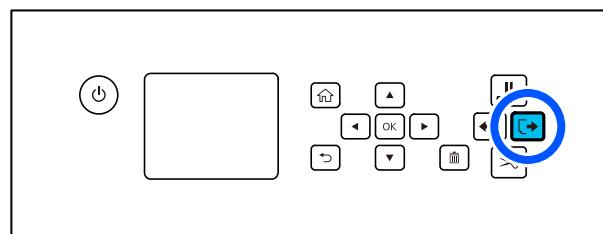
☞ 284 ページ「先頭のラベルから印刷する」

用紙を取り除く

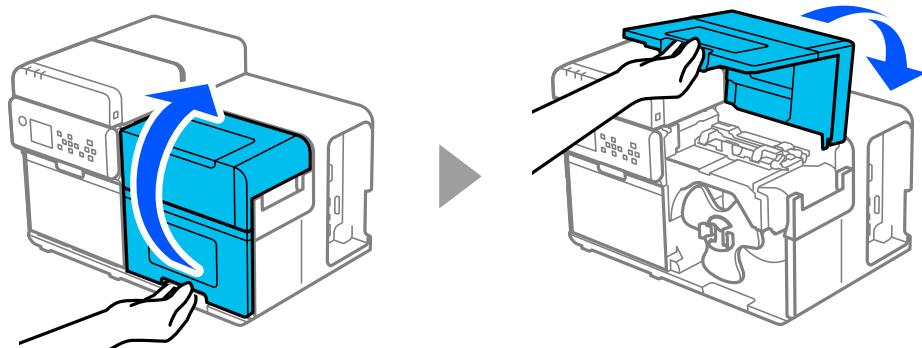
1 用紙をカットします。



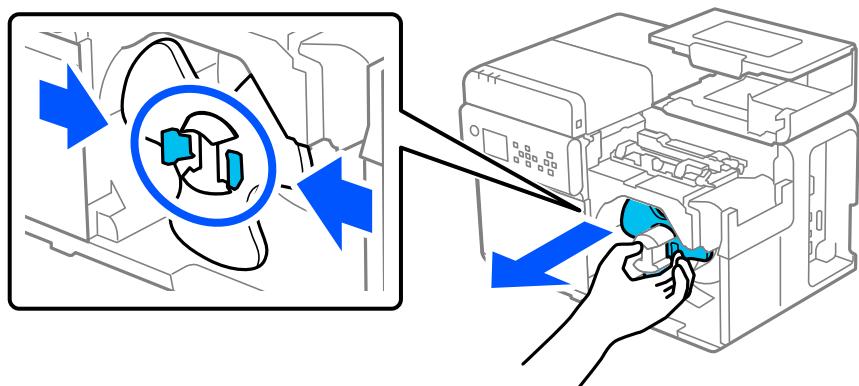
2 用紙が止まるまで[→(バックフィード) ボタンを押し続けます。



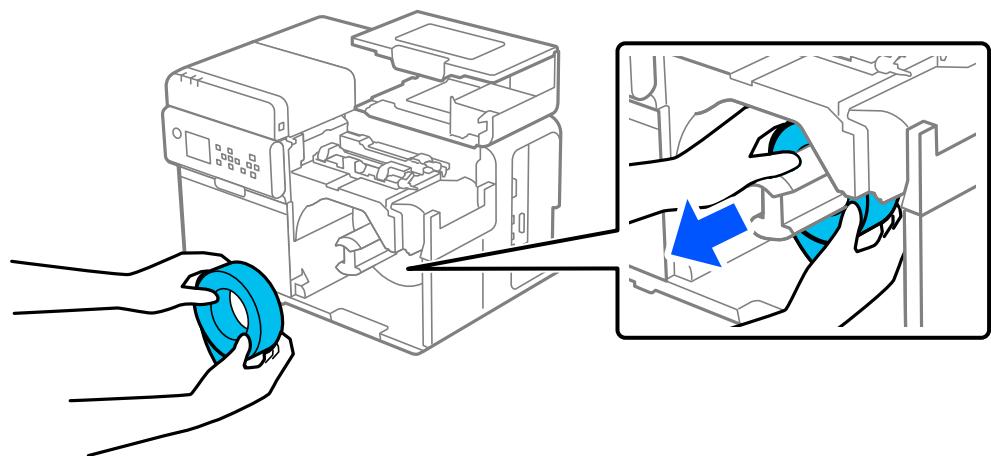
3 用紙カバーを開けます。



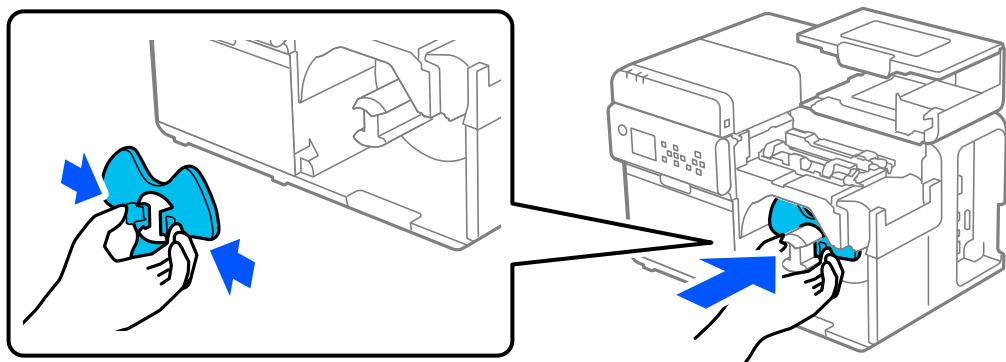
4 ロール紙フランジのレバーを内側へ押しながら、軸から取り外します。



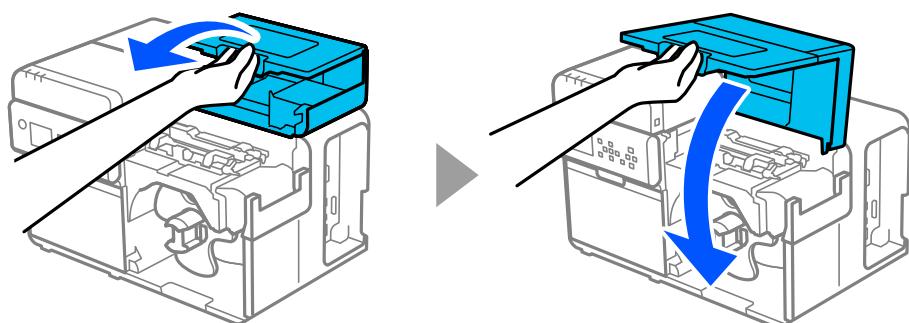
5 軸からロール紙を取り外します。

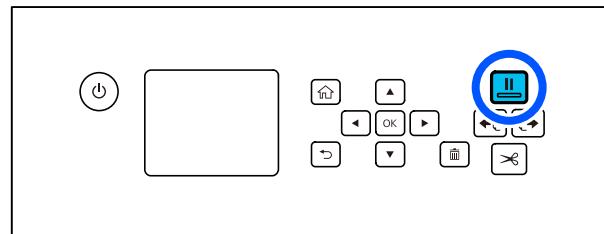


6 軸にロール紙フランジを取り付けます。



7 用紙カバーを閉めます。



8 **II (ポーズ) ボタンを押します。**

以上で用紙を取り除くは完了です。

引き続き用紙をセットする場合は、[66 ページ「ロール紙のセット」](#)、[71 ページ「ファンフォールド紙のセット」](#)を参照してください。

インクパックの交換

ここでは、インクパックの交換方法を説明します。



インクパックをセットする前に、取り扱いに関する注意事項をよくお読みください。
[8ページ「インクパックに関するご注意」](#)

インク残量の確認

操作パネルまたはコンピューターからインク残量の目安を確認できます。



インクが少なくなっていても、交換の案内が表示されるまで印刷できます。必要に応じてインクパックの交換をしてください。

インクパックの交換手順



インクパック交換手順を操作パネルで見る
[\[? \(ヘルプ\)\]](#) - [\[操作方法が知りたい\]](#) - [\[インクパックを交換する\]](#)

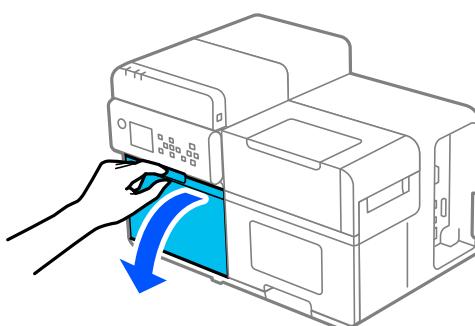
例として BK インクの交換手順を説明します。交換手順は、どのインクパックも同じです。



重要

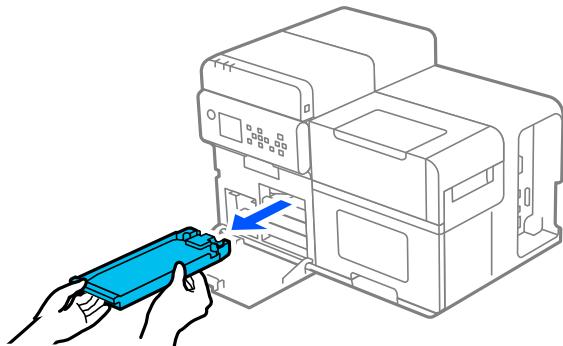
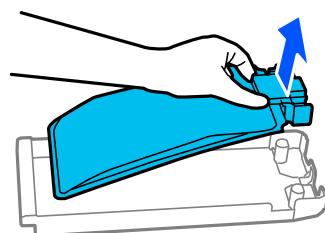
- ブラックインクを交換する際は、現在セットされているものと同じ仕様のブラックインクをセットしてください。本製品は異なる仕様のブラックインクをセットしても動作しません。
- 新しいインクパックは、手順の通りによく振ってからセットしてください。

1 インクカバーを開けます。



2 インクパックトレイを両手で取り出します。

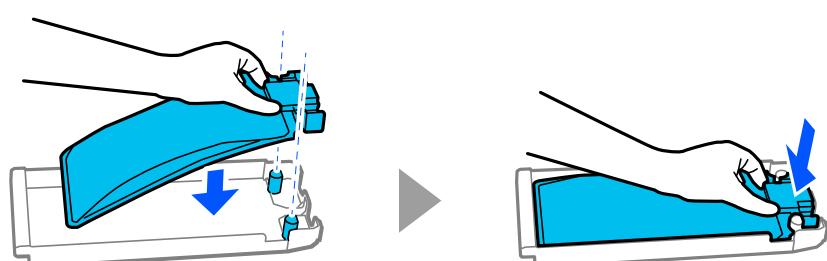
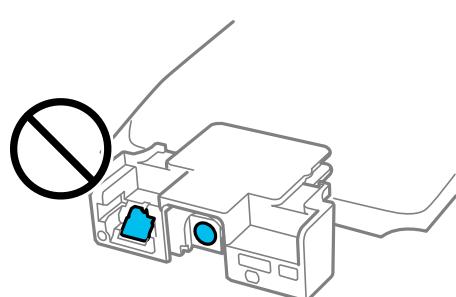
インクパックを強く握らないでください。インクが漏れる可能性があります。

**3 取っ手を持ってインクパックを取り外します。****4 新しいインクパックをトレイにセットします。**

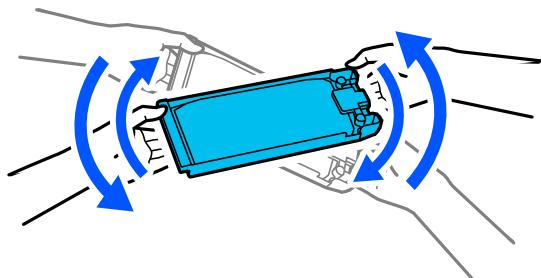
☞ 8ページ「インクパックに関するご注意」



図で示した部分には触らないでください。



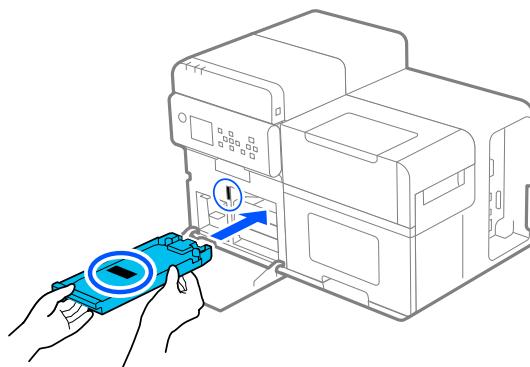
- 5 インクパックトレイを両手で持って、上下に約60度の角度で10秒間に10回程度振ります。



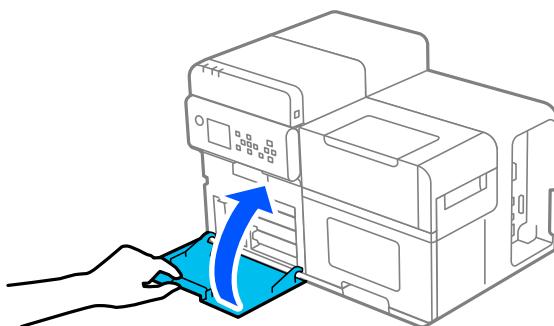
- 6 インクパックと本体に貼られているラベルの色が合っていることを確認して、インクパックトレイを奥までしっかりと押し込みます。



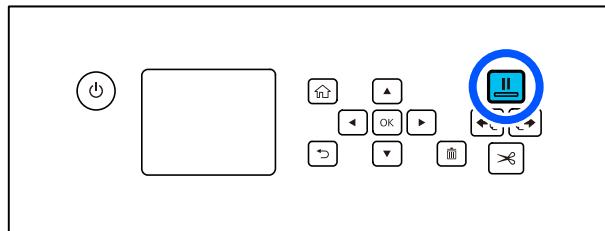
インクパックを強く握らないでください。インクが漏れる可能性があります。



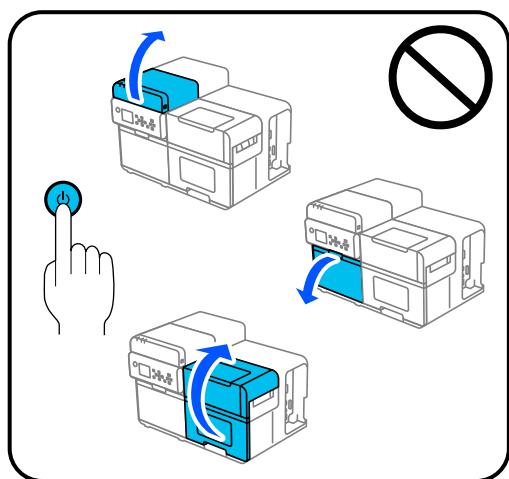
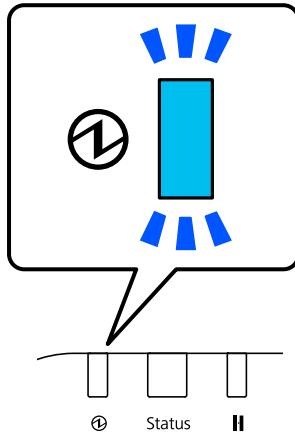
- 7 インクカバーを閉めます。



- 8 **II (ポーズ) ボタンを押します。**
ホーム画面で印刷可能か確認してください。



インクの充てん中 (①(電源) LED が点滅している間) は、決して各カバーを開けたり、電源を切ったりしないでください。インク充てん中にこれらの操作が行われた場合、インクが著しく消費され、充てんが完了する前にインクパックの交換が必要になるおそれがあります。



インクの充填が終わると、①(電源) LED が点滅から点灯に変わります。

メンテナنسボックスの交換

ここでは、メンテナنسボックスの交換方法を説明します。



メンテナنسボックスをセットする前に、取り扱いに関する注意事項をよくお読みください。
☞ 9ページ「メンテナنسボックスに関するご注意」

メンテナنسボックスの空き容量の確認

操作パネルまたはコンピューターからメンテナنسボックスの空き容量の目安を確認できます。



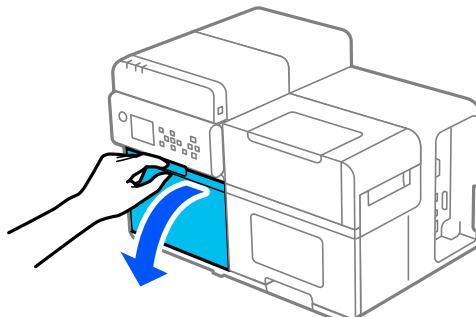
メンテナنسボックスの空き容量が少なくなても、交換の案内が表示されるまで印刷できます。必要に応じてメンテナنسボックスの交換をしてください。

メンテナنسボックスの交換手順

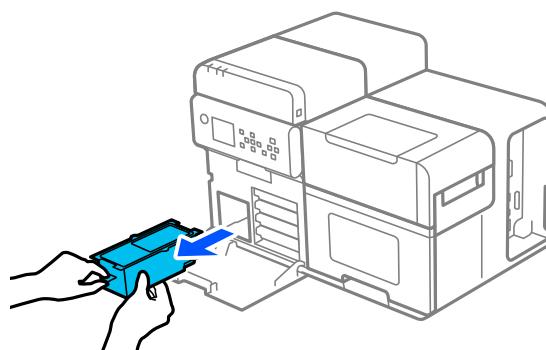


メンテナنسボックス交換手順を操作パネルで見る
[? (ヘルプ)] - [操作方法が知りたい] - [メンテナنسボックスを交換する]

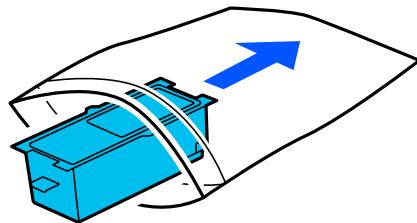
1 インクカバーを開けます。



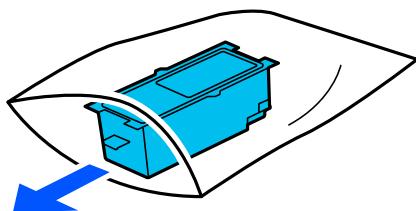
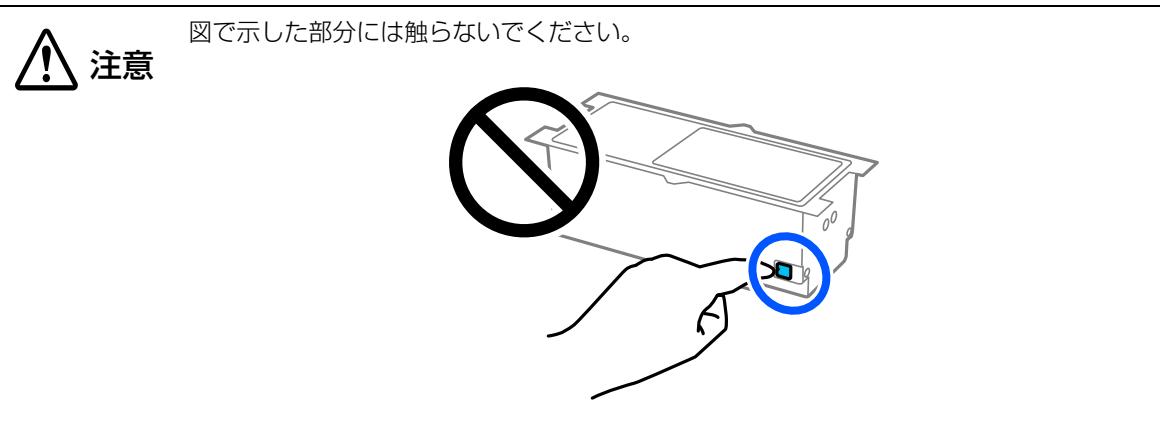
2 メンテナنسボックスを引き抜きます。



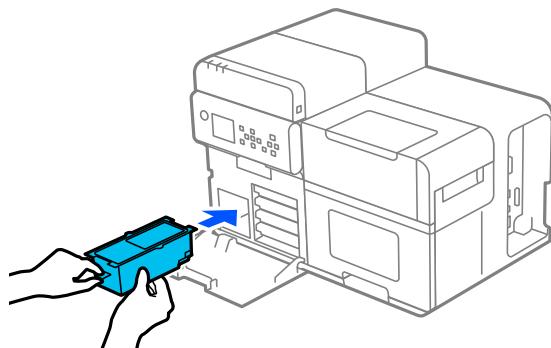
- 3 使用済みのメンテナンスボックスを透明袋に入れて密封して廃棄します。



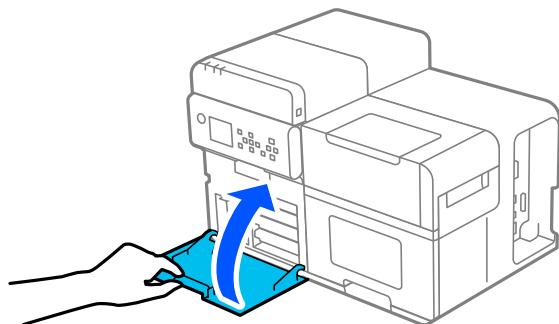
- 4 新しいメンテナンスボックスを袋から取り出します。



- 5 新しいメンテナンスボックスのラベル面を上にし、しっかりと押し込みます。

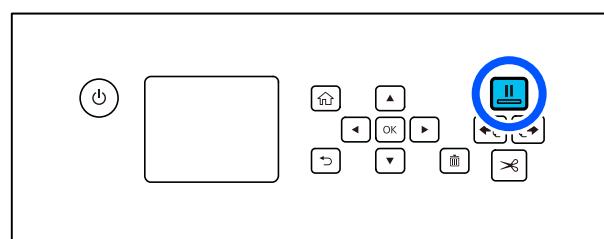


6 インクカバーを閉めます。



7 II(ポーズ)ボタンを押します。

ホーム画面で印刷可能か確認してください。



製品の取り扱い

本章では、製品の基本的な取り扱い方法について説明しています。

プリンタードライバー(Windows)

プリンタードライバー（Windows）の操作方法について説明しています。

プリンタードライバーは、アプリケーションソフトの印刷指示に合わせてプリンターを制御するソフトウェアです。プリンタードライバーの画面で印刷設定すると、最適な印刷結果が得られます。また、ユーティリティを使うとプリンターの状態の確認やメンテナンスもできます。

プリンタードライバーの開き方

プリンタードライバーの設定画面は、以下の手順で表示できます。

方法 1: Windows の設定 > プリンターの管理画面 > [印刷設定]

方法 2: Windows の設定 > プリンターの管理画面 > [プリンターのプロパティ] > [全般] タブの [基本設定]

方法 3: Windows の設定 > プリンターの管理画面 > [プリンターのプロパティ] > [詳細設定] タブの [標準の設定]

方法 4: アプリケーションソフトウェアの印刷画面 > [プリンターのプロパティ]

方法 1 または方法 2 からの設定変更はログオンユーザー固有の設定となります。

方法 3 からの設定変更はそのプリンターを使用する全ユーザー共通の設定となります。方法 1 または方法 2 の設定が優先されます。

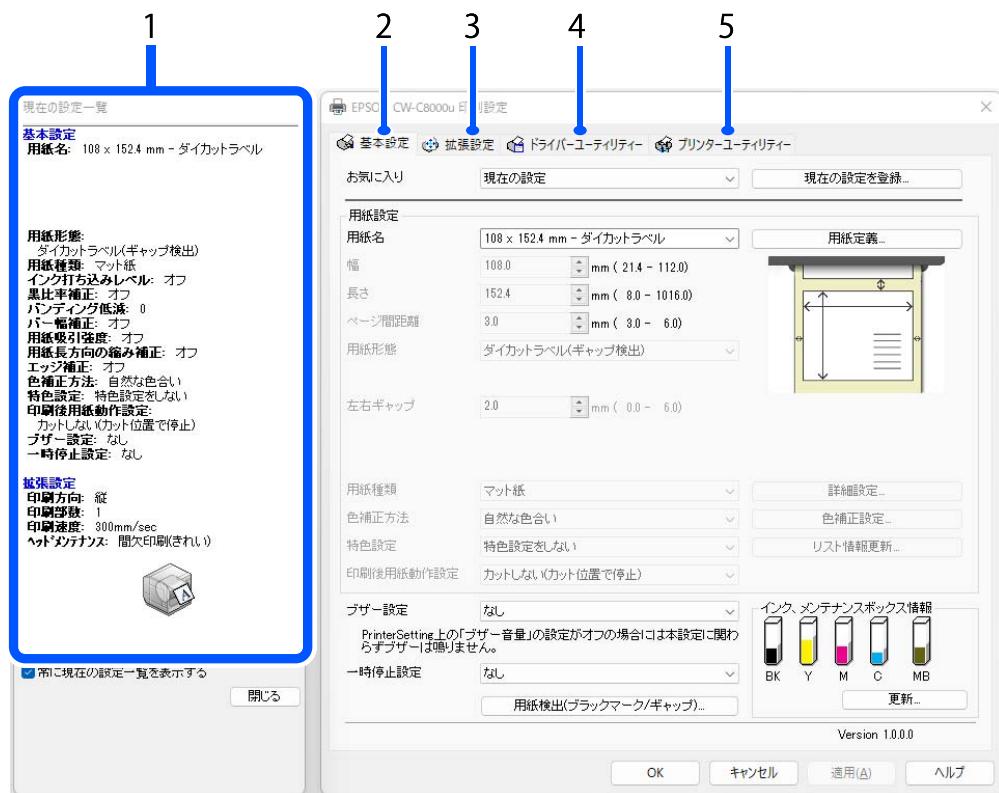
方法 4 からの設定変更は一時的なものとなります。

初期値として設定したい場合は、方法 1 または方法 2 からプリンタードライバーを表示・設定してください。

Windows の設定からプリンターの管理画面を開く手順は、Windows のバージョンにより異なります。

プリンタードライバーの画面構成

プリンタードライバーには、ヘルプ機能が搭載されています。項目上で右クリックしてヘルプをクリックすると、項目の説明が表示されます。



1 現在の設定一覧画面

現在のドライバーの設定状態を表示します。

2 基本設定タブ

用紙サイズや形態など、印刷時に必要な基本項目を設定します。

3 拡張設定タブ

印刷の向きや部数を設定します。

4 ドライバーユーティリティタブ

ドライバーの応用的な設定ができます。

5 プリンターユーティリティタブ

プリントヘッドのクリーニングや、ノズルチェックなどのメンテナンス機能の実行と、PrinterSettingを起動できます。

用紙設定

プリンタードライバーの用紙の設定項目について説明します。



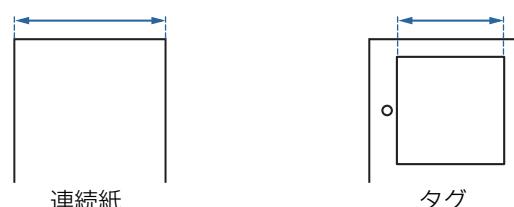
1 用紙名

[用紙定義] で作成した設定を選択できます。また、[ユーザー入力] を選択することで、直接用紙設定を変更できます。

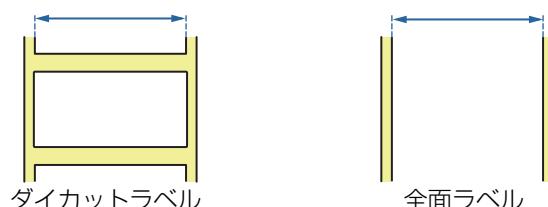
2 幅

幅を入力します。

- 連続紙、タグ：用紙の幅



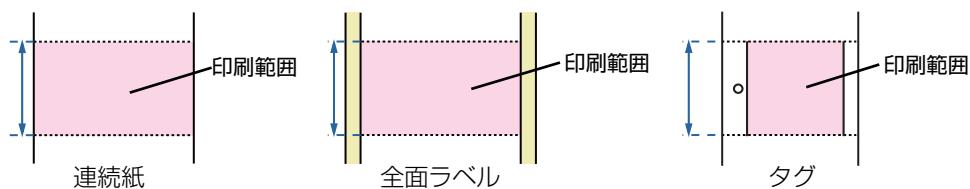
- ダイカットラベル、全面ラベル：台紙を除いたラベル幅



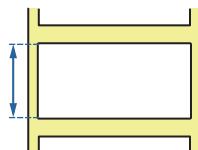
3 長さ

長さを入力します。

- 連続紙、全面ラベル、タグ：印刷範囲の長さ（1ページの長さ）

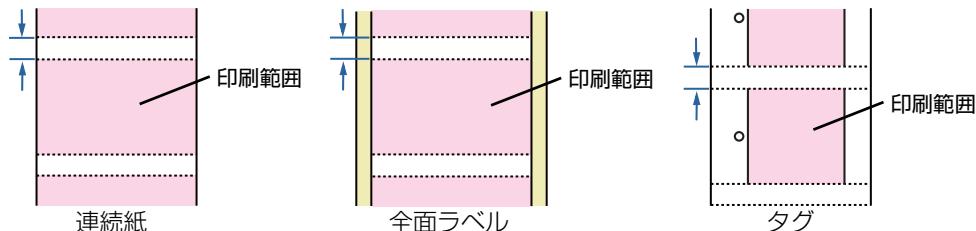


- ダイカットラベル：台紙を除いたラベルの長さ



4 ページ間距離

ページ間の距離を入力します。



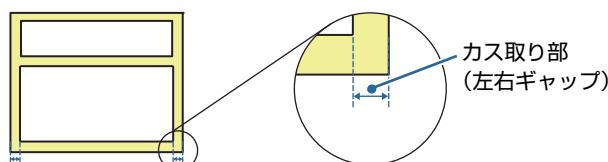
5 用紙形態

用紙の形態を選択します。

- ダイカットラベル
- 全面ラベル
- 連続紙
- タグ

6 左右ギャップ（ダイカットラベル / 全面ラベル / 連続紙）

左ギャップと右ギャップは常に同じです。このため左右ギャップとして1つの設定値を入力します。



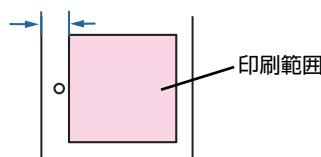
!

重要

- 左右ギャップは2mm以上に設定することをお勧めします。2mm未満に設定するとプリンター内にインクが付着し、印刷物が汚れることがあります。
- ラベルの左右カス取り部について
 - * 0~6mmの範囲で使用可能です。（基本は2mm）
 - * 2mmより大きい場合、紙詰まりなどの不具合が発生する場合があります。

7 左ギャップ (タグ)

用紙の左ギャップを設定できます。

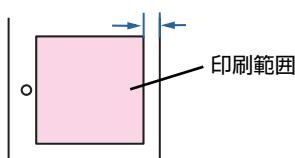


重要

左ギャップは 2 mm 以上に設定することをお勧めします。2 mm 未満に設定するとプリンター内にインクが付着し、印刷物が汚れることがあります。

8 右ギャップ (タグ)

用紙の右ギャップを設定できます。



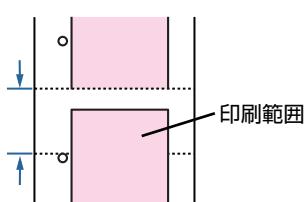
重要

右ギャップは 2 mm 以上に設定することをお勧めします。2 mm 未満に設定するとプリンター内にインクが付着し、印刷物が汚れることがあります。

9 穴・用紙端間距離 (タグ)

タグ (穴検出) は、穴、長穴、切り欠きを目安に用紙を検出します。

穴、長穴、切り欠きの上端から、用紙端までの距離を設定してください。(364 ページ「用紙仕様」)



10 用紙種類

用紙の種類を選択します。(364 ページ「用紙仕様」)

11 色補正方法

色補正を任意に設定します。色補正について詳しくは（[268ページ「色補正方法」](#)）を参照してください。

- 自然な色合い
プリンター内の色補正エンジンで、一般的なLCDモニターで見た色合いに近い印刷結果になるように補正します。EPSON基準色に近い色合いですが、CMYのインクの色をそのまま印刷できる点が異なります。
- EPSON基準色
プリンター内の色補正エンジンで、一般的なLCDモニターで見た色合いに近い印刷結果になるように補正します。
- あざやかな色合い
プリンター内の色補正エンジンで、ラベルの印刷に適したあざやかな色合いに補正します。一般的なLCDモニターの色合いとは異なります。
- ICM
設定されている用紙種類と印刷速度に対応したICCプロファイルに従って、OS内の色補正エンジンを使って色合いを補正します。適切なICCプロファイルを使えば、LCDモニターと印刷結果の色合いを合わせることができます。
- 色補正なし
アプリケーションソフト内で色補正を行う場合にこの設定を選択します。プリンター内では色補正を行いません。

12 特色設定

特定の色を指定の色に変更する機能です。特色設定の使い方は（[262ページ「特色の設定」](#)）を参照してください。

13 印刷後用紙動作設定

- カットする（最終ページ印刷後）
- カットする（指定ページ毎）
- カットする（部単位印刷の最終ページ）
- カットしない（カット位置で停止）（初期設定）
- カットしない（指定位置で停止）

14 詳細設定

[カラー調整]、[バーコード/2次元シンボルフォント調整]、[用紙調整]、[エッジ補正]を設定します。設定項目の詳細については、ヘルプを参照してください。

- カラー調整
インク打ち込みレベル：インク濃淡を調整します。
黒比率補正：黒色を構成するインクの割合を調整します。
- バンディング低減：印刷結果に色スジが発生する場合は、インクの濃淡を調整します。
- バーコード/2次元シンボルフォント調整
バー幅補正：内蔵バーコードフォントを使用している場合、バーの幅を調整します。
- 用紙調整
用紙吸引強度：プラテン吸引力の調整をします。
用紙長方向の縮み補正：用紙長方向に印刷結果が縮むことがあるため補正值を設定します。



- 用紙種類が高光沢紙または光沢フィルムの場合、[バンディング低減]を調整しても完全に色すじを低減できない場合があります。お客様ご自身で印刷結果をご確認の上、お使いください。
- [用紙長方向の縮み補正]で設定した補正值に従って用紙長方向に伸長した計算上の最大用紙長は1016mmです。1004mmを超える用紙長の場合、補正結果は補正值に追従せず1016mmを超える長さは設定できません。

- エッジ補正

背景色と文字の間にわずかな隙間が発生してしまう場合は、エッジ補正を有効にすることで改善する可能性があります。



- 【カラー調整】や【バーコード/2次元シンボルフォント調整】の設定を変更すると、バーコードの読み取り品質に影響が出ることがありますので注意してください。
- 【黒比率補正】を上げた場合、印刷直後には用紙表面のインクが指に付着しやすくなります。取り扱いには十分注意してください。

ユーザー定義用紙

よく使う用紙のサイズや形態、種類などを、用紙定義としてプリンタードライバーに登録しておくことができます。あらかじめ登録しておくと、アプリケーションから印刷するときにドライバーの用紙設定が不要となるため便利です。

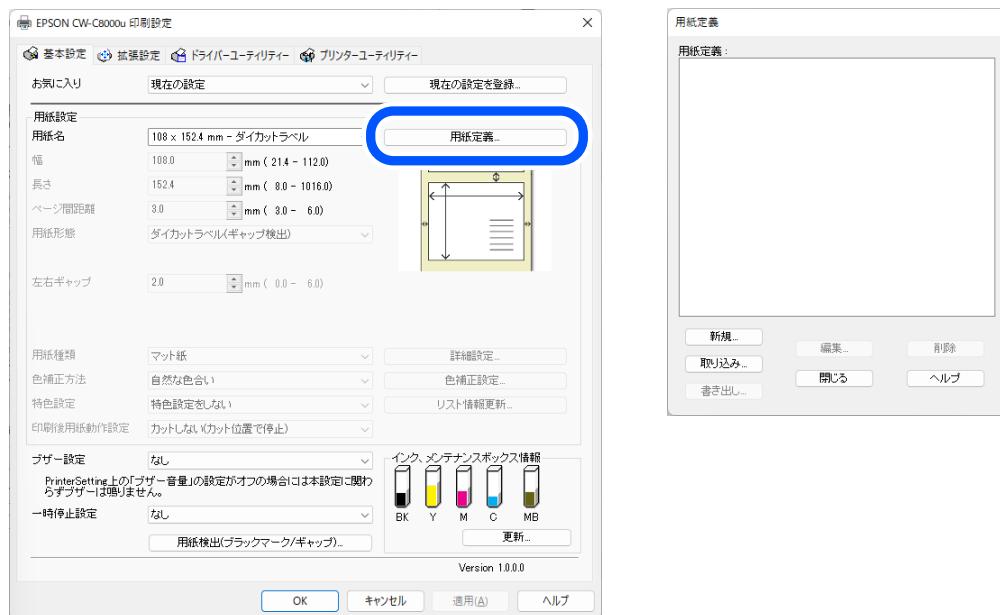


用紙定義をせずに、そのつど用紙サイズなどを設定したい場合は、[基本設定] タブの用紙名プルダウンからユーザー入力を選択します。[基本設定] タブ内の各種設定項目が有効になり、用紙サイズなどの設定ができるようになります。

新規登録

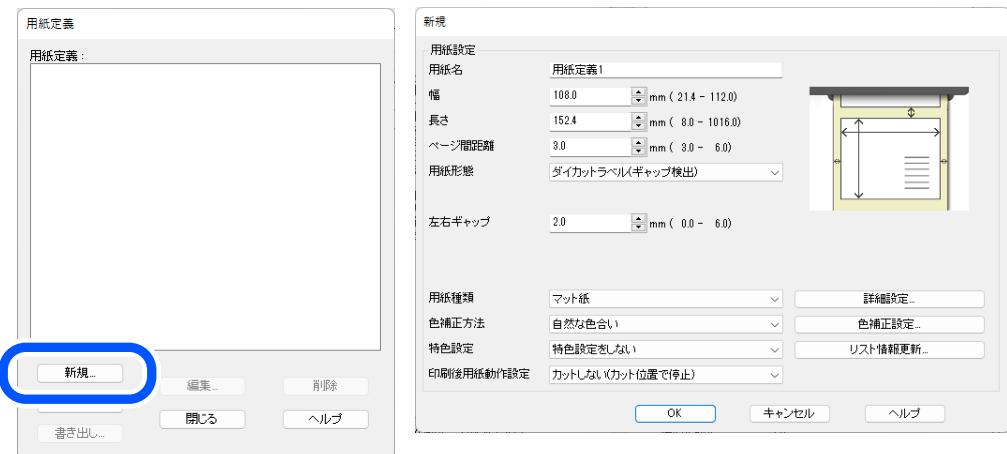
以下の手順で、用紙定義を新規に登録します。

- 1 プリンタードライバーを表示します。
- 2 [基本設定] タブの [用紙定義] ボタンをクリックします。
用紙定義画面が表示されます。



3 [新規] ボタンをクリックします。

新規画面が表示されます。

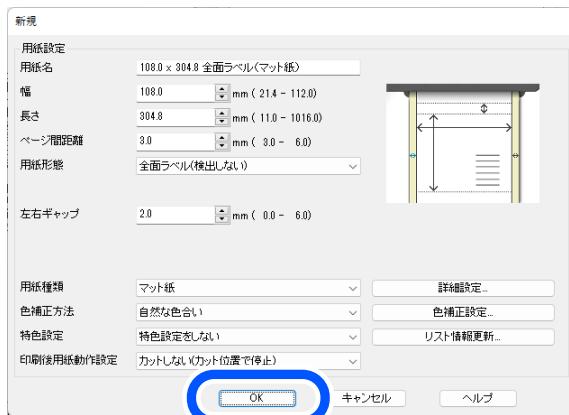


4 使用する用紙に合わせて設定します。

[用紙名] には用紙定義の名称を入力してください。アプリケーションから用紙サイズを選択するときに表示される名称です。その他の項目の説明については [92 ページ「用紙設定」](#) をご覧ください。



5 [OK] をクリックします。



- 6 [用紙定義] 画面に登録した用紙名が表示されていることを確認して、[閉じる] をクリックします。



- 7 [基本設定] タブの [用紙名] で、登録した用紙名が選択できることを確認します。

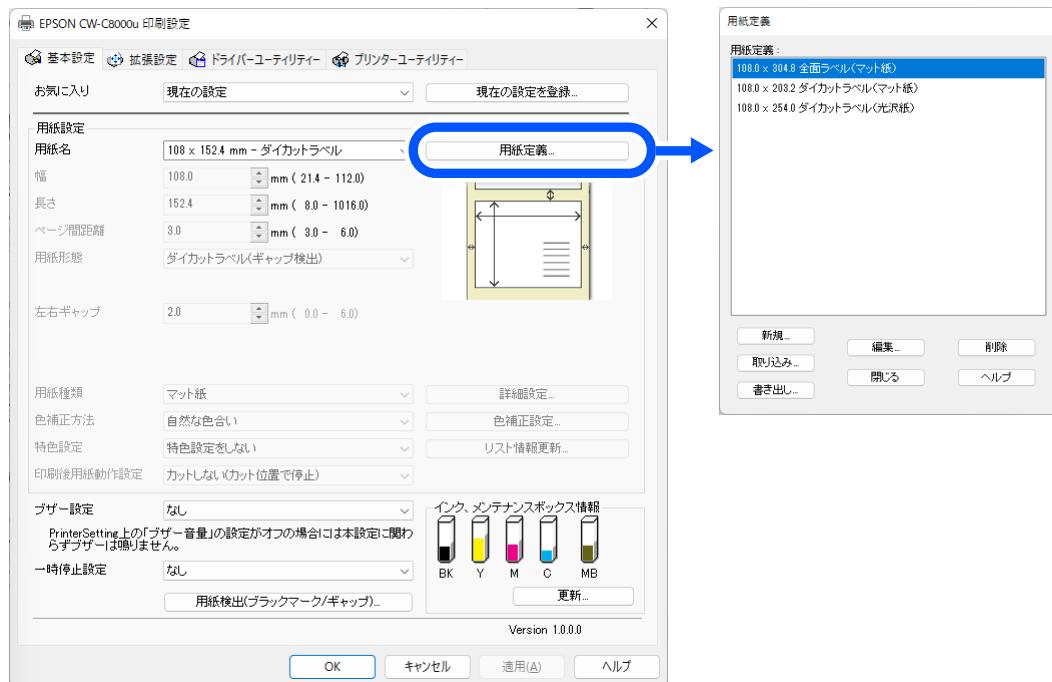


- 8 [OK] ボタンをクリックして、ドライバーを閉じます。

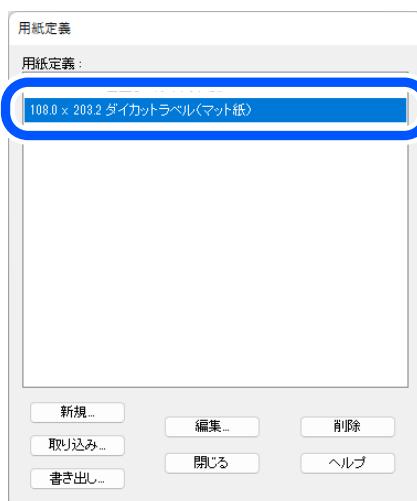
以上で用紙の登録（用紙定義）は終了です。

編集と削除

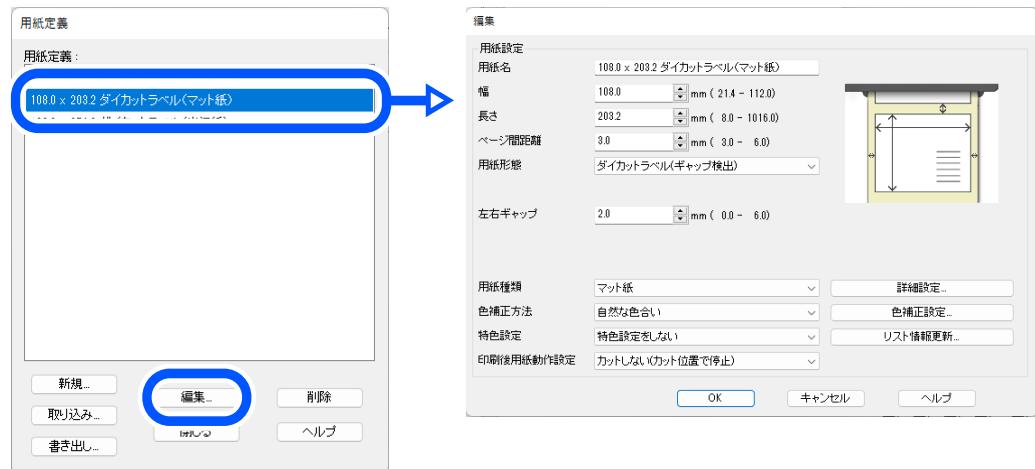
- 1 プリンタードライバーを表示します。
- 2 [基本設定] タブの [用紙定義] ボタンをクリックします。
用紙定義画面が表示されます。



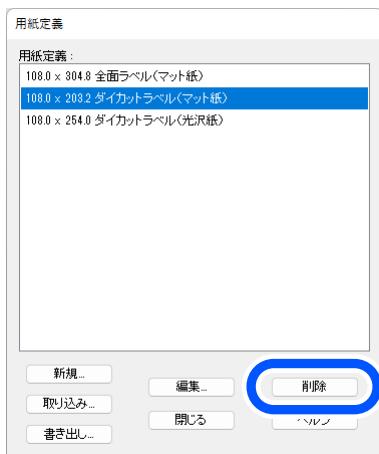
- 3 編集・削除したい定義をクリックして選択します。



4 定義内容を変更したい場合は、[編集] ボタンをクリックします。[編集] 画面が表示され、定義の変更ができます。



定義を削除したい場合は、[削除] ボタンをクリックします。画面が表示され、[OK] ボタンをクリックすると定義が削除されます。



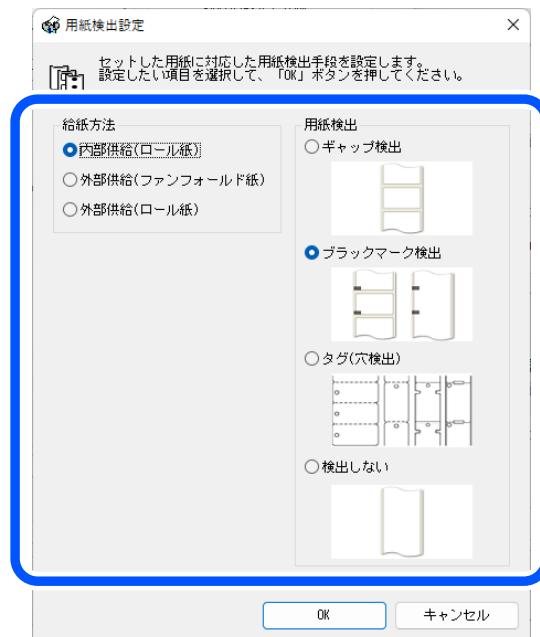
以上で、用紙定義の編集・削除は終了です。

給紙方法・用紙検出の設定

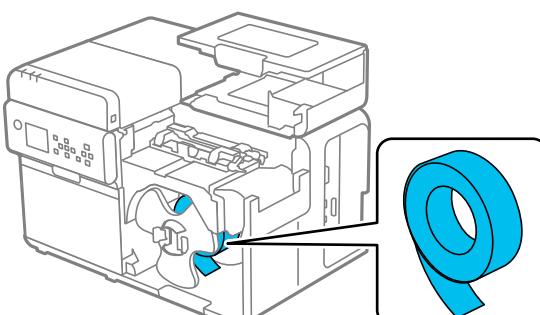
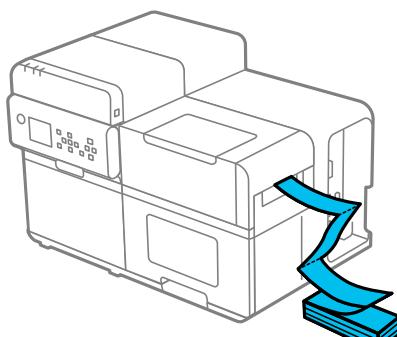
- 1 プリンタードライバーを表示します。
- 2 【基本設定】タブの【用紙検出（ブラックマーク / ギャップ）】をクリックします。



- 3 使用する用紙に合わせて、以下の項目を設定します。



- 給紙方法：用紙をどのように供給するか選択します。

設定項目	説明
内部供給（ロール紙） 	ロール紙をプリンター内部へセットし、本体内部から用紙を供給します。
外部供給（ファンフォールド紙） 外部供給（ロール紙） 	ファンフォールド紙やロール紙をプリンター後方へ置き、本体外部から用紙を供給します。



外部供給でロール紙をお使いになる場合は、お客様ご自身で外部装置（用紙供給装置・用紙巻き取り装置）をご用意ください。詳しくは販売店にお問い合わせください。

- 用紙検出：使用する検出方法を選択します。

設定項目	説明
ギャップ検出	ラベル間のすき間を基準に、印刷位置を検知します。
ブラックマーク検出	用紙の裏または台紙に印刷された黒いマークを基準に、印刷位置を検知します。
タグ（穴検出）	用紙にある穴、長穴、切り欠きを基準に、印刷位置を検知します。
検出しない	ギャップ検出器や、ブラックマーク検出器を使用した用紙検出を行いません。

4 [OK] をクリックします。

以上で給紙方法・用紙検出の設定は完了です。

お気に入り

「お気に入り」とは、プリンタードライバーの印刷設定をひとまとめにして管理できる機能です。



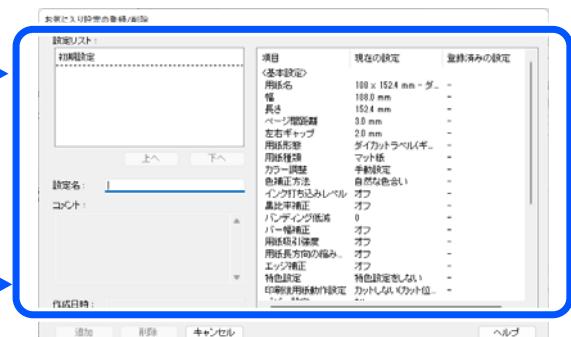
本製品の操作パネルから登録できる「お気に入り」とは別の機能で、互換性はありません。

印刷設定は、[基本設定] タブと [拡張設定] タブの内容です。用紙の種類、用紙レイアウト（ユーザー定義用紙を含む）などがあります。

[基本設定] タブ



お気に入り



[拡張設定] タブ



特長

「お気に入り」には、いくつもの印刷設定を登録できます。

たとえば帳票ごとに印刷設定を「お気に入り」登録すると、帳票を変更した場合、「お気に入り」の変更をするだけでプリンタードライバーの印刷設定が完了します。用紙の変更に伴う様々な設定を正しく設定できます。

(帳票を変更した場合、プリンターの用紙検出設定を変更する必要がある場合があります。)

印刷設定を「お気に入り」に登録

1 印刷する用紙などに合わせてプリンタードライバーを設定します。

[基本設定] タブと [拡張設定] タブを設定します。ユーザー定義した用紙を設定する場合、[基本設定] の [用紙名] から選択します。



2 [現在の設定を登録] をクリックします。[お気に入り設定の登録 / 削除] 画面が表示されます。

現在の設定が右側のリストに表示されます。

3 [設定名] 欄に登録名を入力して、[追加] をクリックします。

[お気に入り設定の登録 / 削除] 画面が閉じて、元の画面に戻ります。



4 追加した設定名が「お気に入り」に登録されていることを確認します。



「お気に入り」には、以下の設定があります。

- 初期設定： プリンタードライバーインストール時の初期値です。
- 現在の設定： [基本設定] タブと [拡張設定] タブに設定されている内容です。
この内容は「現在の設定一覧」画面と、「お気に入り設定の登録 / 削除」画面の現在の設定に表示されます。
- ユーザーが定義した設定： ユーザーが定義した印刷設定です。

バーコード印刷

本製品はバーコードフォントを内蔵しています。アプリケーション側でバーコードを生成しなくても、バーコードを印刷できます。

バーコードフォントの設定

バーコードの印刷設定は、[ドライバーユーティリティ] タブの [バーコード / 2 次元シンボル設定] で設定します。



1 以下の設定を行います。

- 表示： [バーコード] を選択します。
- フォント名： 任意の文字列を入力します。これがバーコードフォント名になります。入力できる文字は ASCII のみです。
- タイプ： バーコードの種類を選択します。選択したタイプにより、表示される設定項目が切り替わります。以下の種類から選択できます。

UPC-A	UPC-E	JAN13(EAN)
JAN8(EAN)	Code39	ITF
Codabar	Code93	Code128
GS1-128	GS1 DataBar Omnidirectional	GS1 DataBar Truncated
GS1 DataBar Limited	GS1 DataBar Expanded	

- ・回転指定： バーコードを回転させて印刷するときに選択します。
- ・Hex 入力モード： バーコードにするデータを Hex 入力モードで指定するときは、チェックします。
- ・モジュール： バーコードの細いエレメントの幅をドットで設定します。
- ・バー高さ： エレメントの高さをドットで設定します。指定したドットは、印刷されたときの実寸法で表示されます。
- ・HRI 文字の位置： HRI 文字の印刷位置を指定します。印刷しないときは、[印刷しない] を選択します。



タイプによっては、印刷位置の指定が限定されるものがあります。

- ・コンポジットの種類：コンポジットの種類を設定します。
- ・エレメント比： 太いエレメント幅を、細いエレメント幅に対する比率で設定します。
推奨する最小エレメント比は 2.5 です。
- ・チェックディジッド：数列の誤りを検出したり捏造を防止したりするために付与させる数値や記号です。
- ・シンボル全体幅が最小となるように自動変換する：
CODE128 の場合に選択できます。与えられたデータ文字列を表現するために必要なシンボルキャラクター数を最小限に抑える機能です。
- ・開始文字： 開始文字を設定します。
- ・終了文字： 終了文字を設定します。
- ・余白設定： バーコードの背景は透過されています。[余白設定] にチェックを入れると、透過された背景を白色で塗りつぶして印刷します。
余白の幅は [上余白]、[左余白]、[下余白]、[右余白] にそれぞれ設定します。

2

【追加】をクリックします。

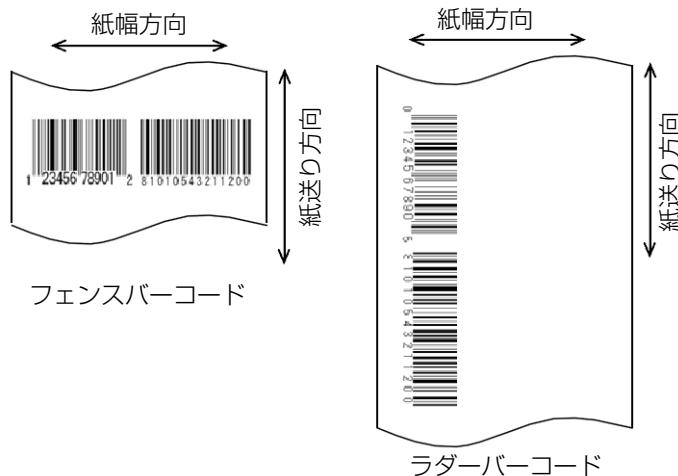
設定したバーコードフォントが登録され、フォントリストにフォント名が追加されます。



- ・バーコードフォントは、30 個まで登録できます。
- ・フォントリストのフォント名を選択し、設定を変更してから [保存] をクリックすると、設定したバーコードフォントの設定を上書き保存できます。
- ・フォントリストのフォント名を選択し、[削除] をクリックすると、設定したバーコードフォントを削除できます。

モジュールの推奨値

バーコードの印刷方向は以下の通りです。また、モジュールの推奨値は、用紙種類、バーコードの種類および印刷方向によって異なります。



回転方向を [標準] と [270° 回転] に設定していると、バーコードは印字されません。

ANSI グレード C 以上（最小モジュールサイズ 600 dpi）の場合 [110 ページ](#)

ANSI グレード B 以上（最小モジュールサイズ 600 dpi）の場合 [111 ページ](#)



- バーコードの認識率は用紙の種類、バーコードリーダーの性能などにより変動します。またドット抜け、インク滴の曲がりによって、バーコードランクが低下し、バーコードリーダーで読めない場合があります。このため、HRI 文字を印刷するなど工夫することを推奨します。
- インクの特性上、インクが染み込んだ用紙にバーコードを印刷するとバーコードのバー幅が太くなり、バーコードランクに影響が出ることがあります。バーコードのバー幅を減らすことでバーコードランクを改善できる場合があります。内蔵バーコードフォントを使用している場合は、「バー幅補正」機能を使って補正してみてください。
- 輸送時や設置時にプリンターに振動や衝撃が加わると、印刷できるバーコードランクが低下する可能性があります。この場合、「色ずれ調整」を実施することでバーコードランクが向上することがあります。（[203 ページ「色ずれ調整」](#)）

ANSIグレードC以上(最小モジュールサイズ600 dpi)

バーコード種類	印刷方向	普通紙	上質紙	マット紙	合成紙	光沢紙	光沢フィルム	高光沢紙
Code39	フェンス	5	5	5	5	5	5	5
	ラダー	6	6	5	5	5	5	5
Codabar	フェンス	5	5	5	5	5	5	5
	ラダー	6	6	5	5	5	5	5
Code93	フェンス	5	5	5	5	5	5	5
	ラダー	6	6	5	5	5	5	5
Code128	フェンス	5	5	5	5	5	5	5
	ラダー	6	6	5	5	5	5	5
GS1-128	フェンス	5	5	5	5	5	5	5
	ラダー	6	6	5	5	5	5	5
ITF	フェンス	6	6	6	6	6	6	6
	ラダー	6	6	6	6	6	6	6
GS1 DataBar Omnidirectional	フェンス	6	6	6	6	6	6	6
	ラダー	6	6	6	6	6	6	6
GS1 DataBar Truncated	フェンス	6	6	6	6	6	6	6
	ラダー	6	6	6	6	6	6	6
GS1 DataBar Limited	フェンス	6	6	6	6	6	6	6
	ラダー	6	6	6	6	6	6	6
GS1 DataBar Expanded	フェンス	6	6	6	6	6	6	6
	ラダー	6	6	6	6	6	6	6
UPC-A	フェンス	7	7	7	7	7	7	7
	ラダー	7	7	7	7	7	7	7
JAN13	フェンス	7	7	7	7	7	7	7
	ラダー	7	7	7	7	7	7	7
EAN13	フェンス	7	7	7	7	7	7	7
	ラダー	7	7	7	7	7	7	7

ANSIグレードB以上(最小モジュールサイズ600 dpi)

バーコード種類	印刷方向	普通紙	上質紙	マット紙	合成紙	光沢紙	光沢フィルム	高光沢紙
Code39	フェンス	7	7	6	6	6	6	6
	ラダー	8	8	6	6	6	6	6
Codabar	フェンス	6	6	6	6	6	6	6
	ラダー	8	8	6	6	6	6	6
Code93	フェンス	7	7	6	6	6	6	6
	ラダー	8	8	6	6	6	6	6
Code128	フェンス	6	6	6	6	6	6	6
	ラダー	7	7	6	6	6	6	6
GS1-128	フェンス	6	6	6	6	6	6	6
	ラダー	7	7	6	6	6	6	6
ITF	フェンス	8	8	7	6	7	7	7
	ラダー	7	7	7	6	7	7	7
GS1 DataBar Omnidirectional	フェンス	6	6	6	6	6	6	6
	ラダー	8	8	6	6	6	6	6
GS1 DataBar Truncated	フェンス	6	6	6	6	6	6	6
	ラダー	8	8	6	6	6	6	6
GS1 DataBar Limited	フェンス	6	6	6	6	6	6	6
	ラダー	8	8	6	6	6	6	6
GS1 DataBar Expanded	フェンス	6	6	6	6	6	6	6
	ラダー	8	8	6	6	6	6	6
UPC-A	フェンス	7	7	7	7	7	7	7
	ラダー	7	7	7	7	7	7	7
JAN13	フェンス	7	7	7	7	7	7	7
	ラダー	7	7	7	7	7	7	7
EAN13	フェンス	7	7	7	7	7	7	7
	ラダー	7	7	7	7	7	7	7

バーコードデータの指定方法

バーコードデータは以下を参照して指定してください。

コンポジットシンボルについて：

CC-A と CC-B の切り替えは自動的に行われますが、CC-C はお客様が明示的に選択する必要があります。
(GS1-128 の場合、コンポジットコンポーネントの種類は「なし」「CC-A / CC-B」「CC-C」から選択できます。)

コンポジットコンポーネントの種類	エンコード許容桁数
CC-A	1 ~ 56 桁
CC-B	1 ~ 338 桁
CC-C	1 ~ 2361 桁

HRI 文字について：

HRI 文字列がバーコードの全体幅よりも大きくなつた場合、HRI 文字列の全体幅がバーコードの幅になります。

UPC-A

- データは 11 桁で指定してください。チェックディジットは自動的に付加されます。

UPC-E

- データは 10 桁で指定してください。5 桁がメーカーコードで 5 桁がアイテムコードです。

JAN13(EAN)

- データは 12 桁で指定してください。チェックディジットは自動的に付加されます。

JAN8(EAN)

- データは 7 桁で指定してください。チェックディジットは自動的に付加されます。

Code39

- スタート・ストップコード ('*') を両方または片方指定しなかつた場合、自動的に付加されます。

ITF

- 奇数桁のデータを指定した場合、自動的に先頭に 0 を付加されます。

Codabar(NW7)

- スタートコードとストップコードはデータに含めないでください。プリンタードライバーの画面で指定したスタートコードとストップコードが付加されます。

Code93

- スタートコード、2つのチェックディジット、ストップコードは自動的に付加されます。
- HRI 文字の先頭には、スタートコードを示す文字(□)を印字されます。
- HRI 文字の末尾には、ストップコードを示す文字(□)を印字されます。
- 制御キャラクター(00h～1Fh, 7Fh)の HRI 文字は、■とアルファベット 1 文字を組み合わせて印字されます。

制御キャラクター		HRI 文字	制御キャラクター		HRI 文字	制御キャラクター		HRI 文字
ASCII	16 進数		ASCII	16 進数		ASCII	16 進数	
NULL	00	■ U	VT	0B	■ K	SYN	16	■ V
SOH	01	■ A	FF	0C	■ L	ETB	17	■ W
STX	02	■ B	CR	0D	■ M	CAN	18	■ X
ETX	03	■ C	SO	0E	■ N	EM	19	■ Y
EOT	04	■ D	SI	0F	■ O	SUB	1A	■ Z
ENQ	05	■ E	DLE	10	■ P	ESC	1B	■ A
ACK	06	■ F	DC1	11	■ Q	FS	1C	■ B
BEL	07	■ G	DC2	12	■ R	GS	1D	■ C
BS	08	■ H	DC3	13	■ S	RS	1E	■ D
HT	09	■ I	DC4	14	■ T	US	1F	■ E
LF	0A	■ J	NAK	15	■ U	DEL	7F	■ F

Code128

- 自動変換をOFFにした場合のみ、先頭の2桁にスタートコードを入れます。自動変換をONにした場合には、自動的にコード選択キャラクターを選択するため、アプリケーションはコード選択キャラクターを指定する必要はありません。
 - * コード選択キャラクターCODE Aを選択した状態でさらにCODE Aを選択する {Aを指定するとエラーになります。
 - * コード選択キャラクターCODE Bを選択した状態でさらにCODE Bを選択する {Bを指定するとエラーになります。
 - * コード選択キャラクター CODE C を選択した状態で、下記のどれかを指定するとエラーになります。
{S {C {2 {3 {4 {{
- 特殊キャラクターは、'{'と直後の1文字を組み合わせて表現されます。

制御キャラクター	ASCII	HRI文字
SHIFT	{S	印字しない
CODE A	{A	印字しない
CODE B	{B	印字しない
CODE C	{C	印字しない
FNC1	{1	印字しない
FNC2	{2	印字しない
FNC3	{3	印字しない
FNC4	{4	印字しない
'{'	{}{	{を印字

GS1-128

- ・アプリケーション識別子の区切りを () で区別します。(HRI 文字として印字されますが、エンコードはされません。)
- ・スタートコード (CODE A、CODE B、CODE C)、ストップコードは自動的に付加されます。
- ・スタートコードの次のシンボルキャラクター FNC1 は自動的に付加されます。
- ・'*' を指定すると、読み飛ばします。
- ・アプリケーション識別子は、連続した 2 行の数値を指定する必要があります。正しく指定されていない場合、エラーになります。
- ・特殊キャラクターは '{' と直後の 1 文字を組み合わせて表現されます。
- ・データが '{' で、直後のデータが以下に該当しない場合、エラーになります。

制御キャラクター	ASCII	HRI 文字
制御文字 (00h ~ 1Fh および 7Fh)		スペースを印字
FNC1	{ 1	スペースを印字
'{	{ {	{ を印字
'({ ((を印字
')'	{)) を印字
'*'	{ *	* を印字
アプリケーション識別子の左カッコ	((を印字
アプリケーション識別子の右カッコ)) を印字
読み飛ばし文字	*	印字しない

GS1 DataBar Omnidirectional / GS1 DataBar Truncated / GS1 DataBar Limited

- ・先頭のアプリケーション識別子 01 はデータに含めません。
- ・HRI 文字印刷時に、先頭のアプリケーション識別子 01 は、梱包識別コードの前に "(01)" と印字されます。
- ・チェックディジットをバーコードデータに付加する必要はありません。
- ・HRI 文字印刷時に、チェックディジットは商品コードの後に印字されます。
- ・GS1 DataBar Limited の場合、先頭 1 行は '0' か '1' を指定してください。

GS1 DataBar Expanded

- ・アプリケーション識別子の区切りを () で区別します。(HRI 文字として印字されますが、エンコードはされません。)
- ・データに必ず、全てのアプリケーション識別子を含めてください。
- ・指定されたデータから、アプリケーション識別子、左カッコ、右カッコ、'*' を削除した最初データが O1 の場合、O1 の次から数えて 14 衍目をチェックディジットとしてチェックされます。正しくない場合、エラーになります。
- ・O1 の次からのデータが 14 衍未満の場合、チェックディジットをチェックされません。
(GS1-128 とは異なり、文字 '*' によるチェックディジットの自動計算と付加はされません。'*' を指定した場合、'*' は無視され、以降のデータは 1 衍ずつシフトされます。)
- ・特殊キャラクターは以下の形式で指定してください。

制御キャラクター	ASCII	HRI 文字
FNC1	{1	印字しない
アプリケーション識別子の左カッコ	((を印字
アプリケーション識別子の右カッコ)) を印字
'*'	{*	エラー
読み飛ばし文字	*	印字しない
'{'	{}	{ を印字

印刷方法

アプリケーション上で、印刷データに設定した [バーコードフォント]、[指定ポイント]、[言語] を指定し、印刷します。



- バーコードのフォントサイズは、[指定ポイント] の値から変更できません。それ以外の値を指定すると、バーコードは印刷されません。
- .NET アプリケーションなど、一部のアプリケーションではプリンタードライバーが登録したバーコードフォントを表示 / 選択できない場合があります。その場合は、「フォントの置き換え」機能を用いて、True Type フォントをバーコードフォントへ置き換えることでバーコード印刷ができます。[125 ページ 「.NET 環境でバーコード / 2 次元シンボル印刷」](#) を参照してください。

2次元シンボル印刷

プリンタードライバーは、2次元シンボルフォントを内蔵しています。アプリケーション側で2次元シンボルを生成しなくても、2次元シンボルを印刷できます。

2次元シンボルフォントの設定

2次元シンボルの印刷設定は、[ドライバユーティリティ] タブの [バーコード / 2次元シンボルフォント設定] で行います。



1 以下の設定を行います。

- 表示： [2次元シンボル] を選択します。
- フォント名： 任意の文字列を入力します。これが2次元シンボルフォントのフォント名になります。入力できる文字は ASCII のみです。
- タイプ： 2次元シンボルのタイプを選択します。選択したタイプにより、表示される設定項目が切り替わります。
- 回転指定： 2次元シンボルを回転させて印刷するときに選択します。
- Hex入力モード： 2次元シンボルに対するデータをHex入力モードで指定するときは、チェックします。
- 余白設定： 2次元シンボルの背景は透過されています。[余白設定] にチェックを入れると、透過された背景を白色で塗りつぶして印刷します。
余白の幅は [上余白]、[左余白]、[下余白]、[右余白] にそれぞれ設定します。

2 選択した【タイプ】により、設定をします。

• PDF417 の設定

- * モジュール幅 : PDF417 のモジュール幅を設定します。
推奨値は、[121ページ「モジュールの推奨値」](#)を参照してください。
- * モジュール高さ : PDF417 のモジュール高さを、モジュール幅に対する比率で設定します。
推奨値は、[121ページ「モジュールの推奨値」](#)を参照してください。
- * 衍数 : PDF417 の衍数を入力します。
- * 段数 : PDF417 の段数を入力します。
- * トランケーションシンボル : PDF417 のストップコードを省いたシンボルを作成するときは、チェックします。
- * エラー訂正レベル : PDF417 のエラー訂正レベルを選択します。シンボルの一部が破損してもデータを読み取ることができ、数字が大きいほど復元率が高くなります。

• MicroPDF417 の設定

- * モジュール幅 : MicroPDF417 のモジュール幅を設定します。
推奨値は、[121ページ「モジュールの推奨値」](#)を参照してください。
- * モジュール高さ : MicroPDF417 のモジュール高さを、モジュール幅に対する比率で設定します。
推奨値は、[121ページ「モジュールの推奨値」](#)を参照してください。
- * 衍数 : MicroPDF417 の衍数を入力します。
- * 段数 : MicroPDF417 の段数を入力します。

• QRCode の設定

- * モデル : QRCode のモデルを選択します。
- * モジュール : QRCode のセル(モジュール)の設定をします。
推奨値は、[121ページ「モジュールの推奨値」](#)を参照してください。
- * エラー訂正レベル : QRCode のエラー訂正レベルを選択します。シンボルの一部が破損してもデータを読み取ることができ、レベルL、M、Q、Hの順に復元率が高くなります。
- * 文字モード : QRCode に符号化する文字列のモードを指定します。

• MicroQRCode の設定

- * バージョン : MicroQRCode のバージョンを指定します。
- * モジュール : MicroQRCode のセル(モジュール)の設定をします。
推奨値は、[121ページ「モジュールの推奨値」](#)を参照してください。
- * エラー訂正レベル : MicroQRCode のエラー訂正レベルを選択します。シンボルの一部が破損してもデータを読み取ることができ、レベルL、Mの順に復元率が高くなります。

• MaxiCode の設定

- * モード : MaxiCode のモードを選択します。

• GS1 DataBar の設定

- * モジュール : GS1 DataBar のモジュール幅を設定します。
推奨値は、[121ページ「モジュールの推奨値」](#)を参照してください。
- * キャラクター数 : GS1 DataBar の最大幅を設定します。
2次元シンボルが、GS1 DataBar Expanded Stacked 選択時に設定します。

- AztecCode の設定
 - * タイプ : AztecCode のタイプを選択します。
 - * セルのサイズ : AztecCode のセル(モジュール)のサイズを設定します。
推奨値は、[121 ページ「モジュールの推奨値」](#)を参照してください。
 - * レイヤーの数 : AztecCode のレイヤー数を指定します。
 - * エラー訂正領域 : AztecCode のエラー訂正領域を以下のどちらかで指定します。シンボルの一部が破損してもデータを読み取ることができ、数字が大きいほど復元率が高くなります。
[自動] : デフォルト値は 23%+3 コードワードです。
[パーセンテージで指定する] : エラー訂正領域を入力ボックスに入力したパーセンテージで指定します。
- DataMatrix の設定
 - * シンボルの形 : DataMatrix のシンボルの形を選択します。
 - * エラー訂正レベル :
 - DataMatrix のエラー訂正レベルを選択します。
 - * セルのサイズ : DataMatrix のセル(モジュール)のサイズを設定します。
推奨値は、[121 ページ「モジュールの推奨値」](#)を参照してください。
 - * 縦方向のセルの数 :
 - DataMatrix の縦方向のセルの数を指定します。
 - DataMatrix のシンボルの形を [長方形] 選択時に設定します。
 - * 横方向のセルの数 :
 - DataMatrix の横方向のセルの数を指定します。
 - DataMatrix のシンボルの形を [長方形] 選択時に設定します。
 - [最小化する] : 自動的に最小のセルの数に最適化します。
 - [サイズを指定する] : 選択したサイズに設定します。

3 [追加] をクリックします。

設定した 2 次元シンボルフォントが登録され、フォントリストにフォント名が追加されます。



- 2 次元シンボルフォントは、30 個まで登録できます。
- フォントリストのフォント名を選択し、設定を変更してから [保存] をクリックすると、設定した 2 次元シンボルフォントの設定を上書き保存できます。
- フォントリストのフォント名を選択し、[削除] をクリックすると、設定した 2 次元シンボルフォントを削除できます。

モジュールの推奨値

モジュールの推奨値は、用紙種類、2次元シンボルの種類および印刷方向によって異なります。



- 注意**
- ドライバーの[拡張設定]タブの[印刷方向]で[横]を選択しても、QRCode、MicroQRCode、MaxiCodeは回転しません。
 - ドライバーの[拡張設定]タブの[180度回転]を選択しても、QRCode、MicroQRCode、MaxiCodeは回転しません。また、回転方向を[標準]と[270°回転]に設定していると2次元シンボルは印刷されません。

スタック型2次元シンボル

□ ANSIグレードC以上（最小モジュールサイズ600 dpi）

スタック型 2次元シンボル	印刷 方向	普通紙	上質紙	マット紙	合成紙	光沢紙	光沢 フィルム	高光沢紙
PDF417	-	5	5	5	5	5	5	5
Micro PDF	-	5	5	5	5	5	5	5
GS1 DataBar Stacked	-	5	5	5	5	5	5	5
GS1 DataBar Stacked Omnidirectional	-	5	5	5	5	5	5	5
GS1 DataBar Expanded Stacked	-	5	5	5	5	5	5	5

□ ANSIグレードB以上（最小モジュールサイズ600 dpi）

スタック型 2次元シンボル	印刷 方向	普通紙	上質紙	マット紙	合成紙	光沢紙	光沢 フィルム	高光沢紙
PDF417	-	5	5	5	5	5	5	5
Micro PDF	-	6	6	5	5	5	5	5
GS1 DataBar Stacked	-	5	5	6	5	6	6	6
GS1 DataBar Stacked Omnidirectional	-	5	5	6	5	6	6	6
GS1 DataBar Expanded Stacked	-	5	5	6	5	6	6	6



- 輸送時や設置時にプリンターに振動や衝撃が加わると、印刷できるバーコードランクが低下する可能性があります。この場合、「色ずれ調整」を実施することでバーコードランクが向上することがあります。（203ページ「色ずれ調整」）

マトリクス型 2 次元シンボル

□ ANSI グレード C 以上 (最小モジュールサイズ 600 dpi)

スタック型 2 次元シンボル	印刷 方向	普通紙	上質紙	マット紙	合成紙	光沢紙	光沢 フィルム	高光沢紙
QR Code	-	10	10	9	10	9	9	9
Micro QR	-	12	12	11	12	11	11	11
Aztec	-	8	8	8	8	8	8	8
DataMatrix	-	9	9	7	8	7	7	7
MaxiCode	-	21	21	21	21	21	21	21

□ ANSI グレード B 以上 (最小モジュールサイズ 600 dpi)

スタック型 2 次元シンボル	印刷 方向	普通紙	上質紙	マット紙	合成紙	光沢紙	光沢 フィルム	高光沢紙
QR Code	-	12	12	11	11	11	11	11
Micro QR	-	12	12	12	12	12	12	12
Aztec	-	9	9	9	9	9	9	9
DataMatrix	-	10	10	9	9	9	9	9
MaxiCode	-	21	21	21	21	21	21	21



- 輸送時や設置時にプリンターに振動や衝撃が加わると、印刷できるバーコードランクが低下する可能性があります。この場合、「色ずれ調整」を実施することでバーコードランクが向上することがあります。(203 ページ「色ずれ調整」)

2次元シンボルデータの指定方法

2次元シンボルデータは以下を参照して指定してください。

PDF417/MicroPDF417

- 桁数と段数が0の場合、自動計算されます。
- 0以外を指定する場合、桁数と段数の積が928以下になるように指定してください。

QRCode

- データのサイズによって、収まるバージョンに自動的に変更されます。

Micro QRCode

- サイズが自動的に決定されます。

MaxiCode

- 特殊キャラクターは以下の形式で指定してください。

制御キャラクター	16進数表記
SHIFT	0x7B,0x53
CODE B	0x7B,0x42
CODE C	0x7B,0x43
FNC1	0x7B,0x31
FNC2	0x7B,0x32
FNC3	0x7B,0x33
FNC4	0x7B,0x34

DataMatrix

- データが「{」で、直後のデータが以下に該当しない場合、エラーになります。

制御キャラクター	ASCII
FNC1	{1
「{」	{{

GS1 DataBar Stacked / GS1 DataBar Stacked Omnidirectional

- データの先頭にアプリケーション識別子01を含めないでください。
- データにチェックディジットを付加する必要はありません。
- コンポジットシンボル付きの2次元シンボル印刷をサポートしています。コンポジットシンボル付きの2次元シンボルを印刷する場合には、コンポジットシンボルに指定するデータとバーコードに指定するデータは、「\|」または「\」で区切ってください。また、データは、コンポジットシンボル、2次元シンボルの順に指定してください。

GS1 DataBar Expanded Stacked

- GS1 DataBar エクスパンデッドを多段シンボルにしたものです。データの指定方法は GS1 DataBar エクスパンデッドと同じです。(詳細は [116 ページ 「GS1 DataBar Expanded」](#) を参照)
- コンポジットシンボル付きの2次元シンボル印刷をサポートしています。コンポジットシンボル付きの2次元シンボルを印刷する場合には、コンポジットシンボルに指定するデータとバーコードに指定するデータは、「\」または「\\」で区切ってください。また、データは、コンポジットシンボル、2次元シンボルの順に指定してください。

AztecCode

- フルレンジモードとコンパクトモードをサポートしています。

印刷方法

アプリケーション上で、印刷データに設定した [2次元シンボルフォント]、[指定ポイント]、[言語] を指定し、印刷します。



- 2次元シンボルのフォントサイズは、[指定ポイント] の値から変更できません。それ以外の値を指定すると、2次元シンボルは印刷されません。
- .NET アプリケーションなど、一部のアプリケーションではプリンタードライバーが登録した2次元シンボルフォントが表示 / 選択できない場合があります。その場合は、「フォントの置き換え」機能を用いて、True Type フォントを2次元シンボルフォントへ置き換えることでバーコード印刷ができます。[125 ページ 「.NET 環境でバーコード/2次元シンボル印刷」](#) を参照してください。

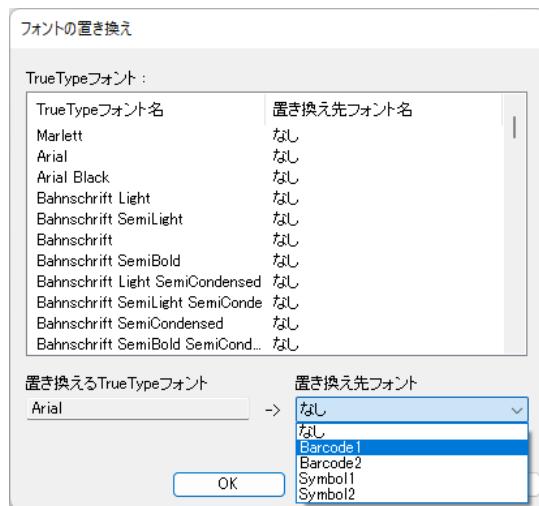
.NET環境でバーコード/2次元シンボル印刷

.NET Framework は、True Type フォントと Open Type フォントだけをサポートしているため、アプリケーションから、プリンタードライバーに登録されたバーコード/2次元シンボルフォントを印刷できません。このため、プリンタードライバーのフォント置き換え機能を使って、True Type フォントをバーコード/2次元シンボルフォントに置き換えます。これにより .NET Framework 環境のアプリケーションからでも、バーコード/2次元シンボルフォントを印刷できます。

アプリケーションの印刷データは True Type フォント名ですが、印刷するとバーコード/2次元シンボルになります。

フォントの置き換え

フォントの置き換えは、[ドライバーユーティリティー] タブの [フォントの置き換え] で設定します。



1 以下の設定を行います。

- 置き換える True Type フォント
 - * 置き換え元の [True Type フォント] を選択します。
- 置き換え先フォント
 - * 置き換える先のバーコード/2次元シンボルを選択します。

2 [OK] をクリックします。

True Type フォントが、バーコード/2次元シンボルに置き換えられます。

バーコード / 2次元シンボルの印刷

印刷データに、バーコード / 2次元シンボルフォントに置き換えた True Type フォント、指定されたポイント数、言語を指定します。



- バーコード / 2次元シンボルのポイント数は決められています。
[ドライバーユーティリティー] - [バーコード / 2次元シンボル設定] で確認してください。それ以外の値を指定すると、バーコード / 2次元シンボルは印刷しません。
- 置き換え元の True Type フォントは、バーコード / 2次元シンボルの指定以外は使用できません。このフォントで他の文字を指定しても印刷しません。そのため、置き換えフォントには印刷に使用しないフォントを選択してください。

ユーザー定義情報

ユーザー定義情報には以下のものが含まれます。

- ユーザー定義用紙
- バーコードフォントの登録
- .NET 環境のフォント置き換え

ユーザー定義情報は、クライアントコンピューターごとに1つ設定されます。

1台のコンピューターに複数のプリンタードライバーがインストールされている場合、これらは共通で使用できます。

プリンタードライバー設定の書き出し / 取り込み

お気に入り設定、ユーザー定義情報（用紙レイアウト、バーコード）、プリンタードライバーの動作設定をBSFファイル（拡張子.BSF）に書き出すことができます。また、BSFファイルから設定を取り込んでプリンタードライバーを設定することもできます。



- プリンタードライバーの「お気に入り」は、本製品の「お気に入り」とは別の機能です。プリンタードライバーの設定用ファイルに、本製品の「お気に入り」を含めることはできません。
- 機種間で異なる仕様に対して不定値が混入してしまうことを回避するため、BSFファイル内に機種名を保管しており、取り込み時に機種名をチェックしています。そのため、同一の機種名でのみ設定の書き出し / 取り込みが行えます。

☞ 128ページ「設定の書き出し」

☞ 130ページ「設定の取り込み」

設定の書き出し

以下の手順で、設定を書き出します。

1 印刷設定が、「お気に入り」に登録されていることを確認してください。



「お気に入り」に複数の登録情報がある場合、全ての登録情報を BSF ファイルに書き出します。BSF ファイルを取り込むと、設定リストの一番上にある登録情報が反映されます。必要に応じて登録情報の順番を編集してください。

お気に入り登録/削除

設定リスト：

お気に入り1

お気に入り3

上へ 下へ

設定名： お気に入り1

コメント：

作成日時： 2023/11/13 14:28:23

保存 削除 キャンセル

お気に入り登録/削除

設定リスト：

お気に入り2

お気に入り3

上へ 下へ

設定名： お気に入り2

コメント：

作成日時： 2023/11/13 14:28:30

保存 削除 キャンセル

お気に入り登録/削除

設定リスト：

お気に入り3

お気に入り1

上へ 下へ

設定名： お気に入り3

コメント：

作成日時： 2023/11/13 14:28:39

保存 削除 キャンセル

取り込み時、「お気に入り 1」
が反映される。

取り込み時、「お気に入り 2」
が反映される。

取り込み時、「お気に入り 3」
が反映される。

「お気に入り」の順番は、「お気に入り登録 / 削除」画面を開き、設定リストに登録されている印刷設定を選択して、[上へ] または [下へ] をクリックすることで編集できます。

お気に入り登録/削除

設定リスト：

初期設定
お気に入り1
お気に入り2
お気に入り3

上へ 下へ

設定名： お気に入り3

コメント：

作成日時： 2023/11/13 14:28:39

保存 削除 キャンセル

お気に入り登録/削除

設定リスト：

初期設定
お気に入り1
お気に入り3
お気に入り2

上へ 下へ

設定名： お気に入り3

コメント：

作成日時： 2023/11/13 14:28:39

保存 削除 キャンセル

お気に入り登録/削除

設定リスト：

初期設定
お気に入り3
お気に入り1
お気に入り2

上へ 下へ

設定名： お気に入り3

コメント：

作成日時： 2023/11/13 14:28:39

保存 削除 キャンセル

● 「お気に入り」に登録されていない場合、プリンタードライバーの初期設定が反映されます。

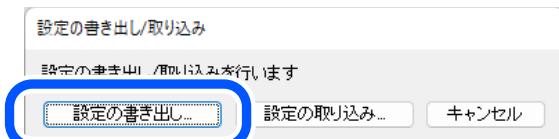
2 [ドライバーウーティリティ] タブを選択します。[設定の書き出し / 取り込み] をクリックします。



 BSF ファイルの保存は、[基本設定] から行ってください。標準の設定から行うと、プリンタードライバーの画面の内容と異なる内容が書き出されます。

- 基本設定：
プリンタードライバーのプロパティー - [全般] - [基本設定]
- [ドライバーウーティリティ] - [設定の書き出し / 取り込み]
- 標準の設定：
プリンタードライバーのプロパティー - [詳細設定] - [標準の設定]
- [ドライバーウーティリティ] - [設定の書き出し / 取り込み]

3 [設定の書き出し / 取り込み] 画面が表示されます。[設定の書き出し] をクリックします。



4 ファイルの保存画面が表示されます。名前をつけて BSF ファイルを保存します。

5 処理の完了画面が表示されます。[OK] をクリックします。

 BSF ファイルには、ユーザーが定義した「お気に入り」の印刷設定が反映されます。「現在の設定」の印刷設定は反映されません。

設定の取り込み



BSF ファイルから設定を取り込むと、プリンタードライバーの設定は上書き保存されます。そのため、以下の既存設定を残したい場合は、既存設定を含めて BSF ファイルを作成してください。

- お気に入りリスト
- ユーザー定義した用紙リスト
- バーコードフォントリスト
- バーコードフォントの置き換えリスト

以下の手順で、設定を取り込みます。

- 1 [ドライバーユーティリティー] タブを選択します。[設定の書き出し / 取り込み] をクリックします。
- 2 [設定の書き出し / 取り込み] 画面が表示されます。[設定の取り込み] をクリックします。
- 3 確認画面が表示されます。[OK] をクリックします。
- 4 開く画面が表示されます。取り込むファイルを選択します。
- 5 処理の完了画面が表示されます。[OK] をクリックします。

6 印刷設定が、「お気に入り」に登録されていることを確認してください。



- 「お気に入り」に複数の登録情報がある場合、設定リストの一番上にある登録情報が反映されます。目的の登録情報が反映されない場合は、設定リストの順番を修正し、もう一度 BSF ファイルを書き出してください。



取り込み時、「お気に入り 1」が反映される。

取り込み時、「お気に入り 2」が反映される。

取り込み時、「お気に入り 3」が反映される。

- 「お気に入り」の順番は、「お気に入り登録 / 削除」画面を開き、設定リストに登録されている印刷設定を選択して、[上へ] または [下へ] をクリックすることで編集できます。



- 「お気に入り」に登録されていない場合、プリンタードライバーの初期設定が反映されます。
- 以下の場合、BSF ファイルには互換性がありません。
 - * 異なるドライバーバージョン間
 - * 異なる Windows ビルド / バージョン間
 - * 異なる Windows アーキテクチャ間 (32 ビット / 64 ビット)

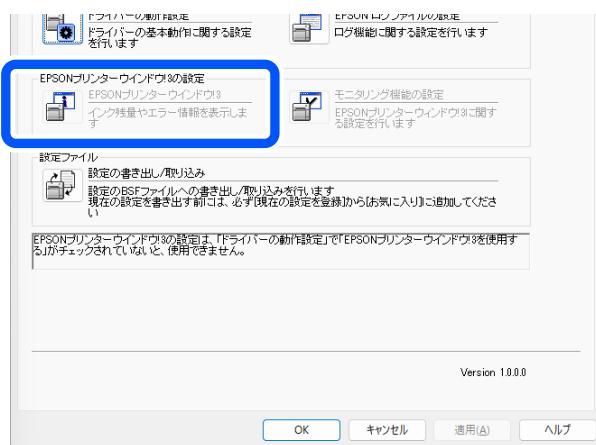
EPSON プリンタウィンドウ !3 の設定

EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用すると、印刷したときに用紙種類やインク残量をポップアップウィンドウで表示します。また、致命的なエラーが発生したときには、エラー画面を表示します。

初期設定では「使用しない」に設定されています。

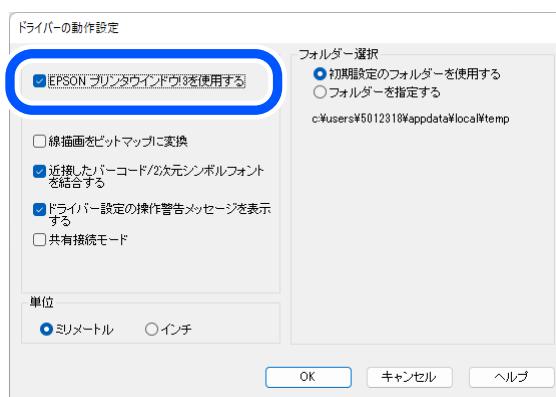
EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用する / 使用しない

初期設定では、「EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用しない」になっています。

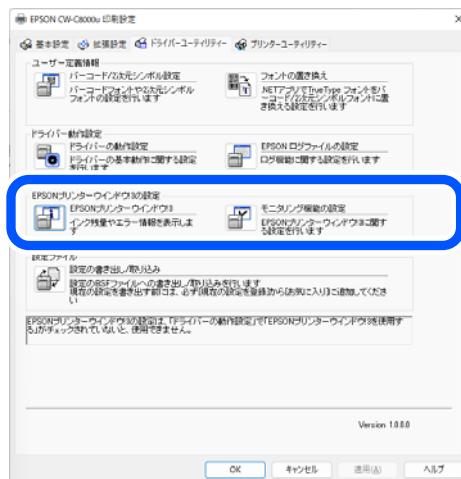


「EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用する」にする方法は以下の通りです。

- 1 本製品の電源を入れます。
- 2 プリンタードライバーを表示します。
- 3 [ドライバーユーティリティー] タブを選択し、[ドライバー動作設定] の [ドライバーの動作設定] をクリックします。
- 4 [ドライバーの動作設定] 画面が表示されます。[EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用する] にチェックし、[OK] をクリックします。



5 [ドライバユーティリティー] 画面の [EPSON プリンタウィンドウ !3 の設定] には、[EPSON プリンタウィンドウ !3] と [モニタリング機能の設定] が表示されます。



EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用する

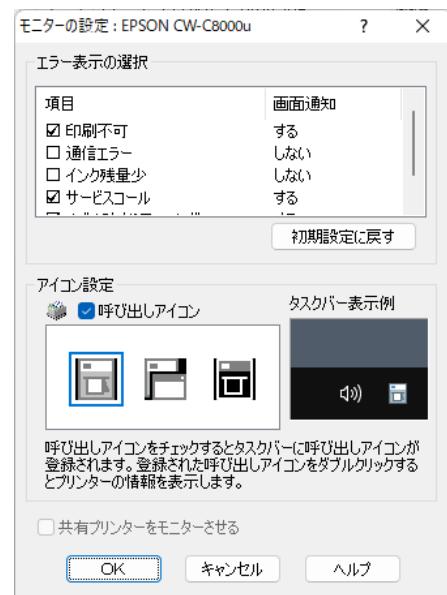
「EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用する」に設定すると以下の動作をします。

- 印刷時に自動的に画面が表示され、プリンターの状態やインク残量を確認することができます。
- プリンタードライバーの基本タブ内から消耗品情報を確認できます。
- 印刷中のプリンターにエラーが発生すると、エラー内容が表示されます。
印刷していないときは、プリンターがエラーになっても、EPSON プリンタウィンドウ !3 は起動しません。
- タスクトレイの「EPSON プリンタウィンドウ !3」のアイコンをクリックすると、いつでも「EPSON プリンタウィンドウ !3」を表示させることができます。

(アイコンの表示方法は、136 ページ「アイコンの表示」を参照してください。)



- 「モニタリング機能の設定」では、以下の設定ができます。
「EPSON プリンターウィンドウ !3」アイコンを、タスクバーに表示させる。
(136 ページ「アイコンの表示」を参照してください。)



エラー通知設定

EPSON プリンターウィンドウ !3 を使用する場合の、エラー通知方法は以下の通りです。

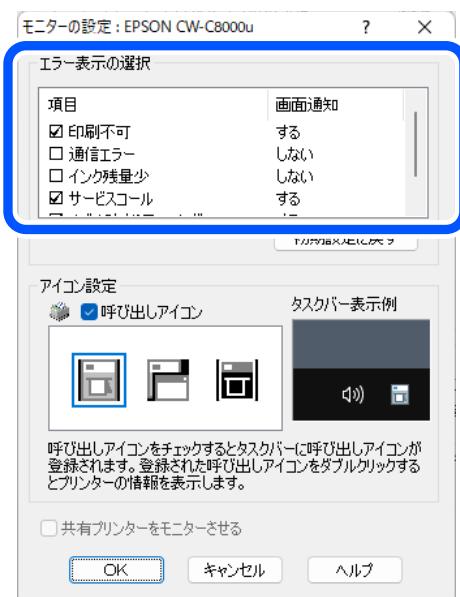
1 本製品の電源を入れます。

2 プリンタードライバーを表示します。

3 [ドライバーアユーティリティー] タブを選択し、[モニタリング機能の設定] をクリックします。

EPSON プリンターウィンドウ !3 が無効の場合、[モニタリング機能の設定] は表示されません。（[132 ページ「EPSON プリンターウィンドウ !3 を使用する / 使用しない」](#) を参照して、EPSON プリンターウィンドウ !3 を有効にしてください。）

4 [モニターの設定] 画面が表示されます。エラー発生時に表示させたい項目をチェックし、[OK] をクリックします。



•印刷不可：

用紙 / インク交換発生時（初期設定：画面通知 [する]）

•通信エラー：

プリンターの電源が切れている時（初期設定：画面通知 [しない]）

•インク残量少：

インク残量少時（初期設定：画面通知 [しない]）

•サービスコール：

プリンターエラー発生時（初期設定：画面通知 [する]）

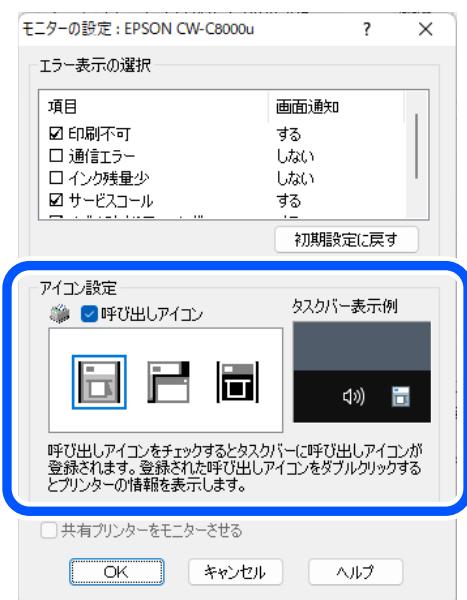
•ノズル詰まりワーニング：

ノズル詰まり時（初期設定：画面通知 [する]）

アイコンの表示

タスクトレイにアイコンを常駐させ、プリンターの状態をすぐに確認することができます。初期設定ではアイコンを表示しません。アイコンの表示方法は以下の通りです。

- 1** 本製品の電源を入れます。
- 2** プリンタードライバーを表示します。
- 3** [ドライバーユーティリティー] タブを選択し、[モニタリング機能の設定] をクリックします。
- 4** [モニターの設定] 画面が表示されます。[呼び出しアイコン] をチェックし、タスクバーに表示するアイコンの種類を選択します。[OK] をクリックします。



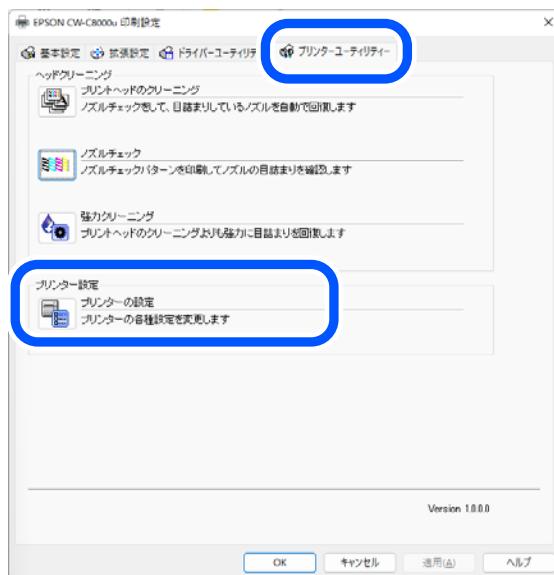
プリンタードライバーから PrinterSetting を起動する

以下の手順でプリンタードライバーから PrinterSetting を起動します。



本手順で PrinterSetting を起動すると、一部の設定ができません。
(184 ページ 「PrinterSetting (Windows)」)

- 1 プリンタードライバーを表示します。
- 2 [プリンターユーティリティー] タブを選択し、[プリンターの設定] をクリックします。

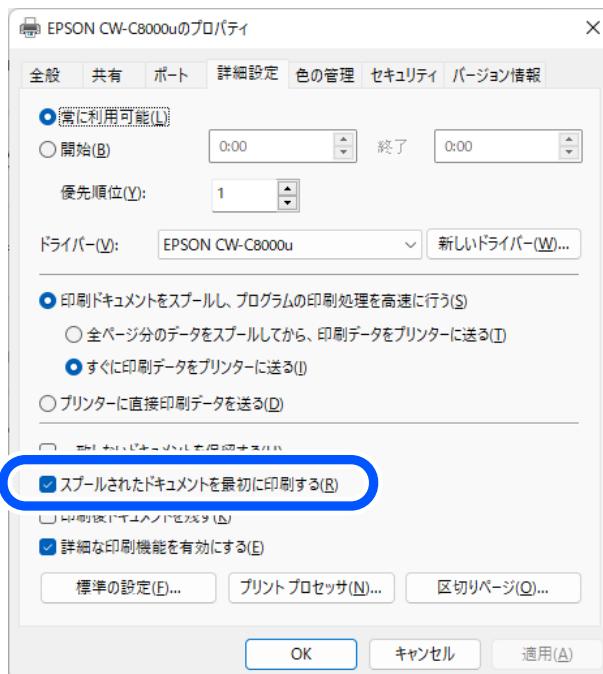


- 3 [CW-C8000 Series PrinterSetting] 画面が表示されます。



プリンタードライバーの制限事項

- ・プリンタードライバーではプリセット画像の印刷はできません。
- ・複数のジョブを順番どおりに印刷したい場合、[スプールされたドキュメントを最初に印刷する]を無効に設定してください。[スプールされたドキュメントを最初に印刷する]を有効にして複数のジョブを印刷した場合、印刷実行順と出力順が異なることがあります。

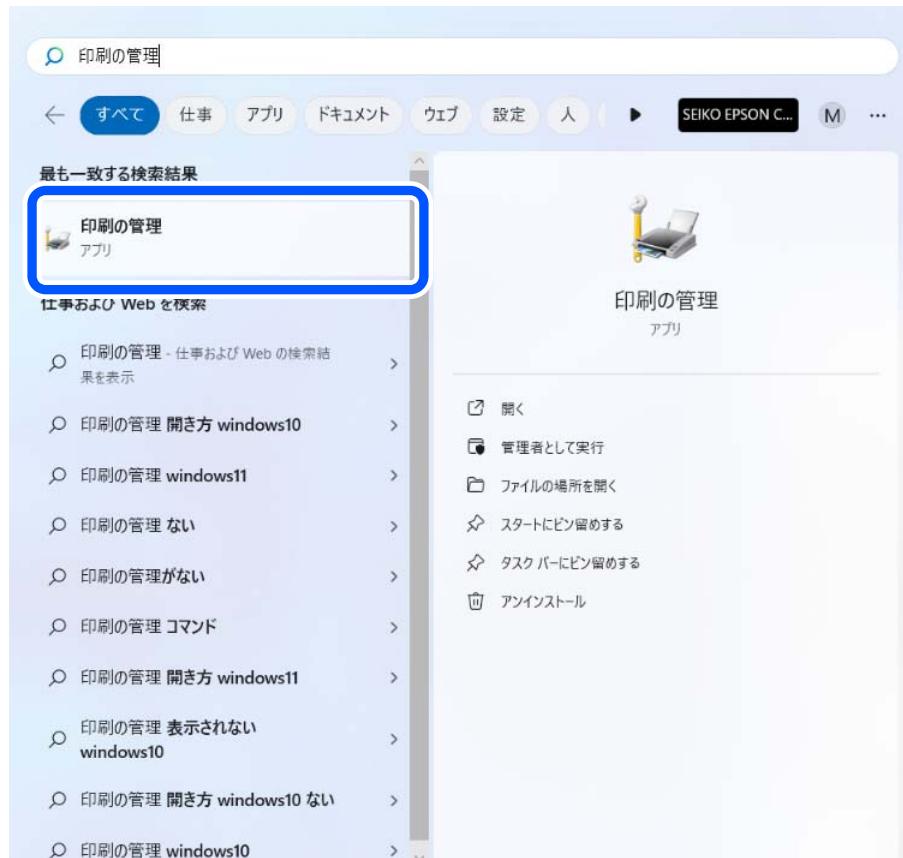


- ・エプソンのプリンタードライバーを使用する場合は、ESC/Label コマンドのコントロールプレフィックス、フォーマットプレフィックス、デリミタ文字の設定は初期値のまま使用してください。変更した場合、印刷が行われないか、意図しない印刷がされるようになります。
初期値は [223 ページ「操作パネルの設定項目」](#) の [プリンタ設定] - [印刷設定] - [コマンド制御] の項目を参照

プリンタードライバーの分離

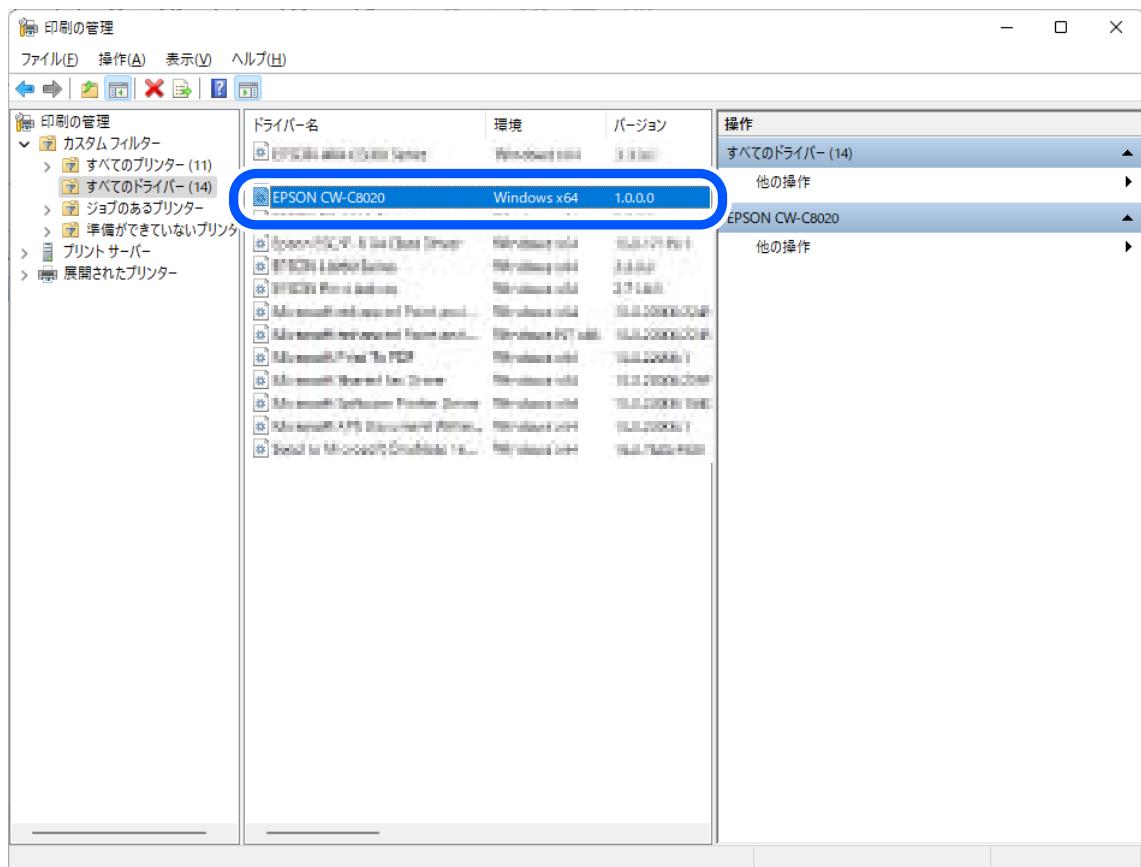
プリンタードライバーの分離により、印刷スプーラーを実行するプロセスとは別のプロセスでプリンタードライバーを実行することで、Windows印刷サービスの信頼性が向上します。
分離方法は以下の通りです。

1 [スタート] - [Windows管理ツール] - [印刷の管理] の順で選択します。



2

[ドライバ名] から [EPSON CW-C8020] を選択します。

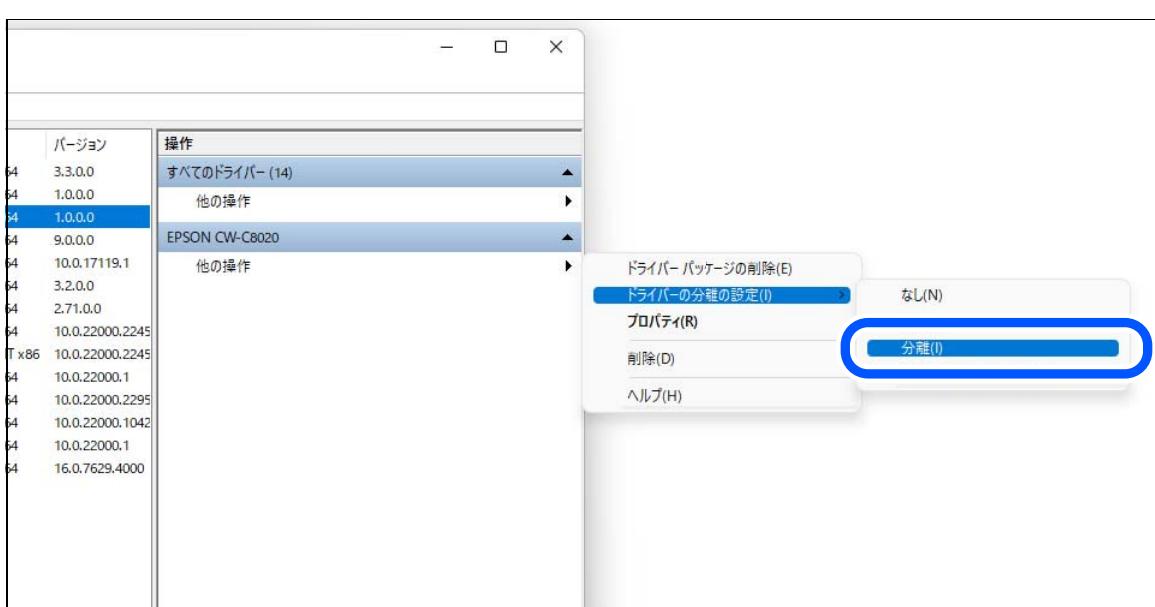


登録名が EPSON CW-C8020 の場合です。



3

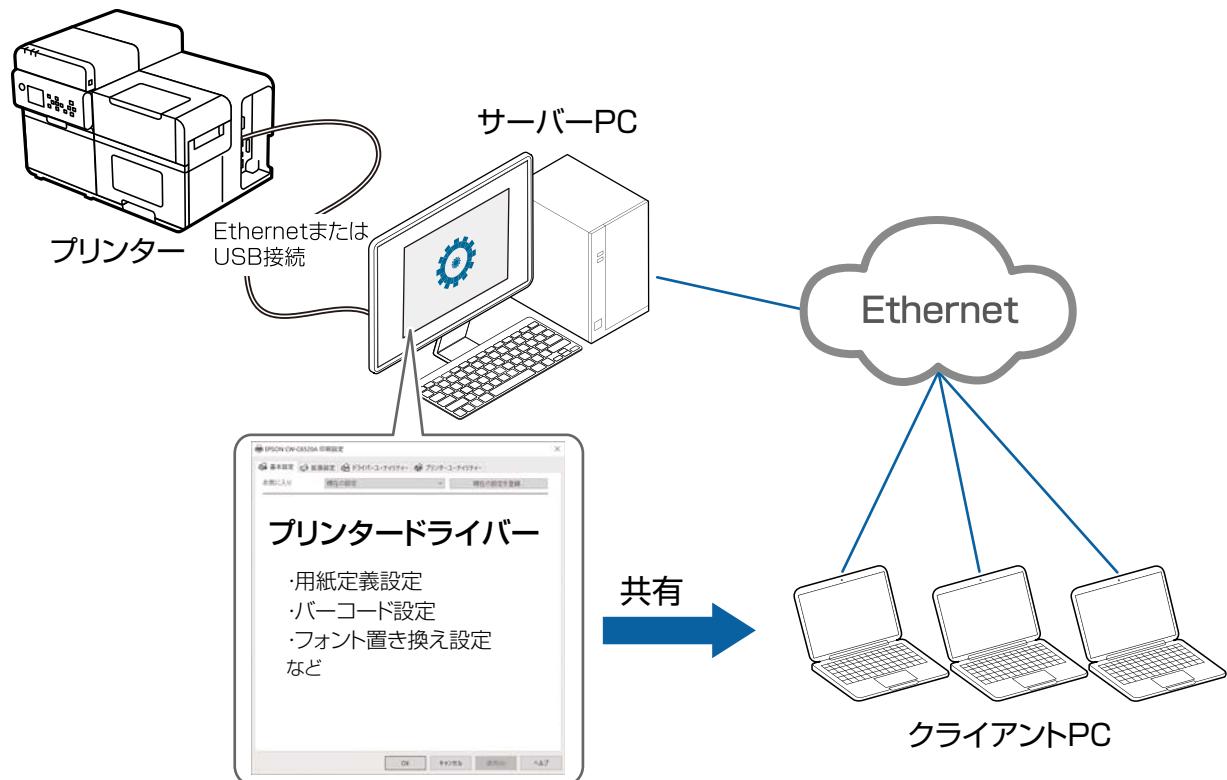
[操作] - [他の操作] - [ドライバの分離の設定] - [分離] を選択します。



サーバーPCのプリンタードライバーを共有して印刷する

サーバーPCにインストールしたプリンタードライバーを、複数のクライアントPCから共有して使用できます。サーバーPCのプリンタードライバーの設定をクライアントPC側もそのまま使用できるため、各種印刷設定を簡単に共有できます。

また、複数台のPCにそれぞれプリンタードライバーをインストールして設定するという手間が省けます。



重要

システム環境により、プリンタードライバーから PrinterSetting (184 ページ) を起動することができない場合があります。163 ページ「PrinterSetting 機能の制限事項」



Ethernet 接続の場合、サーバーPCと同じネットワークであれば複数台のプリンターを制御できます。

以下の流れで設定します。詳細手順は各参照先をご覧ください。

サーバーPCでの設定

1. プリンタードライバーをインストールする ([49 ページ](#))
通常のインストールと同様の手順で行います。
2. プリンターのプロパティで共有設定をする ([143 ページ](#))
3. プリンタードライバーで共有接続モードを有効にする ([145 ページ](#))
4. プリンタードライバーに用紙定義などの設定を追加する
[97 ページ「ユーザー定義用紙」](#)、[107 ページ「バーコード印刷」](#)など参照
5. プリンタードライバーで印刷の初期設定を変更する ([148 ページ](#))
プリンタードライバーの印刷設定の初期設定をよく使う設定に変更します。



クライアントPCでの設定

1. サーバーPCに接続する ([150 ページ](#))
2. 共有されたプリンタードライバーの設定を確認する ([157 ページ](#))
「サーバーPCでの設定」の手順3～5が反映されていることを確認します。



重要

- 共有接続はサーバーPC、クライアントPC、プリンター全てが接続され稼働していることが前提の機能です。
- 用紙定義やバーコードフォントなどを追加して共有する場合、必ず「共有接続モード」を有効にする手順を行った後に追加してください。[共有接続モード] が有効か否かでそれらの保存先が切り替わるため、有効にする前に追加されたものは引き継がれません。
- 共有情報の設定は管理者権限でのみ追加や変更ができます。
ユーザー権限アカウントでは、サーバーPC、クライアントPCのどちらからも書き込みはできないため、下記の機能での新規追加や、編集、削除は無効になります。
 - * 用紙定義設定
 - * バーコード / 2次元シンボル設定
 - * フォント置換
 - * お気に入り設定
- サーバーPCとクライアントPCが接続されていない場合は、共有情報の設定は変更できません。

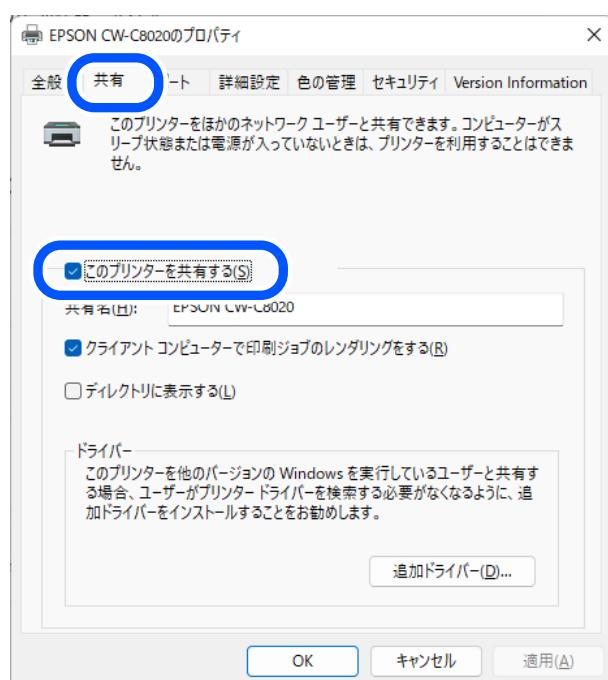
サーバーPCでの設定

プリンターのプロパティで共有設定をする

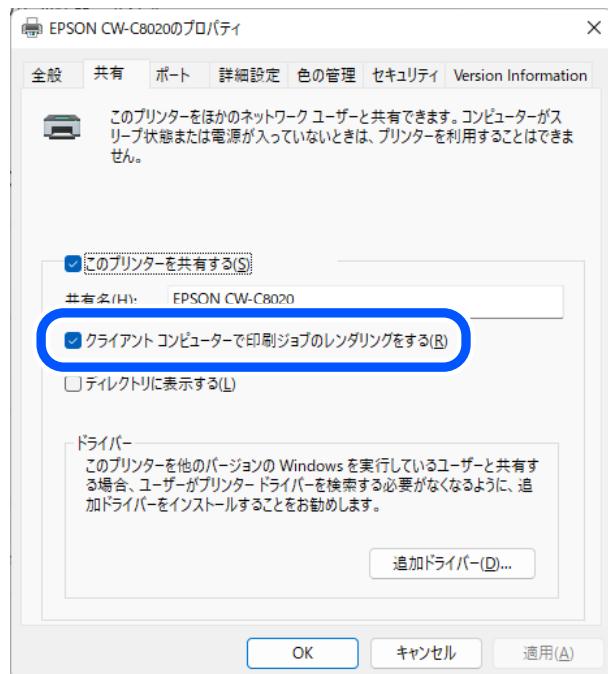
- 1 [プリンターとスキャナー] を開きます。
- 2 共有したいプリンターをクリックし、[プリンターのプロパティ] をクリックします。
プロパティ画面が表示されます。



- 3 [共有] タブをクリックし、[このプリンターを共有する] にチェックを入れます。



- 4 [クライアントコンピューターで印刷ジョブのレンダリングをする] にチェックを入れます。



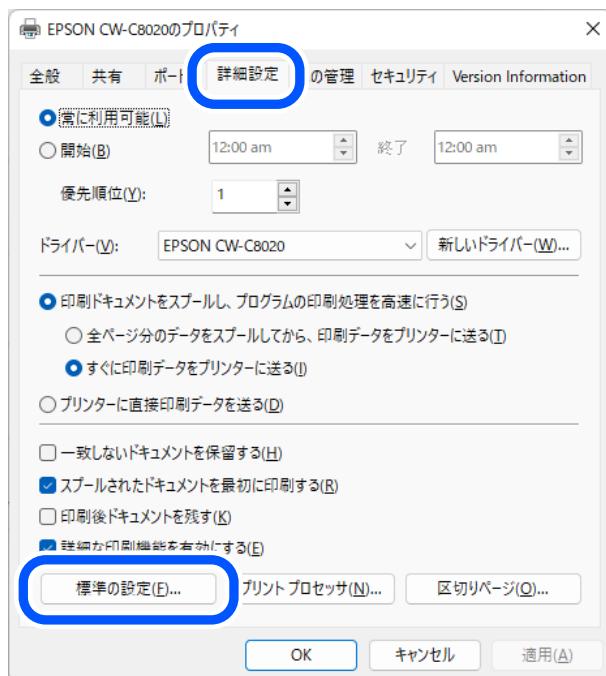
- 5 [OK] をクリックします。

プリンタードライバーで共有接続モードを有効にする

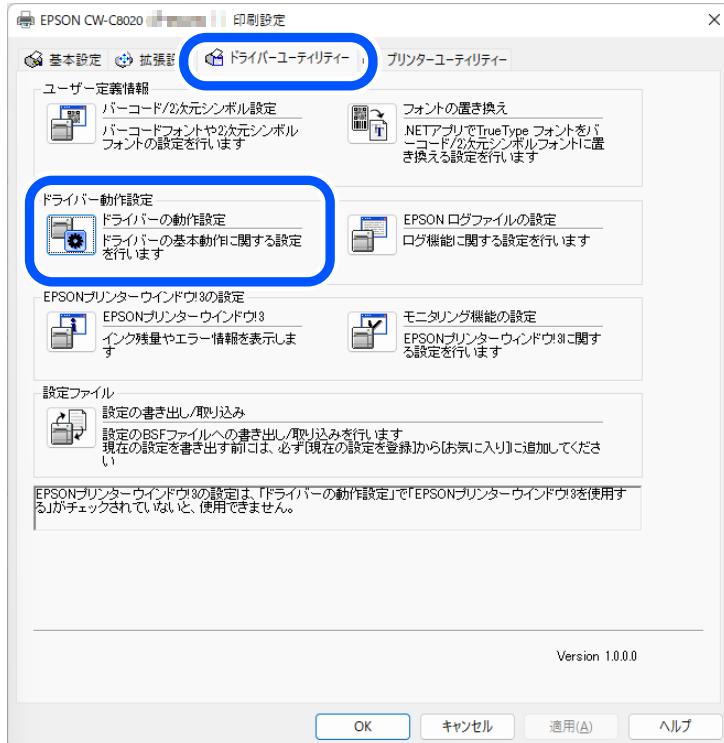
- 1 [プリンターとスキャナー] を開きます。
- 2 共有したいプリンターをクリックし、[プリンターのプロパティ] をクリックします。
プロパティ画面が表示されます。



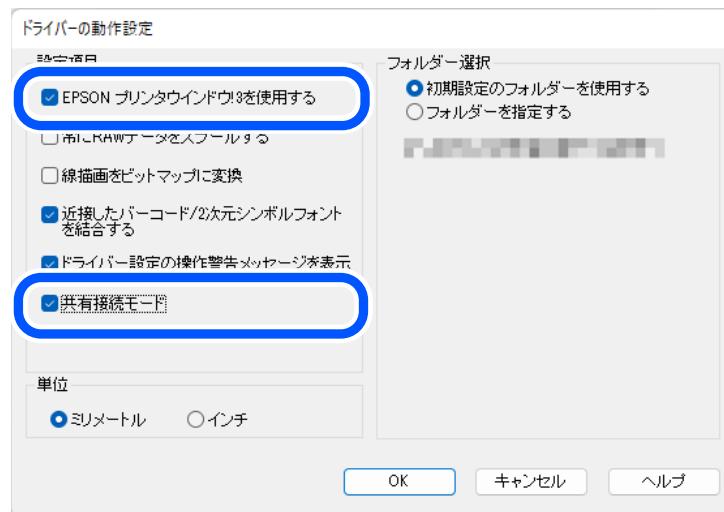
- 3 [詳細設定] タブをクリックし、[標準の設定] をクリックします。



- 4 印刷設定の画面が開いたら、「ドライバーユーティリティ」タブの【ドライバーの動作設定】をクリックします。



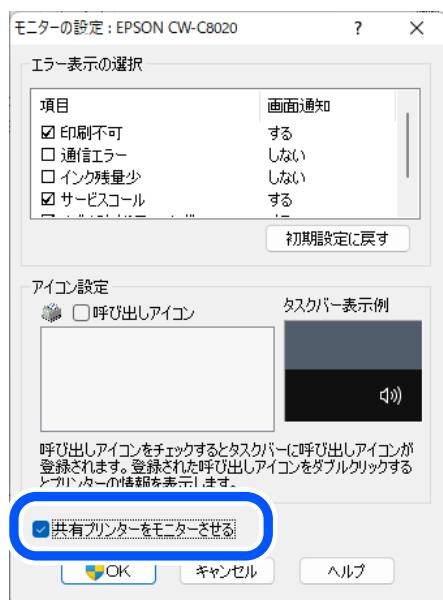
- 5 「ドライバーの動作設定」画面で【EPSON プリンタwindow !3 を使用する】と【共有接続モード】にチェックを入れます。



- 6 [OK] をクリックして、印刷設定の画面に戻ります。

- 7 「ドライバーユーティリティ」タブの【モニタリング機能の設定】をクリックします。「モニターの設定」画面が表示されます。

- 8 [共有プリンターをモニターさせる] にチェックを入れ、[OK] をクリックします。



- 9 印刷設定画面に戻ったら、[OK] をクリックします。

次回プリンタードライバーの印刷設定画面を開いたときから [共有接続モード] が有効になります。

プリンタードライバーで印刷の初期設定を変更する

[用紙定義] で追加した用紙の選択など、プリンタードライバーの印刷設定をよく使う設定にしておくことで、印刷のたびに設定する手間が省けます。

必要に応じて [用紙定義] (97 ページ「ユーザー定義用紙」参照) やバーコードフォントの追加 (107 ページ「バーコード印刷」参照) などを行ってから、以下の手順で印刷の初期設定を変更します。



重要

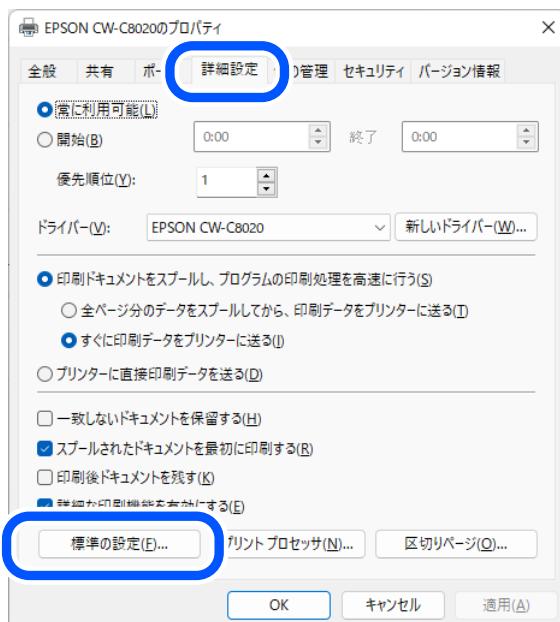
- 用紙定義やバーコードフォントなどを追加して共有する場合、必ず [共有接続モード] を有効にする手順を行った後に追加してください。[共有接続モード] が有効か否かでそれらの保存先が切り替わるため、有効にする前に追加されたものは引き継がれません。
- 共有設定後に Windows のユーザー権限アカウントでログインした場合、サーバーPCでもクライアントPCでも共有情報への書き込みが不可となるため、下記の機能での新規追加や、編集、削除は無効になります。必ず管理者権限でログインして行ってください。
 - * 用紙定義設定
 - * バーコード / 2 次元シンボル設定
 - * フォント置換
 - * お気に入り設定

1 [プリンターとスキャナー] を開きます。

2 共有したいプリンターをクリックし、[プリンターのプロパティ] をクリックします。
プロパティ画面が表示されます。



3 [詳細設定] タブをクリックし、[標準の設定] をクリックします。



4 印刷設定の画面が開いたら、用紙の選択など、印刷設定をよく使う設定に変更します。



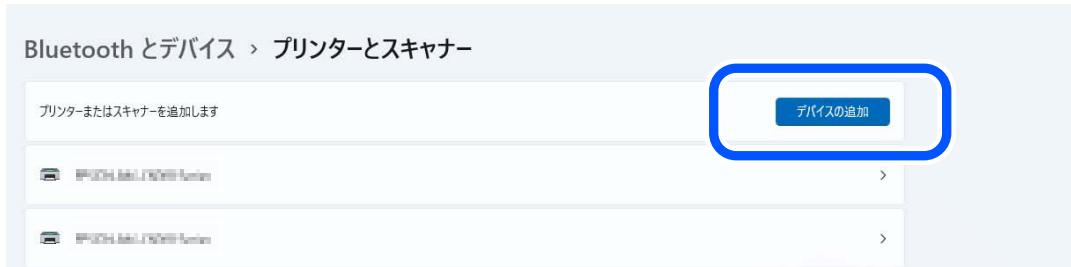
5 設定が終わったら [OK] をクリックして、設定を保存します。

以降、プリンタードライバーの印刷設定画面を開くと、ここで設定したことが反映された状態になっています。

クライアントPCでの設定

サーバーPCに接続する

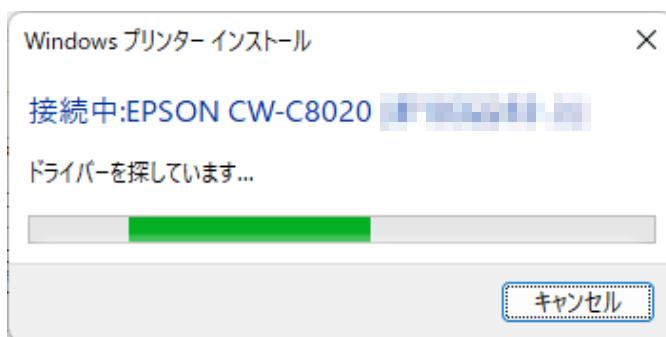
- 1 [プリンターとスキャナー]を開き、上部の【デバイスの追加】をクリックします。
プリンターの検索が始まります。



- 2 該当のプリンターが表示されたら【デバイスの追加】をクリックします。
表示されないときは、153ページ「サーバーPCに接続する（検索でプリンターが見つからないとき）」をご覧ください。



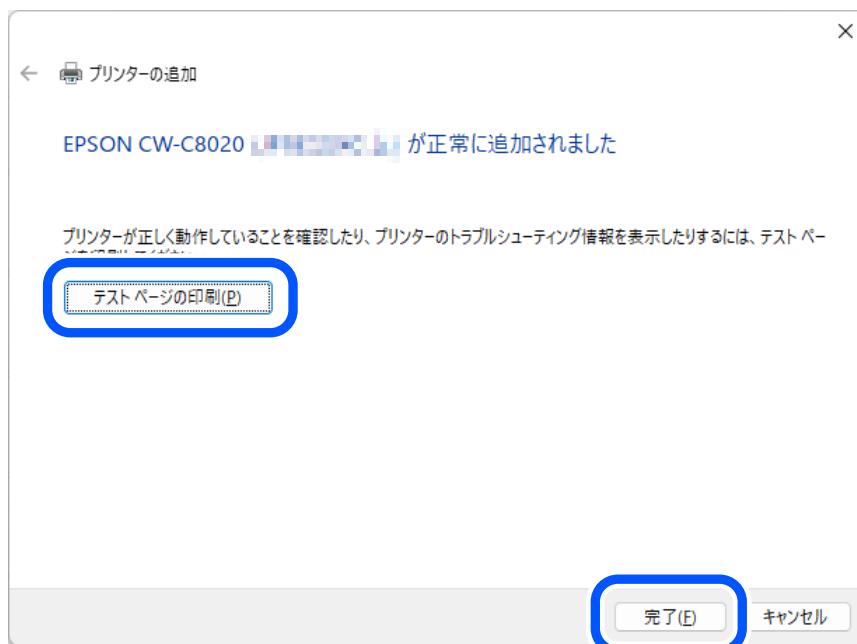
- 3 プリンタードライバーのダウンロードとインストールが開始されるので、しばらく待ちます。



- 4 正常に終了すると以下の画面が表示されます。[次へ] をクリックします。



- 5 以下の画面が表示されます。テスト印刷をするときは [テストページの印刷] を、終了するときは [完了] をクリックします。



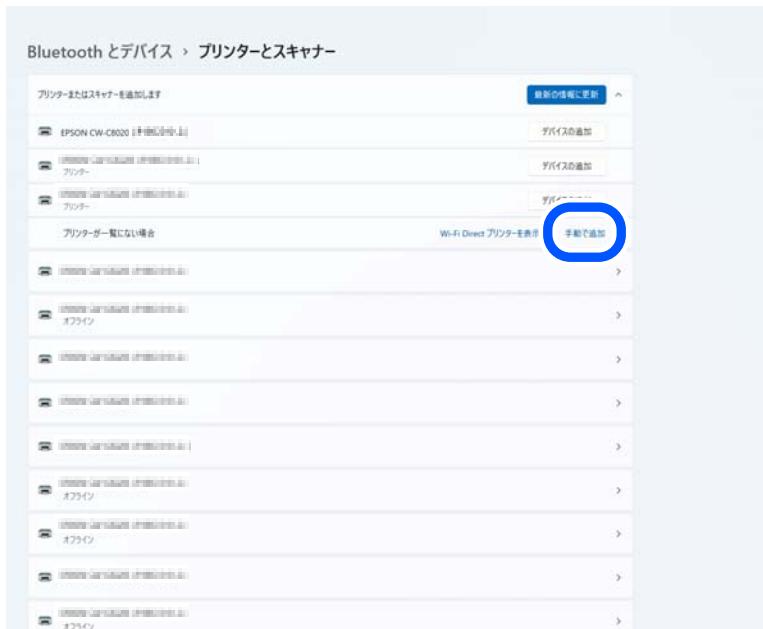
6 再度【プリンターとスキャナー】を開き、プリンターが追加されていることを確認します。



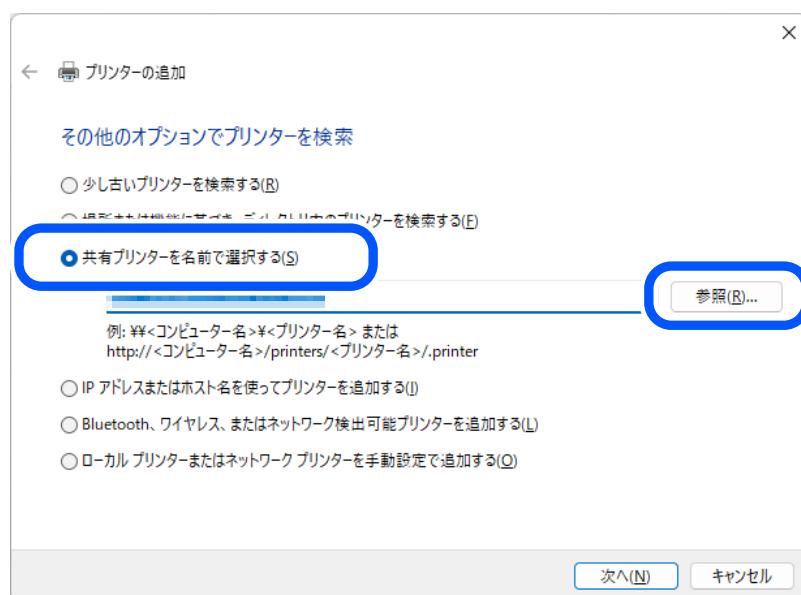
サーバーPCに接続する(検索でプリンターが見つからないとき)

[プリンターとスキャナー] の [デバイスの追加] ボタンからプリンターを検索しても、該当のプリンターが表示されないときは以下の手順に従ってください。

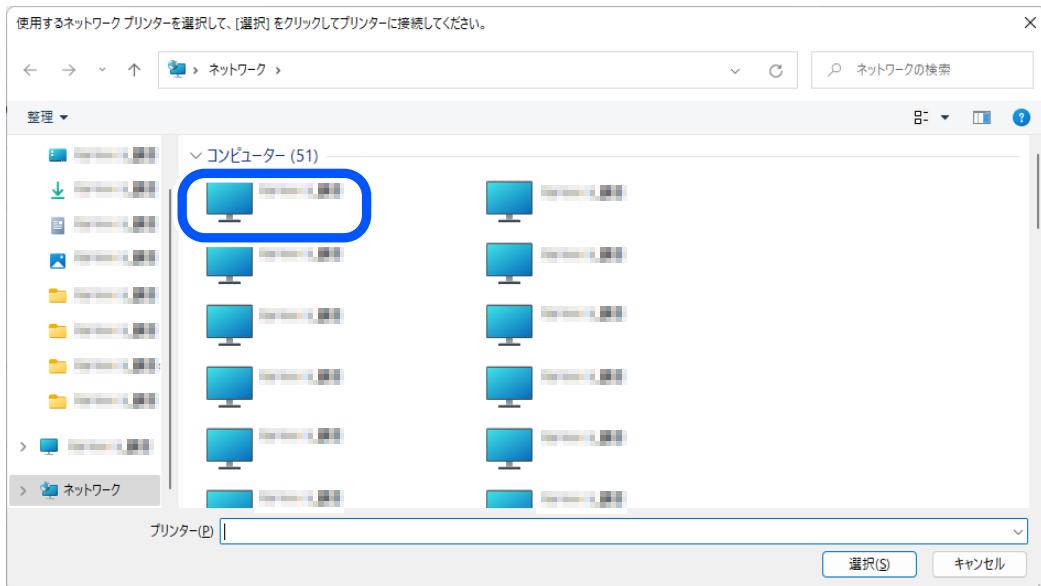
1 [プリンターが一覧にない場合] の右側の [手動で追加] をクリックします。



2 以下の画面が表示されたら [共有プリンターを名前で選択する] を選択して、[参照] をクリックします。

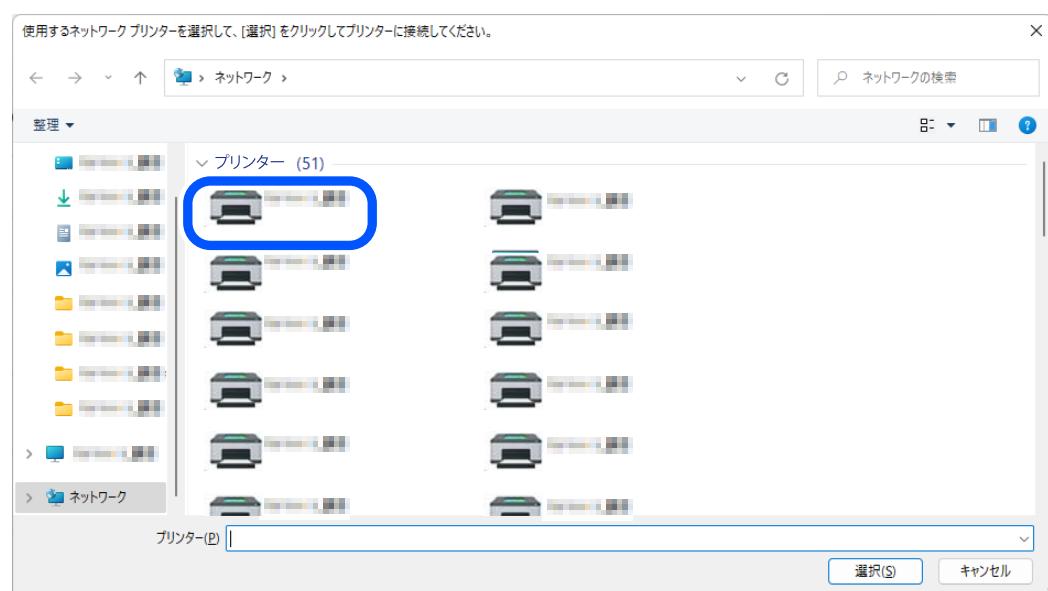


- 3 [ネットワーク] にあるサーバー PC が表示されたらクリックします。
サーバー PC で共有設定されているデバイスの一覧が表示されます。



PC の設定でネットワーク探索ができない状態になっているときは、探索ができるように設定を変更してください。

- 4 該当のプリンターをクリックします。プリンター名が正しいことを確認して [選択] をクリックします。



5

以下の画面が表示されたら【次へ】をクリックします。

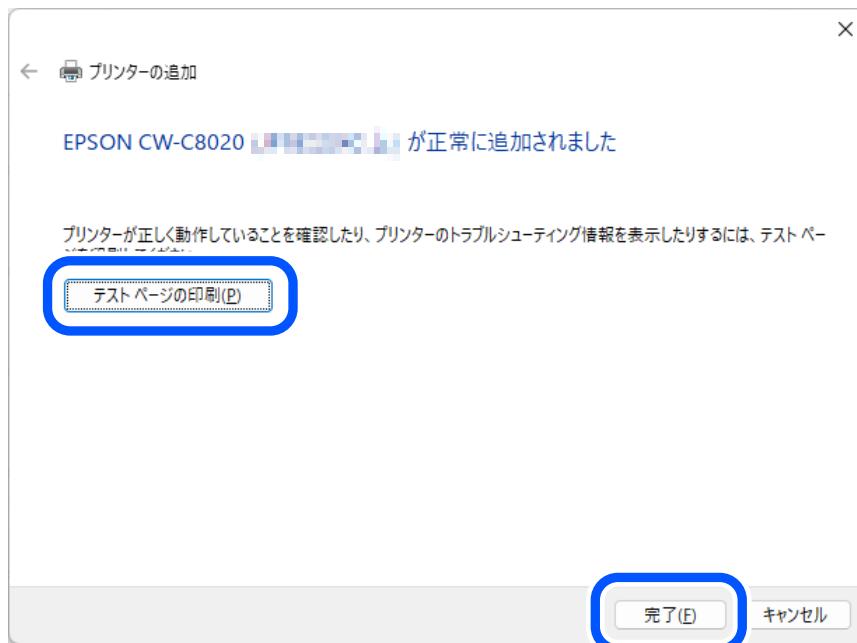
プリンタードライバーのダウンロードとインストールが開始されるので、しばらく待ちます。

**6**

正常に終了すると以下の画面が表示されます。【次へ】をクリックします。



- 7 以下の画面が表示されます。テスト印刷をするときは【テストページの印刷】を、終了するときは【完了】をクリックします。



- 8 再度 [プリンターとスキャナー] を開き、プリンターが追加されていることを確認します。



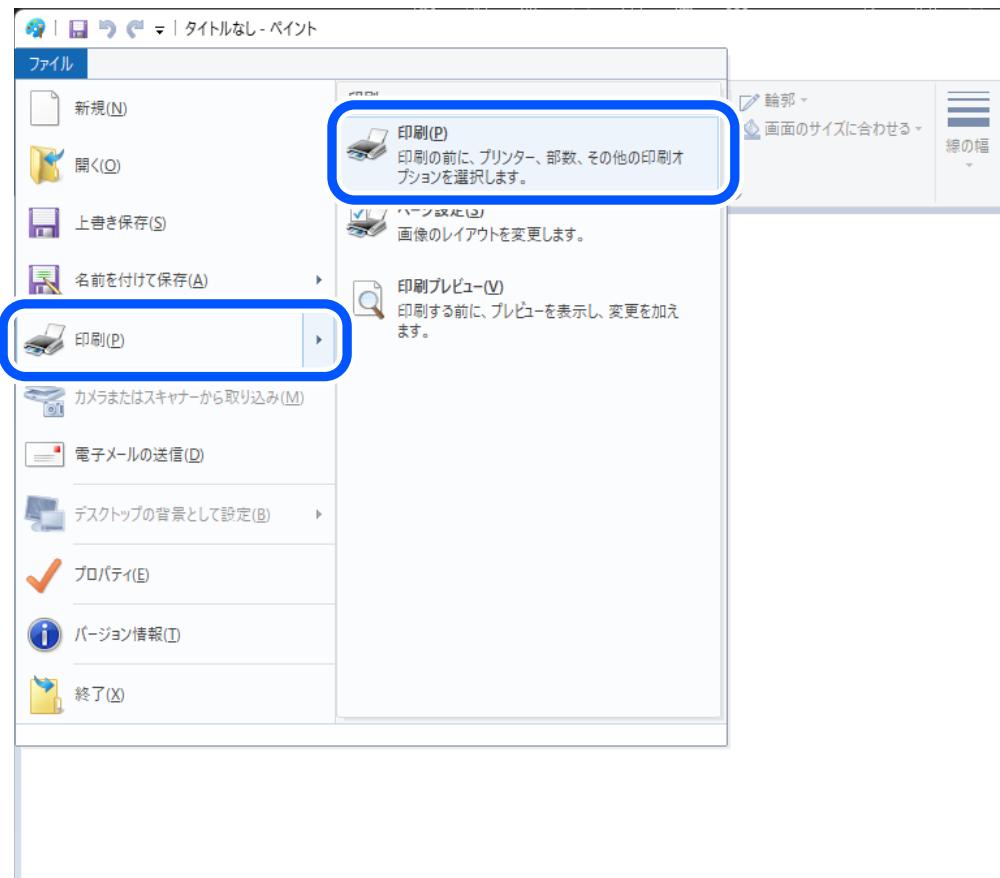
共有されたプリンタードライバーの設定を確認する

以下の2通りの確認方法があります。

- ・ アプリケーションからプリンタードライバーの印刷設定画面を開いて確認する (157ページ)
- ・ [プリンターとスキャナー] からプリンタードライバーの印刷設定画面を開いて確認する (160ページ)

□ アプリケーションから確認する場合 (ペイントを例に説明します)

1 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。



- 2 「印刷」画面で該当のプリンターを選択し、[詳細設定] をクリックします。
プリンタードライバーの印刷設定画面が表示されます。

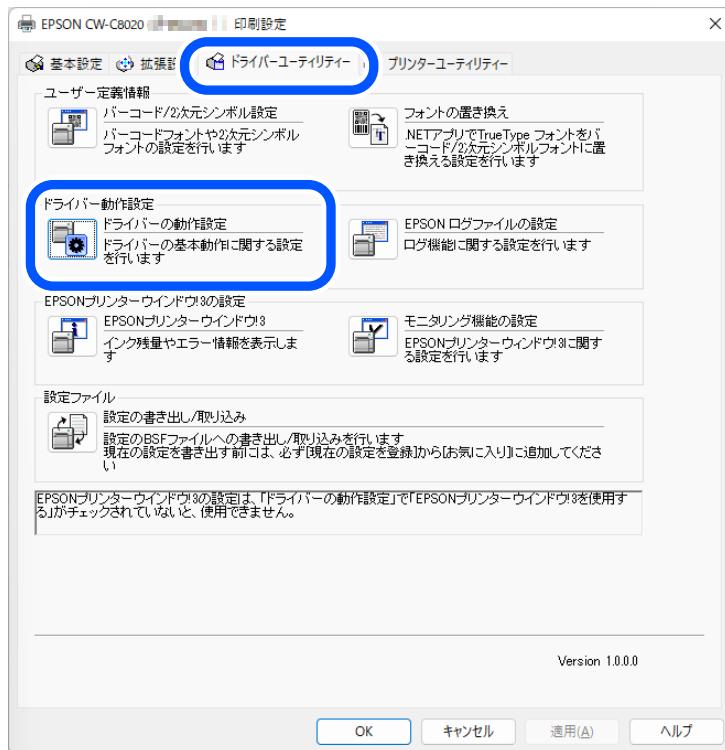


- 3 印刷設定を確認します。

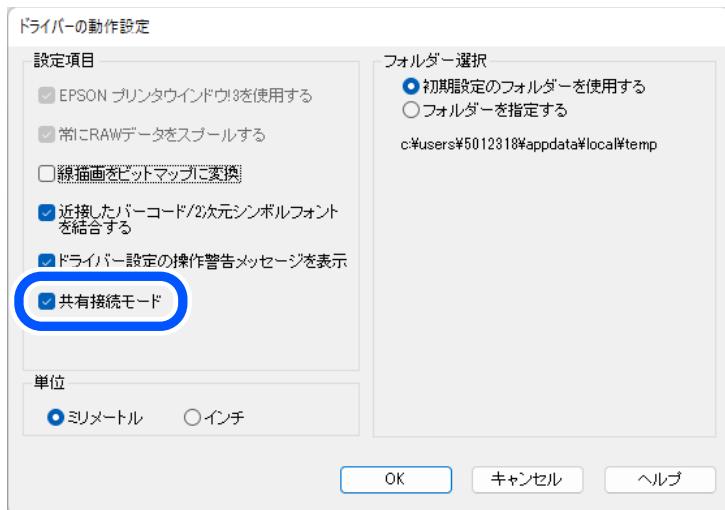
選択されている用紙などが、[148 ページ「プリンタードライバーで印刷の初期設定を変更する」](#)で設定した通りになっているか確認してください。確認が終わったら次の手順に進みます。



4 「ドライバーユーティリティ」タブの【ドライバーの動作設定】をクリックします。



5 「ドライバーの動作設定」画面で【共有接続モード】にチェックが入っていることを確認します。



□ [プリンターとスキャナー] から確認する場合

- 1 [プリンターとスキャナー] を開きます。
- 2 該当のプリンターをクリックし、[印刷設定] をクリックします。
プリンタードライバーの印刷設定画面が表示されます。

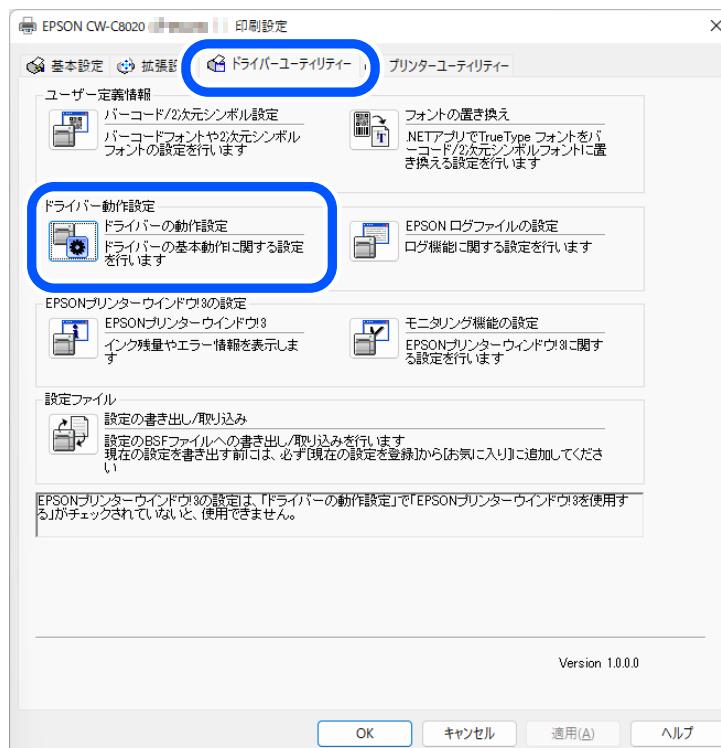


3 印刷設定を確認します。

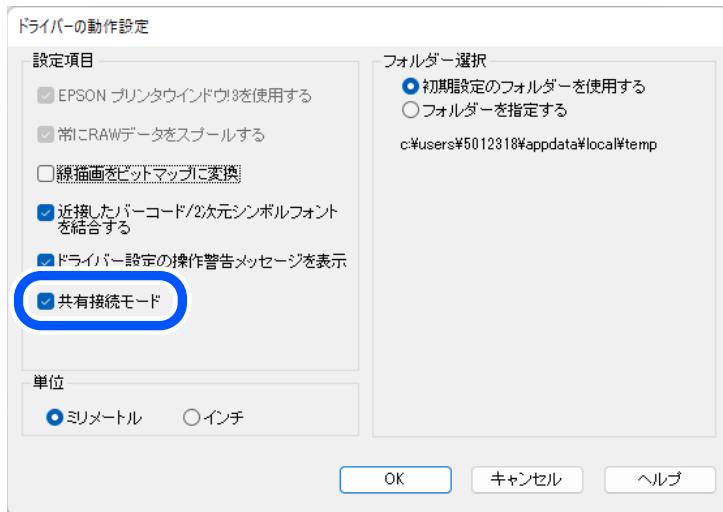
選択されている用紙などが、148 ページ「プリンタードライバーで印刷の初期設定を変更する」で設定した通りになっているか確認してください。確認が終わったら次の手順に進みます。



4 「ドライバーユーティリティ」タブの【ドライバーの動作設定】をクリックします。



- 5 「ドライバーの動作設定」画面で【共有接続モード】にチェックが入っていることを確認します。



- 6 [キャンセル] をクリックして「ドライバーの動作設定」画面を閉じ、印刷設定画面に戻ります。

- 7 [キャンセル] または画面右上の × をクリックし印刷設定画面を閉じます。

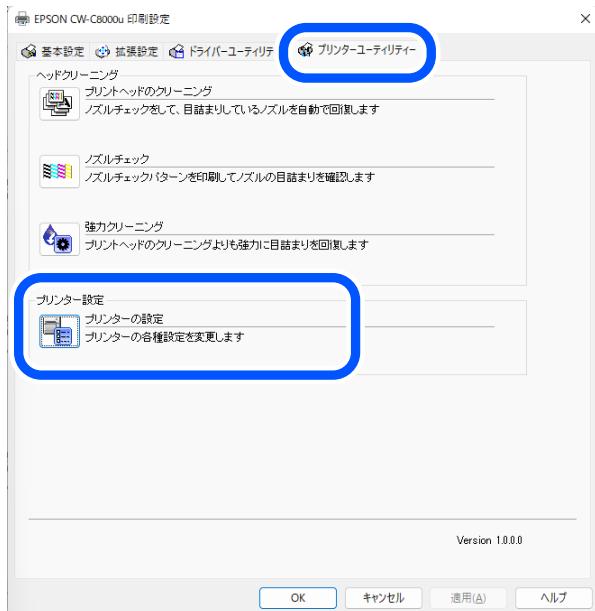


重要

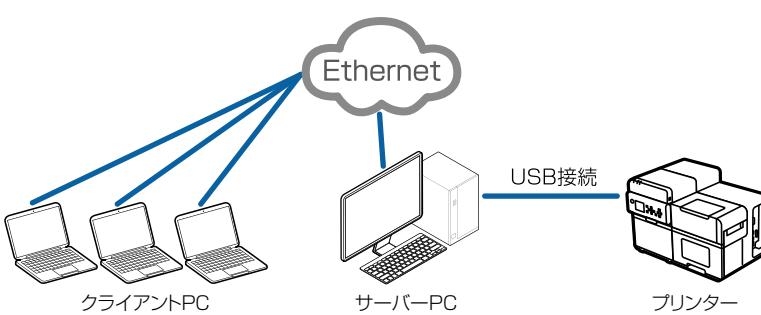
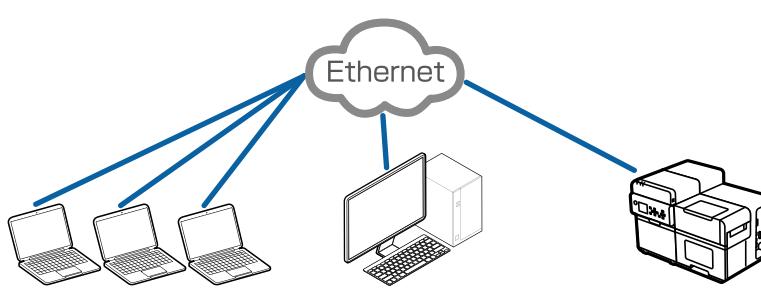
クライアント PC で [プリンターとスキャナー] から開いた印刷設定画面を閉じるときに、[OK] をクリックしないでください。[OK] をクリックすると、クライアント PC 側の設定で保存してしまうことになり、サーバーとの関連が切れてしまいます。

PrinterSetting 機能の制限事項

システム環境により、「プリンターアクセス」から PrinterSetting (プリンターセットアップ) を起動できなくなる場合があります。



以下にシステム構築例と PrinterSetting の制限事項を説明します。

システム構成	PrinterSetting の起動	
	サーバー PC	クライアント PC
サーバー PC とプリンターは USB 接続されている。クライアント PC とサーバー PC はネットワーク 経由で接続されている。	可能	不可
		
サーバー PC、プリンター、およびクライアント PC がそれぞれネットワーク 経由で接続されている。	可能	PrinterSetting のアプリをインストールすれば可能
		

プリンタードライバー(Mac)

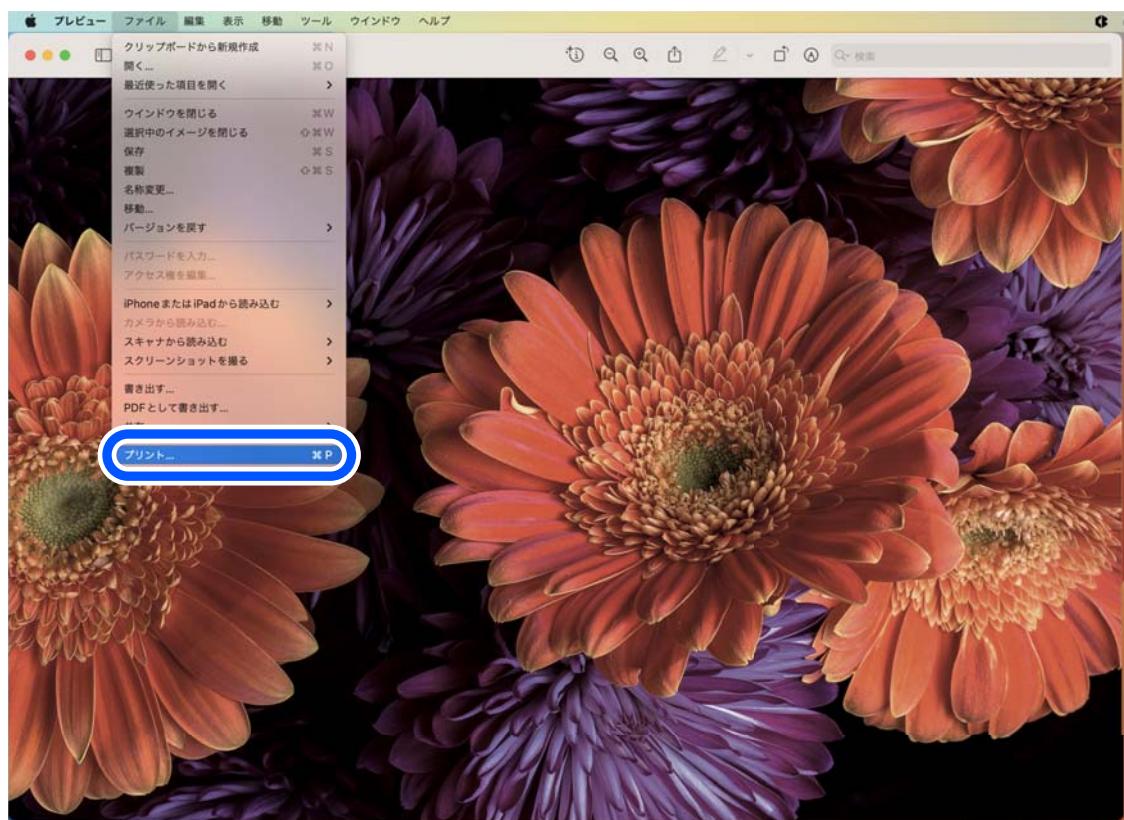
プリンタードライバー (Mac) の操作方法について説明しています。

プリンタードライバーは、アプリケーションソフトの印刷指示に合わせてプリンターを制御するソフトウェアです。プリンタードライバーの画面で印刷設定すると、最適な印刷結果が得られます。また、ユーティリティーを使うとプリンターの状態の確認やメンテナンスもできます。

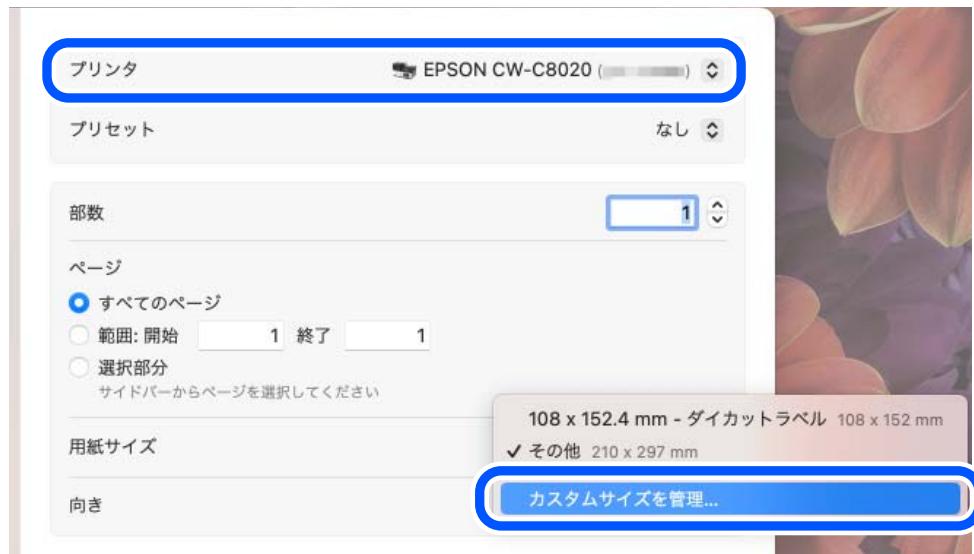
基本の印刷手順

- 1 プリンターの電源を入れて、印刷する用紙をセットします。[\(65ページ「用紙のセット」\)](#)
- 2 アプリケーションソフトでデータを作成したら、[ファイル] - [プリント] をクリックします。

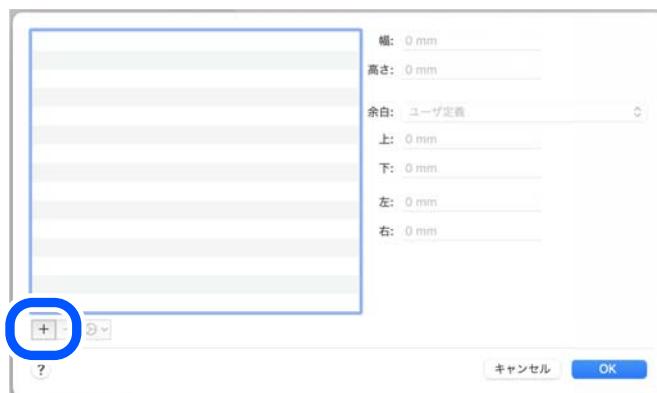
画面は、「プレビュー」での例です。



- 3 本製品が選択されていることを確認し、用紙サイズの設定をします。
用紙サイズは【カスタムサイズを管理】を選択することで、任意の用紙サイズに設定できます。



- 4 [+] をクリックし、新規の用紙サイズを作成します。



5 使用する用紙に合わせ、用紙サイズの設定と、本製品の余白設定を行います。

用紙サイズを入力してください。

余白は、上下左右 0 mm に設定してください。



重要

Mac ドライバーで設定した用紙サイズと、本体パネルに表示される用紙サイズが一致しない場合があります。

例1) 幅 15.0 mm のラベルを Mac ドライバーから印刷するとき

- 幅の設定値 (Mac ドライバー) : 15.0 mm
- 幅の設定値 (本体パネル) : 14.8 mm

例2) 高さ 212.0 mm のラベルを Mac ドライバーから印刷するとき

- 高さの設定値 (Mac ドライバー) : 212.0 mm
- 高さの設定値 (本体パネル) : 211.7 mm

用紙サイズを設定する場合は、本体パネルに表示されている値を確認して設定してください。



6 [名称未設定] をクリックして、カスタムサイズに任意の名称を入力し、[OK] をクリックします。

作成した用紙サイズがドライバーに反映されます。

7 使用する用紙に合わせて、以下の項目を入力・設定します。

ここでは本製品独自の設定項目について紹介します。



- 給紙方法を変更するときは、Epson Label Printer Utility から設定してください。
(174ページ「Epson Label Printer Utility」)
- [用紙種類] のドライバーの初期値は、以下の手順で変更できます。
 1. アップルメニュー - [システム設定] - [プリンタとスキャナ] の順にクリックします。
 2. お使いのプリンターを選択し、[オプションとサプライ...] - [オプション] の順でクリックします。
 3. 設定値を変更します。
- 設定項目が一覧に表示されないときは、お使いのプリンタードライバーが追加されていません。
以下をご覧になりプリンタードライバーの追加を行ってください。
(171ページ「プリンタードライバーの選択方法」)

1 印刷設定

使用する用紙に合わせて、用紙種類などを選択します。



項目	説明	初期値
幅	印刷する用紙の幅を設定します。	108.0 mm
長さ	印刷する用紙の長さを設定します。	152.4 mm
用紙種類	用紙の種類を設定します。	マット紙
印刷速度	印刷速度を設定します。	300 mm/s
ヘッドメンテナンス	プリントヘッドのフラッシング動作を設定します。	間欠印刷（きれい）

2 カラーオプション

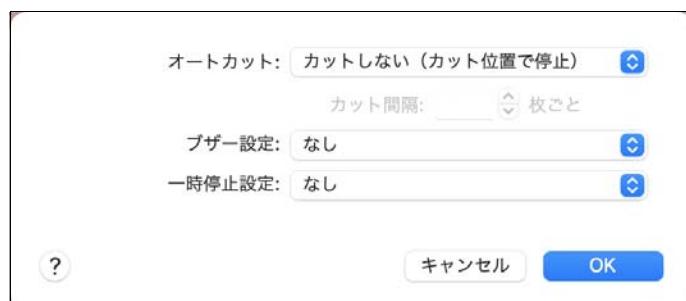
カラーマッチングで EPSON Color Controls を選択したとき有効になります。この画面では、明度や彩度などの色合いの調整ができます。



項目	説明	初期値
カラー調整	色補正方法を設定します。 色補正については以下をご覧ください。 268 ページ「色補正方法」	自然な色合い
明度	明度の補正值を設定します。 -25 ~ 25 まで設定できます。	0
コントラスト	コントラストの補正值を設定します。 -25 ~ 25 まで設定できます。	0
彩度	彩度の補正值を設定します。 -25 ~ 25 まで設定できます。	0
シアン	シアンの補正值を設定します。 -25 ~ 25 まで設定できます。	0
マゼンタ	マゼンタの補正值を設定します。 -25 ~ 25 まで設定できます。	0
イエロー	イエローの補正值を設定します。 -25 ~ 25 まで設定できます。	0

3 拡張設定

オートカット設定・ブザー設定・一時停止設定について設定できます。



項目	説明	初期値
オートカット	オートカッターのカット動作を設定します。	カットしない (カット位置で停止)
カット間隔	[オートカット] で [カットする (指定ラベル毎)] を選択した場合に、カットするページ数を設定します。1 ~ 999 まで設定できます。	1
ブザー設定	ブザーが鳴動するタイミングを設定します。	なし
一時停止設定	印刷時の一時停止するタイミングを設定します。	なし



[オートカット]、[ブザー設定]、[一時停止設定] のドライバーの初期値は、以下の手順で変更できます。

1. アップルメニュー - [システム設定] - [プリンタとスキャナ] の順にクリックします。
2. お使いのプリンターを選択し、[オプションとサプライ...] - [オプション] の順でクリックします。
3. 設定値を変更します。

4 拡張設定2

インク打ち込みレベル、黒比率補正、縮み補正、バンディング低減、エッジ補正について設定できます。



各項目のチェックを外して印刷すると、プリンター側で設定されている設定値に従って印刷されます。ドライバーがグレーアウトで表示している設定値はドライバーの初期値であり、実際の設定を反映したものではありません。

項目	説明	初期値
インク打ち込みレベル	インク濃淡を調整します。 -3 ~ 10 まで設定できます。	0
黒比率補正	黒色を構成するインクの割合を調整します。 -6 ~ 0 まで設定できます	0
用紙長方向の縮み補正	用紙長方向に印刷結果が縮むことがあるため補正値を設定します。 0 ~ 12 まで設定できます。	0
バンディング低減	印刷結果に色スジが発生する場合は、インクの濃淡を調整します。 -3 ~ 7 まで設定できます。	0
エッジ補正	背景色と文字の間にわずかな隙間が発生してしまう場合は、エッジ補正を有効にすることで改善する可能性があります。	Off



- 初期設定から黒比率を上げると、印刷直後には用紙表面のインクが指に付着しやすくなります。取り扱いには十分注意してください。
- 用紙種類が高光沢紙または光沢フィルムの場合、[バンディング低減] で調整しても完全に色スジを低減できない場合があります。お客様ご自身で印刷結果をご確認の上、お使いください。

8 各設定を確認し、[プリント] をクリックして印刷を開始します。

プリンタードライバーの選択方法

「[基本の印刷手順](#)」で説明しているメニューが表示されないときは、[プリンタ] でお使いのプリンターのドライバーを選択してください。プリンタードライバーは以下のように表示されます。

- USB 接続のとき

EPSON CW-C8XXXX

- ネットワーク接続のとき

EPSON CW-C8XXXX-YYYYYY

XXXX は製品型番です。YYYYYY は MAC アドレス下 6 衔です。



OS のバージョンによっては、ネットワーク接続でも MAC アドレスが表示されない場合があります。

お使いのプリンタードライバーがリストに表示されないときは以下の手順で追加してください。

- 1 アップルメニュー - [システム設定] - [プリンタとスキャナ] の順にクリックします。
- 2 [プリンタ、スキャナ、またはファクスを追加 …] をクリックします。
- 3 デバイスのリストが表示されたら、お使いのプリンタードライバーを選択して [追加] をクリックします。

プリンタードライバーのカスタマイズ

よく使う設定情報（用紙サイズや基本設定の各項目）は、[プリセット] に名称を付けて保存できます。保存した設定を選択することで効率よく、繰り返し同じ設定で印刷できます。

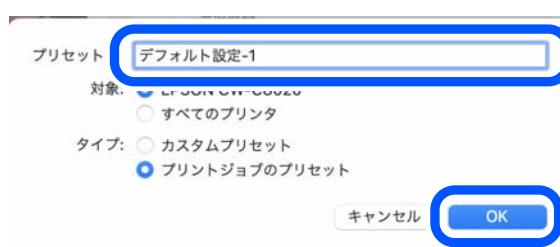
プリセットに保存

- 1 用紙サイズや基本設定の各項目を、プリセットに保存したい内容に設定します。
- 2 [プリセット] で [現在の設定をプリセットとして保存...] をクリックします。



 最後に使用したプリセットを次回印刷時も選択された状態にする場合は、[プリセットリストを編集...] を開き、[プリント後にプリセットメニューを “デフォルト設定” にリセット] のチェックが外れていることを確認してください。

- 3 任意の名称を入力し、[OK] をクリックします。



 [プリセットの対象] で [すべてのプリンタ] を選択すると、お使いのコンピューターにインストールしている全てのプリンタードライバーから保存した [プリセット] を選択できます。

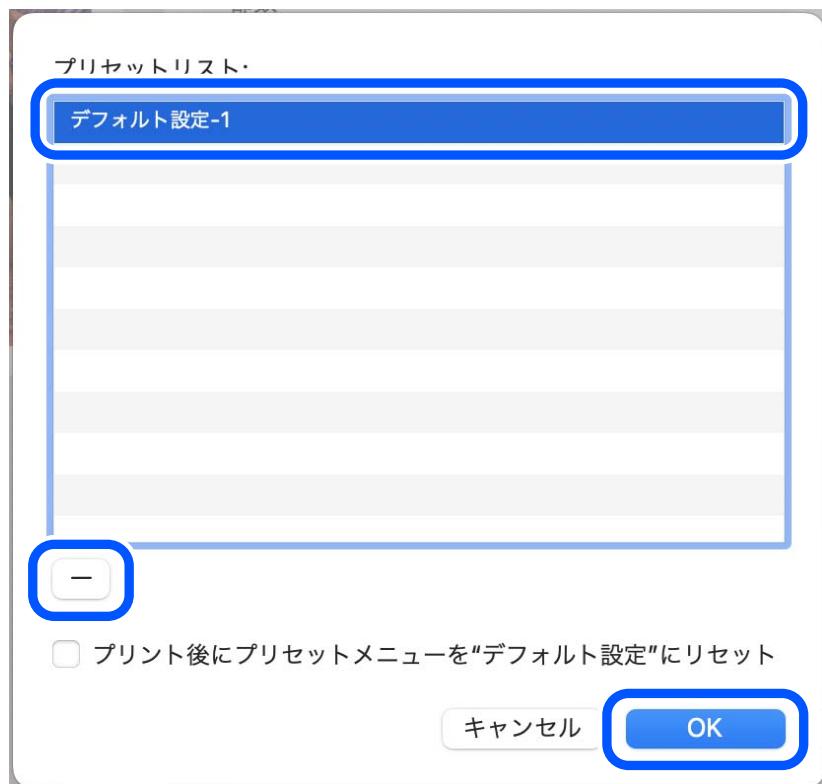
[プリセット] に設定が保存されます。以降は、[プリセット] で保存した設定を選択できます。

プリセットから削除

1 プリント画面の【プリセット】で【プリセットリストを編集...】をクリックします。



2 削除する設定を選択して [-] をクリックして、[OK] をクリックします。



Epson Label Printer Utility

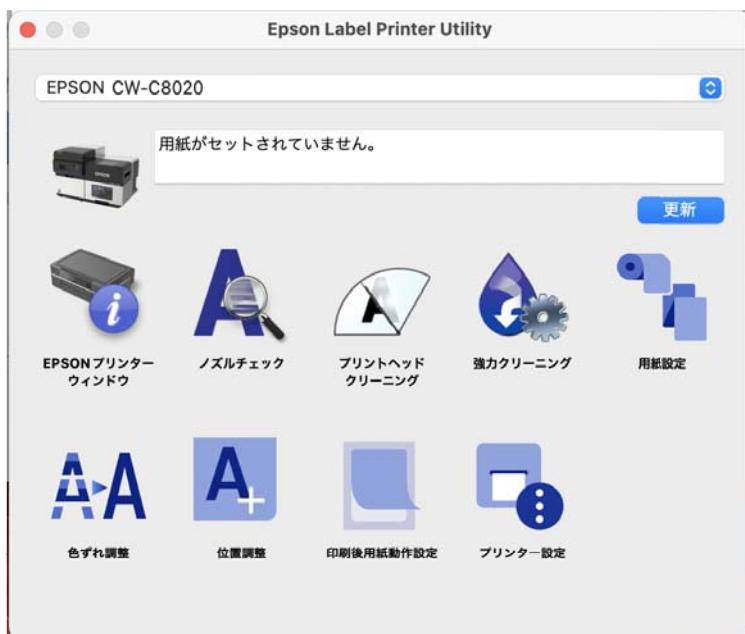
Epson Label Printer Utility では、EPSON プリンターウィンドウの起動、ノズルチェック印刷、プリントヘッドのクリーニング、強力クリーニング、色ずれ調整などが行えます。また、用紙設定、位置調整、印刷後用紙動作設定、プリンター設定では、コンピューターからプリンターの設定を変更できます。

- 1 アップルメニュー - [システム設定] - [プリンタとスキャナ] の順にクリックし、本機専用のドライバーを選択します。
- 2 本製品を選択し、[オプションとサプライ...] - [ユーティリティ] - [プリンタユーティリティを開く] の順にクリックします。



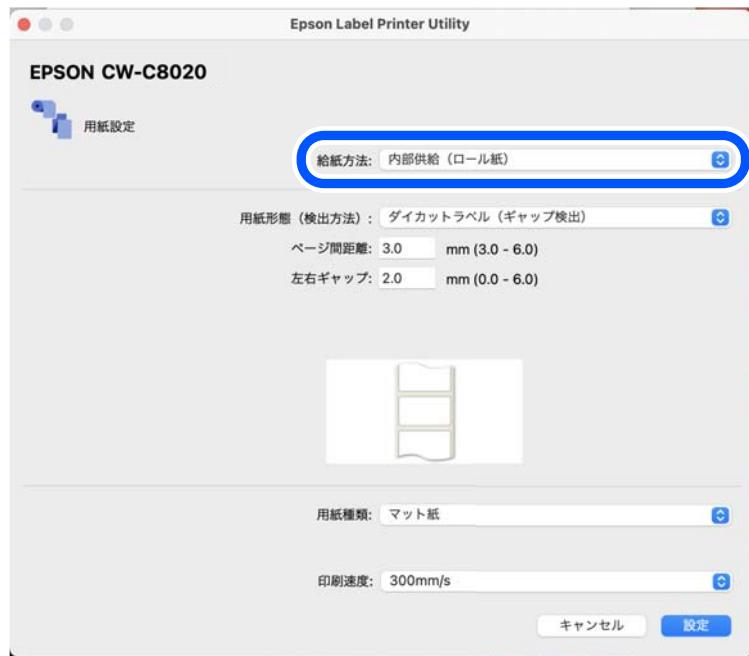
- 3 Epson Label Printer Utility が起動します。

アイコンをクリックすると、各機能の画面へ遷移します。詳しくは、画面に表示される説明を参照してください。



給紙方法を変更する

給紙方法（内部ロール、または外部フィード）を変更するときは、Epson Label Printer Utility の [用紙設定] 画面の [給紙方法] から変更できます。



プリンタードライバー(Linux)

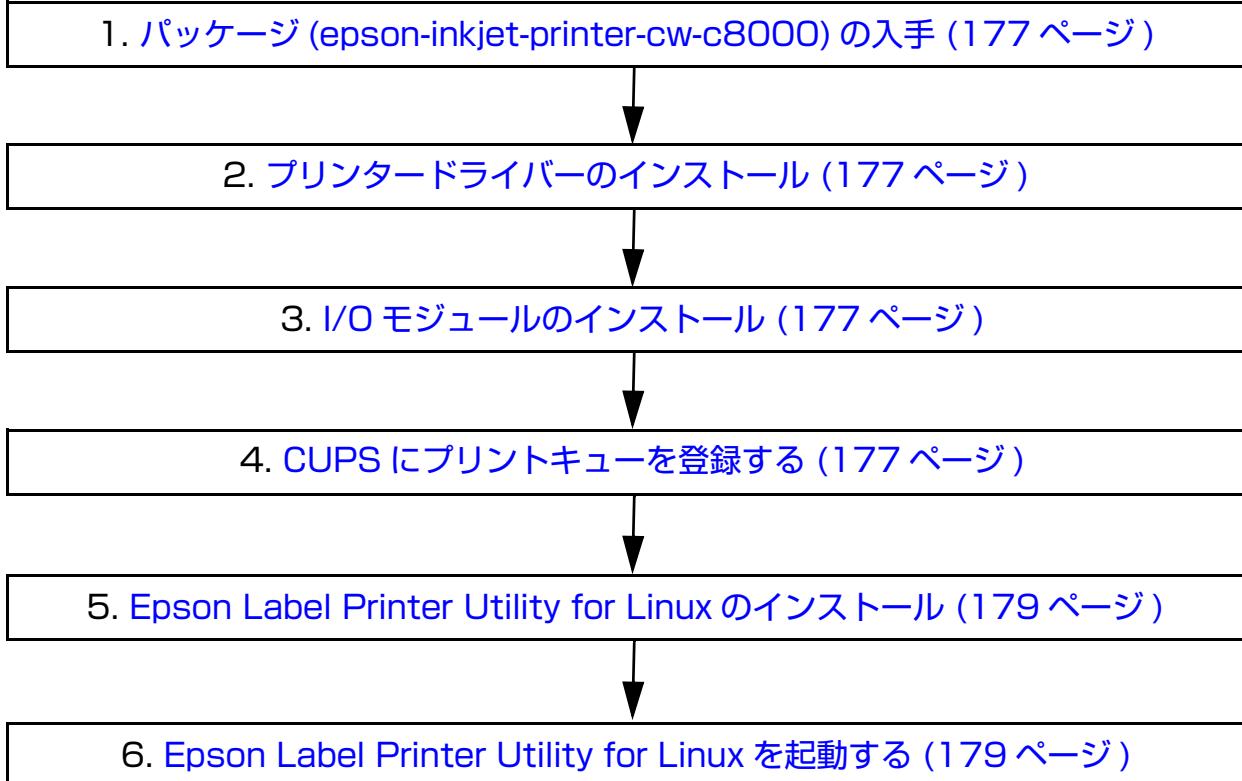
プリンタードライバーのインストール方法、Epson Label Printer Utility for Linux の設定方法などを説明します。Epson Label Printer Utility for Linux では、EPSON プリンターウィンドウの起動、ノズルチェック印刷、プリントヘッドのクリーニング、用紙設定などが行えます。



Linux プリンタードライバーについて

- 自力で Linux システムを構築できるシステム開発者などに向けたもので、一般のエンドユーザー向けではありません。ドライバーの操作は主にコマンドラインで行う必要があり、Windows ドライバーなどのようなリッチな GUI は提供されていません。
- 印刷するための最低限の機能のみが提供されます。
- 基本的に Mac ドライバーと同様の機能が提供されます。ただし、Linux OS の制限により実現できない機能を除きます。

以下の手順で設定します。



このページでは、コマンドの記述が \$ で始まるものはログインユーザー、# で始まるものは管理者権限で実行することを示しています。

パッケージ(epson-inkjet-printer-cw-c8000)の入手

プリンタードライバー、Epson Label Printer Utility for Linuxの詳細は、販売店にお問い合わせください。

プリンタードライバーのインストール

ターミナルソフトウェアを開き、以下のコマンドを実行します。

```
<Ubuntu 20.04 LTS>
# dpkg -i epson-inkjet-printer-cw-c8000_[Arch].deb
<CentOS 7>
# rpm -i epson-inkjet-printer-cw-c8000_[Arch].rpm
```

I/Oモジュールのインストール

以下のコマンドを実行します。

1.3.0はソフトウェアのバージョンです。お使いになるファイルに合わせて修正してください。

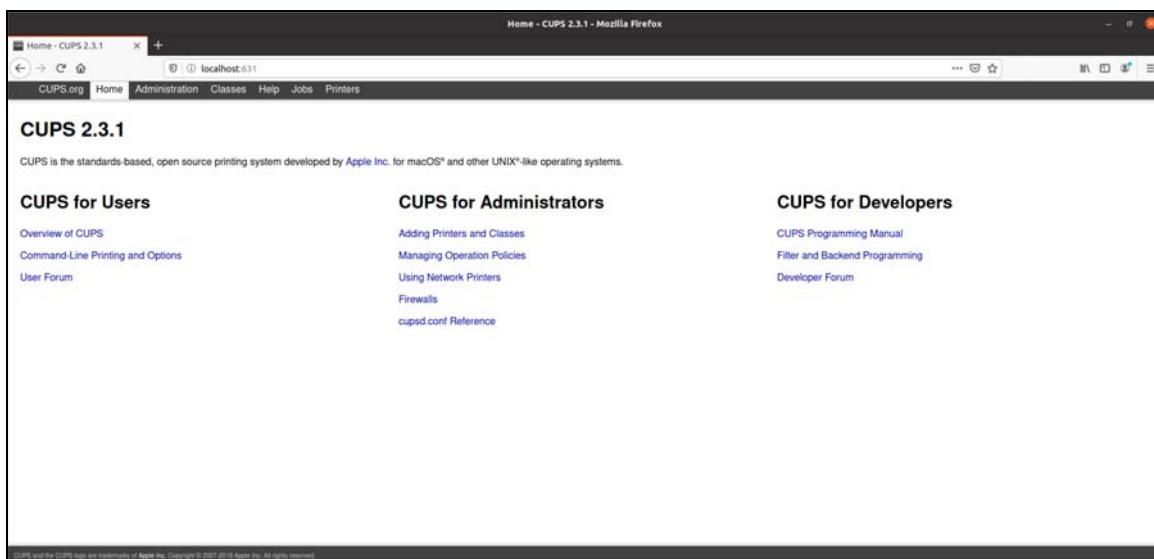
```
<Ubuntu 20.04 LTS>
# dpkg -i epson-printer-io-community-1.3.0.deb
<CentOS 7>
# rpm -i epson-printer-io-community-1.3.0.rpm
```

CUPSにプリントキューを登録する

Webブラウザからの設定方法を説明します。

1 以下のアドレスにアクセスします。

<http://localhost:631/>



2 [管理] タブから [プリンターの追加] を選択します。

ウィザードの指示どおりに進めます。ユーザー名とパスワードの入力が求められたら、ユーザー名「root」と管理者権限のパスワードを入力します。

3 プリンターの一覧が表示されるので、使用するプリンターを選択します。

「プリンター」タブに選択したプリントキューの情報が表示されます。

USB 接続の場合

USB ケーブルでプリンターと接続している場合は、以下の手順で設定します。

CUPS でのプリンターキュー追加時に、機種名の後に「_USB」と表示されているプリンター (①) を選択してください。

① EPSON 製
通信用モジュール
② CUPS 標準の経路

Epson Label Printer Utility for Linux のインストール

以下のコマンドを実行します。

1.3.0 はソフトウェアのバージョンです。お使いになるファイルに合わせて修正してください。

<Ubuntu 20.04 LTS>

```
# dpkg -i epson-label-printer-utility-community-1.3.0-QT5.deb
```

<CentOS 7>

```
# rpm -i epson-label-printer-utility-community-1.3.0-QT5.rpm
```

Epson Label Printer Utility for Linux を起動する

Epson Label Printer Utility for Linux は、コマンドラインからの起動、またはデスクトップエントリーからの起動に対応しています。

以下のいずれかの方法で起動します。

□ コマンドラインからの起動

以下のコマンドを実行します。

<Ubuntu/ CentOS 共通>

```
$ /opt/epson/epson-label-printer-utility/elpuqt &
```

□ デスクトップエントリーからの起動

ディストリビューション、エディション、フレーバー、バージョンにより操作方法が異なる場合があります。

ここでは Ubuntu 20.04 LTS、CentOS 7 での起動方法を説明します。

<Ubuntu 20.04 LTS>

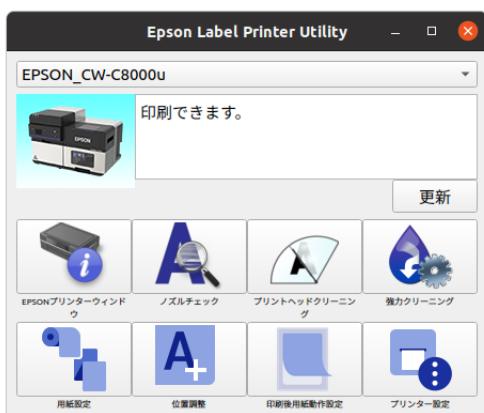
画面左下のアイコンをクリックし、一覧から Epson Label Printer Utility を選択します。一覧に表示されない場合は "Epson" で検索します。

<CentOS 7>

画面左上のアプリケーションメニューから、アクセサリサブメニューを選択します。一覧から Epson Label Printer Utility を選択します。

Epson Label Printer Utility for Linux が起動します。

アイコンをクリックすると、各機能の画面へ遷移します。詳しくは、画面に表示される説明を参照してください。



依存ライブラリのインストール

サポートディストリビューションのデフォルトのインストール状態であれば、依存ライブラリのインストールは不要です。意図的にインストールパッケージを限定している場合は、依存ライブラリの不足により、Epson Label Printer Utility for Linux が動作しない場合があります。

依存モジュールと必要なパッケージは以下の通りです。

依存ファイル	依存パッケージ (Ubuntu 20.04 LTS)	依存パッケージ (CentOS 7)
libQtCore.so.5	libqt5core5a	qt5-qtbase
qt5-qtbase	libqt5gui5	qt5-qtbase-gui
libQtWidgets.so.5	libqt5widgets5	
libcups.so.2	libcups2	libcups2
libcupsimage.so.2	libcupsimage2	
libpng15.so.15	(使用しない)	libpng15
libpng16.so.16	libpng16-16	(使用しない)
libusb-1.0	libusb-1.0-0	libusb

Epson Label Printer Utility for Linux 起動時に、依存ライブラリの不足によりエラーが出る場合は、必要なファイルをインストールしてください。

例：Ubuntu 20.04 LTS で Qt5 が不足している

以下のコマンドを実行します。

```
# apt install libqt5widgets5
```

Epson Label Printer Utility for Linux を終了する

以下のいずれかの方法で終了できます。

- ・画面の [X] をクリックする。
- ・[Alt] + [F4] を押す。
- ・[Epson Label Printer Utility を終了する] をクリックする。

プリンタードライバー、Epson Label Printer Utility for Linux のアンインストール

□ プリンタードライバー

ターミナルソフトウェアを開き、以下のコマンドを実行します。

```
< Ubuntu 20.04 LTS>
# dpkg -P epson-inkjet-printer-cw-c8000
< CentOS 7>
# rpm -e epson-inkjet-printer-cw-c8000
```

□ Epson Label Printer Utility for Linux

ターミナルソフトウェアを開き、以下のコマンドを実行します。

```
< Ubuntu 20.04 LTS>
# dpkg -P epson-label-printer-utility-community
# dpkg -P epson-printer-io-community
< CentOS 7>
# rpm -e epson-label-printer-utility-community
# rpm -e epson-printer-io-community
```

SAPシステムからの印刷

CW-C8000 シリーズは、基幹業務統合システム (ERP:Enterprise Resource Planning) の 1 つである SAP システムからの印刷が可能です。

SAPシステムからの印刷方式について

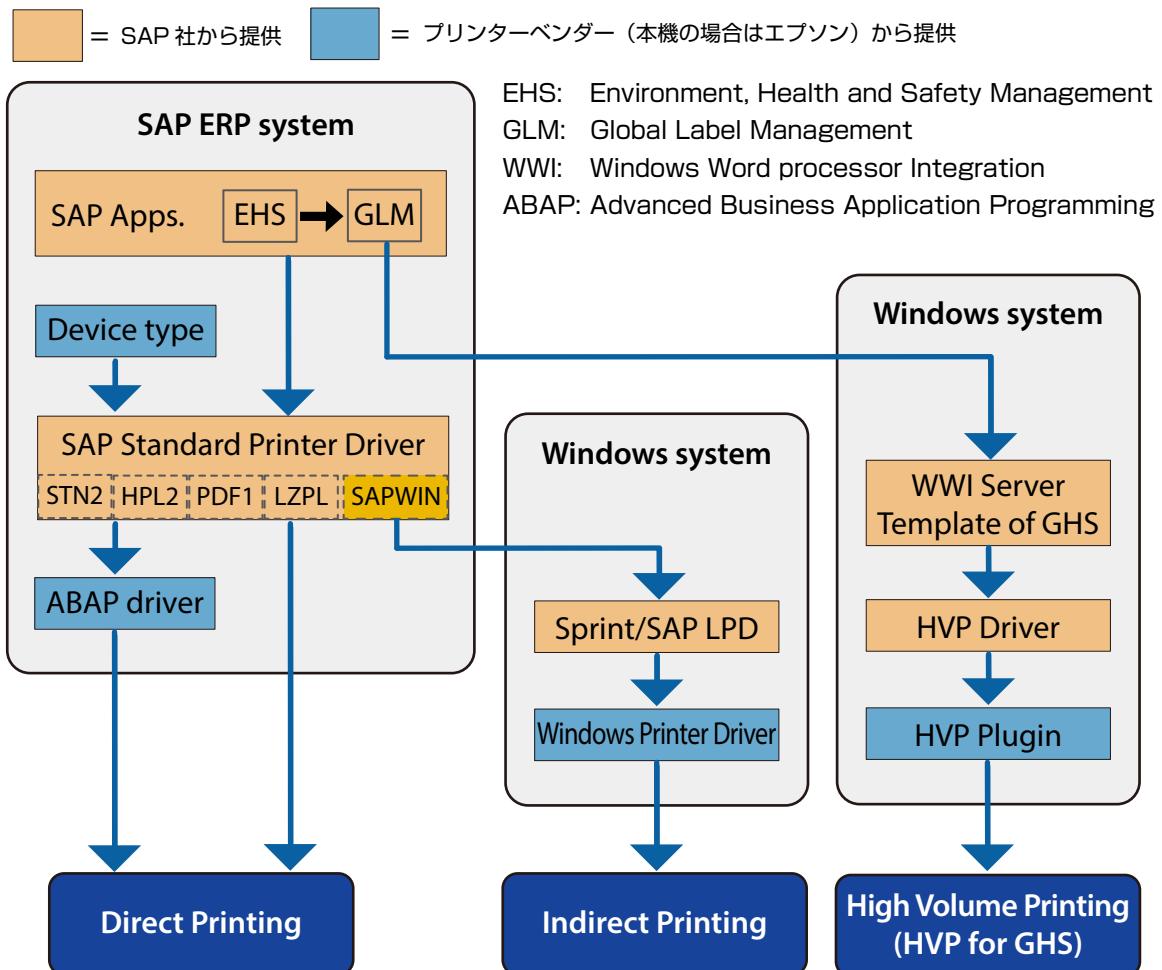
SAP システムからの印刷方式には、以下の 3 種類があります。

それぞれの印刷方式のデータの流れと構成要素については [182 ページ「SAPシステムを使った印刷データの流れ」](#) をご覧ください。

印刷方式	概要
Direct printing ☞ 183 ページ「Direct printing で印刷するには」	SAP システムの標準の印刷方式です。閉じた SAP システム環境、つまり原則として SAP 社が提供するプログラム内で動作する印刷の仕組みです。プリンタードライバーも SAP システムが提供している標準のものを使います。このため、信頼性、安定性の高い印刷が可能で、大量のリモートバッチ印刷にはこの Direct printing を使うことが一般的です。 プリンターベンダーからは、プリンターの能力を記述した Device type というファイルのみを提供します。ただし、SAP システムのプリンタードライバーが対応していないプリンター制御言語を使っているプリンターの場合は、プリンターベンダーから ABAP driver も提供します。ABAP driver とは、標準のドライバーがサポートしているプリンター制御言語を、プリンターがサポートしている制御言語に変換するためのソフトウェアです。
Indirect printing ☞ 183 ページ「Indirect printing で印刷するには」	SAP システムの外に存在する Windows PC を通して印刷する方式です。SAP 社が提供する「Sprint」または「SAP LPD」というソフトウェアが、その Windows PC 上で SAP システムからデータを受け取り、Windows の印刷システムに即した形式に変換し、プリンターベンダーが提供する通常の Windows 用プリンタードライバーにデータを渡すことで印刷を実現します。そのため、様々な Windows 対応プリンターで印刷することができます。ただし、SAP システム以外のソフトウェアを介するため、Direct printing に比べて問題が発生したり、印刷速度が遅くなったりする可能性があります。
High Volume Printing ☞ 183 ページ「High Volume printing で印刷するには」	SAP システム内の EHS (Environment, Health and Safety Management) および GLM (Global Label Management) から、Windows PC 上の WWI (Windows Word processor Integration) Server を介して、カラーのピクトグラムのある GHS ラベルを印刷するための仕組みです。 SAP 社が提供する HVP Driver を使い、プリンターの指定は、プリンターベンダーが提供する Plugin で行います。通常の Windows ドライバーよりも少ないデータ量での印刷が可能です。

SAPシステムを使った印刷データの流れ

下図は、それぞれの印刷方式のデータの流れと構成要素を示します。



Direct Printing で使う **SAP Standard Printer Driver** (SAP システムの標準プリンタードライバー) が対応しているプリンター制御言語は以下の通りです。

名称	サポートしているプリンター制御言語
STN2	Line Printer Driver 2
HPL2	HP PCL5
LZPL	Zebra ZPL2
PDF1	Adobe PDF
POST2	Adobe PostScript
ESCPAG	EPSON ESC/Page
PRES	Kyocera PRESCRIBE

Direct printing で印刷するには

SAP システムの標準のプリンタードライバーを使い、SAP システム内で印刷する仕組みのため、使い方に関してはエプソンから提供できる情報はありません。SAP 社から提供されている情報をご覧ください*。

ここでは、CW-C8000 シリーズで Direct printing 方式で印刷するために必要なエプソンが提供しているファイルと、インストール方法を説明します。

- * どのメーカーのどのプリンターを使っていても、SAP システムを使って印刷する方法は全て共通です。
- SAP Note によって全ての情報が SAP ユーザーに公開されています。
- SAP Note の入手には SAP ユーザーアカウントが必要です。

必要ファイル

□ Device type

どちらか 1 つを使用します。

- YEPCW6X.PRI : 日本語以外の言語用
- YEPCW6XJ.PRI : 日本語用

□ ABAP driver

以下の 2 つのファイルで構成されています。2 つをペアで使用します。

- K00XXXX.PVD
- R00XXXX.PVD



CW-C8000 シリーズのプリンタードライバーは、ESC/Label コマンドです。SAP システムの標準プリンタードライバーがサポートしていないため、Device type、ABAP driver のどちらも必要です。SAP システムが対応しているプリンタードライバーについての情報は [182 ページ「SAP システムを使った印刷データの流れ」](#) をご覧ください。

インストール方法

インストール方法等の情報は以下の SAP Note を参照してください。

- SAP Note 2867759
- SAP Note 1103422

SAP 社 Web サイト URL : <https://launchpad.support.sap.com>

Indirect printing で印刷するには

エプソンの最新の Windows ドライバーをインストールしてご使用ください。

Windows ドライバーの使い方は、[90 ページ「プリンタードライバー \(Windows\)」](#) をご覧ください。

SAP 社が提供する「Sprint」または「SAP LPD」のインストールおよびその他の使用法については SAP 社の指示に従ってください。

High Volume printing で印刷するには

SAP 社が提供する HVP Driver を使って印刷します。エプソンは、HVP Driver 用の Plugin を提供しています。High Volume Printing の使い方は、Plugin に付属している「CW-C8000 Series HVP Plug in Module User's Guide」をご覧ください。

PrinterSetting (Windows)



プリンタードライバーなどの他のソフトウェアが本製品と通信していると、設定を変更できないことがあります。

PrinterSetting は本製品を設定するための Windows 上で動作するユーティリティーです。PrinterSetting を使用して以下を設定できます。

項目	説明	ページ
用紙を設定する*	本製品で使用する用紙を設定します。	187 ページ
レイアウトを設定する*	用紙レイアウトを設定します。用紙形態や印刷領域を設定したユーザー定義レイアウトをします。	188 ページ
位置を調整する	印刷開始位置やカット位置を調整します。	190 ページ
印刷結果を調整する*	カラー調整やバーコード調整をします。	192 ページ
プリンターにデータを登録する	画像、テンプレート、フォントをプリンターに登録します。また、文字コード表から使用するコードを選択します。	193 ページ
プリセット画像を設定する*	プリセット画像を設定します。	197 ページ
クリーニングを行う	ヘッドクリーニングやノズルチェックの実行、定期クリーニングの設定をします。	201 ページ
詳細設定	プリンターの詳細設定をします。 <ul style="list-style-type: none">• プリンター本体の設定• 色ずれ調整• パネルの設定• 動作時間の設定• ノズルチェックの設定• 高度な設定• プリンターの初期化	202 ページ ～218 ページ
プリンター情報の表示	プリンター用紙設定やレイアウト設定などのプリンターの設定情報やメンテナンスカウンターを確認します。	219 ページ
設定の保存と復元	プリンターの設定を保存したり、保存していた設定を復元したりします。	221 ページ
オプション	PrinterSetting の設定をします。 PrinterSetting で使用する単位と起動時の設定をします。	222 ページ

* プリンタードライバーから PrinterSetting を起動した場合、表示されません。

PrinterSetting の起動

以下の方法で、PrinterSetting を起動します。

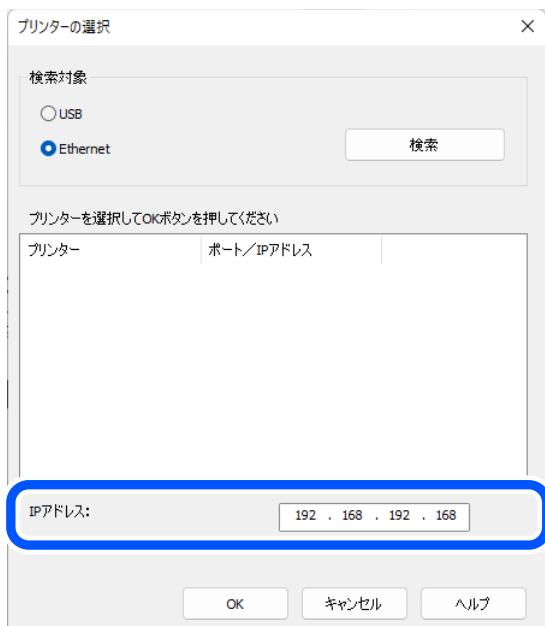
- 1 本製品の電源を入れます。
- 2 [スタート] - [EPSON] - [CW-C8000 Printer Setting] を選択します。
- 3 [プリンターの選択] 画面が表示されます。検索対象を選択し [検索] をクリックします。



- 4 リストに本製品が表示されます。設定するプリンターを選択し、[OK] をクリックします。



Ethernet 接続の場合、検索してもリストに本製品が表示されない場合があります。
その場合、IP アドレスを入力してください。



5 PrinterSetting が起動します。



設定の反映

各項目を設定した後、[設定を反映] をクリックすると本製品の設定が変更されます。



用紙を設定する

本製品で使用する用紙を設定します。



プリンタードライバーから PrinterSetting を起動した場合、表示されません。



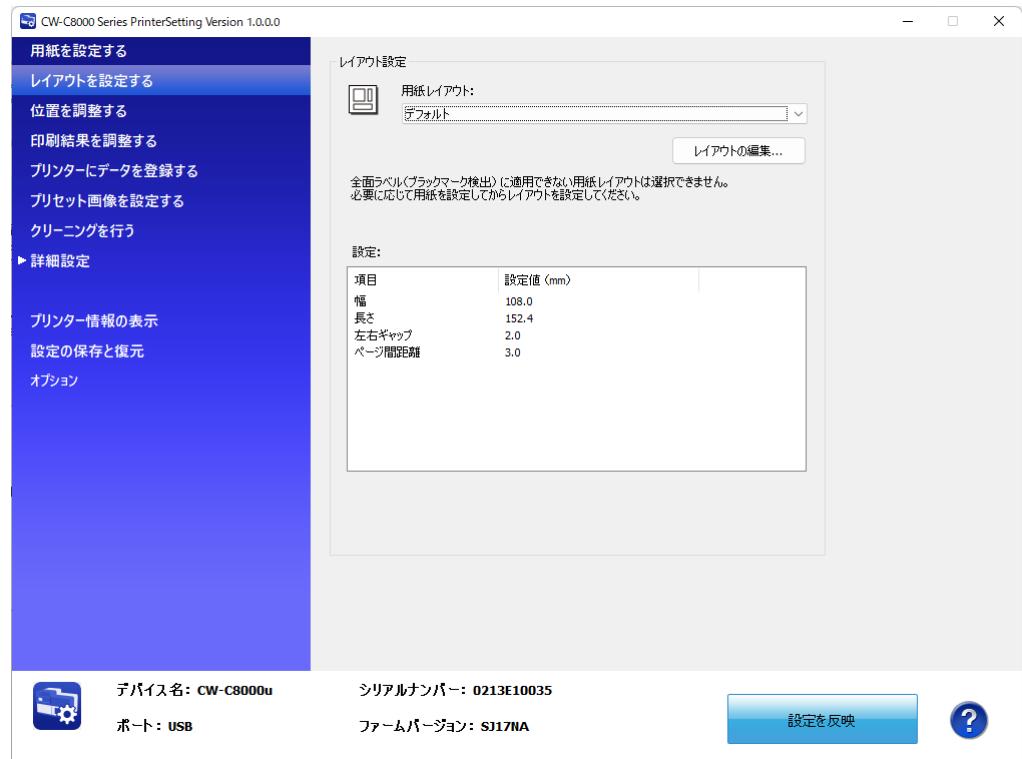
項目	説明	
用紙検出設定	給紙方法	給紙方法を設定します。
	用紙形態（検出方法）	用紙の検出方法を設定します。
印刷設定	用紙種類	用紙種類を設定します。
	色補正方法	色補正方法を設定します。
	印刷速度	印刷速度を設定します。
	ヘッドメンテナンス	印刷時の紙上フラッシングの量を設定します。
	印刷後用紙動作設定	印刷後のカット方法や用紙送りを設定します。
	用紙吸引強度	プラテン吸引力を設定します。

レイアウトを設定する

用紙レイアウトを設定したり、新規のユーザー定義レイアウトを作成したりします。

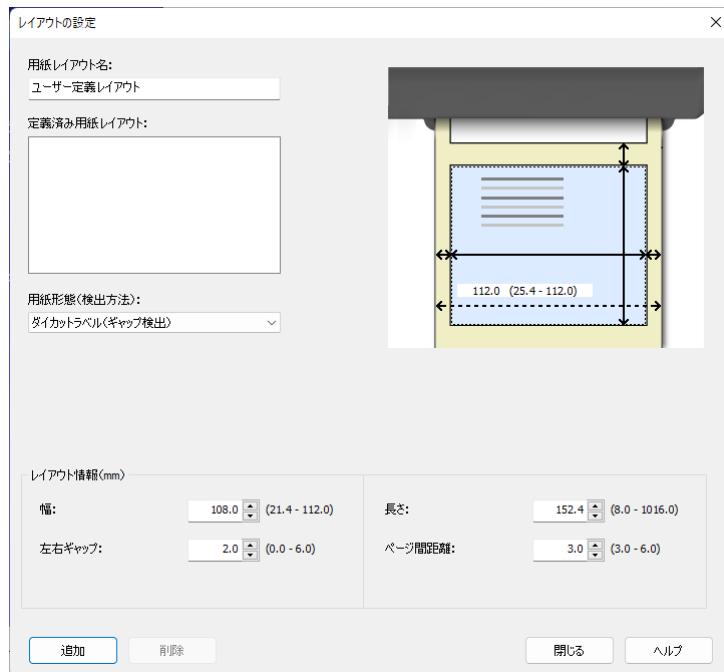


プリンタードライバーから PrinterSetting を起動した場合、表示されません。



項目	説明	
レイアウト設定	用紙レイアウト	用紙レイアウトを設定します。
	レイアウトの編集	新規のユーザー定義レイアウトを作成します。クリックすると [レイアウトの設定] 画面が表示されます。

レイアウトの編集



項目	説明
用紙レイアウト名	用紙レイアウト名を設定します。 任意の名称を入力します。
定義済み用紙レイアウト	定義済みの用紙レイアウトがリストに表示されます。
用紙形態（検出方法）	用紙形態を設定します。
レイアウト情報	[用紙形態（検出方法）] によって設定可能なレイアウト情報が変わります。 設定する前に用紙形態を設定してください。 <ul style="list-style-type: none"> • ダイカットラベル、全面ラベル、連続紙の場合 幅、長さ、左右ギャップ、ページ間距離を設定します。 • タグの場合 検出する穴の種類、幅、長さ、左ギャップ、右ギャップ、ページ間距離、穴・用紙端間距離を設定します。



長いラベル（ページ）を印刷する場合、用紙によっては印刷結果が指定した長さに満たないことがあります。その結果、紙送り方向を上として、ラベル（ページ）下端部に空白が出ることがあります。この空白が気になる場合、以下の方法をお試しください。

手順1: 印刷結果を確認してください。
手順2: 空白部分をレイアウトの設定メニューで、[長さ] に足して指定してください。

位置を調整する

印刷開始位置やカット位置を調整します。

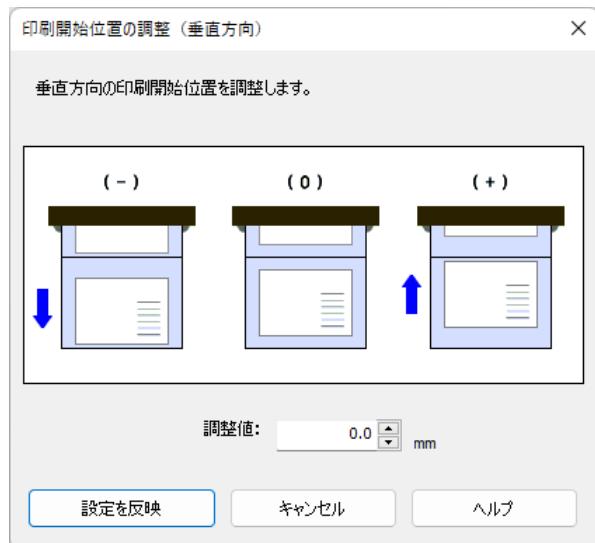


項目	説明
位置調整	印刷開始位置の調整 (垂直方向)
	垂直方向の印刷開始位置を調整します。 調整手順 191 ページ「調整を実行する」
	印刷開始位置の調整 (水平方向)
	水平方向の印刷開始位置を調整します。 調整手順 191 ページ「調整を実行する」
用紙先端位置の調整 (ブラックマークなしの連続紙・ 全面ラベルまたはタグ)	連続紙や全面ラベルの先頭からの印刷開始位置を調整します。 調整手順 191 ページ「調整を実行する」
カット位置の調整	カット位置の調整をします。 調整手順 191 ページ「調整を実行する」

調整を実行する

印刷開始位置の調整（垂直方向）を例に説明します。調整手順は全て同じです。

- 1 【調整を実行する】をクリックすると以下の画面が表示されます。



- 2 【調整値】を入力し、【設定を反映】をクリックします。
- 3 確認画面が表示されます。【はい】をクリックすると調整が実行されます。



- 4 結果が表示されます。【OK】をクリックします。
- 5 調整を実行した後、印刷を行って調整した位置を確認してください。

印刷結果を調整する

カラー調整やバーコード調整をします。



プリンタードライバーから PrinterSetting を起動した場合、表示されません。



項目	説明	
カラー調整	インク打ち込みレベル	インクの濃淡を設定します。使用する用紙によって、印刷品質を確保するため適時調整します。
	黒比率補正	黒比率補正を設定します。
	バンディング低減	バンディング（印刷時のスジ）を低減させたいときに設定します。
バーコード調整	バー幅補正	内蔵バーコードフォントを使用している場合、バーの幅を調整する場合に設定します。
エッジ補正		背景色と文字の間にわずかな隙間が発生してしまう場合は、エッジ補正を有効にすることで改善する可能性があります。



- 初期設定から黒比率を上げると、印刷直後には用紙表面のインクが指に付着しやすくなります。取り扱いには十分注意してください。
- 用紙種類が高光沢紙または光沢フィルムの場合、[バンディング低減] で調整しても完全に色スジを低減できない場合があります。お客様ご自身で印刷結果をご確認の上、お使いください。

プリンターにデータを登録する

画像、テンプレート、フォント、文字コード表、特色設定をプリンターに登録します。



項目	説明
画像	プレプリントやテンプレートで使用する画像を登録します。
テンプレート	テンプレートを登録します
フォント	印刷データに適用するフォントを登録します。
文字コード表	印刷時に使用する文字コード表を変更します。 文字エンコードの設定内容が「登録済みデータ」リストの下に表示されます。
特色設定	特色リストファイルを作成します。

画像の登録

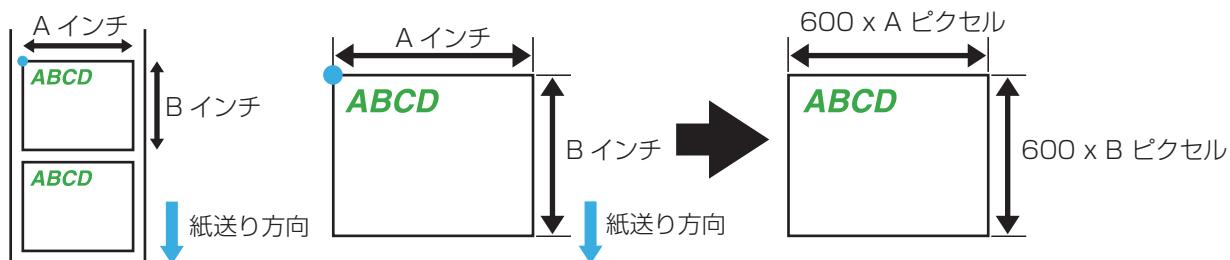
使用頻度の高いカラー画像を、あらかじめプリンターに登録しておく機能です。

プリセット画像の作成

1 本製品の印刷に適した解像度の画像（PNG形式）を用意します。

[362ページ「製品仕様」を参照](#)

2 画像を用紙サイズに合わせて変換します。



登録する画像の解像度は印刷する時の解像度にそろえてください。

3 画像フォーマットをPNG形式で出力します。

画像の登録

[画像]の[登録]をクリックすると、画像を登録する画面が表示されます。

登録するプリセット画像のファイル名（PNG形式）を選択して[登録]をクリックします。

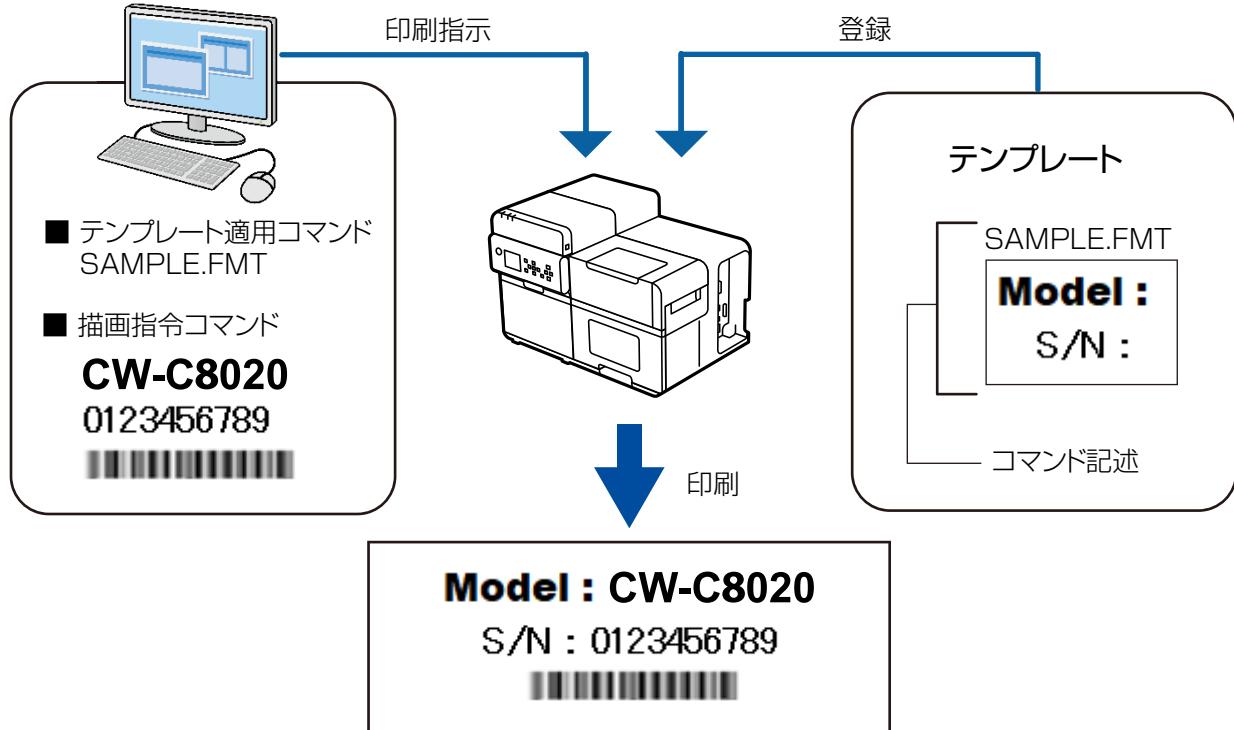


プリンターにプレプリント画像ファイルが送信されプレプリント画像として保存されます。

テンプレートの登録

テンプレートとは、ESC/Label コマンドを直接制御するアプリケーションで使用する定型的なラベルのフォーマットです。複数のラベルに共通の印刷内容をテンプレートとして登録しておくことで、アプリケーションは可変情報だけを都度生成してプリンターに送信し、テンプレートと組み合わせて印刷することができます。

テンプレートの作成や印刷時のテンプレートの指定は ESC/Label コマンドで行います。



テンプレートの作成

ESC/Label コマンドで、登録したい内容をテキストファイルまたはバイナリファイルにラベルフォーマットとして記述してください。ラベルフォーマット内にテンプレートファイル名も記述します。コマンドの詳細は『ESC/Label コマンドリファレンスガイド』"ラベルフォーマットのファイル保存"を参照してください。作成するテキストファイルまたはバイナリファイルの拡張子に規定はありません。

テンプレートの登録

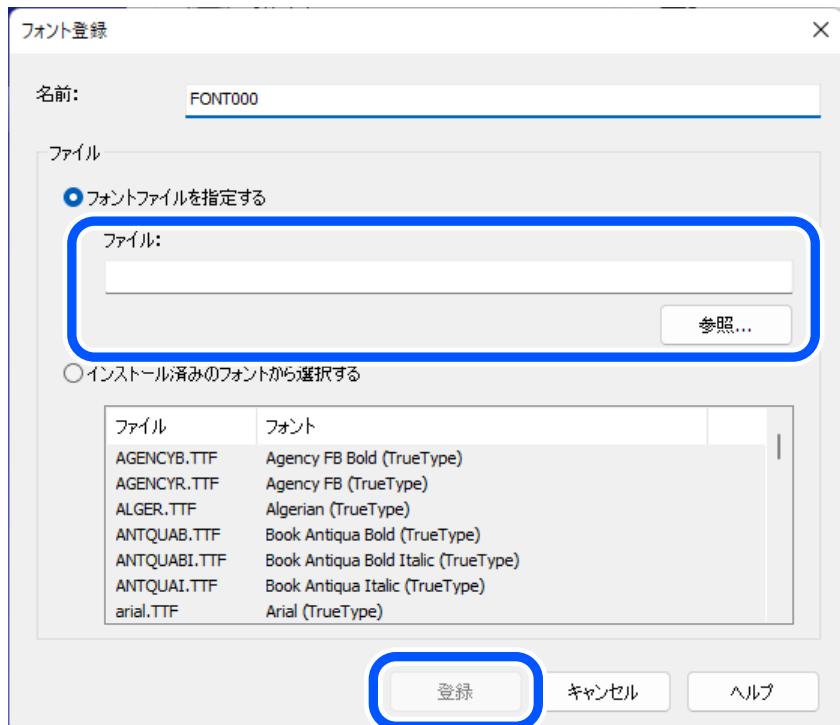
[テンプレート] の [登録] をクリックすると、テンプレートを登録する画面が表示されます。作成したテキストファイルまたはバイナリファイルを選択して [登録] をクリックします。



プリンターにテンプレートが保存されます。

フォントの登録

[フォント] の [登録] をクリックすると、フォントを登録する画面が表示されます。登録するフォントのファイル名 (TTF 形式) を選択して [登録] をクリックします。



プリンターにフォントファイルが送信され、プリンター内蔵フォントとして保存されます。

文字コード表の設定

ESC/Label コマンドの直接制御で文字を印刷する場合、使用する文字コードに応じた文字コード表をあらかじめ設定してください。

[文字コード表] の [登録済みデータ] から使用する文字コードを選択し、[選択] をクリックします。

文字コード	主な対象国言語	文字コード表
BIG5	台湾地区 / 香港 / マカオ	BIG52K7.CNV
EUC-CN	中国大陆地区 (簡体字)	EUCCN199.CNV
EUC-JP	日本	EUCJP2K7.CNV
KS X 1001(KS-C 5601-1987)	韓国	EUCKR2K6.CNV
GB18030	中国大陆地区 (簡体字)	GB18030.CNV
Shift-JIS	日本	SJIS2K3.CNV



ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターからの置き換えでは、ZPL II コマンドにより CW-C8000 Series ではサポートされない文字コードが指定され、選択した文字コード表が適用されないことがあります。その場合は [詳細設定] - [高度な設定] - [ZPL II コマンド搭載プリンターからの置き換え設定] 画面で [使用する文字エンコード] の設定をしてください。詳細は 210 ページ「ZPL II コマンド搭載プリンターからの置き換え設定」を参照してください。

プリセット画像を設定する

プリセット画像を設定します。



- 以下のソフトウェアを使用する場合に、本機能を使用します。
 - * Zebra Technologies Corporation 社の Windows ドライバー
 - * 本製品が対応している市販のラベル印刷アプリケーション
 - * ZPL II や ESC/Label コマンドを直接制御するアプリケーション
- プリンタードライバーから PrinterSetting を起動した場合、表示されません。



項目	説明
プリセット画像の設定	プリセット画像を使用しない
	通常の印刷の場合、指定した画像をプリセット画像として印刷します。 テンプレートを使用して印刷した場合、プリセット画像を印刷しません。
	テンプレートを使用して印刷した場合、指定された組み合わせに沿ってプリセット画像を印刷します。 テンプレートを使用しない場合、プリセット画像を印刷しません。 199 ページ「画像とテンプレートの連携」

プリセット画像の印刷方法

以下のソフトウェアを使用する場合に、プリセット画像が印刷されます。

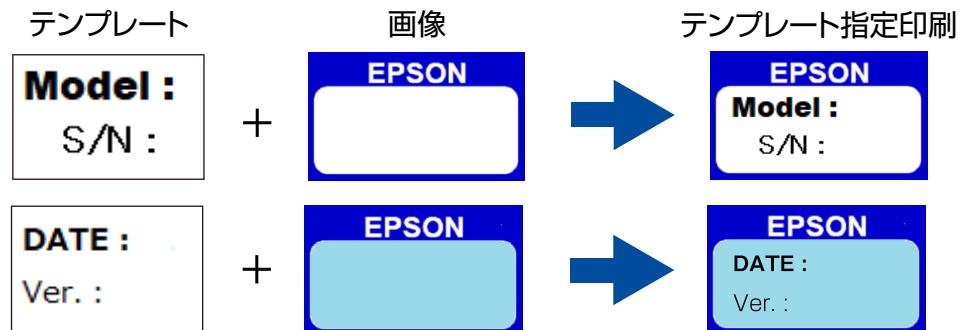
- Zebra Technologies Corporation 社の Windows ドライバー
- 本製品が対応している市販のラベル印刷アプリケーション
- ZPL II や ESC/Label コマンドを直接制御するアプリケーション



エプソンのプリンタードライバーではプリセット画像の印刷はできません。

画像とテンプレートの連携

CW-C8020 では、アプリケーションでテンプレートを指定した時に、そのテンプレートと連携する画像を自動で重ね合わせて印刷することができます。



あらかじめ使用するデータをプリンターに登録してから、画像とテンプレートの連携設定をします。

画像データの登録：[194 ページ「画像の登録」](#)

テンプレートデータの登録：[195 ページ「テンプレートの登録」](#)

データを登録した後、連携の設定をします。

[プリセット画像を設定する] の [テンプレートごとに異なるプリセット画像を使用する] を選択し、[編集] をクリックします。

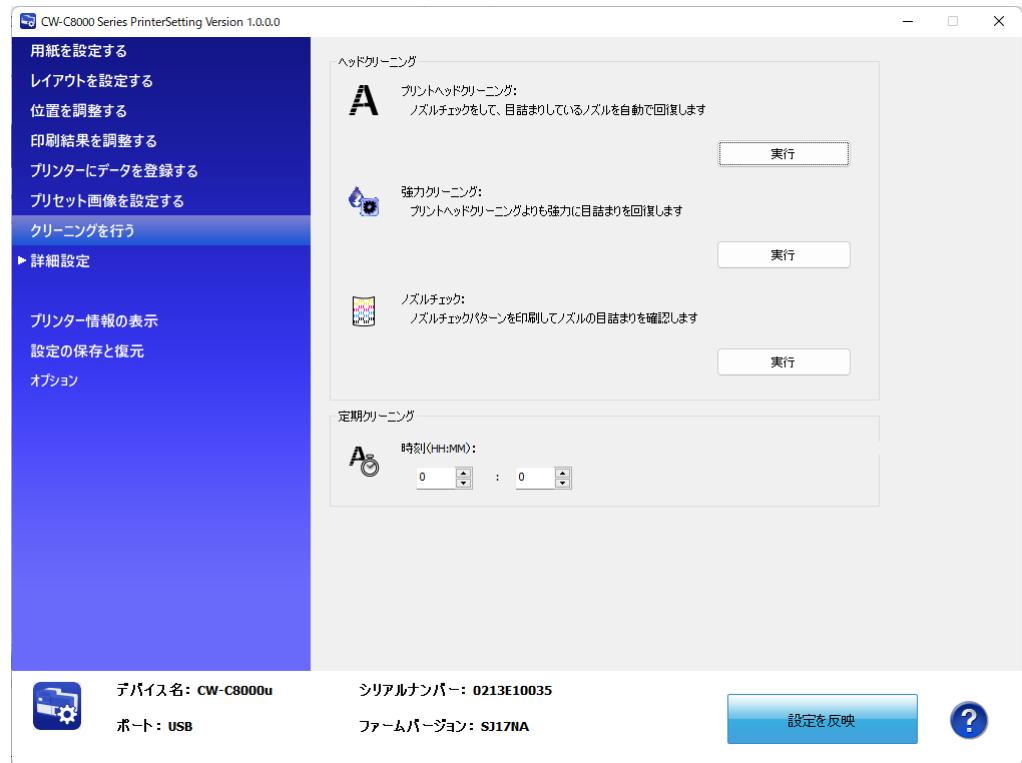


[テンプレートごとのプリセット画像] 画面で、テンプレートと、テンプレートと重ねて印刷したい画像を選択し、[OK] をクリックします。連携情報がプリンターに設定されます。



クリーニングを行う

ヘッドクリーニングやノズルチェックの実行、定期クリーニングの設定をします。



項目	説明	
ヘッドクリーニング	プリントヘッドクリーニング	ノズルチェックをして、目詰まりしているノズルを自動で回復します。 [実行] をクリックすると、クリーニングが実行されます。
	強力クリーニング	プリントヘッドのクリーニングよりも強力に目詰まりを回復します。 [実行] をクリックすると、クリーニングが実行されます。
	ノズルチェック	ノズルチェックパターンを印刷してノズルの目詰まりを確認します。 [実行] をクリックすると、ノズルパターンを印刷します。
定期クリーニング	指定した時刻に定期クリーニングを実施します。 [時刻 (HH:MM)] に定期クリーニングする時刻を指定します。 詳細は 33 ページ「定期自動クリーニング」 を参照してください。	

プリンター本体の設定

プリンター本体の設定をします。



項目		説明
動作設定	電源 ON 時の動作	電源を入れた時の動作を設定します。
	用紙交換時の動作	用紙交換時の動作を設定します。
	ヘッド - 用紙間距離	印刷する用紙の厚さによってプリントヘッドと用紙の距離を設定します。
通知設定	ブザー音量	ブザーの音量を設定します。
	エラー発生時の ブザー通知設定	エラー発生時にブザーを鳴らすかを設定します。 「ブザー音量」の設定が「オフ」以外の時に設定できます。
	連続鳴動	チェックを入れると、エラー発生時にはブザーが鳴り続けます。 操作パネルの (ホーム) ボタンまたは (戻る) ボタンを押すとブザーが止まります。
エラー設定	エラー発生時の 再印刷	エラー発生時の再印刷を設定します。
	未完成ラベル処理	未完成ラベルが発生した時にカットするかを設定します。
時刻設定		本体の日時を設定します。

色ずれ調整

プリントヘッドの色ずれ調整をします。



項目	説明
印刷枚数	色ずれ調整で使用する用紙枚数を設定します。
印刷用紙長	調整パターンの印刷に必要な用紙長が表示されます。[印刷枚数]の設定によって長さが異なります。

色ずれ調整を実行する



重要

色ずれの調整パターンを印刷するときは、幅 50.0 mm (1.97 インチ)、長さ 25.0 mm (0.98 インチ) 以上の印刷領域が確保できる用紙をセットしてください。用紙サイズが条件に満たない場合、エラーメッセージが表示され調整パターンは印刷されません。

1 調整パターンの印刷に使用する用紙をセットします。

2 [印刷枚数] を設定します。

以下の表を参考に印刷枚数を設定してください。

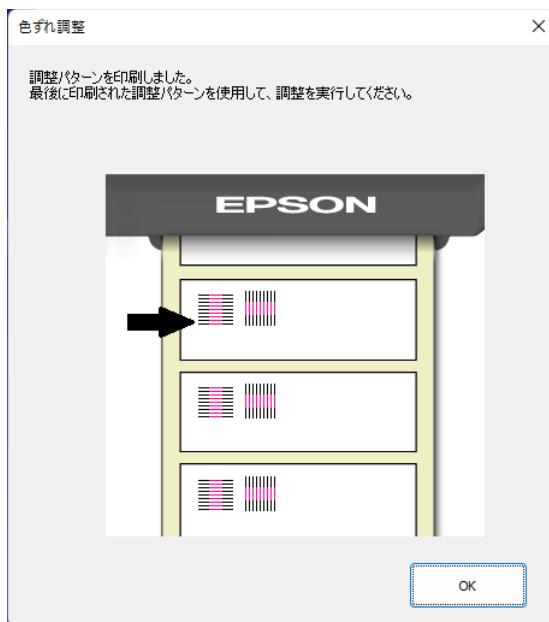
印刷枚数	説明
推奨	調整パターンの用紙の長さが 300 mm 以上になる、最小枚数が設定されます。 300 mm \leq 用紙の長さ * × 最小枚数
最小	調整パターンの用紙の長さが 125 mm 以上 300 mm 未満になる、最小枚数が設定されます。 125 mm \leq 用紙の長さ * × 最小枚数 < 300 mm
指定枚数	調整パターンの用紙の長さが 125 ~ 1016 mm の範囲で、ユーザーが印刷枚数を設定できます。 125 mm \leq 用紙の長さ * × [指定枚数] < 1016 mm

* 用紙の長さは、[長さ] と [ページ間距離] を合わせた長さです。
([364 ページ「用紙仕様」](#))

3 [調整] をクリックします。

4 色ずれの調整パターンが印刷されます。

最後に印刷された調整パターンを使用します。表示された画面で [OK] をクリックします。

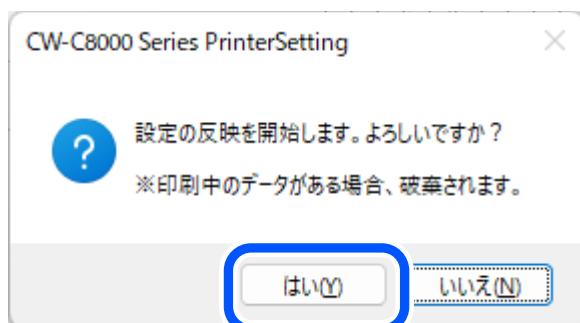


- 5 [垂直方向] と [水平方向] に、最もずれがないパターンの番号をそれぞれ選択し、[設定を反映] をクリックします。



このパターンの場合、垂直方向 =23、水平方向 =45 が適正パターンの番号になります。

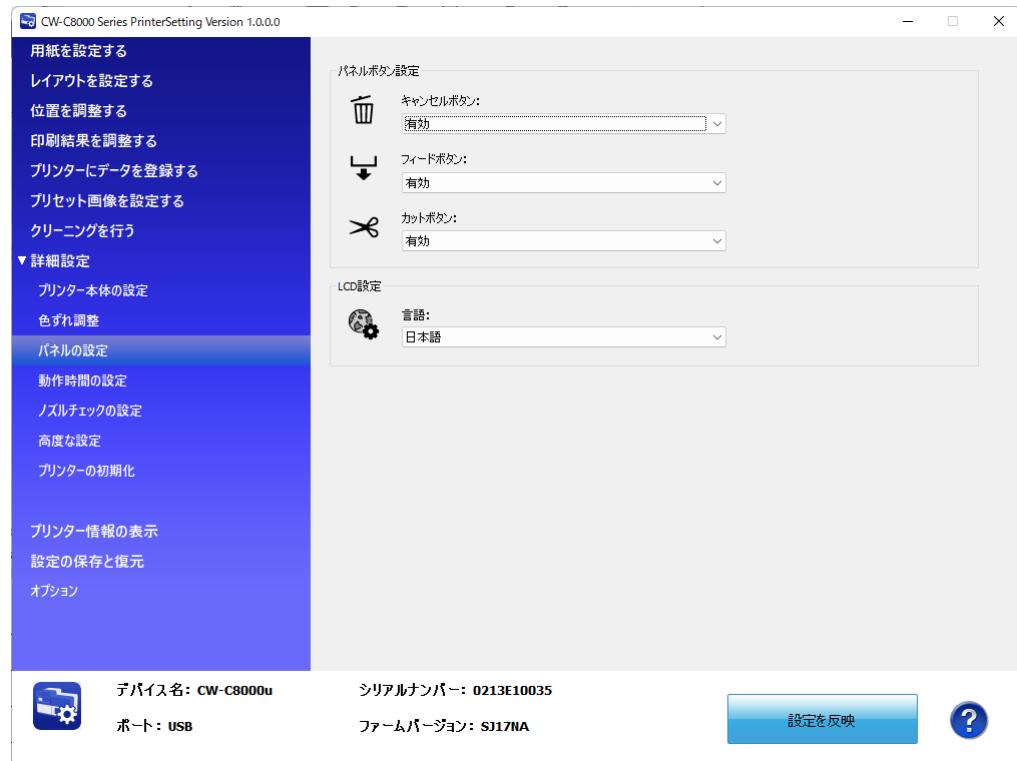
- 6 [はい] をクリックします。



- 7 調整が終了すると、終了画面が表示されます。[OK] をクリックします。

パネルの設定

パネルの設定をします。



項目	説明	
パネルボタン設定	キャンセルボタン	Cancel ボタンの有効 / 無効を設定します。
	フィードボタン	Feed ボタンの有効 / 無効を設定します。
	カットボタン	Cut ボタンの有効 / 無効を設定します。
LCD 設定	画面に表示する言語を設定します。	

動作時間の設定

動作時間の設定をします。



項目	説明
省電力移行時間の設定	印刷、定期自動クリーニングなどのプリンタ動作完了後、省電力モードへ移行するまでの時間を設定します。

ノズルチェックの設定

ノズルチェックの設定をします。

ノズルチェックの詳細については [29ページ「ノズル自己診断システム」](#) を、ノズル抜け補完機能の詳細については [32ページ「ノズル抜け補完機能」](#) を参照してください。



項目	説明	
検出全般設定	ノズル抜け許容数	ノズルチェックでノズル抜けと判定する数を設定します。
	検出時のクリーニング	ノズルチェックでノズル抜けと判定した場合、自動でヘッドクリーニングを実行するかを設定します。
印刷中の検出設定	ノズル抜け検出	印刷中にノズルチェックを実施するか設定します。
	検出間隔	ノズル抜け検出で「指定した枚数毎に行う」を選択した場合、診断を実施する間隔を設定します。
	検出時のノズル補完	ノズル抜けを検出した場合、ノズル抜け補完機能を使用するか設定します。 32ページ「ノズル抜け補完機能」 を参照してください。
	検出時の印刷動作定	ノズル抜けの数が設定した「ノズル抜け許容数」を超過した場合、印刷を継続するか停止するかを設定します。
初期値に戻す	ノズルチェックの設定を購入時の状態（初期値）に戻します。	

高度な設定

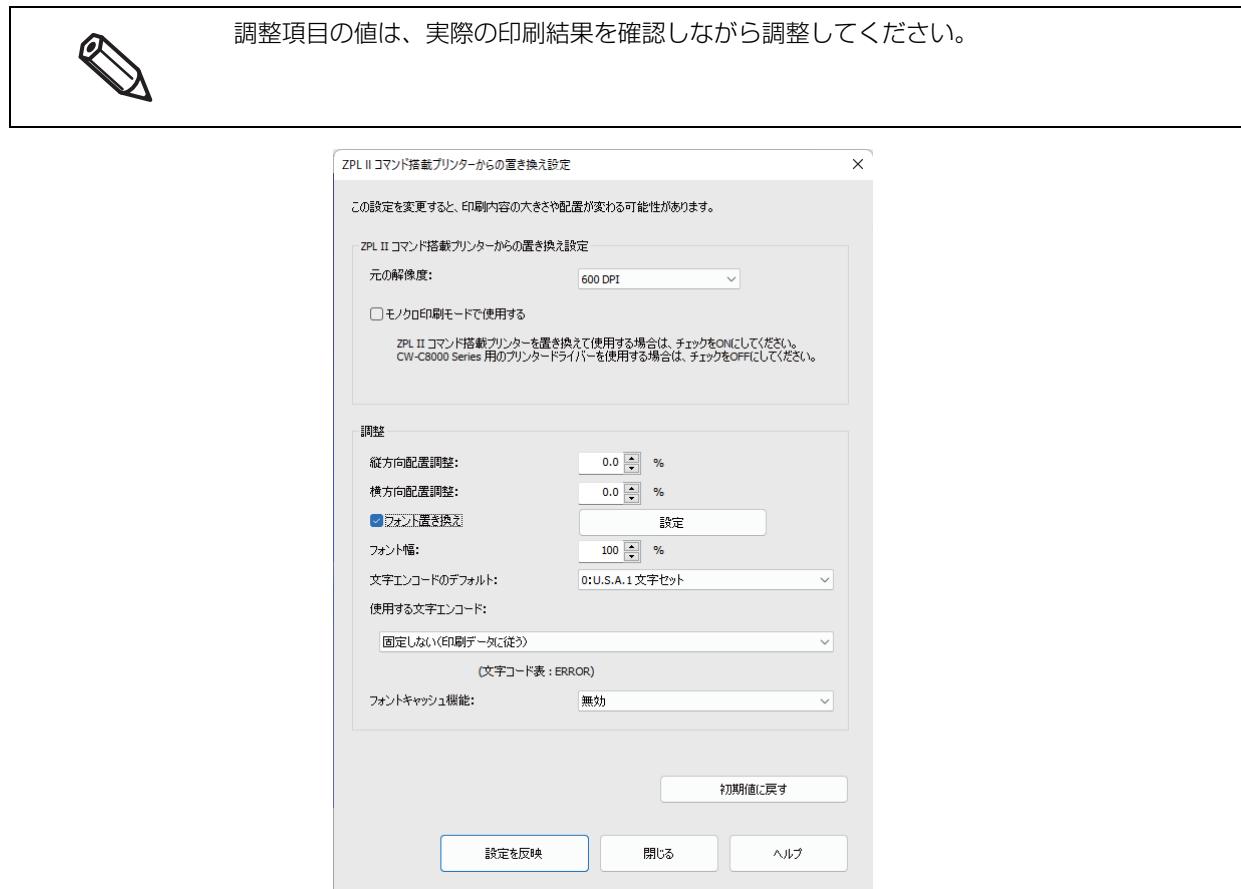
プリンター本体に高度な設定をします。



項目	説明
検出器のキャリブレーション	以下をプルダウンから選択して検出器のキャリブレーションを実行します。 <ul style="list-style-type: none">用紙検出（簡易） ラベル検出のしきい値を調整します。用紙検出 検出器の感度とラベル検出のしきい値を調整します。
ZPL II コマンド搭載プリンターからの置き換え設定	ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターからの置き換え設定を実行します。 [実行] をクリックすると、[ZPL II コマンド搭載プリンターからの置き換え設定] 画面が表示されます。 210ページ「ZPL II コマンド搭載プリンターからの置き換え設定」を参照してください。
	プレフィックス文字の設定 プレフィックス文字の設定をします。
プリンター本体のお気に入り設定	「お気に入り」を本製品に登録したり、登録済みの「お気に入り」の設定を本製品に反映したりします。 215ページ「お気に入りの登録」を参照してください。
拡張インターフェースの設定	拡張インターフェース信号の設定をします。 詳しくは「 CW-C8020 拡張インターフェース テクニカルリファレンスガイド 」を参照してください

ZPL II コマンド搭載プリンターからの置き換え設定

[ZPL II コマンド搭載プリンターからの置き換え設定] の [実行] をクリックすると、[ZPL II コマンド搭載プリンターからの置き換え設定] 画面が表示されます。



解像度の設定

[元の解像度] で解像度を設定します。

選択肢に同じ解像度がない場合は、近い解像度を選択します。例えば、今まで使っていた ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターの解像度が 203dpi の場合には、200dpi を選択します。

モノクロ印刷モードの設定

ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターからカラー印刷を行わない置き換えをする場合にチェックを付けます。

縦方向と横方向の配置調整

印刷オブジェクト（文字列や画像や図形など）の印字位置を調整します。

[元の解像度] を今まで使っていた ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターと同じ解像度に設定した場合は、[縦方向配置調整] [横方向配置調整] どちらとも「0」に設定します。

今まで使っていた ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターの解像度が 203dpi で、[元の解像度] を 200dpi に設定した場合は、[縦方向配置調整] [横方向配置調整] どちらとも「-1.5」に設定します。

フォントの置き換え

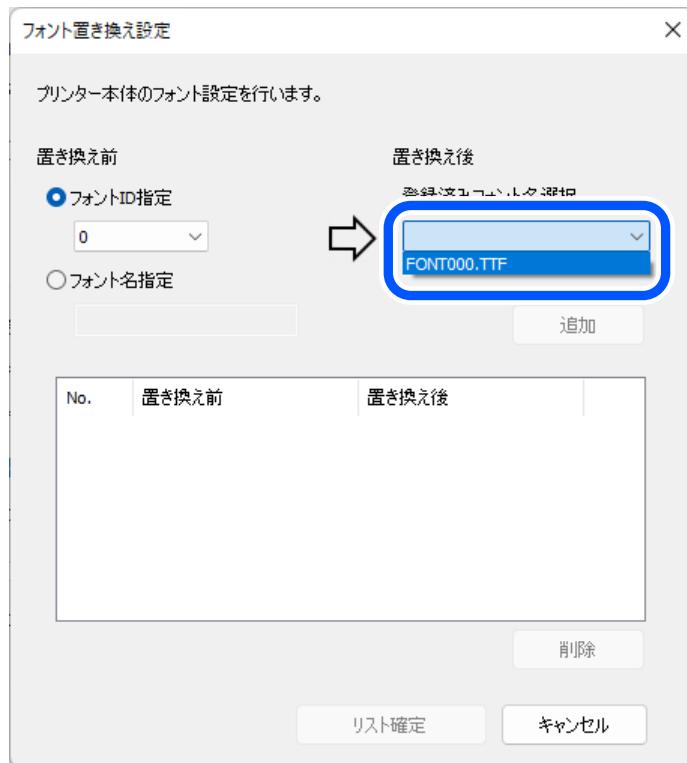
[フォント置き換え] の [設定] をクリックします。



設定画面が表示されるのでリストボックスからフォント ID を選択します。



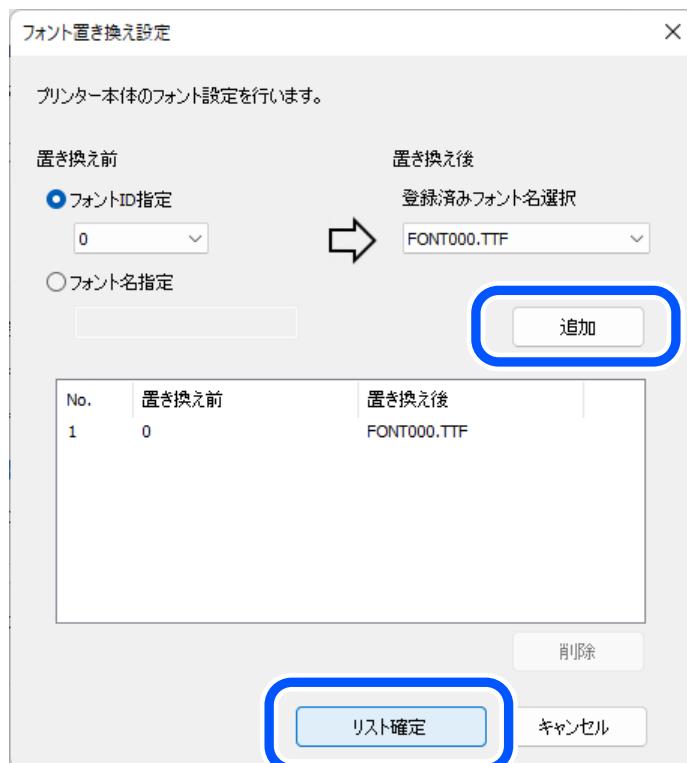
フォントIDを選択後、そのフォントIDに割り付ける登録済みフォント名を選択します。



[追加] をクリックすると画面内にリストが表示されます。

[リスト確定] をクリックすると、リストが保存され、[ZPL II コマンド搭載プリンターからの置き換え設定] 画面にもどります。

[フォント置き換え] にチェックを入れると、設定したフォントファイルに置き換えます。



フォント幅の設定

文字幅を調整します。最初は「100」に設定します。



文字の高さや行間を変える場合は、アプリケーション側で設定してください。

文字エンコードのデフォルトの設定

文字エンコードのデフォルトを設定します。印刷データの内容によって設定が参照されます。

使用する文字エンコード

印刷に使用する文字エンコードを設定します。

- 固定しない（印刷データに従う）

印刷データに従います。印刷データの内容により、[文字コード表] の設定や [文字エンコードのデフォルト] の設定に従って印刷します。

- [文字エンコードのデフォルト] の設定

[文字エンコードのデフォルト] の設定に従って印刷します。

- 文字コード表に固定

[プリンターにデータを登録する] - [文字コード表] の設定に従って印刷します。

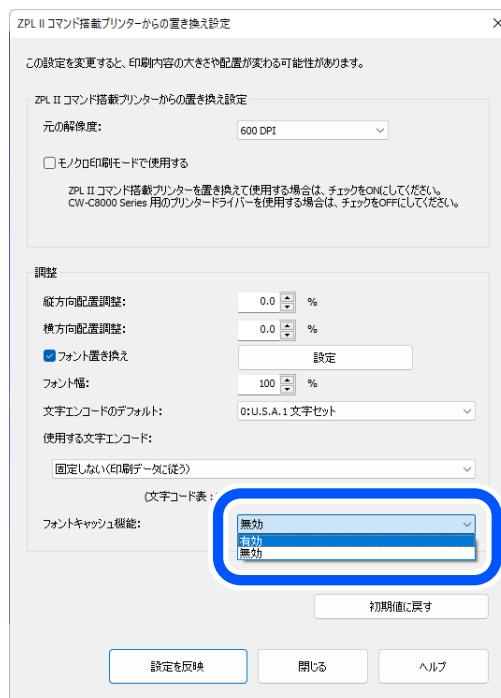
フォントキャッシュ機能の設定

プリンターはフォントの置き換えをする際に、SD カードのフォントデータにアクセスします。

フォントキャッシュ機能を有効にすることで、SD カードのフォントデータがプリンターの RAM ドライブにキャッシュされ、印刷時間が短縮される場合があります。



フォントキャッシュ機能を有効にすることで、プリンターの RAM ドライブの容量が消費されます。

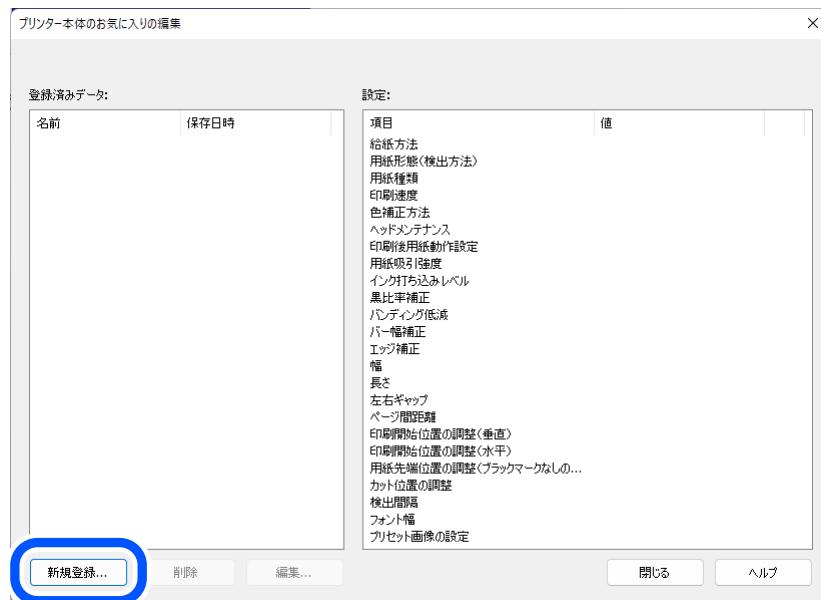


設定値の転送

必要な設定が終わったら [設定を反映] をクリックします。
設定した値がプリンターに転送され設定が保存されます。

お気に入りの登録

- 1 [プリンター本体のお気に入り設定] の [登録 / 削除 / 編集] をクリックします。
- 2 [プリンター本体のお気に入りの編集] 画面が表示されます。[新規登録] をクリックします。

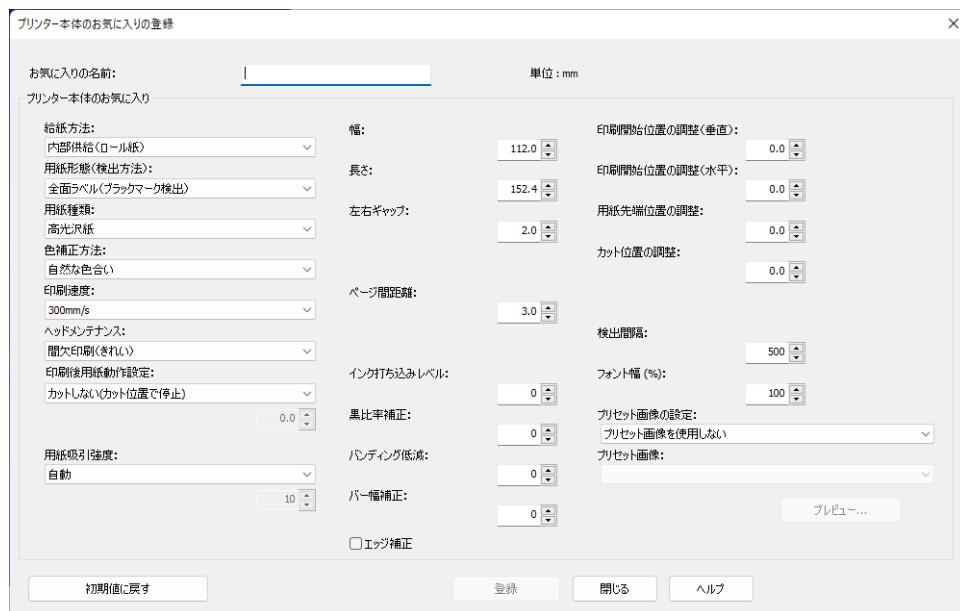


- 3 [プリンター本体のお気に入りの登録] 画面が表示されます。[お気に入りの名前] を入力し、[プリンター本体のお気に入り] の各項目を設定します。設定後、[登録] をクリックします。



- 「お気に入り」の [お気に入りの名前] には、「'~'、'.'、'!'' および '' を除く ASCII (20h ~ 7Eh) 文字が有効であり、15 文字が指定できます。
- 「お気に入り」は合計 100 個まで登録できます。

[初期値に戻す] をクリックすると、設定済みの本製品の設定値を初期値に戻します。

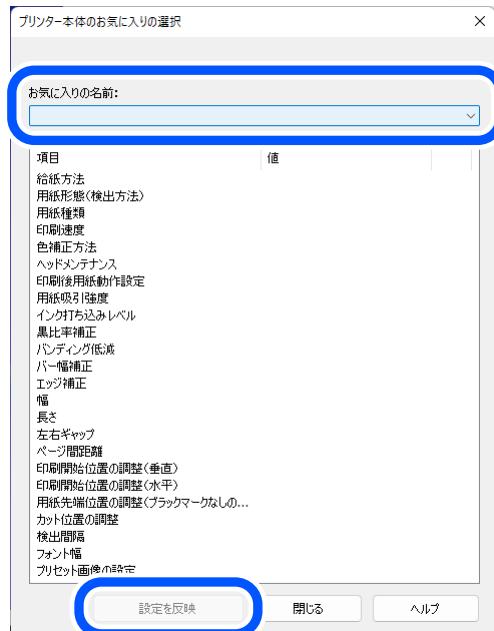


- 4 [閉じる] をクリックすると、[プリンター本体のお気に入りの編集] 画面に戻ります。[登録済みデータ] に、登録した「お気に入り」が表示されます。

お気に入りの設定を反映

登録した「お気に入り」の設定を、本製品に反映することができます。

- 1 [プリンター本体のお気に入り設定] の [登録したお気に入りを選択する] をクリックします。
- 2 [プリンター本体のお気に入りの選択] 画面が表示されます。[お気に入りの名前] から設定を反映させる「お気に入り」を選択し、[設定を反映] をクリックします。



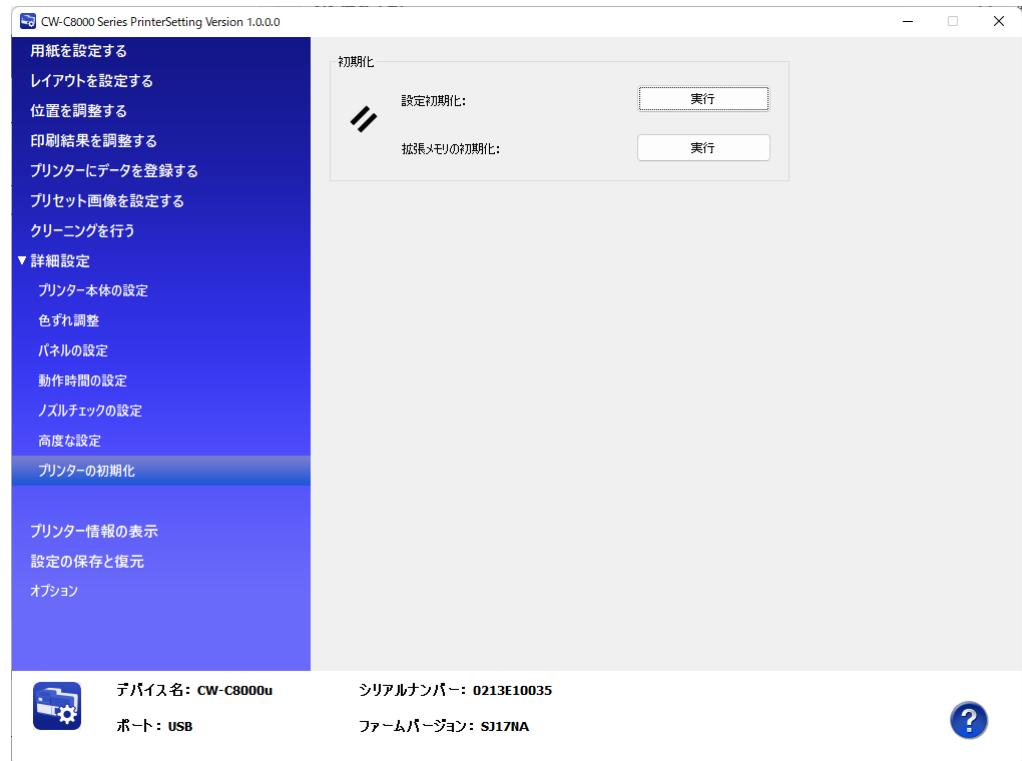
1台で複数の種類のメディアを印刷する場合は、メディアごとに印刷設定を登録しておくと、メディアを変えるたびに印刷設定を入力する必要がなくなるため便利です。

プリンターの初期化

プリンターを初期化します。



【設定初期化】を選択すると、これまで登録した画像データや設定ファイルが全て削除されます。



項目	説明	
初期化	設定初期化	プリンター本体の設定を初期化します。
	拡張メモリの初期化	拡張メモリーを初期化します。

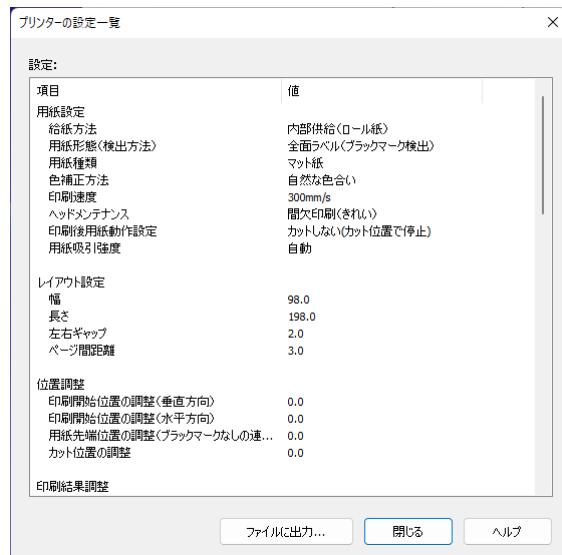
プリンター情報の表示

プリンター本体の情報を表示します。



プリンターの設定一覧

プリンターの設定一覧の【表示】をクリックすると、【プリンターの設定一覧】画面が表示されます。【ファイルに出力】をクリックすると、現在の設定をテキストファイルに保存することができます。



設定の保存と復元

本製品の設定の保存と復元をします。



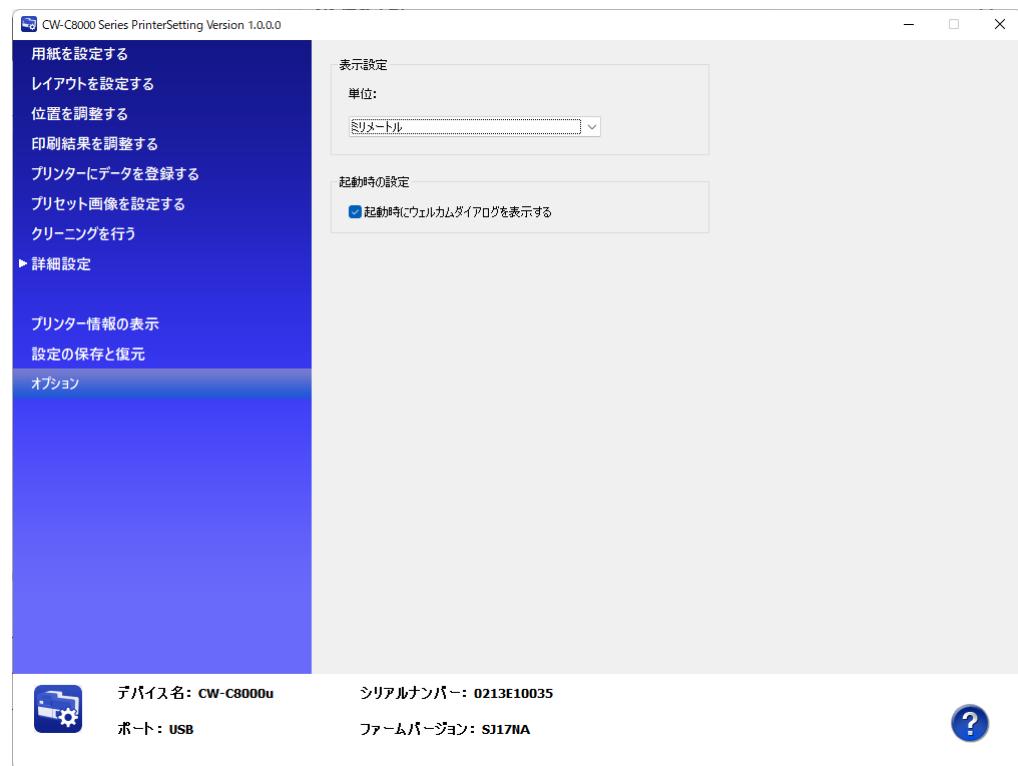
項目	説明	
設定の保存	保存するデータ	保存するデータを設定します。保存したいデータにチェックを入れます。
	保存先フォルダ	保存先のフォルダーを指定します。
	ファイル名	任意のファイル名を指定します。
	保存を開始する	保存するデータ、保存先フォルダ、ファイル名を指定し、[保存を開始する] をクリックすると、本製品の設定が保存されます。
設定の復元	バックアップファイル	バックアップファイルを指定します。
	ファイルデータ	バックアップファイルの情報を表示します。
	復元を開始する	バックアップファイルを指定後、[復元を開始する] をクリックすると、本製品の設定を復元します。



データが大きい場合、処理に時間がかかります。

オプション

PrinterSetting で使用する単位と起動時の設定をします。



項目		説明
表示設定	単位	単位を設定します。
起動時の設定	起動時にウェルカムダイアログを表示する	起動時にウェルカムダイアログを表示するか設定します。



単位の設定は PrinterSetting のみ対象となります。操作パネルやプリンタードライバーには反映されません。

操作パネルの設定項目

この表は、操作パネルで設定できるメニュー項目（設定値、初期値）と、管理者ロック機能でロックされる項目を示しています。管理者ロック機能の詳細については [233 ページ「パネル操作を制限する（管理者ロック機能）」](#) を参照してください。



- 【用紙種類】は、【用紙設定】と【印刷設定】の両方から管理者ロックを設定できます。
- 管理者ロックを解除するためには、【プリンター設定】と【用紙設定】の両方の管理者ロックを解除してください。
- 【プリンター設定】または【用紙設定】のどちらかで管理者ロックした場合、ロックしていない【用紙種類】もロックされます。

設定メニュー項目	設定値	初期値	管理者ロック				
			本体設定	プリンター設定	用紙設定		
用紙設定							
用紙種類							
	普通紙	マット紙	-	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
	マット紙		-	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
	合成紙		-	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
	上質紙		-	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
	光沢紙		-	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
	光沢フィルム		-	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
	高光沢紙		-	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
用紙形態							
	ダイカットラベル	ダイカットラベル	-	-	<input checked="" type="radio"/>		
	全面ラベル		-	-	<input checked="" type="radio"/>		
	連続紙		-	-	<input checked="" type="radio"/>		
	タグ		-	-	<input checked="" type="radio"/>		
用紙検出方法							
	ギャップ	ギャップ	-	-	<input checked="" type="radio"/>		
	ブラックマーク		-	-	<input checked="" type="radio"/>		
	マーク無		-	-	<input checked="" type="radio"/>		
	穴		-	-	<input checked="" type="radio"/>		
給紙方法							
	内部供給	内部供給	-	-	<input checked="" type="radio"/>		
	外部供給		-	-	<input checked="" type="radio"/>		
用紙形状							
	ロール紙	ロール紙	-	-	<input checked="" type="radio"/>		
	ファンフォールド紙		-	-	<input checked="" type="radio"/>		
用紙レイアウト							
幅	21.4 ~ 112.0 mm/ 0.84 ~ 4.41 in.	108.0 mm/ 4.25 in.	-	-	<input checked="" type="radio"/>		
長さ	ダイカットラベル / 全面ラベル（ブラックマーク） / 連続紙（ブラックマーク）	8.0 ~ 1016.0 mm/ 0.31 ~ 40.00 in.	152.4 mm/ 6.00 in.	-	<input checked="" type="radio"/>		

設定メニュー項目			設定値	初期値	管理者ロック			
					本体設定	プリンタ設定	用紙設定	
全面ラベル（マーク無） / 連続紙（マーク無）	タグ		11.0 ~ 1016.0 mm/ 0.43 ~ 40.00 in.	152.4 mm/ 6.00 in.	-	-	○	
	タグ		8.0 ~ 300.0 mm/ 0.31 ~ 11.81 in.	152.4 mm/ 6.00 in.	-	-	○	
	ページ間距離		3.0 ~ 6.0 mm/ 0.12 ~ 0.24 in.	3 mm/ 0.12 in.	-	-	○	
	左右ギャップ		0 ~ 6.0 mm / 0 ~ 0.24 in.	2.0 mm / 0.08 in.	-	-	○	
	左ギャップ		0 ~ 30.0 mm/ 0 ~ 1.18 in.	2.0 mm / 0.08 in.	-	-	○	
	右ギャップ		0 ~ 30.0 mm/ 0 ~ 1.18 in.	2.0 mm / 0.08 in.	-	-	○	
	穴・用紙端間距離		0 ~ 306.0 mm/ 0 ~ 12.05 in.	28.4 mm / 1.12 in.	-	-	○	
	印刷位置調整							
印刷位置調整（縦方向）	印刷位置調整（縦方向）		±2.0 mm/ ±0.08 in.	0 mm/0 in.	-	-	○	
	印刷位置調整（横方向）		±1.0 mm/ ±0.04 in.	0 mm/0 in.	-	-	○	
	用紙先端位置調整 (全面ラベル（マークなし） / 連続紙（マークなし） / タグ)		0 ~ 21.7 mm/ 0 ~ 0.85 in.	0 mm/0 in.	-	-	○	
印刷設定								
用紙種類								
普通紙		マット紙	-	○	○			
マット紙			-	○	○			
合成紙			-	○	○			
上質紙			-	○	○			
光沢紙			-	○	○			
光沢フィルム			-	○	○			
高光沢紙			-	○	○			
色補正方法設定								
自然な色合い		自然な色合い	-	○	-			
EPSON 基準色 (sRGB)			-	○	-			
あざやかな色合い			-	○	-			
色補正なし			-	○	-			
印刷速度			300 mm/s	300 mm/s	-	○	-	
			150 mm/s		-	○	-	
解像度								
200dpi		600dpi	-	○	-			
300dpi			-	○	-			
600dpi			-	○	-			

設定メニュー項目	設定値	初期値	管理者ロック		
			本体設定	プリンタ設定	用紙設定
ヘッドメンテナンス	連続印刷(はやい)	間欠印刷(きれい)	-	○	-
	間欠印刷(きれい)	-	○	-	-
コマンド制御文字					
コントロールプレフィックス	0X20～7E	0X7E	-	○	-
フォーマットプレフィックス	0X20～7E	0X5E	-	○	-
デリミタ文字	0X20～7E	0X2C	-	○	-
プリンターのお手入れ					
プリントヘッドのノズルチェック	-	-	-	-	-
プリントヘッドのクリーニング	-	-	-	-	-
強力クリーニング	-	-	-	-	-
インクパック交換	-	-	-	-	-
メンテナントボックス交換	-	-	-	-	-
色ずれ調整	-	-	-	-	-
キャリブレーションの実施					
用紙検出(簡易)	-	-	○	-	-
用紙検出	-	-	○	-	-
ノズル抜け検出設定					
検出全般設定					
ノズル抜け許容数	0～10	6	-	○	-
検出時のクリーニング	する	する	-	○	-
	する(印刷中はしない)		-	○	-
	しない		-	○	-
印刷中の検出設定					
ノズル抜け検出	オン	オフ	-	○	-
	オフ		-	○	-
検出間隔	1～25000	500	-	○	-
検出時のノズル補完	オン	オン	-	○	-
	オフ		-	○	-
検出時の印刷動作	印刷一時停止	印刷継続	-	○	-
	印刷継続		-	○	-
設定クリア	-	-	-	○	-
定期クリーニング	HH:MM(1分刻み)	00:00	-	○	-
インク排出	-	-	-	○	-

設定メニュー項目	設定値	初期値	管理者ロック				
			本体設定	プリンタ設定	用紙設定		
本体設定							
基本設定							
画面の明るさ設定	1 ~ 5	5	<input checked="" type="radio"/>	-	-		
音の設定							
オフ	中	<input checked="" type="radio"/>	-	-	-		
小		<input checked="" type="radio"/>	-	-	-		
中		<input checked="" type="radio"/>	-	-	-		
大		<input checked="" type="radio"/>	-	-	-		
最大		<input checked="" type="radio"/>	-	-	-		
エラー発生時の ブザー通知設定	オフ	オン	<input checked="" type="radio"/>	-	-		
	オン		<input checked="" type="radio"/>	-	-		
エラー音の繰り返し	オフ	オフ	<input checked="" type="radio"/>	-	-		
	オン		<input checked="" type="radio"/>	-	-		
長さ単位							
mm	mm	<input checked="" type="radio"/>	-	-	-		
inch		<input checked="" type="radio"/>	-	-	-		
省電力							
設定	オン	オン	<input checked="" type="radio"/>	-	-		
	オフ		<input checked="" type="radio"/>	-	-		
省電力移行時間	1 ~ 240 分	30 分	<input checked="" type="radio"/>	-	-		
ブレーカー連動起動							
オン	オフ	<input checked="" type="radio"/>	-	-	-		
オフ		<input checked="" type="radio"/>	-	-	-		
日付 / 時刻設定							
日付 / 時刻	年.月.日	-	<input checked="" type="radio"/>	-	-		
	月.日.年	-	<input checked="" type="radio"/>	-	-		
	日.月.年	-	<input checked="" type="radio"/>	-	-		
サマータイム	しない	-	<input checked="" type="radio"/>	-	-		
	する		<input checked="" type="radio"/>	-	-		
時差	-12:45 ~ +13:45	-	<input checked="" type="radio"/>	-	-		
言語選択 /Language							
Nederlands	日本語	-	<input checked="" type="radio"/>	-	-		
English		-	<input checked="" type="radio"/>	-	-		
Français		-	<input checked="" type="radio"/>	-	-		
Deutsch		-	<input checked="" type="radio"/>	-	-		
Ελληνικά		-	<input checked="" type="radio"/>	-	-		
Italiano		-	<input checked="" type="radio"/>	-	-		
日本語		-	<input checked="" type="radio"/>	-	-		
한국어		-	<input checked="" type="radio"/>	-	-		
Polski		-	<input checked="" type="radio"/>	-	-		
Português		-	<input checked="" type="radio"/>	-	-		
Русский		-	<input checked="" type="radio"/>	-	-		
简体中文		-	<input checked="" type="radio"/>	-	-		

設定メニュー項目		設定値	初期値	管理者ロック			
				本体設定	プリンタ設定	用紙設定	
言語	Español			-	-	-	
	繁體中文			-	-	-	
	Türkçe			-	-	-	
背景色設定							
背景色	グレー	ブラック	-	-	-	-	
	ブラック		-	-	-	-	
	ホワイト		-	-	-	-	
キーボード	QWERTY	QWERTY	-	-	-	-	
	AZERTY		-	-	-	-	
	QWERTZ		-	-	-	-	
パネルボタン設定							
カット	有効	有効	○	-	-	-	
	無効		○	-	-	-	
キャンセル	有効	有効	○	-	-	-	
	無効		○	-	-	-	
フィード	有効	有効	○	-	-	-	
	無効		○	-	-	-	
プリンタ設定							
画質設定							
マニュアル色補正設定							
明るさ	-25~25	0	-	○	-	-	
彩度	-25~25	0	-	○	-	-	
コントラスト	-25~25	0	-	○	-	-	
色調(シアン)	-25~25	0	-	○	-	-	
色調(マゼンタ)	-25~25	0	-	○	-	-	
色調(イエロー)	-25~25	0	-	○	-	-	
インク打ち込みレベル	-3~10(1間隔)	0	-	○	-	-	
黒比率補正	-6~0(1間隔)	0	-	○	-	-	
バンディング低減	-3~7(1間隔)	0	-	○	-	-	
バーコード幅補正	-2~2(1間隔)	0	-	○	-	-	
エッジ補正	オン	オフ	-	○	-	-	
	オフ		-	○	-	-	
印刷動作設定							
印刷後の動作設定							
カットする	-	カットしない (カット位置で停止)	-	○	-	-	
カットしない(カット位置で停止)	-		-	○	-	-	
カットしない(指定位置で停止)	-		-	○	-	-	

設定メニュー項目		設定値	初期値	管理者ロック		
				本体設定	プリンタ設定	用紙設定
指定停止位置調整	0 ~ 50.0 mm/ 0 ~ 1.97 in.	0 mm/ 0 in.	-	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	-
	- 20.0 ~ 1.5 mm/ - 0.785 ~ 0.06 in.	0 mm/ 0 in.	-	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	-
エラー発生時の再印刷設定		有効	有効	-	<input checked="" type="radio"/>	-
				-	<input checked="" type="radio"/>	-
未完成ラベル処理	カットする	カットする	カットする	-	<input checked="" type="radio"/>	-
	カットしない			-	<input checked="" type="radio"/>	-
用紙吸引強度						
設定	自動	自動	10	-	<input checked="" type="radio"/>	-
	手動			-	<input checked="" type="radio"/>	-
用紙吸引強度	1 ~ 10			-	<input checked="" type="radio"/>	-
ヘッド - 用紙間距離	1 ~ 4			-	<input checked="" type="radio"/>	-
パネルによるキャンセル動作設定						
	ジョブのキャンセルのみ	ジョブのキャンセルのみ	10	-	<input checked="" type="radio"/>	-
	ジョブと RAM ドライブのキャンセル			-	<input checked="" type="radio"/>	-
拡張インターフェイス設定						
印刷完了・紙送り状態信号	信号無効	信号無効	10	-	<input checked="" type="radio"/>	-
	有効時 Low レベル			-	<input checked="" type="radio"/>	-
	有効時 High レベル			-	<input checked="" type="radio"/>	-
	有効時 Low パルス			-	<input checked="" type="radio"/>	-
	有効時 High パルス			-	<input checked="" type="radio"/>	-
印刷データ準備完了信号	信号無効	信号無効	10	-	<input checked="" type="radio"/>	-
	有効時 Low レベル			-	<input checked="" type="radio"/>	-
	有効時 High レベル			-	<input checked="" type="radio"/>	-
ノズル抜けあり信号	信号無効	信号無効	10	-	<input checked="" type="radio"/>	-
	有効時 Low レベル			-	<input checked="" type="radio"/>	-
	有効時 High レベル			-	<input checked="" type="radio"/>	-
ヘッドメンテナンス中信号	信号無効	信号無効	10	-	<input checked="" type="radio"/>	-
	有効時 Low レベル			-	<input checked="" type="radio"/>	-
	有効時 High レベル			-	<input checked="" type="radio"/>	-
プリンターREADY信号	信号無効	信号無効	10	-	<input checked="" type="radio"/>	-
	有効時 Low レベル			-	<input checked="" type="radio"/>	-
	有効時 High レベル			-	<input checked="" type="radio"/>	-
ワーニング信号	信号無効	信号無効	10	-	<input checked="" type="radio"/>	-
	有効時 Low レベル			-	<input checked="" type="radio"/>	-
	有効時 High レベル			-	<input checked="" type="radio"/>	-

設定メニュー項目		設定値	初期値	管理者ロック				
				本体設定	プリンタ設定	用紙設定		
エラー & ポーズ信号	信号無効	信号無効	-	○	-			
	通常時 High、エラー時 Low		-	○	-			
	通常時 Low、エラー時 High		-	○	-			
	通常時 High、エラーまたはポーズ時 Low		-	○	-			
	通常時 Low、エラーまたはポーズ時 High		-	○	-			
インクロ一信号	信号無効	信号無効	-	○	-			
	有効時 Low レベル		-	○	-			
	有効時 High レベル		-	○	-			
インクエンド信号	信号無効	信号無効	-	○	-			
	有効時 Low レベル		-	○	-			
	有効時 High レベル		-	○	-			
用紙エンド信号	信号無効	信号無効	-	○	-			
	有効時 Low レベル		-	○	-			
	有効時 High レベル		-	○	-			
ポーズ指令信号	信号を無視する	信号を無視する	-	○	-			
	Low 時、実行		-	○	-			
ヘッドクリーニング指令信号	信号を無視する	信号を無視する	-	○	-			
	Low 時、実行		-	○	-			
ノズル抜けチェック指令信号	信号を無視する	信号を無視する	-	○	-			
	Low 時、実行		-	○	-			
用紙送り指令信号	信号を無視する	信号を無視する	-	○	-			
	Low 時、実行		-	○	-			
印刷開始指令信号	信号を無視する	信号を無視する	-	○	-			
	Low 時、実行		-	○	-			
	Low 時、継続		-	○	-			
再印刷指令信号	信号を無視する	信号を無視する	-	○	-			
	Low 時、実行		-	○	-			
用紙交換時の動作		フィード	フィード	-	○	-		
				-	○	-		
				-	○	-		
				-	○	-		
				-	○	-		
電源オン時の動作		フィード	フィードしない	-	○	-		
				-	○	-		
				-	○	-		
				-	○	-		
				-	○	-		

設定メニュー項目	設定値	初期値	管理者ロック				
			本体設定	プリンタ設定	用紙設定		
ネットワーク設定							
無線 LAN 接続設定							
ルーター							
無線 LAN ルーターを検索	-	-	○	-	-		
プッシュボタンで設定 (AOSS/WPS)	-	-	○	-	-		
その他	PIN コード自動設定 (WPS)	-	○	-	-		
	カンタン自動設定	-	○	-	-		
	無線 LAN を無効にする	-	○	-	-		
Wi-Fi Direct							
iOS デバイスとつなぐ	-	-	○	-	-		
その他スマートデバイスとつなぐ	-	-	○	-	-		
設定を変更する							
接続名を変更する	-	-	○	-	-		
パスワードを変更する	-	-	○	-	-		
周波数帯を変更する	2.4 GHz	2.4 GHz	○	-	-		
	5 GHz		○	-	-		
Wi-Fi Direct を無効にする	-	-	○	-	-		
初期設定に戻す	-	-	○	-	-		
有線 LAN 接続設定							
ネットワーク情報							
有線・無線接続状態	-	-	○	-	-		
有線接続状態	-	-	○	-	-		
Wi-Fi Direct 接続状態	-	-	○	-	-		
ステータスシート印刷	-	-	○	-	-		
接続診断							
詳細設定							
デバイス名	-	-	○	-	-		
TCP/IP	-	-	○	-	-		
プロキシサーバー	-	-	○	-	-		
IPv6 アドレス							
有効	有効	○	-	-	-		
		○	-	-	-		
Link Speed & Duplex							
自動	自動	○	-	-	-		
100BASE-TX Auto		○	-	-	-		
10BASE-T Half Duplex		○	-	-	-		

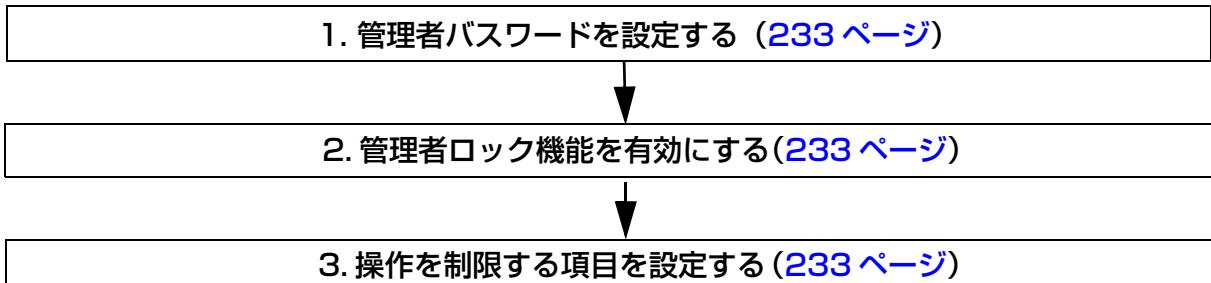
設定メニュー項目		設定値	初期値	管理者ロック					
				本体設定	プリンタ設定	用紙設定			
		10BASE-T Full Duplex		<input checked="" type="radio"/>	-	-			
		100BASE-TX Half Duplex		<input checked="" type="radio"/>	-	-			
		100BASE-TX Full Duplex		<input checked="" type="radio"/>	-	-			
HTTP を HTTPS にリダイレクト		有効	有効	<input checked="" type="radio"/>	-	-			
				<input checked="" type="radio"/>	-	-			
IPsec/IP フィルタリングの無効化		-	-	<input checked="" type="radio"/>	-	-			
IEEE802.1X の無効化		-	-	<input checked="" type="radio"/>	-	-			
管理者用設定									
内部メモリーデータ削除		-	-	<input checked="" type="radio"/>	-	-			
セキュリティ設定									
管理者設定									
管理者パスワード		変更	初期設定に戻す	<input checked="" type="radio"/>	-	-			
				<input checked="" type="radio"/>	-	-			
管理者ロック									
		オン	オフ	<input checked="" type="radio"/>	-	-			
		オフ		<input checked="" type="radio"/>	-	-			
本体設定		オン	※ 管理者ロックをオンに設定するとオン固定になる。	<input checked="" type="radio"/>	-	-			
				<input checked="" type="radio"/>	-	-			
プリンタ設定									
		オン	オフ	<input checked="" type="radio"/>	-	-			
		オフ		<input checked="" type="radio"/>	-	-			
用紙設定									
		オン	オフ	<input checked="" type="radio"/>	-	-			
		オフ		<input checked="" type="radio"/>	-	-			
パスワード暗号化		オフ	オフ	<input checked="" type="radio"/>	-	-			
		オン		<input checked="" type="radio"/>	-	-			
初期設定に戻す									
ネットワーク設定		-	-	<input checked="" type="radio"/>	-	-			
用紙検出しきい値		-	-	<input checked="" type="radio"/>	-	-			
全ての設定		-	-	<input checked="" type="radio"/>	-	-			
言語選択 /Language									
お気に入り選択									
消耗品情報									

設定メニュー項目	設定値	初期値	管理者ロック		
			本体設定	プリンターセット	用紙設定
情報確認 / 印刷					
ファームウェアバージョン	-	-	-	-	-
本体ステータスシートの印刷					
プリンターアクションシート	-	-	-	-	-
フォントリスト	-	-	-	-	-
バーコードリスト	-	-	-	-	-
イメージリスト	-	-	-	-	-
テンプレートリスト	-	-	-	-	-
ネットワーク	-	-	-	-	-
メンテナンスカウンター					
合計印刷距離	-	-	-	-	-
印刷距離 (リセットカウンター1)	-	-	-	-	-
印刷距離 (リセットカウンター2)	-	-	-	-	-
合計印刷枚数	-	-	-	-	-
印刷枚数 (リセットカウンター1)	-	-	-	-	-
印刷枚数 (リセットカウンター2)	-	-	-	-	-
キャリッジバス数	-	-	-	-	-
オートカッター動作回数	-	-	-	-	-
バルブ動作回数	-	-	-	-	-
流路ポンプ動作回数	-	-	-	-	-

パネル操作を制限する(管理者ロック機能)

管理者ロック機能を使用すると、パネル操作でプリンターの用紙設定や印刷設定、システム管理に関する設定が不用意に変更されるのを防ぎます。

以下の手順で設定します。



以下の設定項目がロックできます。

本体設定 : ネットワーク設定や日付設定など、一度設定したらほとんど変更しない設定項目

用紙設定 : 用紙に関する設定項目

プリンター設定 : プリンターの調整や保守、印刷に関する設定項目

ロックできる項目の詳細は [223 ページ「操作パネルの設定項目」](#) の「管理者ロック」の列を参照してください。

管理者パスワードの初期値を確認する

管理者パスワードの初期値はプリンターの右側面にあるパスワードラベルの”PASSWORD”が初期値です。



この例の場合、初期パスワードは 03212791 です。

管理者ロック機能を有効にする

あらかじめ管理者パスワードを設定してください。

- 1 [Menu] - [本体設定] - [管理者用設定] - [セキュリティ設定] - [管理者設定] の順に選択します。
- 2 [管理者ロック] を [オン] に設定します。
パネル操作をロックできる項目が表示されます。
- 3 必要に応じて各項目で [オン] を選択して OK ボタンを押します。



[管理者ロック] を [オン] に設定すると、[管理者ロック] 内の [本体設定] は自動的に [オン] に設定されます。
[管理者ロック] を [オン] の状態で [本体設定] を [オフ] にはできません。

- 4 確認画面が表示されるので [はい] を選択します。

これ以降、ロックした項目の設定を変更する場合は、パスワードを入力する画面が表示されます。

管理者パスワードを変更する

- 1 [Menu] - [本体設定] - [管理者用設定] の順に選択します。
 - 2 管理者パスワードを入力して画面内の [OK] を選択します。
 - 3 [セキュリティ設定] - [管理者設定] - [管理者パスワード] - [変更] の順に選択します。
 - 4 古いパスワードを入力して、画面内の [OK] を選択します。
 - 5 新しいパスワードを入力して、画面内の [OK] を選択します。
-  新しいパスワードは、8 文字以上 20 文字以下の半角英数字および記号で設定してください。
- 6 新しいパスワードを再入力して、画面内の [OK] を選択します。
 - 7 メッセージが表示されるので OK ボタンを押します。

管理者パスワードを初期化する

パスワードを忘れてしまった時には、下記の手順でパスワードを初期化してください。

- 1  (ホーム) ボタンを押しホーム画面に戻ります。
- 2  (戻る) ボタンと  (キャンセル) ボタンを同時に長押しします。
- 3 確認画面が表示されるので「はい」を選択します。
- 4 プリンターの右側面にあるパスワードラベルの "PASSWORD" の値を入力して、画面内の [OK] を選択します。



この例の場合、03212791 を入力します。

- 5 メッセージが表示されるので OK ボタンを押します。

Web Config

Web Config はプリンターの設定確認や変更が、コンピューターのブラウザー上でできるアプリケーションソフトです。

Web Config を使用するには、あらかじめプリンターに IP アドレスを設定しておく必要があります。

コンピューターはプリンターと同一のネットワークに接続してください。

 [50 ページ「ネットワークの設定」](#)



管理者ログオンを不要に設定することはできません。管理者パスワードを忘れた場合は初期化することができます。(234 ページ「管理者パスワードを初期化する」)

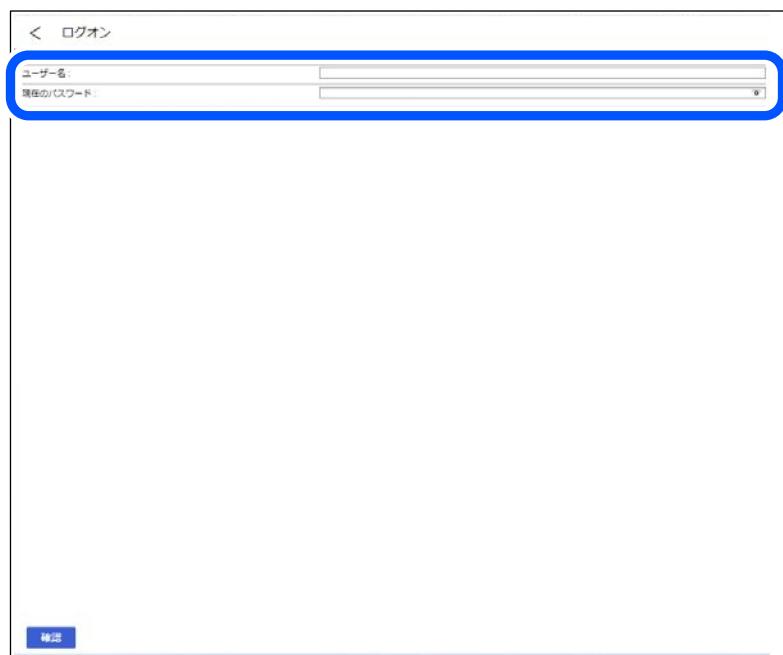
Web Config の起動方法

ネットワーク上のコンピューターやデバイスからブラウザーを起動して、プリンターの IP アドレスを入力します。プリンターの設定を変更する場合は、画面右上の [ログオン] からログインしてください。

ユーザー名は空白、パスワードの初期値はプリンターの右側面に貼られている "PASSWORD" の値が初期値です。



この例の場合、初期パスワードは 03212791 です。



ブラウザーの JavaScript を有効にしてください。HTTPS アクセス時にプリンターが所有する自己署名証明書を使用するため、Web Config を起動するとブラウザーに警告が表示されます。

HTTPS アクセス

IPv4 : https:// プリンターの IP アドレス

IPv6 : https://[プリンターの IP アドレス]

HTTP アクセス

IPv4 : http:// プリンターの IP アドレス

IPv6 : http://[プリンターの IP アドレス]

記入例

IPv4 :

https://192.0.2.111/

http://192.0.2.111/

IPv6 :

https://[2001:db8::1000:1]/

http://[2001:db8::1000:1]/

Epson Device Admin

Epson Device Admin は、ネットワーク上のプリンターの管理を行う多機能なソフトウェアです。以下のような機能があります。

- ネットワーク上のプリンターの監視、管理
- 消耗品やステータスの詳細なレポート機能
- ファームアップデート機能
- プリンターのネットワークへの導入
- ネットワーク上のプリンターの動作設定値の設定
- ネットワーク上の複数プリンターへの動作設定値の一括設定

Epson Device Admin はエプソンのウェブサイトからダウンロードしてください。



重要

本製品との接続は Ethernet 接続のみをサポートしています。USB 接続はサポートしていません。

EPSON Cloud Solution PORT

EPSON Cloud Solution PORT は、プリンターの稼働情報やエラー状況など現場の状況を PC やモバイルで見える化することで、お客様の生産の最大化をサポートします。

□ プリンターの状況を見える化（プロダクションモニター）

プリンターのインク残量や稼働状況を把握でき、消耗品のランニングコスト算出やプリンターの待機時間や印刷負荷の偏りなどを分析できます。

□ 遠隔サービス

お客様のプリンターとエプソンが繋がることで、稼働状況やエラーの状況等をタイムリーに把握できます。



- カラーマネジメントソリューション、ワークフローソリューションに本製品は対応しています。
- EPSON 標準のプリンタードライバー（Windows）を使用して印刷してください。EPSON Cloud Solution PORT でジョブ情報を管理するために、ご使用の前に必ず [ドライバーユーティリティー] タブの [ドライバーの動作設定] - [ジョブ管理を有効にする] のチェックボックスにチェックを入れてください。

プリンターの登録方法

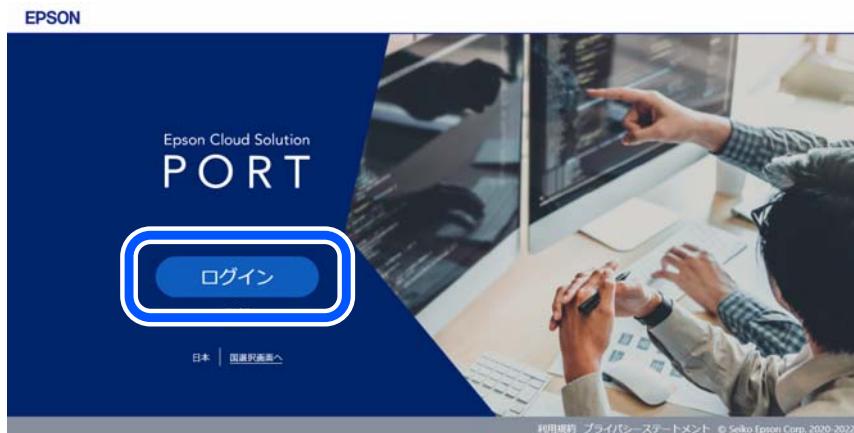


重要

- プリンターの IP アドレスは事前に設定します。USB 接続には対応していません。
- 事前に Epson Cloud Solution PORT に加入した状態でプリンターの登録を実施してください。

1 Epson Cloud Solution PORT にログインしていない場合はログインします。

<https://port.epson.com/>

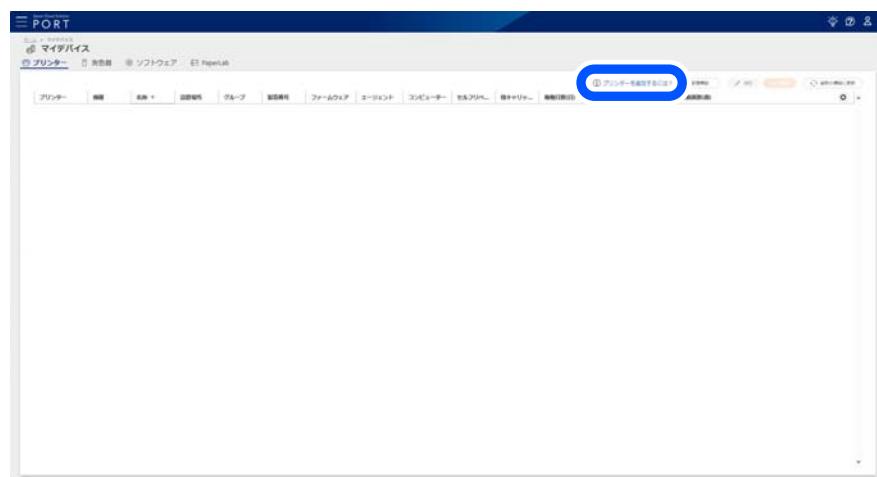




2 ホーム画面から【マイデバイス】を選択します。



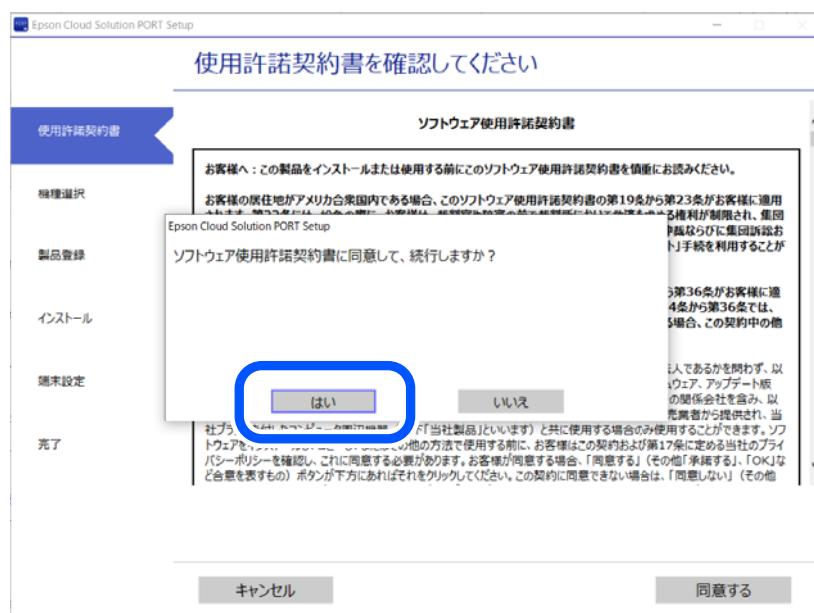
3 【プリンターを追加するには？】をクリックします。



4 [ソフトウェアのダウンロード] を選択します。



- 5 ブラウザーから任意の場所にダウンロードします。
- 6 ソフトウェアがダウンロードされたことを確認します。
- 7 ダウンロードしたインストーラーをダブルクリックします。
インストーラーが起動します。
- 8 インストーラーを実行すると、以下の画面が表示されます。使用許諾に同意し、[はい] をクリックします。以降画面の指示に従ってプリンターを登録してください。



Epson Cloud Solution PORT にプリンターが登録されると、プリンター一覧にプリンターが表示されます。プリンター一覧はホーム画面 > [マイデバイス] で表示できます。
<https://port.epson.com/>

Loftware社のLoftware Cloudを使用する

Loftware Cloud は、Loftware 社が提供するクラウドベースのラベル管理システムです。ラベルのデザイン、管理、データ接続、印刷など、ラベルを作成するために必要なプロセス全体の管理をクラウド上で実現できます。Loftware Cloud から印刷するためには、Loftware Cloud へのプリンターの登録と、Web Config または Epson Device Admin でプリンターを設定する必要があります。

[241 ページ 「プリンターの登録方法 \(Web Config\)」](#)

[248 ページ 「プリンターの登録方法 \(Epson Device Admin\)」](#)



使い方の詳細は Loftware Cloud の右上の  を選択し、ヘルプを参照してください。

プリンターの登録方法(Web Config)

1 Web Config を開き、[ログオン] からログインします。

Web Config



Web Config については、[235 ページ 「Web Config」](#) を参照してください。

2 [ネットワーク] の以下の設定を確認します。

- IP アドレス
- サブネットマスク
- デフォルトゲートウェイ
- プライマリー DNS サーバー
- セカンダリー DNS サーバー
- プロキシサーバー
- プロキシサーバーポート番号

Web Config



3 Loftware Control Center を開き、サインインします。

サインインに必要なアカウント情報は Loftware 社から入手してください。

4 左のツリーから [プリンタ] を選択し、[クラウドプリンター] - [追加] を選択します。

Loftware Cloud



The screenshot shows the Loftware Cloud interface with the 'Cloud Printer' tab selected in the top navigation bar. A blue circle highlights the 'Add' button in the top right corner of the main content area. The main content area displays a list of connected printers, including 'Sato CL4NX 203dpi', 'EpsonCloudPrintTest', 'Janet10', 'NL_Janet1', 'NL_Janet2', 'NL_Printer_1', 'Zebra20', and 'Zebra11'. Each entry shows the printer name, model, and connection status (保留中, 接続が解除されました).

5 新しいクラウドプリンターの [名前] と [プリンター] を設定します。

Loftware Cloud



The screenshot shows the 'Cloud Printer' setup dialog box. It has two main fields: 'Name' (containing 'TEST_CW-C8000') and 'Printer' (containing 'Epson CW-C8000'). Step 1 points to the 'Name' field, and Step 2 points to the 'Printer' dropdown. There are also fields for 'Serial Number' and 'Server URL'.

- ① [名前] Loftware Cloud 上で表示したい名前を入力します。
- ② [プリンター] クラウドプリンターとして設定するプリンターを選択します。

選択するプリンター	お使いのプリンター
Epson CW-C8000	CW-C8000u, CW-C8000e, CW-C8010, CW-C8020, CW-C8030, CW-C8040, CW-C8050

[シリアル番号] や [サーバー URL] は、[プリンター] を選択すると表示されます。



6 Web Config の [情報確認] - [製品情報] を開いてプリンターのシリアル番号(製造番号)をコピーし、Loftware Cloud の [シリアル番号] へ貼り付けます。

Web Config

EPSON CW-XXXXXX

管理者 ログイン

情報確認 印刷 ネットワーク ネットワークセキュリティ 本体セキュリティ デバイスマネジメント メンテナンス プリンターデータ共有

製品情報
ネットワーク情報
使用状況
パネルのスナップショット

BK Y
M C
Cyan Magenta Yellow Black

用紙残量

Firmware :

製造番号 :

日付時刻 :

管理者名/連絡先 :

最新の状態へ更新

ソフトウェアのライセンス

Loftware Cloud

概要 プリント クラウド プリンター コンビ ター プロファイル グループ ドライバーパッケージ ライセンスされたプリンター

新しいクラウド プリンターを追加

キャンセル 保存

クラウド プリンターの設定

名
Test_CW-C-XXXX

プリンタ
Epson CW-C-XXXX

シリアル番号

サーバー URL



7 [保存] を選択します。

Loftware Cloud

概要 プリント クラウドプリンター コンピューター プロファイル グループ ドライバーパッケージ ライセンスされたプリンター

新しいクラウド プリンターを追加

キャンセル 保存

クラウド プリンターの設定

名前	Test_CW-C4000
プリンター	Epson CW-C4000
シリアル番号	JB360000071
プリンターのシリアル番号はどこで確認できますか。	
サーバー URL	http://192.168.1.100:8080

8 [クラウドプリンター] から保存したプリンターを選択します。

Loftware Cloud



The screenshot shows the Loftware Cloud interface with the 'Cloud Printer' tab selected. The list of printers includes:

- Sato CL4NX 203dpi (保留中)
- Epson Demo (保留中)
- Test_CW-C4000 (Epson CW-C4000, 保留中)
- EpsonDemo (接続が解除されました)
- jacke10 (EpsonDemo)
- ml_001 (Epson CW-C4000)
- ml_002 (Epson CW-C4000)
- ml_jane1 (Zebra 200dpi)
- ml_jane2 (Zebra 200dpi)
- test_cw4000 (Epson CW-C4000)

Page navigation: 1 - 11 / 11アイテム

9 ボタンをクリックしてサーバーURLをコピーし、Web Config の以下の項目へ貼り付けます。

[ネットワーク] - [Loftware Cloud] - [基本] - [URL]

Loftware Cloud



The screenshot shows the Loftware Cloud interface with the 'Cloud Printer' tab selected. A new window is open for adding a printer:

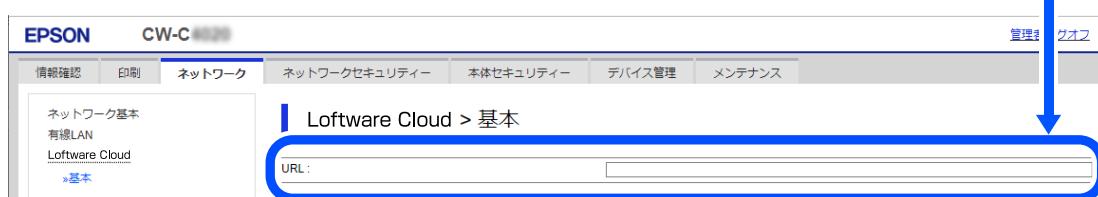
新しいクラウド プリンターを追加

クラウド プリンターの設定

- 名前: Test_CW-C4000
- プリンター: Epson CW-C4000
- シリアル番号: (未入力)
- サーバー URL: http://192.168.1.100:8080/printers/test_cw4000

Copy icon (blue circle): 

Web Config



The screenshot shows the Web Config interface for an Epson CW-C printer:

EPSON CW-C

ネットワーク > 基本

URL:

Blue arrow: Points from the highlighted URL field in the Loftware Cloud window to the URL input field in the Web Config window.

10 [設定] を選択します。

Web Config

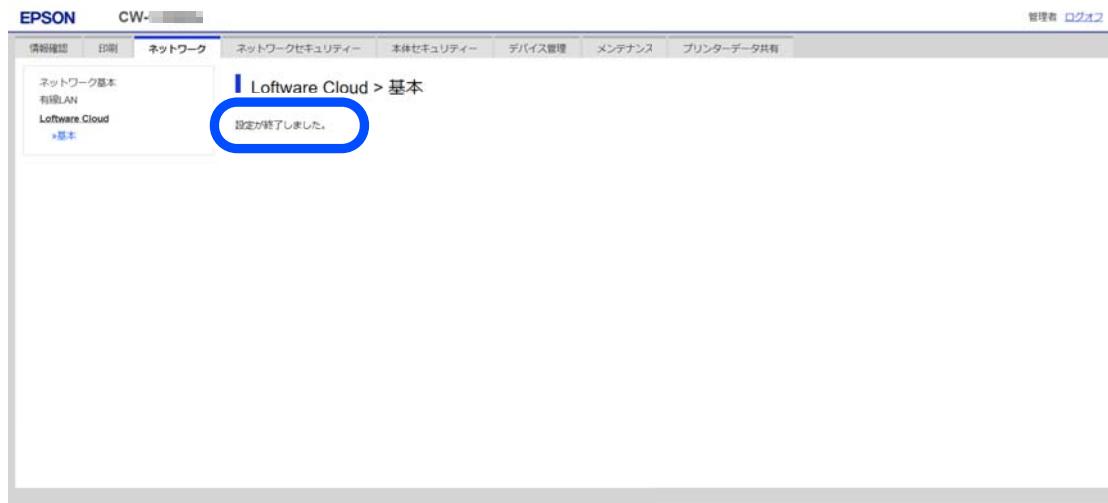


プリンターがサーバー URL に接続するまで待ちます。



11 画面に表示される接続結果を確認します。

- 【設定が終了しました。】と表示されている場合、プリンターの登録は成功です。



- エラー番号が表示されている場合、プリンターの登録に失敗しています。

260ページ「エラー番号一覧」から対処方法を確認してください。

この例の場合、エラー番号は910005です。





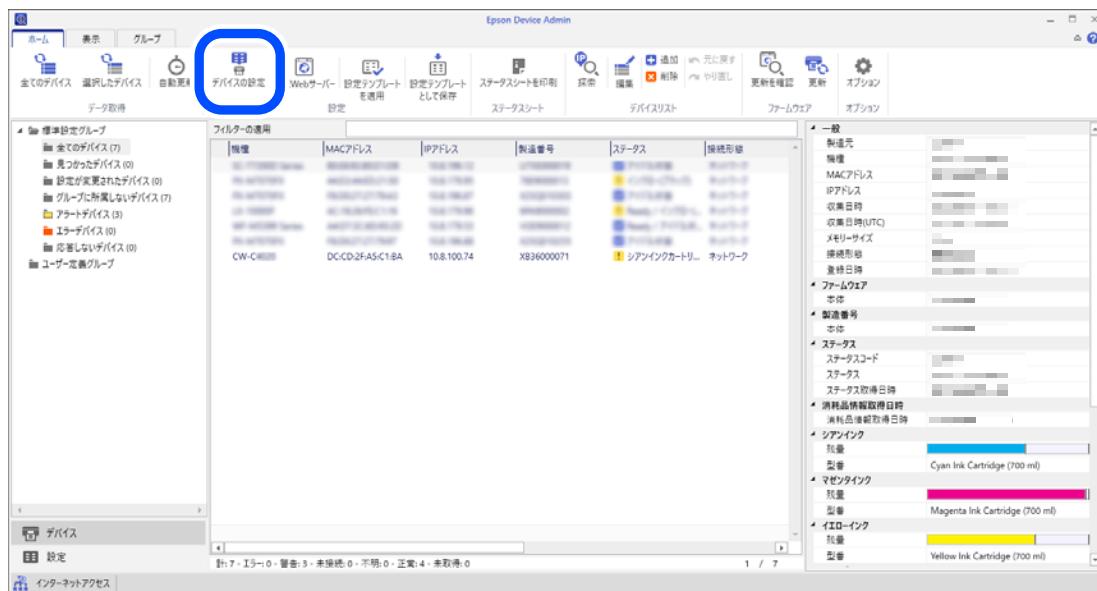
Loftware Cloud からもプリンターの接続状態を確認できます。
[プリンタ] - [クラウドプリンター] - [状態]

概要	プリンタ	クラウドプリンター	コンピューター	プロファイル	グループ	ドライバーパッケージ	ライセンスされたプリンター
追加							
		名前 ↑	プリンタ	状態			
		Test_CW-C4000	Epson CW-C4000	接続中			
		EpsonDemo	EpsonDemo	接続が解消されました			
		JANEX	EpsonDemo	接続が解除されました			
		NL_JANEX	Epson CW-C4000	接続が解除されました			
		NL_JANEX2	Epson CW-C4000	接続が解除されました			
		NL_CW-C4000	Epson CW-C4000	接続中			

プリンターの登録方法(Epson Device Admin)

1 Epson Device Admin を開き、[デバイスの設定] を選択します。

Epson Device Admin



Epson Device Admin については、237 ページ「Epson Device Admin」を参照してください。
管理者パスワードの初期値はプリンター右側面に貼られているパスワードラベルの文字列です。

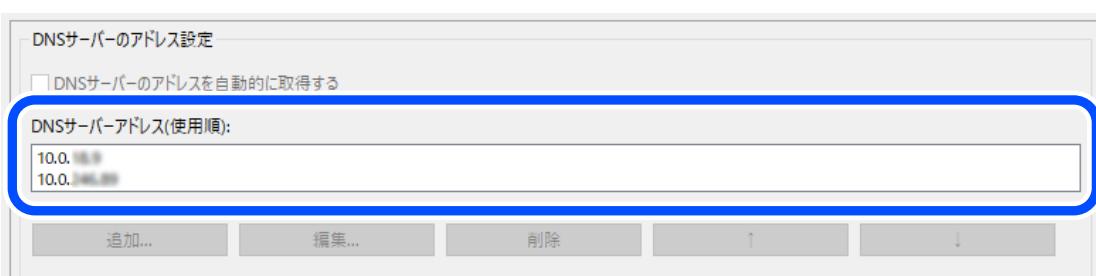
2 デバイスのプロパティー画面で、以下の設定を確認します。

- IP アドレス
- サブネットマスク
- デフォルトゲートウェイ
- プライマリー DNS サーバー
- セカンダリー DNS サーバー
- プロキシサーバー
- プロキシサーバーポート番号

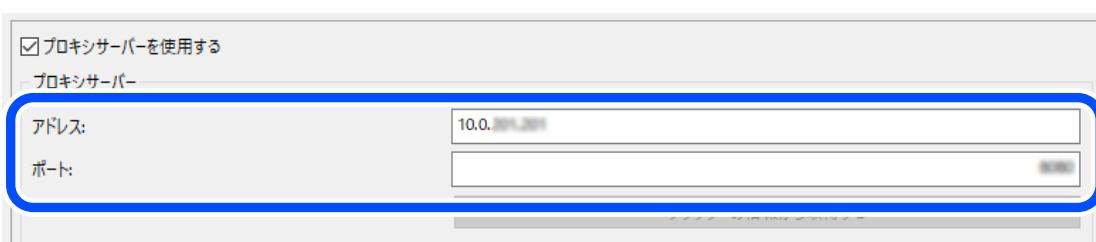
[ネットワーク] - [TCP/IP] - [基本]



[ネットワーク] - [TCP/IP] - [DNS]



[ネットワーク] - [TCP/IP] - [インターネット]



3 Loftware Control Center を開き、サインインします。

サインインに必要なアカウント情報は Loftware 社から入手してください。

4 左のツリーから [プリンタ] を選択し、[クラウドプリンター] - [追加] を選択します。

Loftware Cloud



The screenshot shows the Loftware Cloud interface with the 'Cloud Printer' tab selected. On the left, a sidebar lists various categories: Dashboard, Document, Application, Integration, Printers (selected), History, Analysis, User, and Management. The main area displays a list of printers with columns for Name, Printer, and Status. A blue circle highlights the 'Add' button (追加) in the top navigation bar.

5 新しいクラウドプリンターの [名前] と [プリンター] を設定します。

Loftware Cloud



The screenshot shows the 'Cloud Printer' settings dialog. It has two steps: ① 'Name' (TEST_CW-C8000) and ② 'Printer' (Epson CW-C8000). The 'Printer' dropdown is expanded, showing the printer model. Other fields include 'Serial Number' and 'Server URL'.

- ① [名前] Loftware Cloud 上で表示したい名前を入力します。
- ② [プリンター] クラウドプリンターとして設定するプリンターを選択します。

選択するプリンター	お使いのプリンター
Epson CW-C8000	CW-C8000u, CW-C8000e, CW-C8010, CW-C8020, CW-C8030, CW-C8040, CW-C8050

[シリアル番号] や [サーバー URL] は、[プリンター] を選択すると表示されます。



6 Epson Device Admin を開いてプリンターのシリアル番号（製造番号）を確認し、Loftware Cloud の [シリアル番号] へ入力します。

Epson Device Admin

機種	MACアドレス	IPアドレス	製造番号	ステータス	接続形態
SC-T7200D Series	80:68:82:80:01:08	10.8.196.12	U748000019	アイドル状態	ネットワーク
FX-4070FX	44:D2:44:D2:11:50	10.8.179.95	7889000013	Ready / インクドライ	ネットワーク
FX-4070FX	FB:D0:27:27:94:03	10.8.196.87	X25Q010302	アイドル状態	ネットワーク
LX-10000F	AC:18:26:FEC1:18	10.8.179.96	69A9000002	Ready / インクドライ	ネットワーク
WF-M5399 Series	AA:D7:3C:8D:93:2D	10.8.179.53		Ready / アイドル状態	ネットワーク
FX-4070FX	FB:D0:27:27:79:87	10.8.196.88	90C9000003	アイドル状態	ネットワーク
CW-C4000	DC:CD:2F:A5:C1:BA	10.8.100.74	XB36000071	シアンインクカートリッジ交換箱空警報	ネットワーク

Loftware Cloud

新しいクラウド プリンターを追加

クラウド プリンターの設定

名前: Test_CW-C

プリンター: Epson CW-C

シリアル番号: XB36000071

サーバー URL: <https://epsonprintcloud.printos.com/loftwarecloud>

キャンセル 保存

7 [保存] を選択します。

Loftware Cloud

新しいクラウド プリンターを追加

クラウド プリンターの設定

名前: Test_CW-C

プリンター: Epson CW-C

シリアル番号: XB36000071

プリンターのシリアル番号はどこで確認できますか。

サーバー URL: <https://epsonprintcloud.printos.com/loftwarecloud>

キャンセル 保存

8 [クラウドプリンター] から保存したプリンターを選択します。

Loftware Cloud



The screenshot shows the Loftware Cloud interface with the 'Cloud Printer' tab selected. The list table has columns for '名前' (Name), 'プリンター' (Printer), and '状態' (Status). A blue oval highlights the row for 'Test_CW-C4000', which is an Epson CW-C4000 printer in '保留中' (On Hold) status. Other rows in the list include 'CL450075a' (Sato CL4NX 203dpi,保留中), 'JW4632' (EpsonDemo,接続が解除されました), 'JW4633' (EpsonDemo,接続が解除されました), 'JW4634' (Epson CW-C4000,接続が解除されました), 'JW4635' (Epson CW-C4000,接続が解除されました), 'JW4636' (Zebra 200dpi,接続が解除されました), and 'test_cw4020' (Epson CW-C4000,接続中).

名前	プリンター	状態
CL450075a	Sato CL4NX 203dpi	保留中
JW4632	EpsonDemo	接続が解除されました
JW4633	EpsonDemo	接続が解除されました
JW4634	Epson CW-C4000	接続が解除されました
JW4635	Epson CW-C4000	接続が解除されました
JW4636	Zebra 200dpi	接続が解除されました
test_cw4020	Epson CW-C4000	接続中
Test_CW-C4000	Epson CW-C4000	保留中

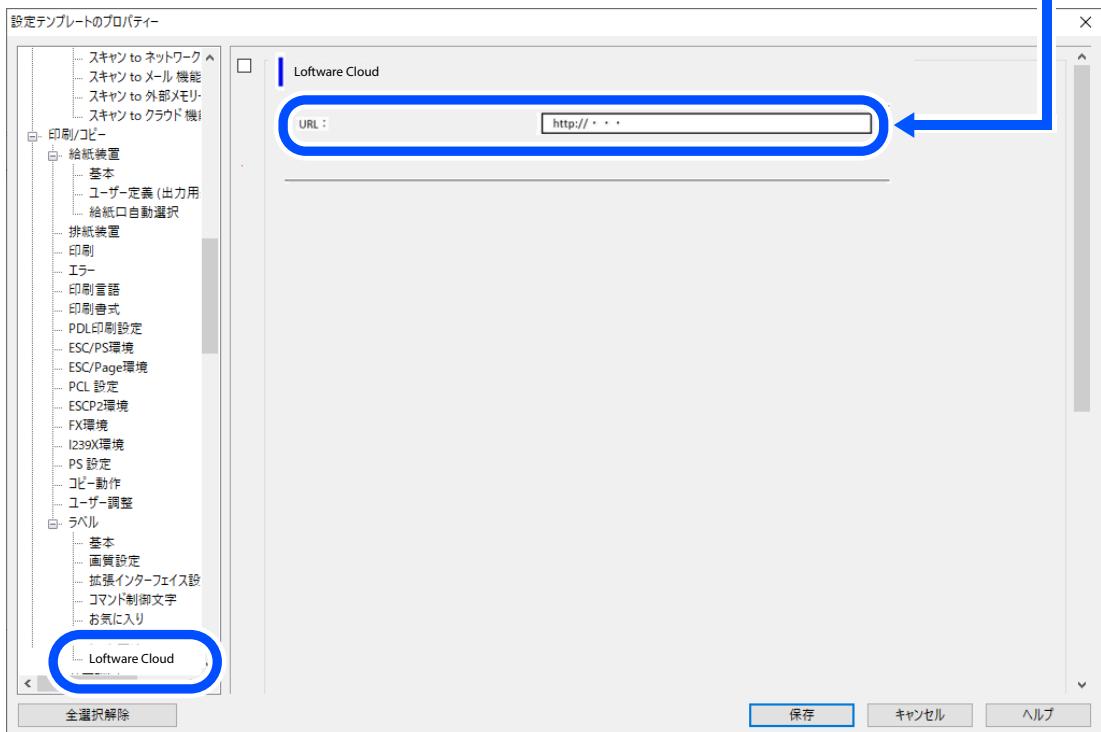
9  ボタンをクリックしてサーバーURLをコピーし、Epson Device Adminの以下の項目へ貼り付けます。

[デバイスの設定] - [印刷 / コピー] - [ラベル] - [Loftware Cloud] - [URL]

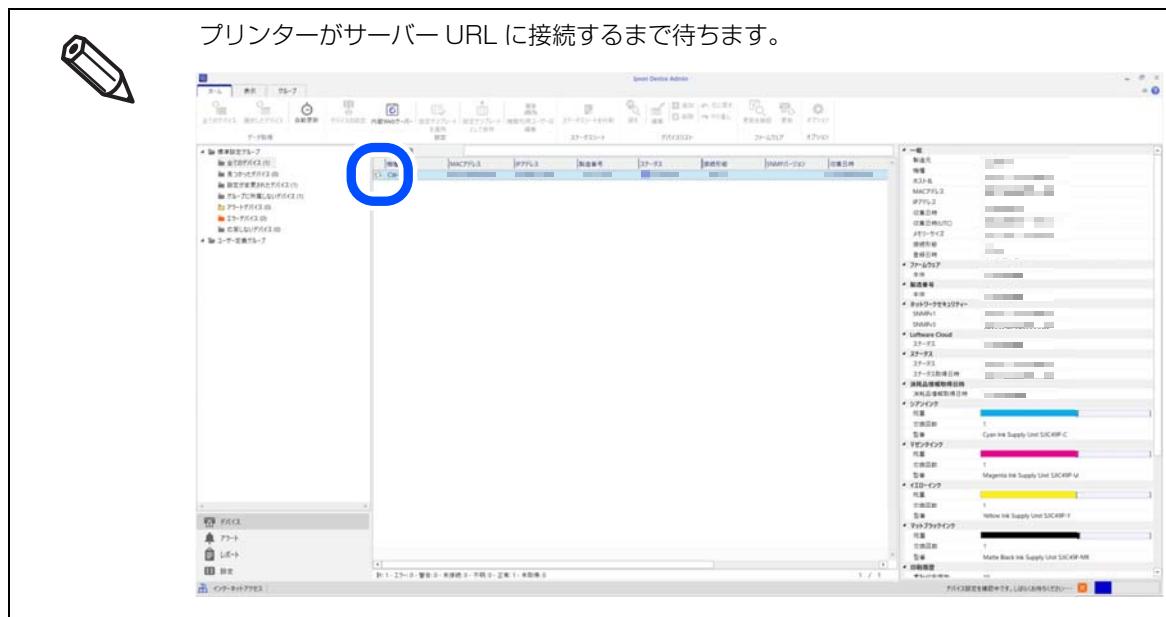
Loftware Cloud



Epson Device Admin

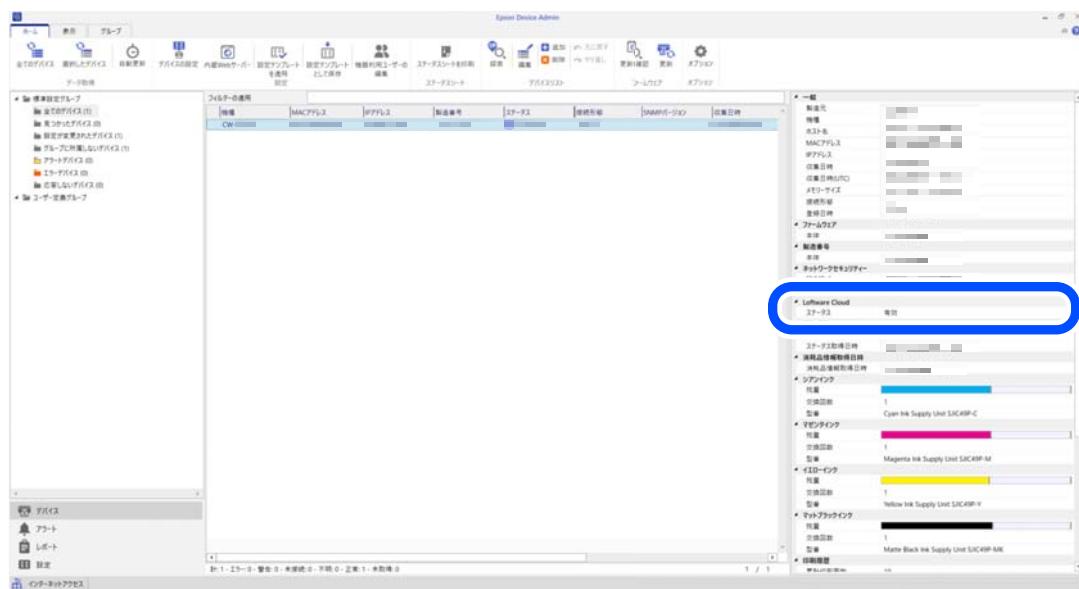


10 [保存] を選択します。

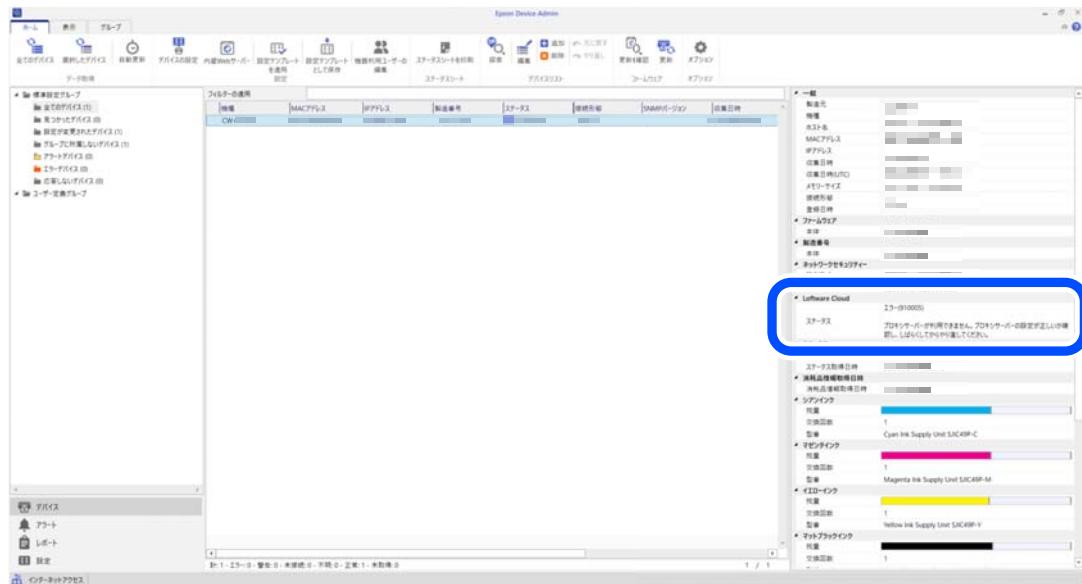


11 デバイス詳細画面の [Loftware Cloud] - [ステータス] を確認します。

- [有効] と表示されている場合、プリンターの登録は成功です。



- [無効] またはエラー番号が表示されている場合、プリンターの登録に失敗しています。
[260 ページ「エラー番号一覧」](#) から対処方法を確認してください。
この例の場合、エラー番号は 910005 です。



Loftware Cloud からもプリンターの接続状態を確認できます。
[プリンタ] - [クラウドプリンター] - [状態]



Loftware Cloud



	名前	プリンター	状態
<input type="checkbox"/>	CL4000plus	Sato CL400 203dpi	保留中
<input type="checkbox"/>	Test_CW-C4000	Epson CW-C4000	接続中
<input type="checkbox"/>	ipposdemolo	EpsonDemo	接続が切断されました
<input type="checkbox"/>	JavaTest	EpsonDemo	接続が削除されました
<input type="checkbox"/>	test_00001	Epson CW-C4000	接続が削除されました
<input type="checkbox"/>	test_00002	Epson CW-C4000	接続が削除されました
<input type="checkbox"/>	test_00003	Zebra 2003dpi	接続中

接続状態の確認方法

プリンターと Loftware Cloud の接続状態は、Loftware Cloud、Web Config、Epson Device Admin から確認できます。

Loftware Cloud から確認する

Loftware Cloud の左のツリーから [プリンタ] を選択します。[クラウドプリンター] - [状態] にプリンターの接続状態が表示されます。

クラウドプリンター



名前	プリンター	状態
CL4000plus	Sato CL4NX 203dpi	保留中
CL-c4030_test	Epson CW-C4000	保留中
CL-c4030_test	Epson CW-C4000	接続中
EPSOCloudTestTest	EpsonDemo	接続が解除されました
JANet3	EpsonDemo	接続が解除されました
DL_Epson1	Epson CW-C4000	接続が解除されました
DL_Janez2	Zebra 200dpi	接続が解除されました
test_cw4030	Epson CW-C4000	接続中

状態	説明
接続中	印刷できます。 Loftware Cloud のサーバーに接続し、プリンターの認証に成功しています。
保留中	印刷できません。 Loftware Cloud のサーバーに 1 度も接続できていません。
接続が解除されました	印刷できません。 次の原因が考えられます。 <ul style="list-style-type: none">Loftware Cloud のサーバーに接続したが、現在は切断されている。Loftware Cloud のサーバーがプリンターの認証に失敗している。プリンターの電源が入っていない。

[状態] に [保留中] または [接続が解除されました] と表示されている場合は、Web Config と Epson Device Admin それぞれの画面からエラーレポートを確認し対処してください。

[257 ページ 「Web Config から確認する」](#)

[259 ページ 「Epson Device Admin から確認する」](#)

Web Config から確認する

1 Web Config を開き、[ログオン] からログインします。



2 [情報確認] - [Loftware Cloud ステータス] を確認します。

- [接続に成功しました。] と表示されている場合、プリンターは接続されています。



- エラー番号が表示されている場合、プリンターは接続されていません。
[260ページ「エラー番号一覧」](#)から対処方法を確認してください。
この例の場合、エラー番号は910005です。



Epson Device Admin から確認する

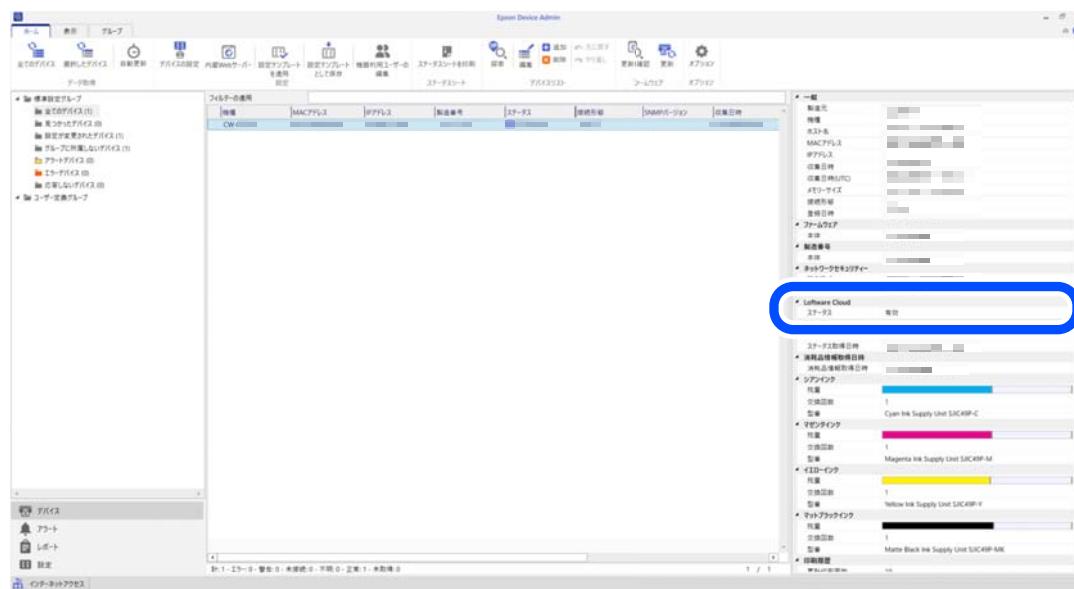
1 Epson Device Admin を開きます。



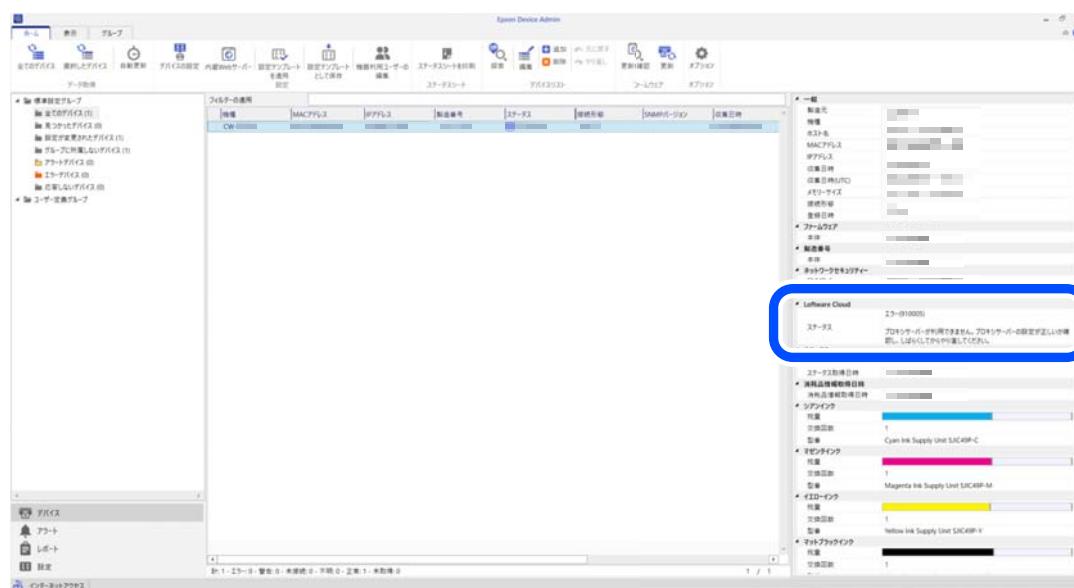
Epson Device Admin については、[237ページ「Epson Device Admin」](#)を参照してください。管理者パスワードの初期値はプリンター右側面に貼られているパスワードラベルの文字列です。

2 デバイス詳細画面の [Loftware Cloud] - [ステータス] を確認します。

- [有効] と表示されている場合、プリンターは接続されています。



- [無効] または [エラー (XXXXXX)] が表示されている場合、プリンターは接続されていません。[260ページ「エラー番号一覧」](#)から対処方法を確認してください。
- この例の場合、エラー番号は 910005 です。



エラー番号一覧

Loftware Cloud に関するエラー番号を確認し、番号に応じて対処してください。

エラー番号	対応方法
910002, 910010, 910011	インターネットまたはサービスが利用できません。 LAN ケーブルの接続、ネットワーク設定を確認し、しばらくしてからやり直してください。
910003	DNS サーバーが利用できません。 DNS サーバーの設定が正しいか確認し、しばらくしてからやり直してください。
910004	DNS でドメイン名が解決できません。 インターネット接続、ドメイン名を確認し、しばらくしてからやり直してください。
910005	プロキシサーバーへの接続に失敗しています。 プロキシサーバーの設定が正しいか確認し、しばらくしてからやり直してください。
910006	プロキシサーバーとの接続が切断されました。 HTTPS ポートの許可の設定またはプロキシ認証を確認し、しばらくしてからやり直してください。
910007	プリンターの日付または時刻が正しく設定されていないため、Loftware Cloud のサーバーがプリンターの認証に失敗しています。 プリンターの日付と時刻をサーバーと合わせてください。 日付と時刻は、操作パネル、Web Config、Epson Device Admin から設定できます。
910008, 910009	Loftware Cloud のサービスが利用できません。 しばらくしてからやり直してください。それでも解決しない場合は Loftware Cloud のサポートにお問い合わせください。
910012	Loftware Cloud のサーバーがプリンターの認証に失敗しています。 しばらくしてからプリンターを登録し直してください。それでも解決しない場合は画面に表示されている errorId と message を Loftware Cloud のサポートにお問い合わせください。

トラブルシューティング

プリンターをクラウドプリンターとしてサーバーに接続できなかった場合は、以下を確認してください。

1 プリンターのネットワーク設定が正しいか確認してください。以下のネットワーク関連の項目が正しく設定されている必要があります。特に DNS サーバーとプロキシサーバーが正しく設定されているか確認してください。

- IP アドレス
- サブネットマスク
- デフォルトゲートウェイ
- ブライマリー DNS サーバー
- セカンダリー DNS サーバー
- プロキシサーバー
- プロキシサーバーポート番号

2 Software Control Center の [クラウドプリンターの設定] - [シリアル番号] へ入力したプリンターのシリアル番号に、空白や改行コードが入っていないことを確認してください。

クラウドプリンターを登録するときにWeb Configなどからプリンターのシリアル番号をコピーした場合、誤ってスペースや改行コードを含めてコピーしてしまい、それらの値を含んだシリアル番号が意図せず入力されている可能性があります。

特色の設定

[特色設定] は特定の色を指定の色に変更する機能です。事前に色変換情報が格納された特色リストファイルを作成し、印刷時に特色ファイルリストをプリンターに送信することで特定の色を変換して印刷できます。以下の手順で特色設定ができます。

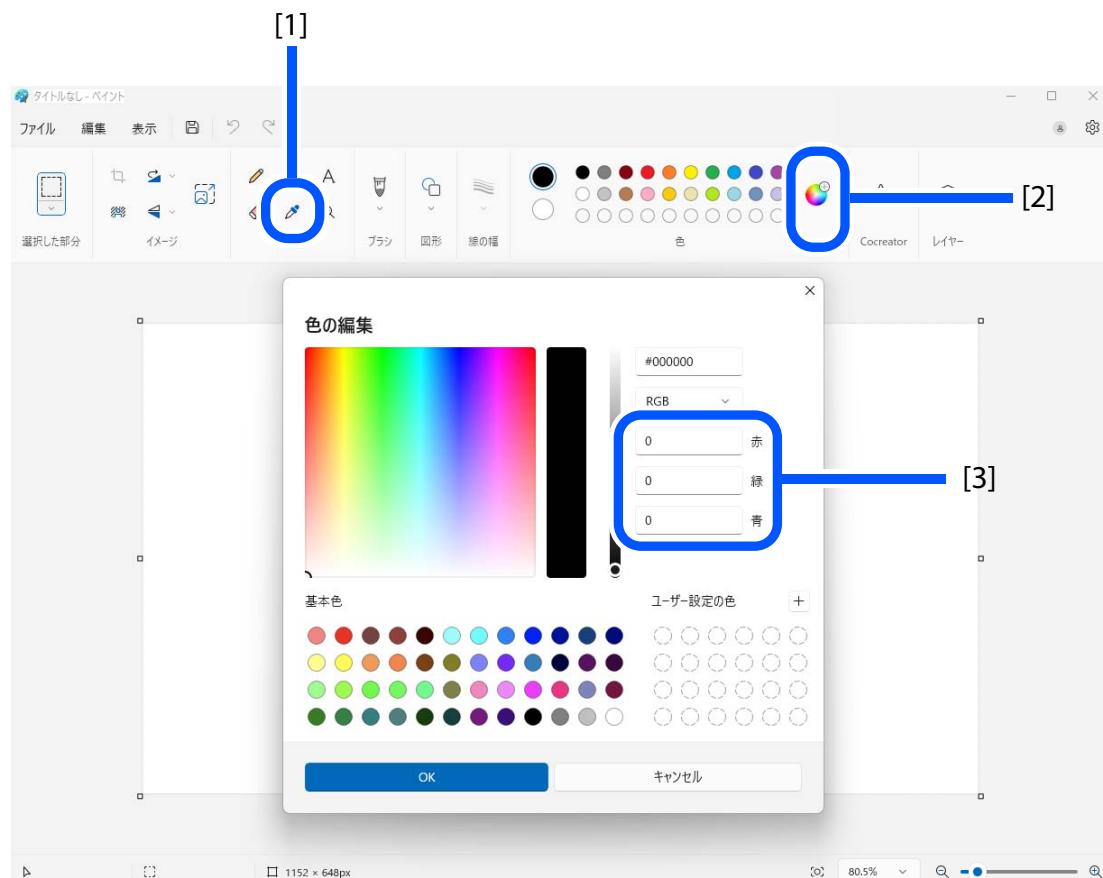


特色設定をして印刷すると、指定した RGB 値の色になっている箇所が全て指定した目的の色に変換されます。意図しない箇所の色が変換されてしまうときは、元のデータで変換したくない箇所の RGB 値を少し変更すると変換されなくなります。

特色設定を作成する

1 印刷データの中で、特色設定したい元の色（RGB 値）を調べます。

ここでは Windows に付属の「ペイント」で RGB 値を調べる方法を説明します。



[1] [スポット] を選択し、調べたい色が使用されている部分をクリックします。

[2] [色の編集] をクリックし、[色の編集] 画面を表示します。

[3] 選択した色の RGB 値を確認し、記録します。



グラフィックソフトウェアによって、RGB 値を調べる方法は異なります。各ソフトウェアのマニュアルやヘルプをご確認ください。

2 目的の色（RGB値）を決めます。



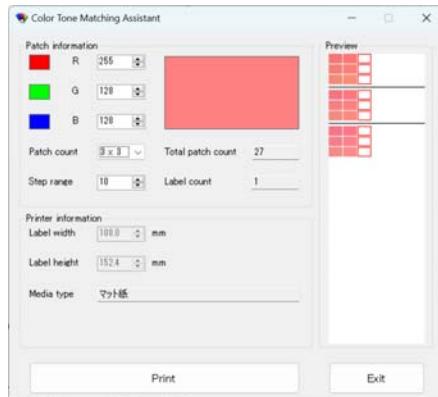
目的の色を決めるとき、以下のウェブサイトから「Color Tone Matching Assistant」をダウンロードして使用いただくことをお勧めします。

https://www.epson.jp/support/support_menu/ks/19.htm

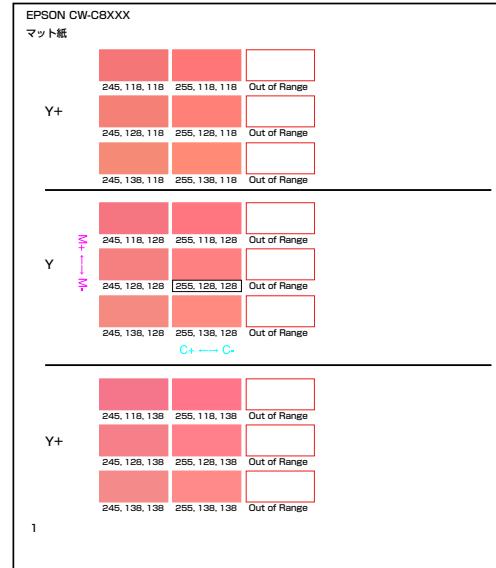
「Color Tone Matching Assistant」は、RGB値を指定することで、それぞれのRGB値を少し変化させたサンプルパターンを印刷できます。

印刷されたサンプルパターンから、お好みの色のRGB値を取得できます。詳しくは「Color Tone Matching Assistant ユーザーズガイド」を参照してください。

Color Tone Matching Assistant



サンプルパターン例



フォント置き換えの設定をしていると、Color Tone Matching Assistantでのサンプルパターンが正常に印刷されない場合があります。フォント置き換えの設定を解除してから印刷してください。

3 PrinterSetting を起動します。

(185ページ「PrinterSetting の起動」)

4 [プリンターにデータを登録する] を選択します。

5 [特色設定] の [新規作成] を選択します。

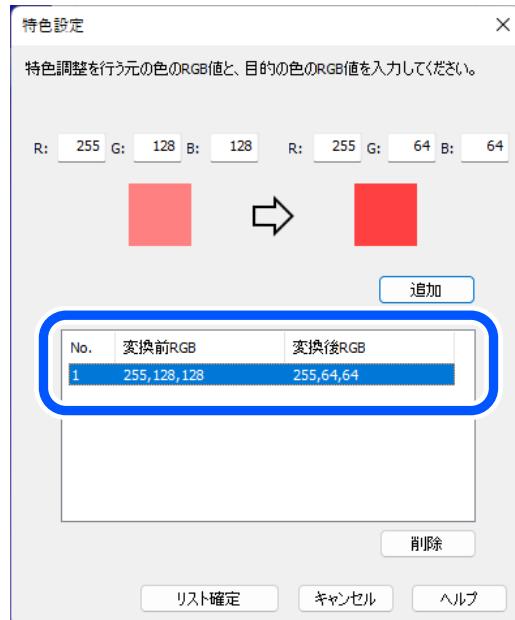


6 特色設定を行う元の色のRGB値と、目的の色のRGB値を入力します。



7 [追加] を選択します。

入力した特色設定が下の画面に表示されます。

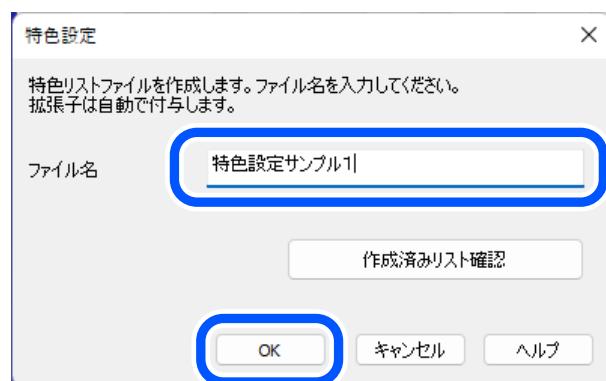


8 [リスト確定] を選択します。

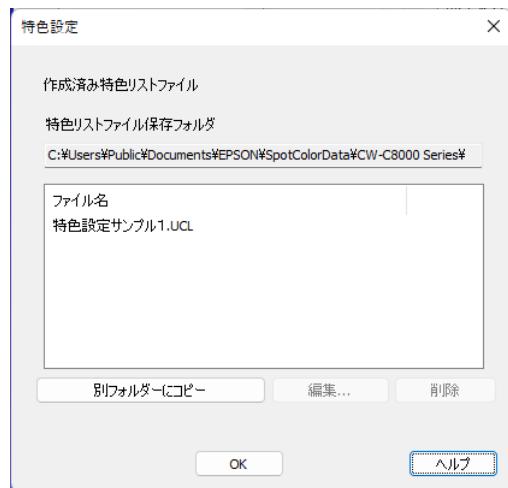
[特色設定] のファイル名入力画面が表示されます。



9 特色リストファイル名を入力し、[OK] を選択します。



10 作成成功のダイアログで [OK] を選択すると、[作成済み特色リストファイル] 画面が表示されます。



特色リストファイルを別のフォルダーへ作成したい場合は [別フォルダーにコピー] を選択してください。

以上で「特色設定を作成する」は完了です。

特色設定を使用して印刷する

- 1 プリンタードライバーを表示します。
- 2 【基本設定】タブの【特色設定】のプルダウンを選択します。



- 3 使用する特色設定リストファイルを選択します。



参照する特色リストの保存フォルダーを変更したい場合は【リスト情報更新】を選択し、参照先を変更してください。

- 4 印刷を実行します。

プリンタードライバーで指定した特色設定リストファイルの色変換が反映されます。

以上で「特色設定を使用して印刷する」は完了です。

色補正方法

以下の3つの色補正方法があります。

- プリンターで設定する
- OSで設定する
- アプリケーションで設定する

プリンタードライバーの【色補正方法】の設定を使用する色補正エンジンによって変更してください。

- プリンターで設定するとき：
[あざやかな色合い]、[自然な色合い]、[EPSON 基準色]から選択します。
- OSで設定するとき：
Windowsは[ICM]を、Macは[ColorSync]を選択します。
- アプリケーションで設定するとき：
[色補正なし]を選択します。

ドライバー上の設定と色補正方法と特色設定の関係

印刷結果の色は、ドライバー上のメニューの設定により変わります。

印刷結果の色を変更するためのドライバー上のメニューには「色補正方法」と「特色設定」の2つがあります。

「色補正」は、全体的な色合いを変えるもので、プリンター内、OS内、特定のアプリケーション内にそれぞれ色補正エンジンがあります。ドライバー上の【色補正方法】の選択肢によって、どの色補正エンジンを使用するかが特定されると共に、各色補正エンジンへ入力パラメーターが渡されます。

【色補正方法】の選択肢は1つしか選択できません。そのため、プリンター内、OS内、特定のアプリケーション内の色補正エンジンが同時に使われることはなく、どれか1つの色補正エンジンが使用されます。

「特色設定」は指定した特定の色（=元の色）を指定した他の色（=目的の色）に置換するもので、プリンター内またはドライバー内に色置換エンジンがあります。

【色補正方法】をプリンター内の色補正エンジンを使う [あざやかな色合い]、[EPSON 基準色]、[自然な色合い]に設定した場合、およびOS内の色補正エンジンを使う [ICM]に設定した場合には、[特色設定]を組み合わせて色補正ができます。

ただし、【色補正方法】の設定が「色補正なし」の場合は、[特色設定]と組み合わせて色補正することはできません。

これは、アプリケーションで色補正が先に行われてしまうと指定した元の色のRGB値が変わってしまい、本来変えるべき場所の色を見つけることができなくなってしまうためです。

ドライバー上の設定		設定値を反映する場所
メニュー	選択肢	
色補正方法	あざやかな色合い	プリンター内の色補正エンジン
	EPSON 基準色	プリンター内の色補正エンジン
	自然な色合い	プリンター内の色補正エンジン
	ICM	OS内の色補正エンジン
	色補正なし	なし=アプリ側で調整することを前提

ドライバー上の設定		設定値を反映する場所
メニュー	選択肢	
特色設定	特色設定をしない	なし
	特色リストのファイル名	ドライバー内の特色用色置換エンジン

色補正方法の選択肢

ColorWorks シリーズのプリンターでは、機種ごとに内部でサポートしている色補正方法が異なります。同じ色補正方法を選択すると類似した色合い*にできる場合があります。

* 機種によりインクが異なるため同じ色合いにはなりません。

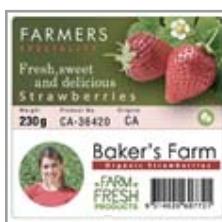
	プリンター内の色補正方法の選択肢		
	あざやかな色合い	自然な色合い	EPSON 基準色
CW-C8000 シリーズ	○	○ (デフォルト)	○
TM-C7500 シリーズ	×	○ (デフォルト)	○
CW-C4000 シリーズ	○	○ (デフォルト)	×
CW-C6000/C6500 シリーズ	○	○ (デフォルト)	×
TM-C3500 シリーズ	×	○ (デフォルト)	○

○：サポート

×：非サポート



入力データ



特色リストのファイル名

アプリケーション

アプリ内色補正エンジン

アプリ内で色補正した結果



OS

OS内色補正エンジン

OS内で色補正した結果



プリンターまたはドライバー

特色用色置換エンジン

指定の色を目的の色に置換した結果

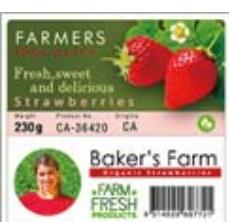
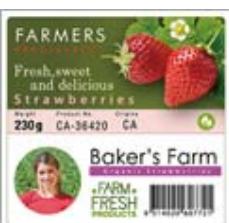
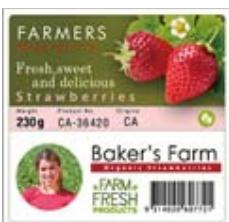
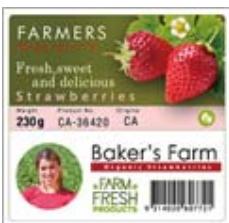
ICM

を
に色置換あざやかな色合い
EPSON 基準色
自然な色合い

プリンター

プリンター内色補正エンジン

プリンター内で色補正した結果



画像データは色補正のイメージを表現したもので、実際の色補正前後のデータではありません。

プリンターの色補正エンジンで設定する

あざやかな色合い

[あざやかな色合い]は、画像の色空間 AdobeRGB に準拠しています。sRGB に比べては色再現範囲が広いですが、モニターと印刷結果の色を近づけるためには、AdobeRGB に対応したモニターを用意する必要があります。

EPSON 基準色

[EPSON 基準色]は、画像の色空間 sRGB に準拠しています。AdobeRGB に比べて色再現範囲は狭いですが、一般的なモニターと印刷結果が近くなります。

TM-C7500 シリーズで [EPSON 基準色] を使って印刷している場合は、[EPSON 基準色] を選択することで類似の色合いで印刷できます。

自然な色合い

[自然な色合い]は、画像の色空間 sRGB に準拠しています。AdobeRGB に比べて色再現範囲は狭いですが、一般的なモニターと印刷結果が近くなります。EPSON 基準色と異なり、CMY のインクの色をそのまま印刷できるため、インク純色での印刷が可能になります。

TM-C7500 シリーズで [自然な色合い] を使って印刷している場合は、[自然な色合い] を選択することで類似の色合いで印刷できます。

調整方法

色補正方法が「あざやかな色合い」、[EPSON 基準色] または [自然な色合い] の状態で [色補正設定] を選択すると、[色補正設定] 画面が表示されます。

[元の画像] と [プレビュー画像] を比較しながら、任意の色に調整してください。



項目	説明	
明度	画像全体の明るさを調整します。	
コントラスト	画像全体のコントラスト（明暗比）を調整します。 コントラストを上げると、明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなります。 逆にコントラストを下げると、画像の明暗の差が少なくなります。	
彩度	画像全体の彩度（色の鮮やかさ）を調整します。 彩度を上げると色味が強くなります。彩度を落とすと色味がなくなり、無彩色化されてグレーに近くなります。	
色調整方法	カラーサークル	カラーサークル上をクリックして調整します。 [水平方向]、[垂直方向] に数値を入力することでも調整できます。
	スライドバー	[シアン]、[マゼンタ]、[イエロー] のスライドバーを動かして調整します。

OS の色補正エンジンで設定する

ICM (Windows を使いの方)

ICM (Image Color Management) は、モニターやプリンターなどの異なるデバイス間で色の見た目を一致させる Windows カラー管理機能です。ICC プロファイルに基づいてモニターとプリンターが出力する色を一致させます。

ICC プロファイルとは、ICC (International Color Consortium) 標準に従い、モニターやプリンターなどのデバイスごとに設定された色変換のためのファイルです。

ただし、4 色プリンターの色域はモニターよりも狭いため、多くの場合、モニターの色と正確に一致させることはできません。

[ICM] を選択して [色補正設定] ボタンをクリックすると、[ICM] 設定画面が表示されます。



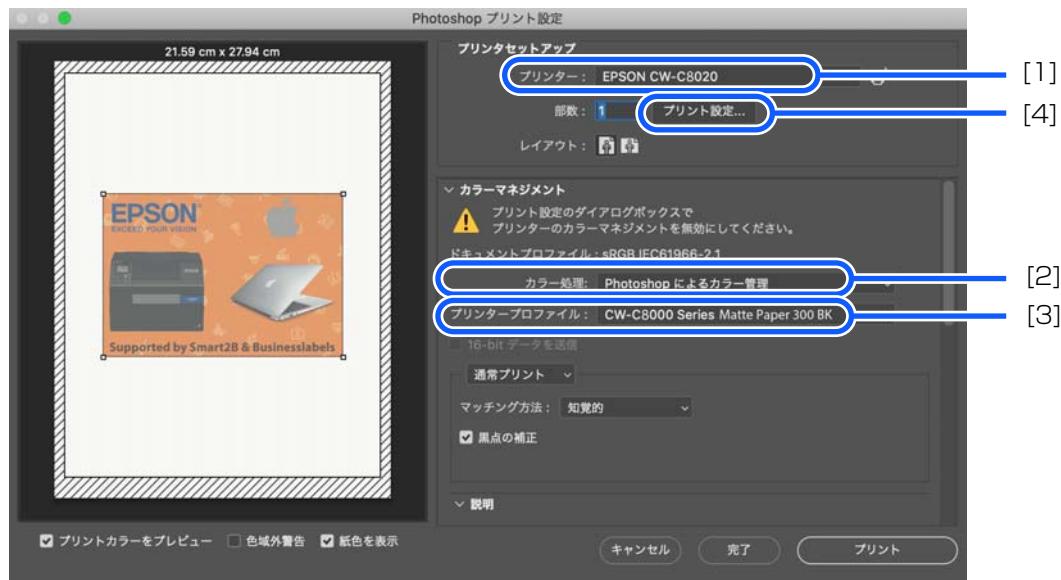
項目	説明	
全てのプロファイルを列挙	<p>ドライバーをインストールする際に、EPSON純正紙用のICCプロファイルが自動的にインストールされます。インストールされるのは、[用紙種類]と[印刷速度]の組合せ分全てのICCプロファイルです。</p> <p>初期設定では本項目のチェックが外れているので、[入力プロファイル]は[sRGB IEC61966-2-1]に、[プリンタープロファイル]は[EPSON 標準]に固定され、ドライバーに設定されている[用紙種類]と[印刷速度]に対応するICCプロファイルが自動的に選択されます。</p> <p>EPSON純正紙以外のメディアを使用し、該当メディアのICCプロファイルがインストールされている場合にチェックを付けます。</p> <p>チェックを付けると、[入力プロファイル]、[プリンタープロファイル]のプルダウンメニューから、システムにインストールされている全てのプロファイルが選べるようになります。[プリンタープロファイル]で該当メディアのICCプロファイルを選択してください。</p>	
入力プロファイル	<p>表示デバイスのプロファイルを選択します。</p> <p>通常、Windows OSのデフォルトである[sRGB IEC61966-2-1]しか表示されません。</p>	
インテント	彩度	彩度を保持して変換します。
	知覚的	視覚的に自然なイメージになるように変換します。画像データが広範囲な色域を使用しているときに選択してください。
	相対的な色域を維持	元データの色域座標と印刷時の色域座標を一致させ、さらに白色点(色温度)の座標値が一致するように変換します。多くのカラーマッチング時に使用されます。
	絶対的な色域を維持	元データも印刷データも絶対的な色域座標に割り当てて変換します。元データと印刷データの白色点(色温度)は色調補正されません。ロゴカラーの印刷など、特殊な用途で使用するときに選択してください。
プリンタープロファイル	<p>使用するメディアに対応するプリンタープロファイルを選択します。</p> <p>通常、[EPSON 標準]しか表示されません。[EPSON 標準]は、EPSON純正紙用にドライバーに設定されている[用紙種類]と[印刷速度]に対応するICCプロファイルを自動的に選択します。</p>	

ColorSync (Mac を使いの方)

ColorSync は、macOS のカラー管理機能で、Windows の ICM に相当する機能です。

以下に ColorSync を使って ICC プロファイルを設定する方法を、Adobe Photoshop (以降、Photoshop と記載します) およびプレビューを例に説明します。

Photoshop から印刷する場合



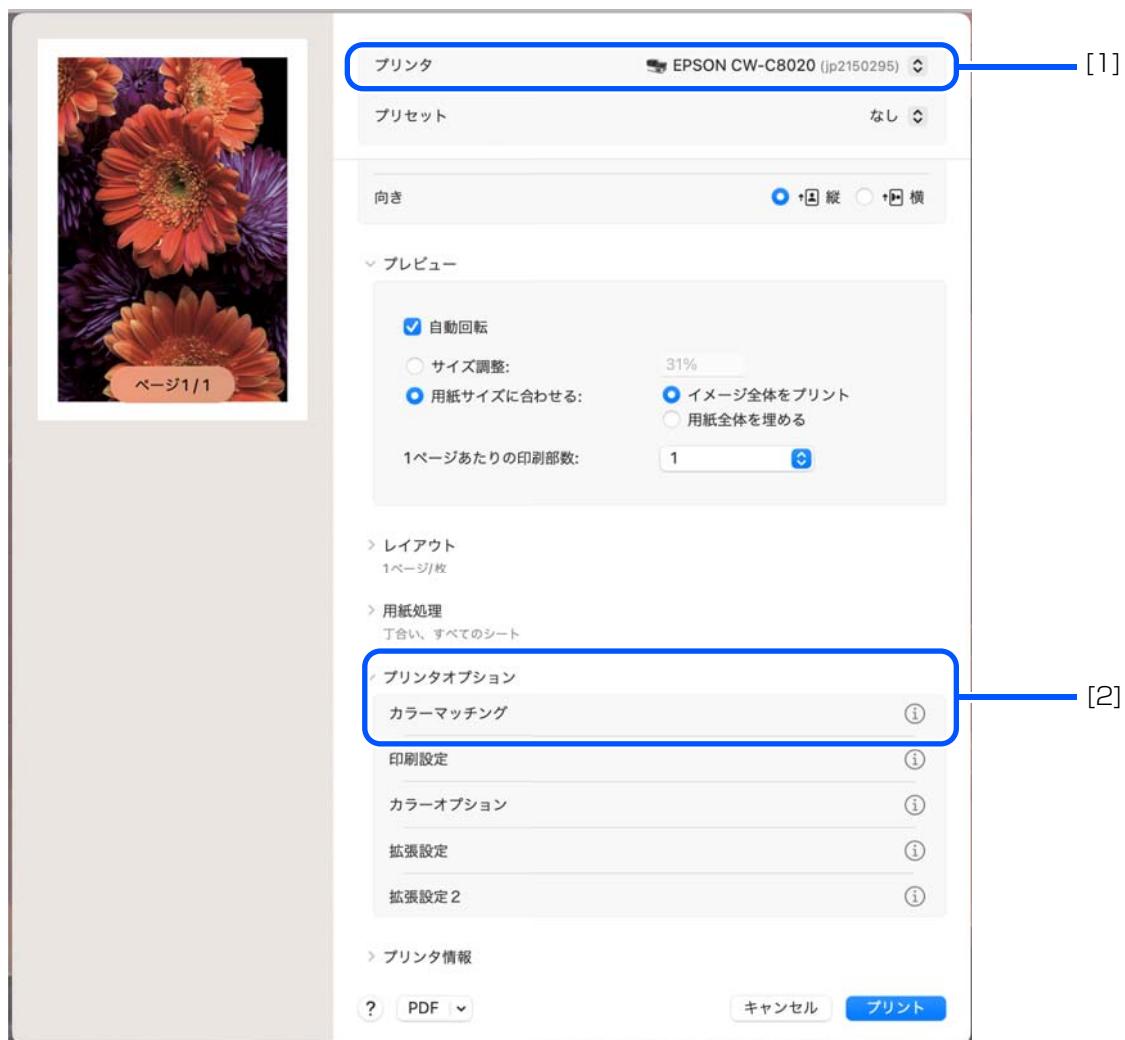
- 1 [プリンター] で本製品を選択します。
- 2 [カラー処理] メニューから [Photoshop によるカラー管理] を選択します。
[プリンターによるカラー管理]を選択した場合、ICC プロファイルの設定を印刷結果に反映できません。
- 3 [プリンタープロファイル] で適切な ICC プロファイルを選択します。
- 4 [プリント設定] をクリックし、プリンタードライバーで印刷設定をします。
[カラーマッチング] と [カラーオプション] は変更できません。



5 Photoshop の印刷ウィンドウでその他の印刷設定をします。

6 [プリント] ボタンをクリックします。

プレビューから印刷する場合

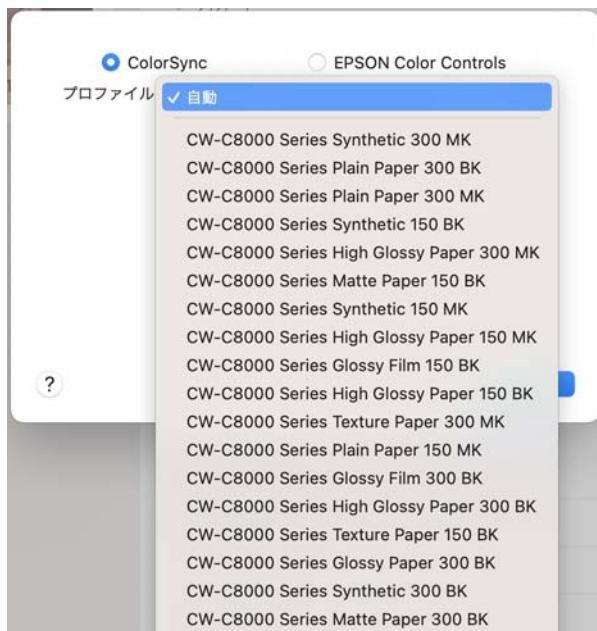


1 [プリンタ] で本製品を選択します。

2 [プリントオプション]-[カラーマッチング]で[ColorSync]を選択し、[プロファイル]で適切なICCプロファイルを選択します。

[自動]を選択すると、エプソンが提供するICCプロファイルを自動的に選択します。

[その他のプロファイル]を選択すると、[ColorSyncプロファイルの選択]画面が表示され、他のICCプロファイルを選択できます。



3 その他の印刷設定をします。

4 [プリント]ボタンをクリックします。

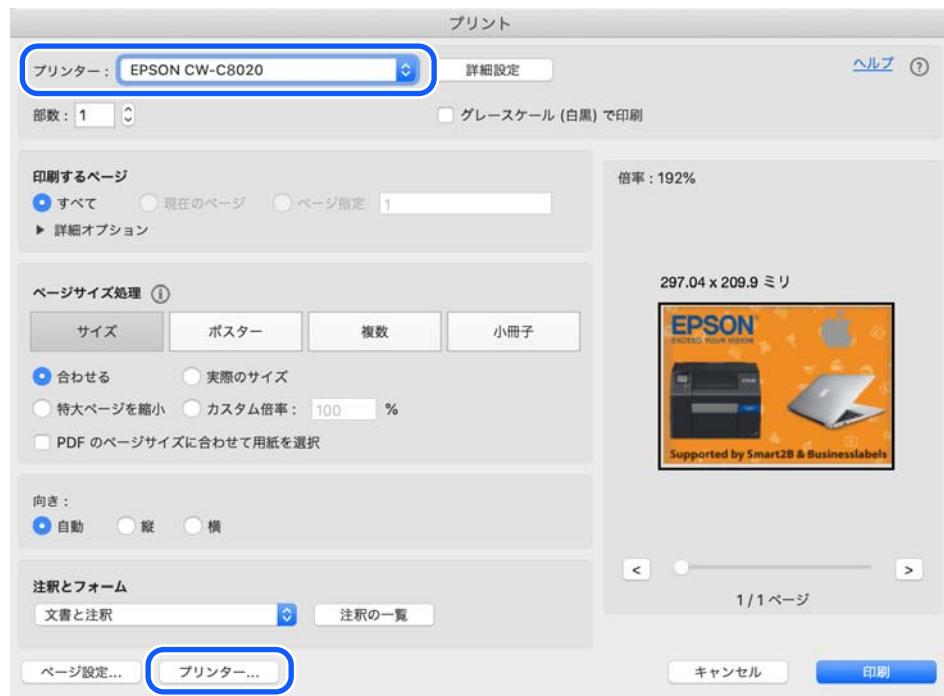
Acrobat Reader から印刷する場合



ColorSync 使用時の注意事項

- PDF のデータは RGB データである必要があります。CMYK データの場合、正しく色補正できません。
- 印刷データにソースプロファイル(入力プロファイル)が埋め込まれていない場合、ソースプロファイルは自動的に「sRGB IEC61966-2.1」が適用されます。
- レンダリングインテント(カラーマッピング方法)は「知覚的」に固定されます。

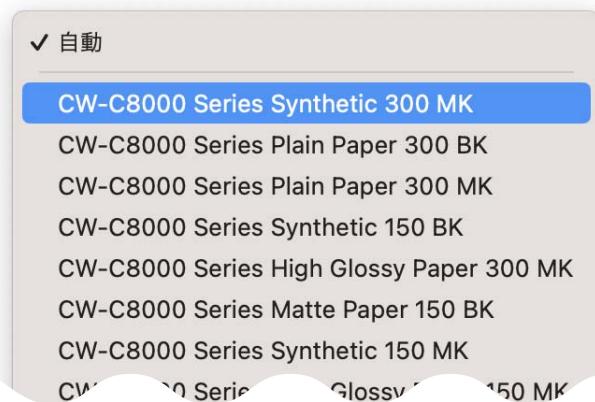
1 [プリンター] で本製品を選択し、画面下の [プリンター ...] をクリックします。



- 2 [カラー・マッチング] で [ColorSync] を選択し、[プロファイル] で適切な ICC プロファイルを選択します。



プロファイルの初期設定は [自動] になっており、エプソンが提供する ICC プロファイルが自動的に選択されます。[その他のプロファイル] を選択すると、[ColorSync プロファイルの選択] 画面が表示され、他の ICC プロファイルを選択できます。



- 3 その他の印刷設定をします。

- 4 [詳細設定] をクリックします。



5 [画像として印刷] にチェックを入れて [OK] をクリックします。



6 [プリント] 画面で [印刷] ボタンをクリックします。

ICC プロファイル

ICC プロファイルとは

ICC プロファイルは International Color Consortium (略称 : ICC) によって定義された、色を管理するための情報が記述されたデータ (拡張子 .icc) です。印刷結果の色は使用するメディアや印刷モード等によって大きく変わります。

CW-C8000 Series は EPSON 純正メディア、印刷速度、インクの組合せごとに ICC プロファイルを提供しています。ICC プロファイルは、Windows ドライバーのインストール時に以下の指定フォルダにインストールされます。

C:\Windows\System32\spool\drivers\color

EPSON 純正メディア以外のメディアを使う場合は、そのメディアに対応する ICC プロファイルを用意していただく必要があります。

□ CW-C8000 Series で標準提供している ICC プロファイル

メディア名称	印刷速度	インク仕様	ICC プロファイル名
普通紙	300 mm/s	フォト	CW-C8000Series_PlainPaper_300_BK.icc
		マット	CW-C8000Series_PlainPaper_300_MK.icc
	150 mm/s	フォト	CW-C8000Series_PlainPaper_150_BK.icc
		マット	CW-C8000Series_PlainPaper_150_MK.icc
マット紙	300 mm/s	フォト	CW-C8000Series_MattePaper_300_BK.icc
		マット	CW-C8000Series_MattePaper_300_MK.icc
	150 mm/s	フォト	CW-C8000Series_MattePaper_150_BK.icc
		マット	CW-C8000Series_MattePaper_150_MK.icc
合成紙	300 mm/s	フォト	CW-C8000Series_Synthetic_300_BK.icc
		マット	CW-C8000Series_Synthetic_300_MK.icc
	150 mm/s	フォト	CW-C8000Series_Synthetic_150_BK.icc
		マット	CW-C8000Series_Synthetic_150_MK.icc
上質紙	300 mm/s	フォト	CW-C8000Series_TexturePaper_300_BK.icc
		マット	CW-C8000Series_TexturePaper_300_MK.icc
	150 mm/s	フォト	CW-C8000Series_TexturePaper_150_BK.icc
		マット	CW-C8000Series_TexturePaper_150_MK.icc
光沢紙	300 mm/s	フォト	CW-C8000Series_GlossyPaper_300_BK.icc
		マット	CW-C8000Series_GlossyPaper_300_MK.icc
	150 mm/s	フォト	CW-C8000Series_GlossyPaper_150_BK.icc
		マット	CW-C8000Series_GlossyPaper_150_MK.icc

メディア名称	印刷速度	インク仕様	ICCプロファイル名
光沢フィルム	300 mm/s	フォト	CW-C8000Series_GlossyFilm_300_BK.icc
		マット	CW-C8000Series_GlossyFilm_300_MK.icc
	150 mm/s	フォト	CW-C8000Series_GlossyFilm_150_BK.icc
		マット	CW-C8000Series_GlossyFilm_150_MK.icc
高光沢紙	300 mm/s	フォト	CW-C8000Series_HighGlossyPaper_300_BK.icc
		マット	CW-C8000Series_HighGlossyPaper_300_MK.icc
	150 mm/s	フォト	CW-C8000Series_HighGlossyPaper_150_BK.icc
		マット	CW-C8000Series_HighGlossyPaper_150_MK.icc



一部の ICC プロファイルは、X-Rite Solutions で作成されています。

ICC プロファイルの作成手順

EPSON 純正以外のメディアを使用する場合は、メディアベンダーが提供している ICC プロファイルを入手する、または該当メディア用の ICC プロファイルを作成してください。

ICC プロファイルの作成には、測色機と ICC プロファイル作成ツール（ソフトウェア）が必要です。

例)

- x-rite 社 (<https://xritephoto.com/>)
 - i1iO2 (測色機)、i1Profiler (ICC プロファイル作成ツール)
- Datacolor 社 (<https://www.datacolor.com/>)
 - SpyderPrint (プリントキャリブレーションツール)

作成方法は使用する機材やソフトウェアによって異なるため、ここでは手順の概要を説明します。詳細はお使いの機材、ソフトウェアのマニュアルをご確認ください。

- 1 ICC プロファイル作成ツール（ソフトウェア）を起動して、使用するメディアに測色用パッチチャートを印刷します。
- 2 印刷したパッチチャートを測色機で測色します。
- 3 測色結果から、ICC プロファイル作成ツール（ソフトウェア）で ICC プロファイルを出力します。



- ICC プロファイルの仕様はバージョン2で作成してください。
- ICC プロファイルの名称は ASCII 文字列で入力してください。

詳細は以下の URL からご確認ください。

<https://color.org>

アプリケーションの色補正エンジンで設定する

色補正なし

[色補正方法] を [色補正なし] に選択していると、[色補正設定] ボタンは表示されません。

[色補正なし] はアプリケーションで色補正を行う場合に選択してください。アプリケーションでの色補正は、各種アプリケーションのヘルプやマニュアルを参照してください。

先頭のラベルから印刷する

[用紙検出方法] が [ギャップ] または [穴検出] の場合、用紙セット後の最初の印刷で、先頭のラベルは印刷できません。

[用紙検出方法] を [ギャップ] または [穴検出] に設定していても、以下の手順で先頭のラベルから印刷できるようになります。



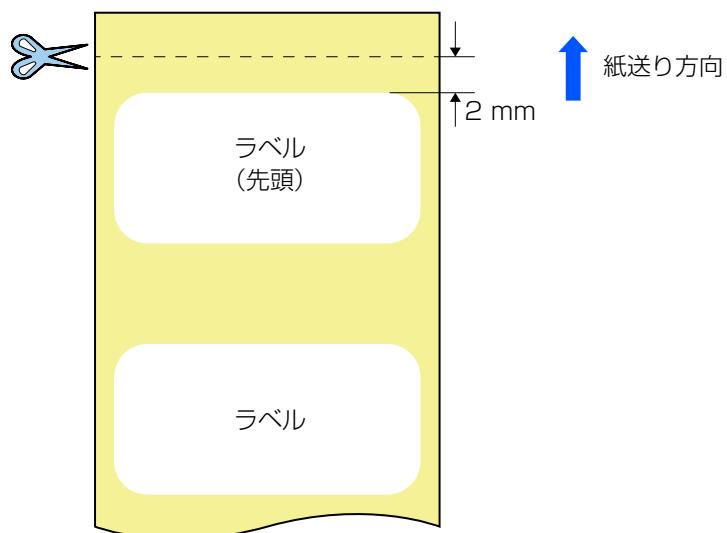
注意

- 本手順を実施して印刷するラベルは、オートカットできません。
- ご使用のラベルとプリンターの設定値が異なっていると、印刷品質が低下する可能性があります。



[用紙検出方法] が [ブラックマーク検出]、[検出しない] の場合は、本手順の実施は不要です。

1 用紙の台紙部分を先頭ラベルから 2 mm の位置で切り取ります。



2 本体パネルから、[用紙交換時の動作] を [フィードしない] へ設定します。

[Menu] - [本体設定] - [プリンター設定] - [印刷動作設定] - [用紙交換時の動作] - [フィードしない]
初期値は [フィード] です。

3 ラベルの長さとページ間距離をお使いのラベルに合わせて設定します。 ([64 ページ「用紙の設定」](#))

4 用紙をセットし、印刷します。

用紙のセット方法は ([65 ページ「用紙のセット」](#)) を参照してください。

フチなし印刷のためのラベルサイズ / 用紙レイアウトの設定

ここでは、エプソンのプリンタードライバーを使用してフチなし印刷をするための考え方と設定方法を説明します。

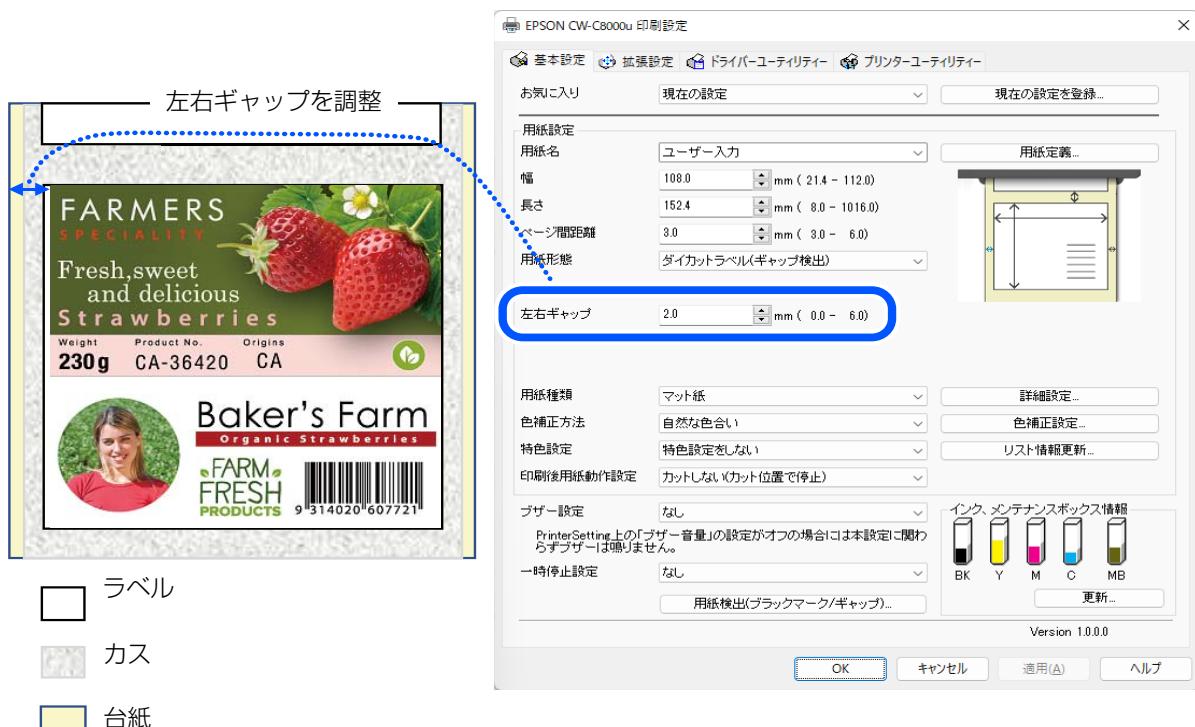


- 左右ギャップを2 mm未満に設定する場合、インクがラベルや手に付着して汚れることがあります。
- 印刷領域の上端に1.5 mm以上の余白を付けることで、インク汚れを軽減できる場合があります。

フチなし印刷のための考え方

プリンタードライバーの左右ギャップの設定値を調整することによって印刷開始位置をラベルの左端に合わせてフチなし印刷を実現することができます。

ラベルからはみ出した部分のインクが台紙に付着してしまわないように、カス（＝ラベルの外側にある捨てる部分の粘着紙）が付いている用紙をお使いください。



余白部分がない型抜きされたカス取りダイカットラベルを使用すると、インクがラベルや手やプリンター内部に付着して汚れる場合があります。



ラベル用紙の設定

- ダイカットラベルは、ラベルをハーフカットして、カスを付けてください。ただし、ロール紙の両端部分はカスなしにしてください。
- Windows ドライバと PrinterSetting は以下の入力値チェックや自動補正を行います。
 - * 入力値チェックは ([左右ギャップ] × 2) + [幅] が用紙の幅を超えないことをチェックします。なお入力中の値によって最大（最小）用紙幅を超過する場合には、入力値の上限（下限）を制限することで最大（最小）用紙幅を超過させないように調整します。
- Windows ドライバと PrinterSetting 以外では入力値チェックや自動補正が行われないため、これら以外から左右ギャップやラベルの幅等の用紙レイアウト設定を行い、印刷範囲を超えた設定になった場合、印刷可能な範囲内のみ印刷されます。

ヘッド - 用紙間距離の調整を実行する

タグなどの厚い用紙や通常のラベル・連続紙よりも薄い用紙を使用する場合、ユーザーがプリントヘッドと用紙の距離（ヘッド - 用紙間距離）を調整できることで、印刷品質を低下させずに印刷できます。この機能は、操作パネルまたは PrinterSetting で設定できます。

ヘッド - 用紙間距離の設定値は、以下の用紙の厚さを目安に設定してください。

設定値	用紙の厚さの目安	説明
1	0.11 mm	高光沢紙の連続紙
2	~ 0.24 mm	通常のラベル、連続紙
3	~ 0.32 mm	RFID なしのタグ
4	~ 0.59 mm	RFID ありのタグ



設定値の初期値は「2」です。以下の状態の場合は調整してください。

- 印刷がぼやけたり、二重になつたりして印刷品質が低下する場合は設定値を下げてください。
- プリントヘッドと用紙がこすれて、用紙が汚れる場合は設定値を上げてください。

検出器の感度やラベル検出のしきい値を調整する

本機にはラベルの先端を検出するギャップ検出とブラックマーク検出の2つの検出器があります。センサーの感度やラベル検出のしきい値を調整すると、現時点でラベルの先端を検出できないラベルも使用可能になる場合があります。

操作パネルから実行します。

[Menu] - [プリンターのお手入れ] - [キャリブレーションの実施]

用紙検出(簡易)

ラベル検出のしきい値を調整します。短時間で済むため、短いキャリブレーションの実施をお勧めします。

用紙検出

検出器の感度とラベル検出のしきい値を調整します。短いキャリブレーションでラベルが検出できなかった場合に実施します。



ファンフォールド紙を使用する場合は、1枚目から3枚目までのミシン目を平らにしてから用紙をセットしてください。正しく調整できない可能性があります。

ギャップ検出器の操作

円や橢円などの異形ダイカットラベルやタグを使用する場合、以下の手順でギャップ検出器を調整します。



四角ダイカットラベルや全面ラベルなど、一般的なラベルを使用する場合、ギャップ検出器の初期位置から変更する必要はありません。

1 プリンターから用紙を取り除きます。

☞ 80ページ「用紙を取り除く」

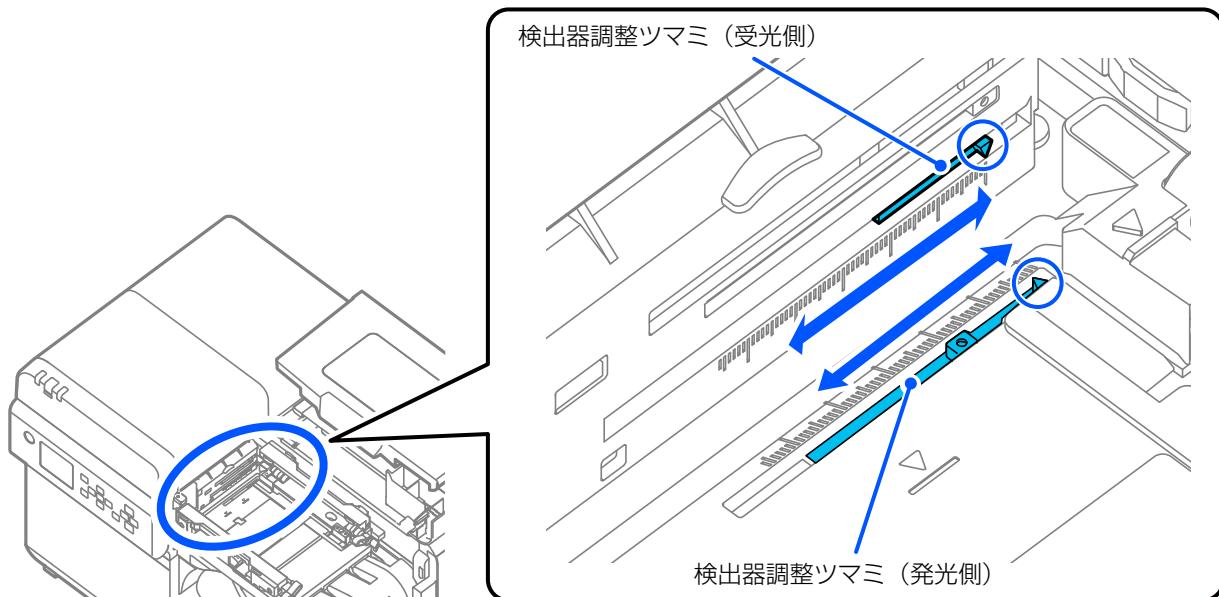
2 プリンターの電源を切ります。

3 2つの調整ツマミを操作し、検出器を調整します。

ペン先など、先の細いものを使用して調整ツマミを押し込みながら横へ移動してください。

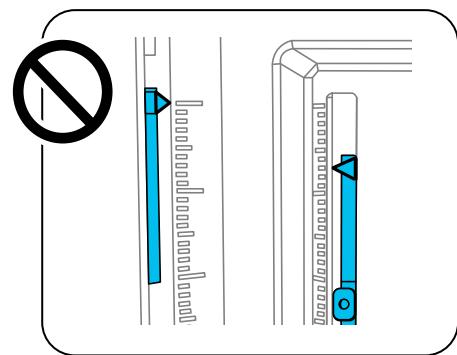
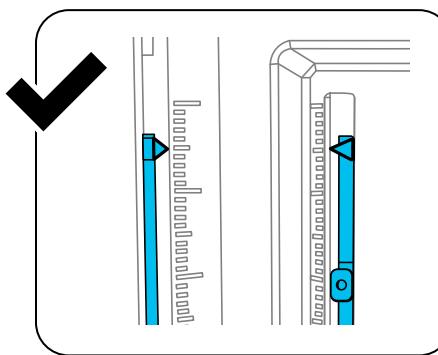
紙端から3~56 mmの範囲で、1 mm間隔で調整できます。

調整ツマミの三角形の先端を目盛に合わせてください。



注意

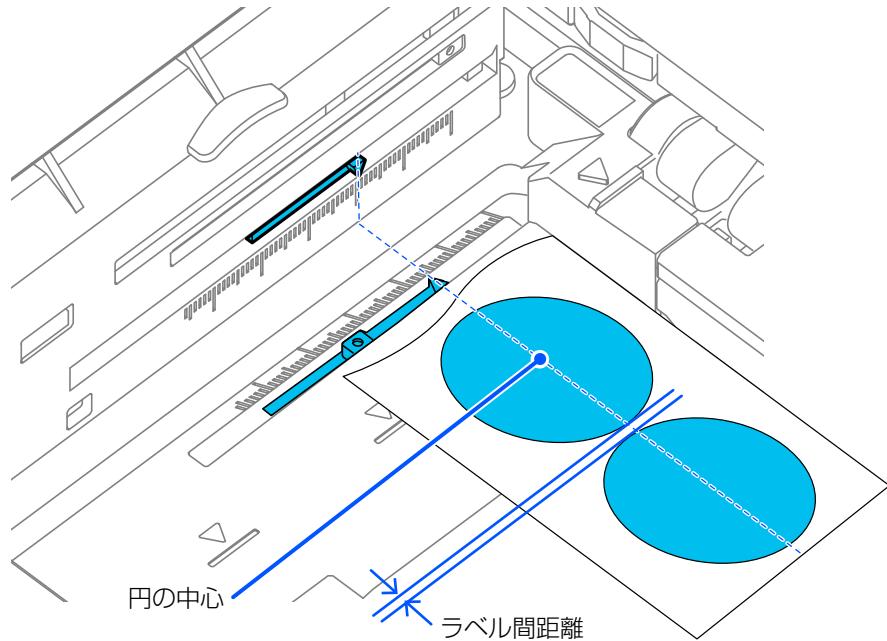
- 異形ダイカットラベルを使用する前に調整してください。
- 電源OFF状態で行ってください。電源を入れたまま調整すると、検出器が誤動作し、自動給紙を開始する恐れがあります。
- 2つの調整ツマミの三角形の先端を同じ位置にしてください。調整ツマミの三角形の先端の位置がずれていると、用紙検出エラーが発生し、印刷できません。



ギャップ検出器の調整例

円形ダイカットラベルの場合

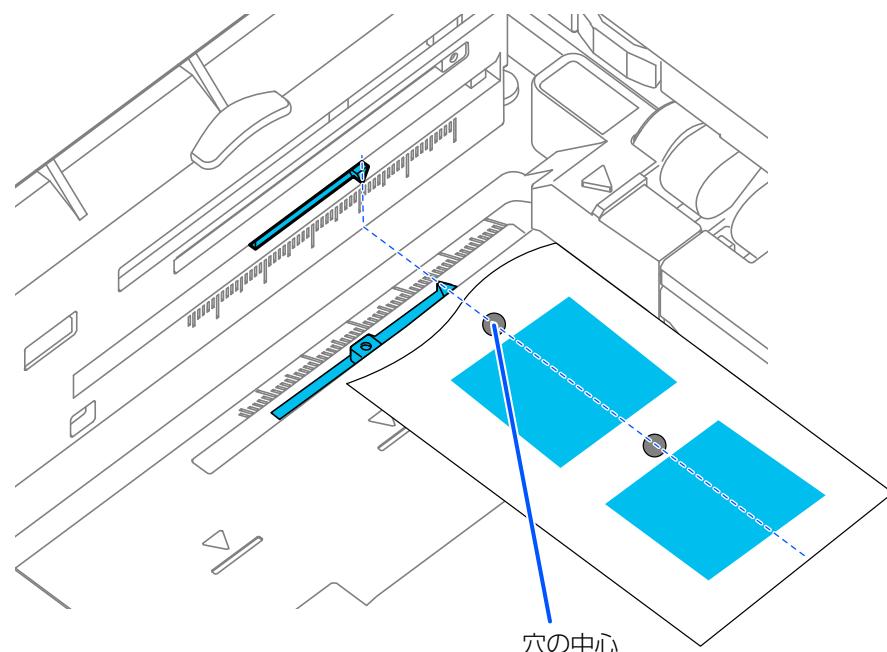
受光側と発光側の調整ツマミの三角形の先端を円の中心（破線）に合わせてください。



タグ(穴、長穴、切り欠き)の場合

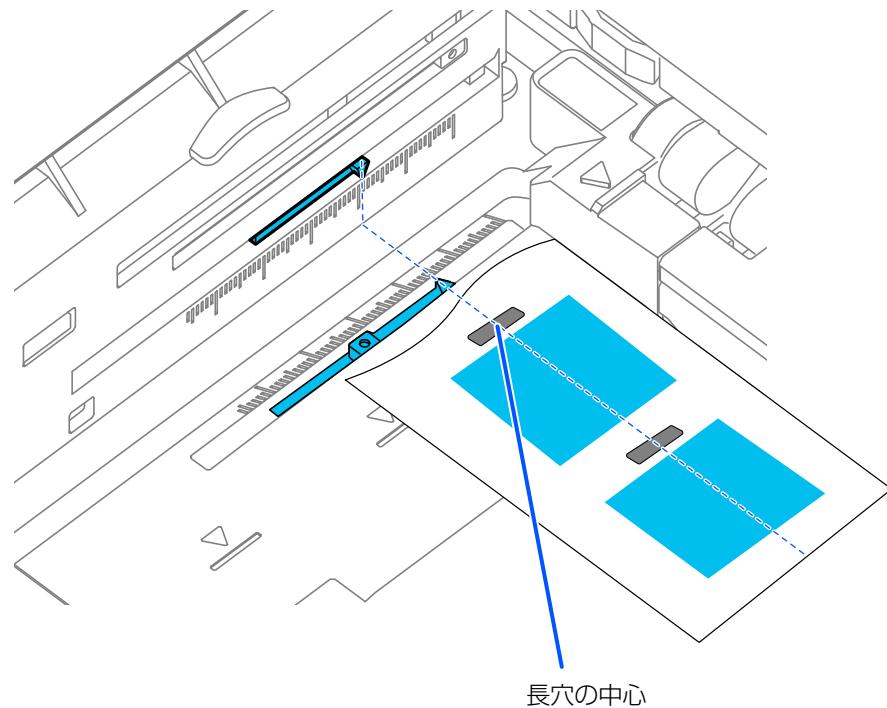
タグ(穴で検出)

受光側と発光側の調整ツマミの三角形の先端を穴の中心（破線）に合わせてください。



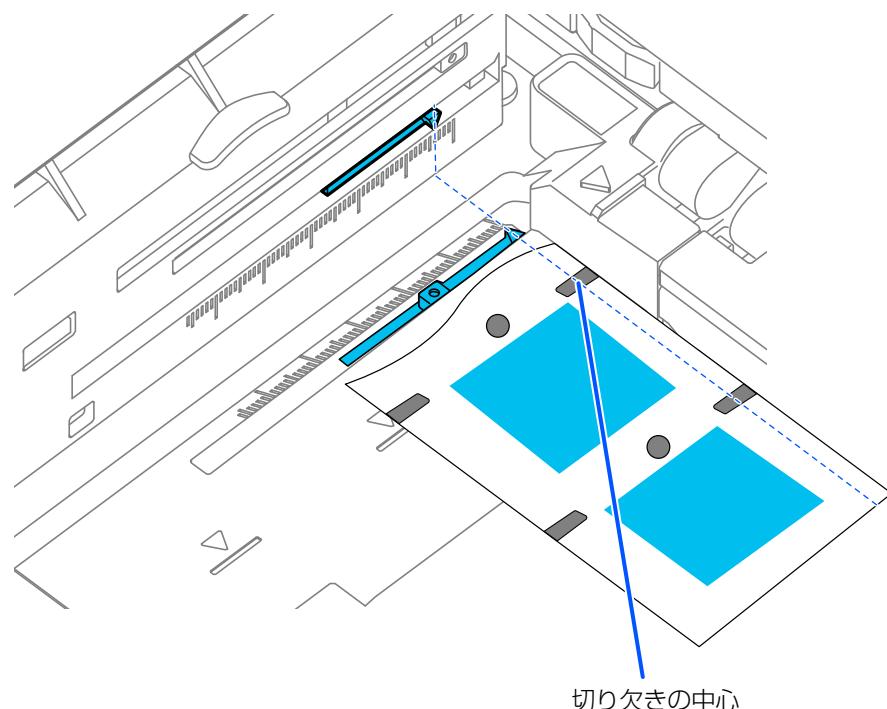
タグ(長穴で検出)

受光側と発光側の調整ツマミの三角形の先端を長穴の中心（破線）に合わせてください。



タグ(切り欠きで検出)

受光側と発光側の調整ツマミの三角形の先端を用紙ガイド（固定）側の切り欠きの中心（破線）に合わせてください。



インク充填後の本製品の保存

本製品の長期保存

本製品を、インク充填後（使用開始後）に長期間使用しない場合、以下の手順に従って保存してください。

- 1 ノズルチェック印刷を行い、ドット抜けなどの印字不良が発生していないことを確認します。ドット抜けなどの印字不良が発生している場合には、ヘッドクリーニングを行ってください。

[78ページ「印字確認」を参照](#)



注意

ドット抜けが発生している状態のまま本製品を保存すると、ノズル内のインクが固まってノズルが詰まり、再稼動時に印字不良の回復が困難になるおそれがあります。



インク充填後に本製品を輸送した場合、振動などにより、ドット抜けが発生している場合があります。

2

印刷終了後、（電源）ボタンを押して本製品の電源を切ります。



注意

本製品の長期保存の前に電源を切るときは、必ず \square （電源）ボタンを押してください。

3

本製品を冷暗所にて保管します。

製品の保管場所の環境については、[387ページ「環境仕様」を参照してください。](#)



注意

本製品の保存期間は、6ヵ月です。

6ヵ月を超えて保存する場合は、販売店またはインフォメーションセンターにお問い合わせください。



インクパックは挿入したまま保管してください。

– 10°C以下の環境での輸送や保存(マットインク仕様の場合)

環境温度が–10°C以下になるとプリントヘッドが故障するおそれがあります。–10°C以下になると想定されるときは、事前に以下の手順でインク排出をしてください。



重要

- 実施すると、排出されたインクがメンテナンスボックスに溜まるため、メンテナンスボックスに十分な空き容量が必要です。空き容量が少ないとときは、交換用のメンテナンスボックスを用意してから作業を開始してください。
- インク排出は5～35°Cの環境下で実施してください。
- インク排出中にカバー類を開けたり、電源を切ったりしないでください。

1 用紙がセットされているときは、全て取り外します。

2 操作パネルから以下の手順でインク排出します。
[Menu]-[プリンターのお手入れ]-[インク排出]

3 [インク排出] を選択すると確認画面が表示されるので [開始] を選択します。
インク排出が開始され、排出が終わると自動でプリンターの電源が切れます。



次回プリンターを使用するときには、インクの再充填が必要です。
電源を入れると再充填の確認画面が表示されます。[OK] を選択すると充填を開始します（所要時間約9分）。充填が終わるとホーム画面が表示されます。

本製品の再稼動

長期保存後の本製品を再稼動する場合、以下の手順に従ってください。

1 インクパックの使用期限が切れていないか確認します。



以下の場合はインクパックを交換してください。
インクパックの交換方法は83ページ「インクパックの交換」を参照

- インクパックが製造後3年を超えてる
- インクパックをプリンターに装着後1年を超えてる

2 本製品の電源を入れます。

ノズル自己診断システムによりノズルチェックとヘッドクリーニングが行われます。



注意

ヘッドクリーニング動作中は、本製品の電源を切ったり、用紙カバー、上カバー、インクカバーを開けたりしないでください。

3 ノズルチェック印刷を行い、ドット抜けなどの印字不良が発生していないか確認します。

輸送時の処置

以下の点に注意して、本製品を輸送します。

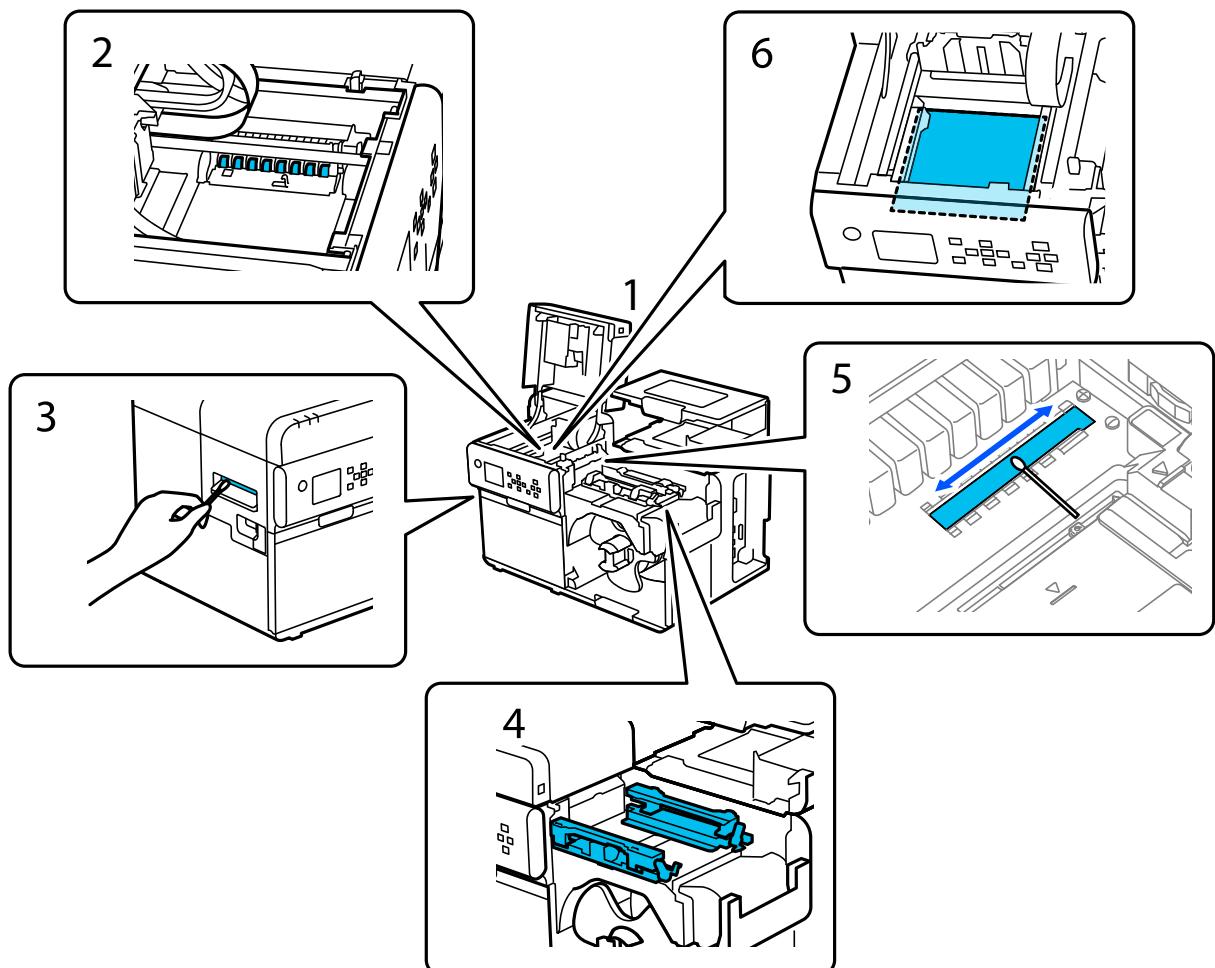


注意

- 本製品を輸送する際は、用紙を取り外してください。
- 本製品を輸送する際は、インクパックおよびメンテナンスボックスを取り外さないでください。
- 本製品を輸送する際は、 (電源) ボタンで電源を切ってから、輸送してください。
- 本製品を輸送する際は、前後左右に 10 度以上傾けないでください。転倒などによる事故の原因となります。
- 本製品を輸送する際は、上下逆さま、または横倒しにしないでください。

プリンターのクリーニング

本章では、本製品のメンテナンス方法について説明しています。



1	296 ページ「外装のクリーニング」
2	299 ページ「紙押さえローラーのクリーニング」
3	296 ページ「オートカッターのクリーニング」
4	297 ページ「用紙ガイドのクリーニング」
5	301 ページ「ギャップ検出器（発光側）のクリーニング」
6	304 ページ「プラテンのクリーニング」

外装のクリーニング

プリンターの電源を切ってから、乾いた布か湿らせた不織布で汚れを拭き取ってください。このとき、電源ケーブルは必ずコンセントから取り外してください。



注意 汚れを除去する際には、アルコール、ベンジン、シンナー、トリクレン、ケトン系溶剤は使用しないでください。プラスチックおよびゴム部品を変質、破損させるおそれがあります。

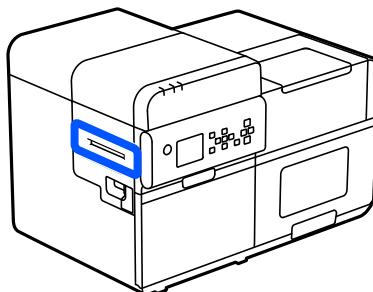
オートカッターのクリーニング



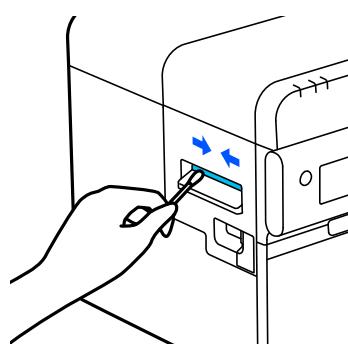
クリーニング方法を動画で見る

https://support.epson.net/p_doc/95d/
☞ 「プリンターのクリーニング (CW-C8020)」

オートカッターの固定刃にラベルや紙粉・粘着物が付着していると、切れ味が鈍くなる場合があります。以下の手順でオートカッターの固定刃をクリーニングします。



- 1 用紙がセットされている場合は用紙を取り除きます。
☞ 80ページ「用紙を取り除く」
- 2 プリンターの電源を切り、電源ケーブルをコンセントから取り外します。
- 3 以下の図のように、アルコールを染み込ませた綿棒を使用し、オートカッター固定刃に付着したラベルや紙粉・粘着物を、両端から中央に向かって除去します。



用紙ガイドのクリーニング



クリーニング方法を動画で見る

https://support.epson.net/p_doc/95d/

☞ 「プリンターのクリーニング (CW-C8020)」



用紙ガイドのクリーニング方法を操作パネルで見る

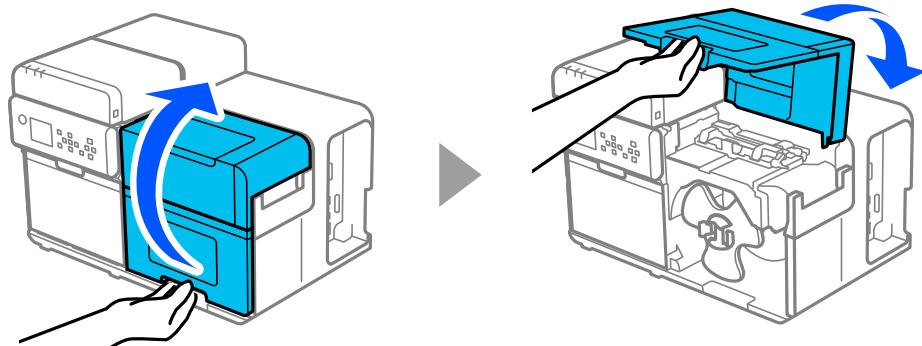
[? (ヘルプ)] - [操作方法が知りたい] - [用紙ガイドを清掃する]

用紙ガイドにラベルや紙粉・粘着物が付着していると、印刷品質が低下する可能性があります。
以下の手順で用紙ガイドをクリーニングします。

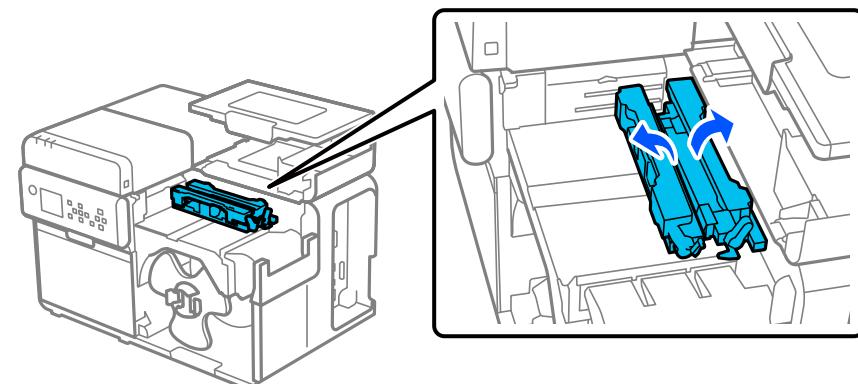
1 用紙がセットされている場合は用紙を取り除きます。

☞ 80ページ「用紙を取り除く」

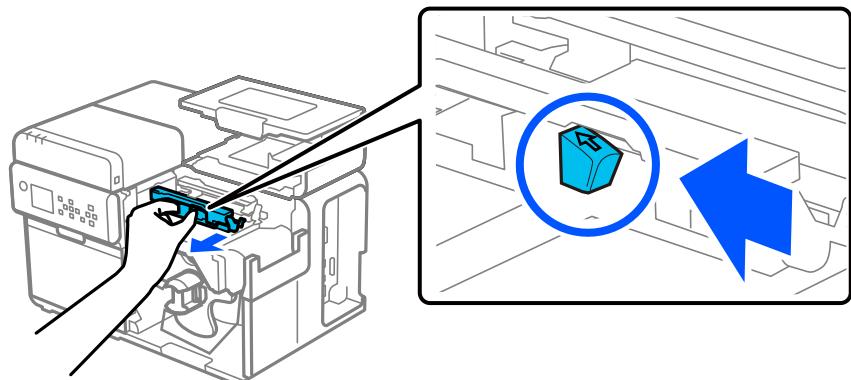
2 用紙カバーを開けます。



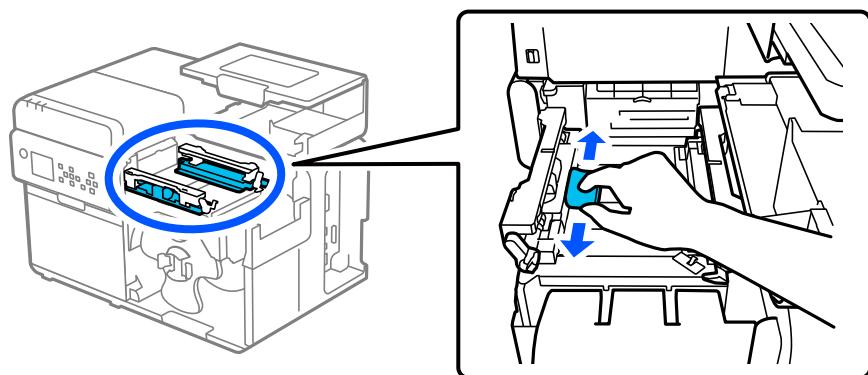
3 用紙カバー内部にある用紙押さえを開きます。



4 レバー（青）を押しながら用紙ガイド（可動）をいっぱいまで広げます。



5 水で濡らして固く絞った柔らかい布で用紙ガイドに付着したラベルや紙粉・粘着物を取り除きます。



注意 汚れを除去する際には、アルコール、ベンジン、シンナー、トリクロレン、ケトン系溶剤は使用しないでください。プラスチックおよびゴム部品を変質、破損させるおそれがあります。

紙押さえローラーのクリーニング



クリーニング方法を動画で見る

https://support.epson.net/p_doc/95d/

☞ 「プリンターのクリーニング (CW-C8020)」



紙押さえローラーのクリーニング方法を操作パネルで見る

【? (ヘルプ)】 - 【操作方法が知りたい】 - 【紙押さえローラーを清掃する】

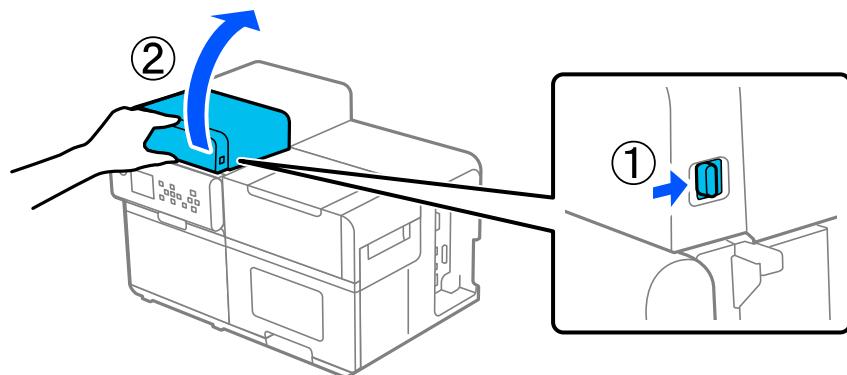
紙押さえローラーにラベルや紙粉・粘着物が付着していると、紙詰まりが発生したり、印刷結果がかすれたりする可能性があります。

以下の手順で紙押さえローラーをクリーニングします。

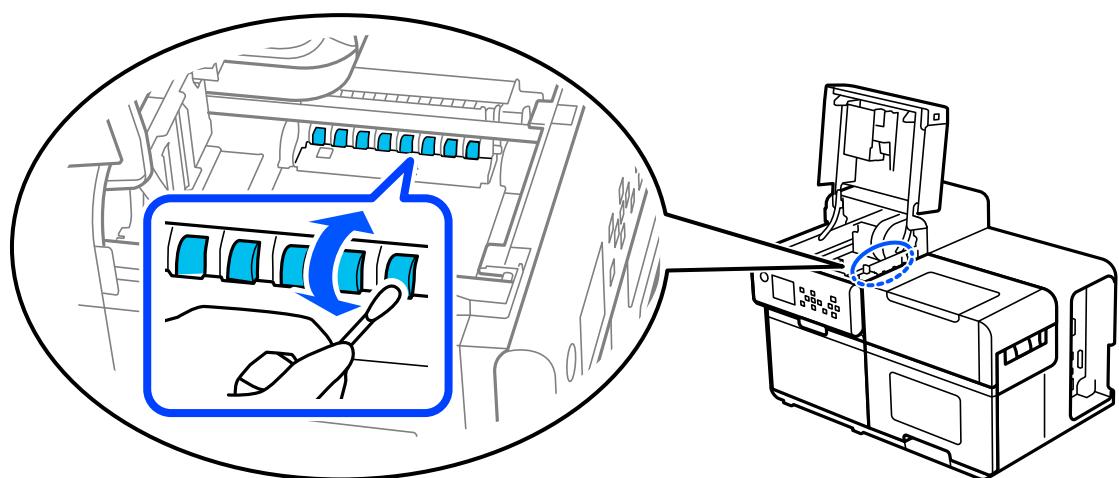
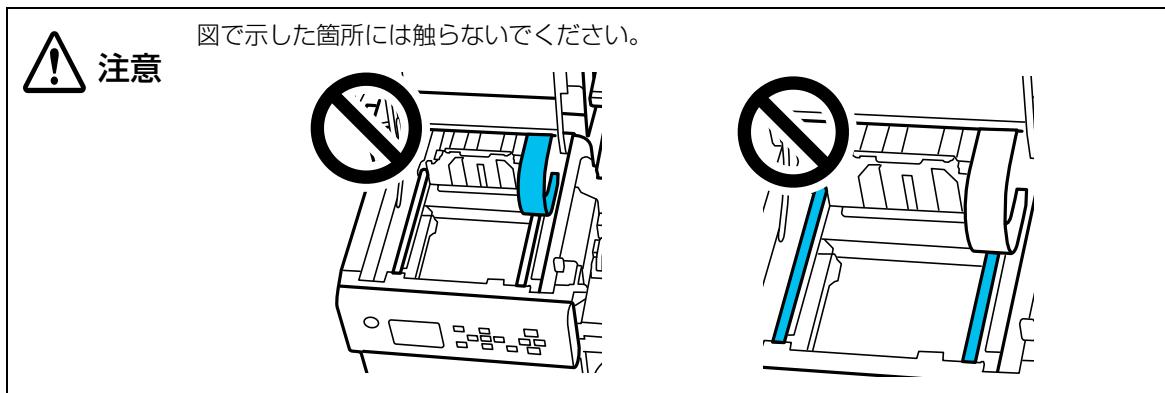
1 用紙がセットされている場合は用紙を取り除きます。

☞ 80ページ「用紙を取り除く」

2 右側面のレバーを押して上カバーを開けます。



3 アルコールを染み込ませた綿棒を使用し、紙押さえローラーに付着したラベルや紙粉・粘着物を取り除きます



ギャップ検出器(発光側)のクリーニング

ギャップ検出器の発光側にある透明なプレートにインクや紙粉・粘着物などが付着すると、下記の状態が発生する可能性があります。

- ・セットした用紙が給紙されない
- ・ギャップが検出できずに用紙が排紙されてエラーになってしまう

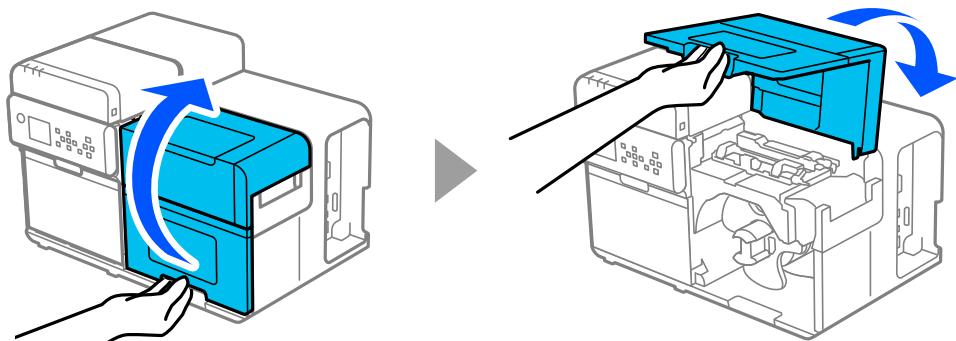
以下の手順でクリーニングしてください。

1 用紙がセットされている場合は用紙を取り除きます。

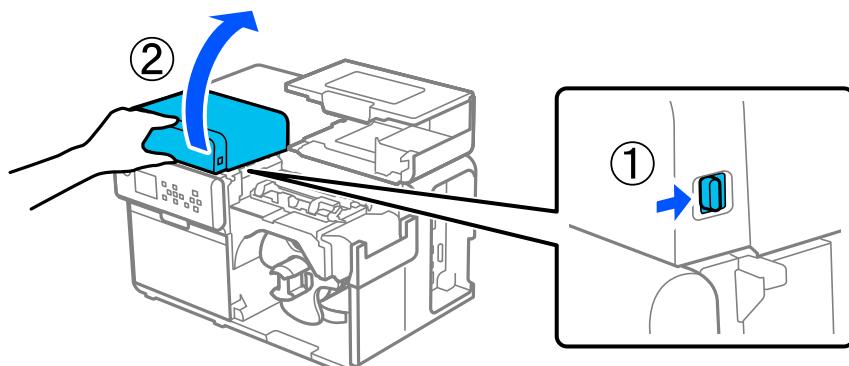
[80 ページ「用紙を取り除く」](#)

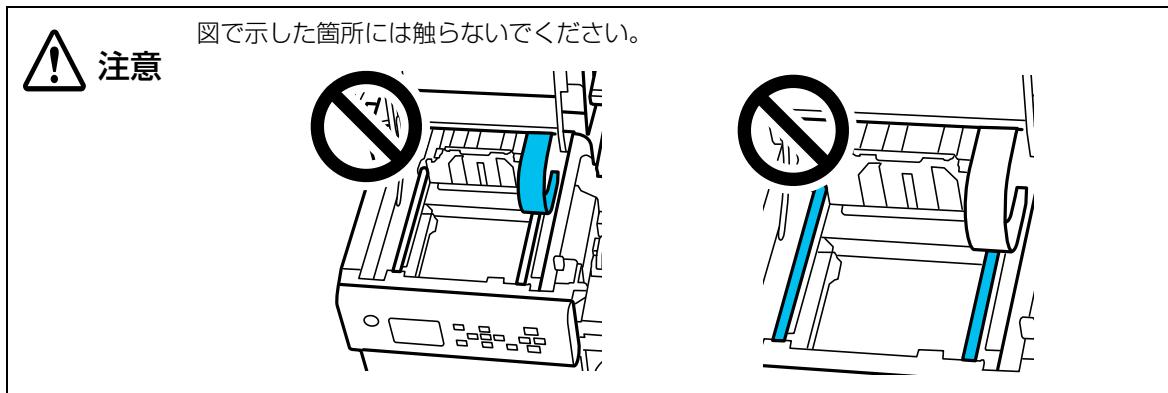
2 プリンターの電源を切り、電源ケーブルをコンセントから取り外します。

3 用紙カバーを開けます。

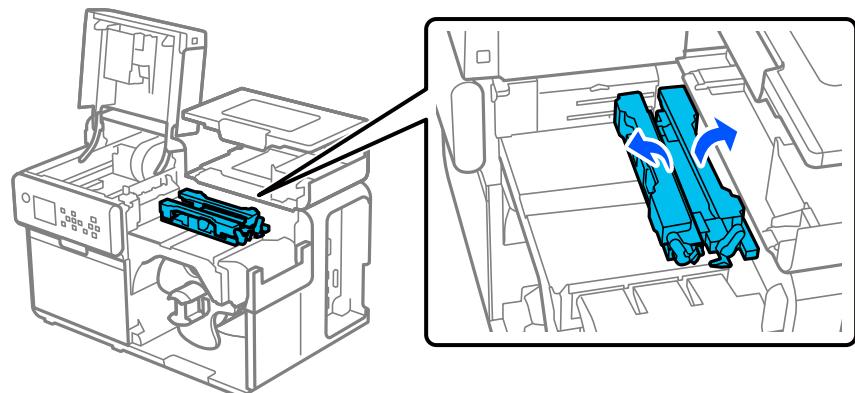


4 右側面のレバーを押して上カバーを開けます。

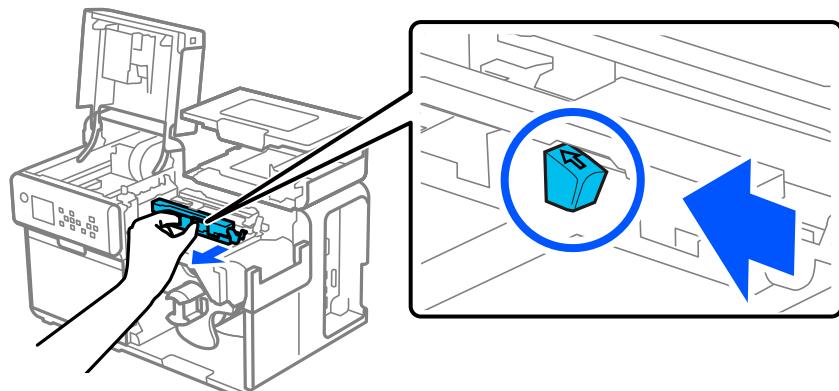




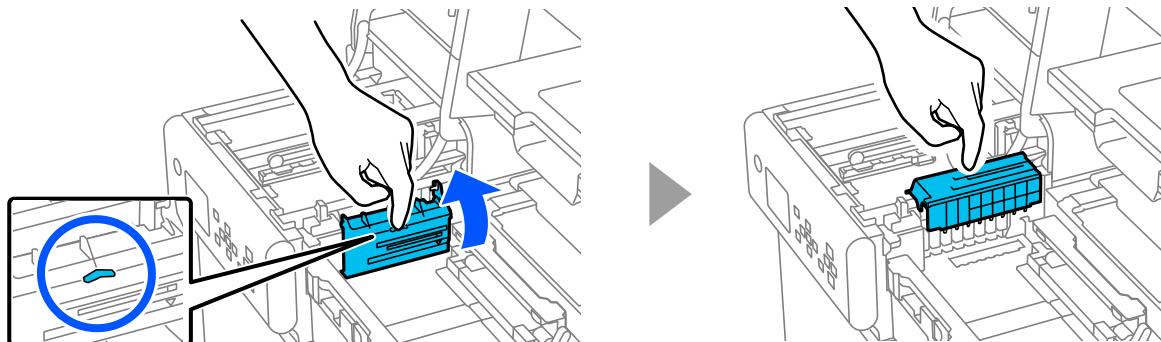
5 用紙カバー内部にある用紙押さえを開きます。



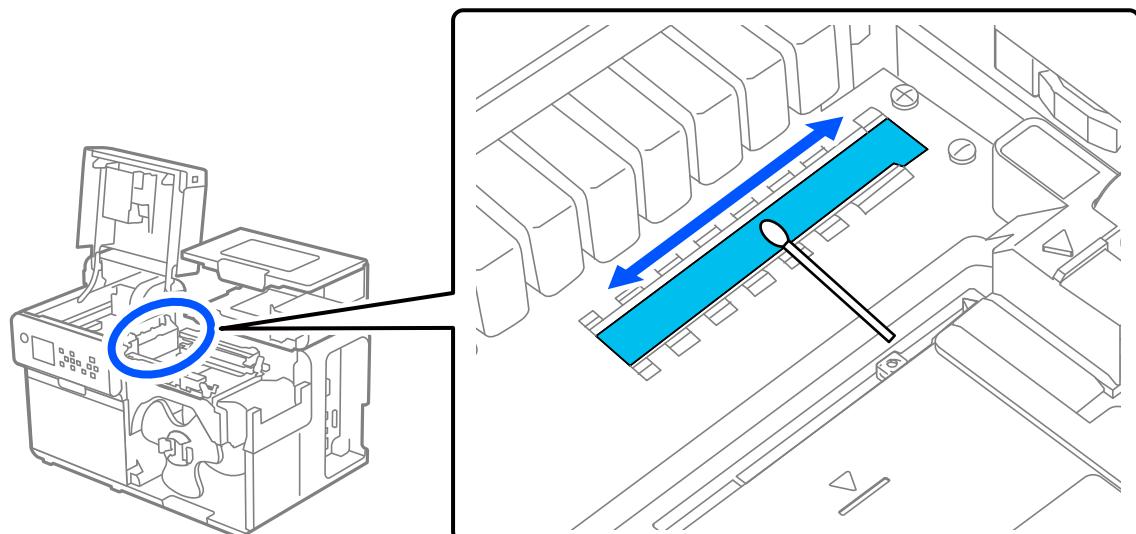
6 レバー（青）を押しながら用紙ガイド（可動）をいっぱいまで広げます。



7 丸枠部分に指をかけて用紙挿入口カバーを引き上げます。



8 水に濡らした綿棒でギャップ検出器（発光側）の透明なプレートに付着したインクや紙粉・粘着物を取り除きます。



注意

- クリーニング後に用紙経路が濡れていないことを確認してください。
- 汚れを除去する際には、アルコール、ベンジン、シンナー、トリクロレン、ケトン系溶剤は使用しないでください。プラスチックおよびゴム部品を変質、破損させるおそれがあります。

プラテンのクリーニング



クリーニング方法を動画で見る

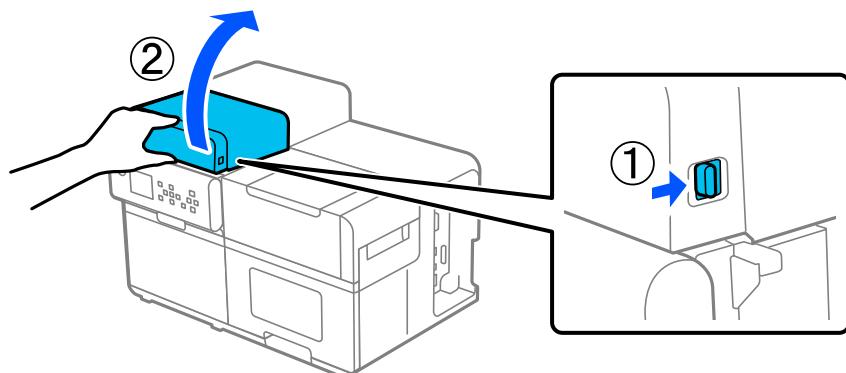
https://support.epson.net/p_doc/95d/

☞ 「プリンターのクリーニング (CW-C8020)」

プラテンにラベルや紙粉・粘着物が付着していると、紙詰まりが発生したり、印刷結果がずれたりする可能性があります。

以下の手順でプラテンをクリーニングします。

- 1 プリンターの電源が切れていることを確認します。
- 2 用紙がセットされている場合は用紙を取り除きます。
☞ 80ページ「用紙を取り除く」
- 3 右側面のレバーを押して上カバーを開けます。

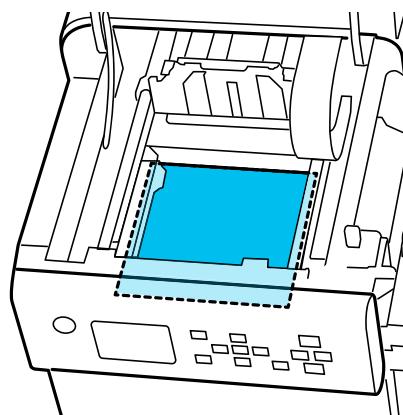


- 4 水で濡らして固く絞った柔らかい布や綿棒でプラテンに付着したラベルや紙粉・粘着物を取り除きます。



注意

汚れを除去する際には、プラテンに布や綿棒の繊維が残らないようにしてください。

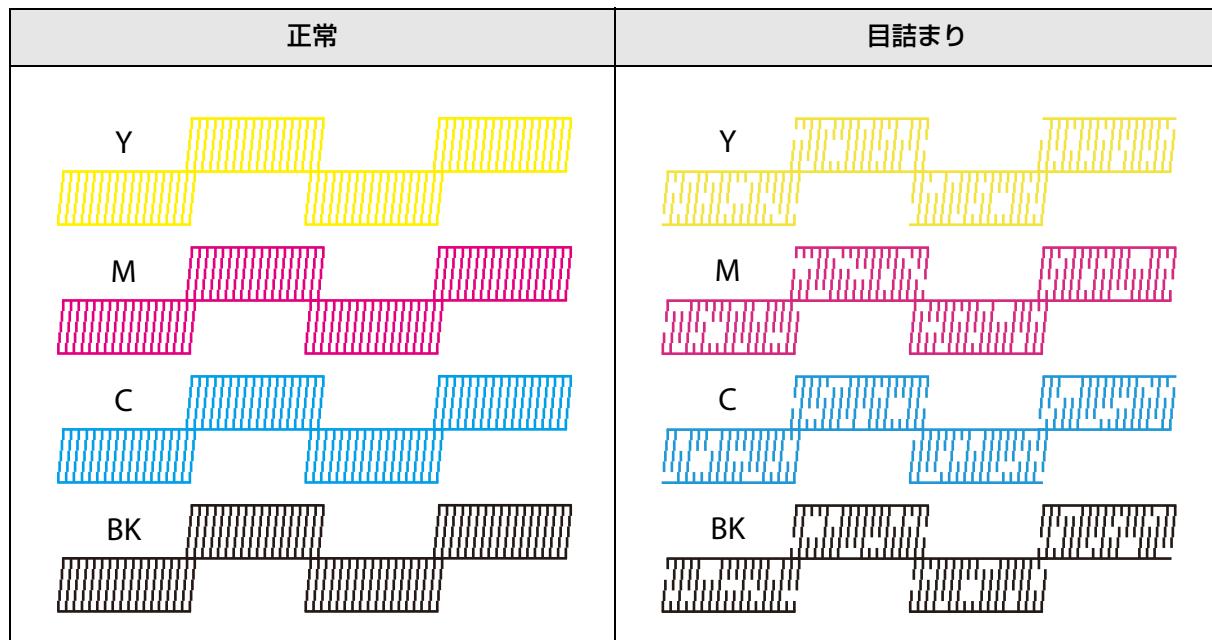


- 5 上カバーを閉めます。

プリントヘッドのクリーニング

ノズルが目詰まりしていると、印刷がかすれたり、スジが入ったり、意図しない色で印刷されたりします。印刷品質に問題があるときは、ノズルチェックパターンを印刷してノズルの目詰まりを確認してください。ノズルが目詰まりしているときはヘッドクリーニングをしてください。

例：フォトインク仕様のノズルチェックパターン



ノズルチェックパターンの印刷

ノズルが目詰まりしていると、印刷がかすれたり、スジが入ったり、意図しない色で印刷されたりします。印刷品質に問題があるときは、ノズルチェックパターンを印刷してノズルの目詰まりを確認してください。



ノズルチェックパターンの印刷幅は、パネルの設定に従います。
ただし、パネルの設定より用紙の幅が狭い場合は、用紙の幅を検出して自動でノズルチェックパターンの印刷幅を調整します。

ノズルチェックパターン印刷に使用できる用紙形態

- 連続紙
- 全面ラベル
- 約 112 mm 以上のダイカットラベル^{*1}
- タグ^{*2}

*1：ダイカットラベルの長さが約 112 mm 未満の場合、ノズルチェックパターンの一部が台紙部分に印刷されます。

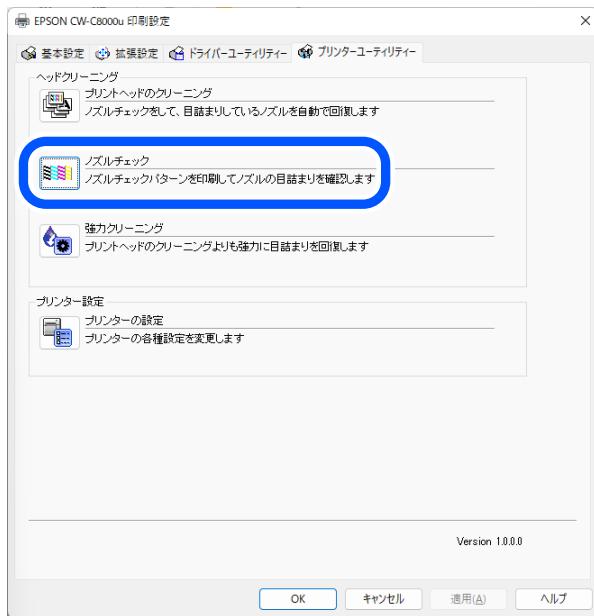
*2：タグの穴の位置を考慮しないため、インクがプラテンに印刷される場合があります。

操作パネルから印刷する

[Menu] - [プリンターのお手入れ] - [プリントヘッドのノズルチェック]

プリンタードライバーから印刷する

プリンターユーティリティタブの、ノズルチェックをクリックします。



Web Config から印刷する

[メンテナンス] タブの [ノズルチェック] を選択した後、[開始] をクリックします。

Web Config については、[235 ページ「Web Config」](#) を参照してください。

ヘッドクリーニング

ノズルが目詰まりしているときは、[プリントヘッドのクリーニング] をしてください。[プリントヘッドのクリーニング] を実行してもノズル抜けが改善しないときは、[強力クリーニング] を行ってください。以下の手順でプリントヘッドのクリーニングができます。



重要

- ヘッドクリーニング中は電源を切ったり、カバーを開けたりしないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- ヘッドクリーニングは必要以上に行わないでください。インクを吐出してクリーニングするため、インクが消費されます。
- インク残量が少ないと、ヘッドクリーニングができないことがあります。インクパックを交換してから実行してください。
- ☞ [83ページ「インクパックの交換」](#)
- [強力クリーニング] は [プリントヘッドのクリーニング] よりも多くのインクを消費します。

操作パネルから実行する

[Menu] - [プリンターのお手入れ] - [プリントヘッドのクリーニング]

[Menu] - [プリンターのお手入れ] - [強力クリーニング]

プリンタードライバーから実行する

プリンターユーティリティタブの、[プリントヘッドのクリーニング] または [強力クリーニング] をクリックします。



Web Config から実行する

[メンテナンス] タブの [ヘッドクリーニング] を選択します。クリーニングの種類を [自動] または [強力クリーニング] から選択した後で [開始] をクリックします。

Web Config については、[235ページ「Web Config」](#) を参照してください。

トラブルシューティング

画面にメッセージが表示された

画面表示	対処方法と参照先
案内 給紙に失敗しました。 用紙をセットするか、給紙方法を変更してください。	[給紙方法]、[用紙形態]の設定に合った用紙を使用してください。 または、用紙に合わせて[給紙方法]、[用紙形態]を設定し直してください。 92ページ「用紙設定」
案内 [用紙検出方法]で設定された用紙が検出できません。 設定された用紙をセットするか、[用紙設定]を変更してください。	[用紙検出方法]の設定に合った用紙を使用してください。または、用紙に合わせて[用紙検出方法]を設定し直してください。 92ページ「用紙設定」
(ホーム画面上) 用紙をセットしてください。	用紙をセットしてください。 65ページ「用紙のセット」
案内 セットされている用紙のサイズが、用紙レイアウトの設定と異なります。操作方法を確認して用紙を交換するか、印刷を中止して用紙レイアウトの設定を変更してください。	印刷領域のサイズにあった用紙をセットしてください。または、用紙サイズに合わせて印刷領域を設定してください。 65ページ「用紙のセット」
案内 ラベルが検出できませんでした。操作方法に従って用紙をセットし直すか、印刷を再開するか選択してください。	セットしている用紙を取り除いた後、再度用紙をセットしてください。 80ページ「用紙を取り除く」 65ページ「用紙のセット」
用紙なし ロール紙がセットされていません。	ロール紙をセットしてください。 65ページ「用紙のセット」
用紙なし ファンフォールド紙がセットされていません。	ファンフォールド紙をセットしてください。 65ページ「用紙のセット」
案内 用紙が詰りました。	紙詰まりを取り除いた後、用紙をセットしてください。 329ページ「ロール紙が詰まった」 334ページ「ファンフォールド紙が詰まった」

画面表示	対処方法と参照先
案内 用紙のセット手順が正しくありません。 用紙ガイドユニットから用紙を取り除いて用紙カバーを閉め、[Pause] ボタンを押してください。	セットしている用紙を取り除いた後、再度用紙をセットしてください。 ☞ 80 ページ「用紙を取り除く」 ☞ 65 ページ「用紙のセット」 ロール紙の終端状態によっては用紙エンドが検出できず、エラーが発生する可能性があります。用紙の終端状態を確認してください。 ☞ 364 ページ「用紙仕様」 検出器調整ツマミ（受光側）と検出器調整ツマミ（発光側）が同じ位置にあることを確認してください。 ギャップ検出器位置の合わせ方： ☞ 289 ページ「ギャップ検出器の操作」 それでも解決しない場合は、検出器のキャリブレーションを実施してください。 検出器のキャリブレーション方法： ☞ 288 ページ「検出器の感度やラベル検出のしきい値を調整する」
案内 パターン1 キャリブレーションに失敗しました。 設定を確認して、再度実行してください。 パターン2 キャリブレーションに失敗しました。 [了解] を押してから、用紙をセットしなおすか用紙を変更してください。	お使いの用紙とプリンターの用紙検出設定を確認し、用紙をセットし直してください。 ☞ 65 ページ「用紙のセット」 ページ間距離が 6 mm を超えると、キャリブレーションできません。 ☞ 364 ページ「用紙仕様」 再度エラーが発生する場合は、検出器の特性上お使いの用紙に対応できません。用紙を変更してください。
案内 カット済みのため、カットできません。	一度カットした位置でもう一度カットボタンを押すと表示されます。印刷するか、フィードボタンを押して用紙を送り出すことでカットできるようになります。
メンテナンスエラー インクパックが正しくセットされていません。	十分な残量のあるインクパックを取り付けてください。 ☞ 83 ページ「インクパックの交換」
(ホーム画面上でインク残量に[!] が付く)	インクパック交換時期が近いため、交換用のインクパックを準備します。 インクの残量が少なくなったインクパックを使い続けると、印刷途中でインクパックの交換が必要になることがあります。 ☞ 83 ページ「インクパックの交換」 取り外したインクパックは、再び装着してインク残量が限界値以下になるまで使うことができます。
初期充填に必要なインク量が不足しています。	十分な残量のあるインクパックを取り付けてください。 ☞ 83 ページ「インクパックの交換」
案内 インク量が限界値以下のためインクパック交換が必要です。	十分な残量のあるインクパックを取り付けてください。 ☞ 83 ページ「インクパックの交換」

画面表示	対処方法と参照先
メンテナンスエラー インクパックが認識できません。 対応方法をご確認ください。	インクパックを取り付け直してください。 再度エラーが発生する場合は、新しいインクパックに交換してください。 ☞ 83 ページ「インクパックの交換」
案内 純正品ではありません。	プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクパックを使用することをお勧めします。 純正品以外のものをご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。 純正品以外の品質や信頼性について保証できません。 非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。
案内 本製品用のインクパックではありません。	本製品用ではありません。インクパックが認識されないなどのエラーが発生する可能性があります。
メンテナンスエラー メンテナンスボックスが装着されていません。 型番：SJMB7500	新しいメンテナンスボックスを取り付けてください。 ☞ 87 ページ「メンテナンスボックスの交換」
メンテナンスエラー メンテナンスボックスが認識できません。 型番：SJMB7500	メンテナンスボックスを取り付け直してください。 再度エラーが発生する場合は、新しいメンテナンスボックスに交換してください。 ☞ 87 ページ「メンテナンスボックスの交換」
(ホーム画面上) メンテナンスボックスの交換時期が近付いています。	メンテナンスボックス交換時期が近いため、交換用メンテナンスボックスを準備します。 「メンテナンスボックスの空き容量がなくなりました。ボックスの交換が必要です。」と画面に表示されたら、メンテナンスボックスを交換してください。 ☞ 87 ページ「メンテナンスボックスの交換」
メンテナンスエラー メンテナンスボックスの空き容量がなくなりました。 ボックスの交換が必要です。 型番：SJMB7500	交換用メンテナンスボックスを取り付けてください。 ☞ 87 ページ「メンテナンスボックスの交換」
案内 メモリー不足のため印刷できませんでした。	システム管理者に問い合わせ、不要なファイルを削除してください。

画面表示	対処方法と参照先
プリンターエラー 電源を入れ直してください。 詳しくはマニュアルをご覧ください。 XXXXXX	1. 製品の電源を切ります。 2. 排紙口付近に紙詰まりや異物がないことを確認します。 3. 製品の電源を入れます。 再度プリンターエラーが発生する場合は、お買い求めの販売店またはサービスセンターに連絡してください。連絡の際には、「XXXXXXXX」(6桁または8桁の英数字コード番号)を必ず伝えてください。
案内 インク残量が不足しているためクリーニングできませんでした。 クリーニングに必要なインク残量が不足していてもプリンターは使用できます。	クリーニングを実施するときは、十分な残量のあるインクパックを取り付けてください。 ☞ 83ページ「インクパックの交換」
案内 メンテナンスボックスの空き容量が不足しているためクリーニングできませんでした。 クリーニングに必要な空き容量が不足していてもプリンターは使用できます。	クリーニングを実施するときは、十分な空き容量があるメンテナンスボックスを取り付けてください。 ☞ 87ページ「メンテナンスボックスの交換」
案内 一時停止中 ノズルが詰まりしているため、印刷品質が低下する可能性があります。	ノズルが詰まりしているため、印刷品質が低下する可能性があります。許容できないときはプリントヘッドのクリーニングを行ってください。 ☞ 305ページ「プリントヘッドのクリーニング」
案内 ノズルの状態を検出できないため印刷品質が低下する可能性があります。	ノズル自己診断システムが無効になっているため印刷品質が低下する可能性があります。必要に応じて設定を有効にしてください。 ☞ 29ページ「ノズル自己診断システム」 また、合計 16 ノズル以下のノズル詰まりが発生した場合は、近傍のノズルを使用して補完印刷ができます。 ☞ 32ページ「ノズル抜け補完機能」

画面表示	対処方法と参照先
<p>エラーメッセージ ご利用のネットワークとプリンターの接続環境が不安定です。 IEEE802.3az(省電力イーサネット)機能を[オフ]にすると解決できる可能性があります。 詳しくはマニュアルをご覧ください。</p>	<p>IEEE802.3az (Energy Efficient Ethernet、省電力イーサネット)に対応した機器を使って有線 LAN 接続する場合、接続したりしなかったりして不安定になる、接続できなくなる、通信速度が遅くなることがあります。</p> <p>以下の手順で、コンピューターとプリンターの IEEE802.3az を無効にして接続してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コンピューターとプリンターそれぞれにつながっている LAN ケーブルを外します。 2. コンピューターの IEEE802.3az が有効になっている場合は、無効にします。 3. LAN ケーブルでコンピューターとプリンターを直接接続します。 4. プリンターで、[Menu] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - [接続診断] で、プリンターの IP アドレスを確認します。 5. コンピューターで、Web Config を起動します。 ウェブブラウザを起動し、プリンターの IP アドレスを入力してください。 6. [ネットワーク設定] タブ - [有線 LAN] の順に選択します。 7. [IEEE 802.3az] を [オフ] にします。 8. [次へ] をクリックします。 9. [設定] をクリックします。 10. コンピューターとプリンターにつながっている LAN ケーブルを外します。 11. 手順 2 でコンピューターの IEEE802.3az を無効にした場合は、有効にします。 12. 手順 1 で外した LAN ケーブルをコンピューターとプリンターにつなぎます。 <p>上記の手順をしてもこの現象が発生する場合は、プリンター以外の機器が原因となっている可能性があります。</p>
<p>(ホーム画面上) メンテナンスコード：部品寿命間近 XXXXXXXX</p>	<p>部品寿命間近です。 お買い求めの販売店またはサービスセンターに連絡してください。連絡の際には、「XXXXXXXX」(6 衔または 8 衔の英数字コード番号)を必ず伝えてください。 部品寿命に到達すると印刷できません。情報表示欄のメッセージは部品を交換することで表示されなくなります。</p>
<p>部品寿命到達 電源を入れ直してください。 詳しくはマニュアルをご覧ください。 XXXXXXXX</p>	<p>部品寿命に到達したため、印刷できません。 お買い求めの販売店またはサービスセンターに連絡してください。連絡の際には、「XXXXXXXX」(6 衔または 8 衔の英数字コード番号)を必ず伝えてください。</p>
<p>クラウドサービスと通信できません。 クラウドサービスとの接続状態や設定を確認してください。 詳細は管理者にお問い合わせください。</p>	<p>プリンターが Loftware Cloud との接続に失敗しています。 詳細はシステム管理者にお問い合わせください。</p>

印刷品質の低下

状態	原因	対処方法と参照先
縦方向(紙幅方向)に白スジが印刷される	印刷した用紙をバックフィードしています。	<ul style="list-style-type: none"> 印刷した用紙をそのままバックフィードすると、紙押さえローラーが用紙を踏みつけ印刷品質が劣化します。印刷した用紙は必ず  (カット) ボタンでカットしてください。 バックフィードの前に  (カット) ボタンで印刷した用紙をカットして取り除くか、[印刷後用紙動作設定] を [カットしない(カット位置で停止)] または [カットしない(指定位置で停止)] 以外に設定してください。 <p>[印刷後用紙動作設定] はプリンタードライバーの [用紙設定] で設定できます。</p> <p> 92 ページ「用紙設定」</p>
横方向(紙送り方向)に白スジが印刷される	「ドット抜け」が発生しています。	<p>ノズルチェックを使用して、ノズルの目詰まりを確認してください。</p> <p> 78 ページ「印字確認」</p> <p>ノズルの目詰まりが発生している場合、ヘッドクリーニングを実行してください。</p> <p>[プリントヘッドのクリーニング] を 3 回以上繰り返してもドット抜けが解消されない場合は、[強力クリーニング] を実施してください。</p> <p> 305 ページ「プリントヘッドのクリーニング」</p> <p>ノズル自己診断システムの設定が無効になっている場合は、有効(デフォルト)に変更してください。</p> <p> 29 ページ「ノズル自己診断システム」</p>
白スジや黒スジが印刷される	用紙が正しくセットされていません。	<p>用紙をセットし直してください。</p> <p> 65 ページ「用紙のセット」</p>
	お使いの用紙と用紙種類設定が異なります。	<p>お使いの用紙とプリンタードライバーの用紙種類設定をご確認ください。</p> <p> 90 ページ「プリンタードライバー(Windows)」</p>
	用紙によっては紙送り量が変わるために、白スジや黒スジが見られる場合があります。	<p>[色ずれ調整] をしてください。PrinterSetting の [色ずれ調整] から設定できます。</p> <p> 203 ページ「色ずれ調整」</p>
	バンディング低減の設定値が適切ではありません。	<p>プリントヘッドが重なる部分に発生する印刷の色スジを補正することにより、色むらが目立たなくなることがあります。プリンタードライバーまたは PrinterSetting の [バンディング低減] で濃淡の設定を変更してください。</p> <p> 92 ページ「用紙設定」</p> <p> 192 ページ「印刷結果を調整する」</p>
紙送り方向に対して前後に余白ができる	仕様を満たさない紙厚のダイカットラベル(ブラックマークなし)を使用すると、プリンターがラベルを適切に検出できず、紙送り方向に対して前後に余白ができる場合があります。	<p>PrinterSetting の [印刷開始位置の調整(垂直方向)] で調整してください。前の余白を埋める場合は(−)、後ろの余白を埋める場合は(+)方向へ調整値を入力します。</p> <p> 190 ページ「位置を調整する」</p>

状態	原因	対処方法と参考先
印刷された色がおかしい	初期充填後にプリンターを移動させた場合、振動や衝撃により、指定した色が出ない場合（混色）があります。	プリントヘッドのクリーニングを実行して混色がなくなることを確認してください。 ☞ 305 ページ「プリントヘッドのクリーニング」
印刷がぼやける・文字が二重になる・印刷位置がずれる	用紙ガイド幅と用紙幅が合っていません。	用紙ガイド幅が用紙幅に合っているか確認してください。 ☞ 65 ページ「用紙のセット」 それでも解決しない場合は、PrinterSetting から [位置を調整する] - [印刷開始位置の調整（水平方向）] を実施してください。 ☞ 190 ページ「位置を調整する」
	紙送り方向と紙幅方向のインク着弾位置が適切ではありません。	用紙によっては、紙送り量が変わるために色むらが見られることがあります。操作パネルまたは PrinterSetting から [色ずれ調整] を実行してください。 ☞ 203 ページ「色ずれ調整」
	用紙とプリントヘッドとのギャップが適切ではありません。	用紙によっては、紙厚が変わるために印刷がぼやける場合があります。 操作パネルまたは PrinterSetting から、[ヘッド - 用紙間距離] を調整してください。 ☞ 287 ページ「ヘッド - 用紙間距離の調整を実行する」
用紙が汚れる・インクが付着する	お使いの用紙と用紙種類設定が異なります。	お使いの用紙とプリンタードライバーの用紙種類設定をご確認ください。 ☞ 90 ページ「プリンタードライバー（Windows）」
	ヘッドに異物が付着している場合、用紙が汚れることがあります。	プリントヘッドのクリーニングを実行してみてください。 ☞ 305 ページ「プリントヘッドのクリーニング」
	用紙吸引強度が足りずに用紙とプリントヘッドが擦れ、用紙が汚れている可能性があります。	用紙吸引強度の設定が必要な場合があります。プリンタードライバーから以下の手順で手動設定を有効にできます。 1. プリンタードライバーの [基本設定] タブを表示します。 2. 用紙設定項目内の [詳細設定] をクリックします。 詳細設定ウィンドウが開きます。 3. 用紙調整項目内の [用紙吸引力強度] チェックを入れます。 手動設定が有効になります。 4. スライドバーを移動してプラテンの吸引力を調整します。
	プリントヘッドと用紙とのギャップが適切ではありません。	用紙によっては、紙厚が変わるために印刷がぼやける場合があります。 操作パネルまたは PrinterSetting から、[ヘッド - 用紙間距離] を調整してください。 ☞ 287 ページ「ヘッド - 用紙間距離の調整を実行する」
プリンター内部が汚れる	お使いの用紙と用紙形態が異なります。	お使いの用紙とプリンタードライバーの用紙形態の設定をご確認ください。 [全面ラベル] の場合には、ダイカットラベルを使わないでください。台紙にインク吐出すると、汚れやトラブルにつながる場合があります。

状態	原因	対処方法と参考先
印刷データが切れる・オートカット位置がずれる	お使いの用紙と用紙定義が合っていません。	用紙とプリンタードライバーの用紙定義が合っていないと、正しい位置に印刷されない場合があります。 用紙定義を正しく設定してください。 97 ページ「ユーザー定義用紙」
	用紙の違いなどにより、印刷位置・用紙の停止位置がずれる場合があります。	PrinterSetting で、印刷開始位置を調整してください。 190 ページ「位置を調整する」
バーコードの印刷品質が悪い	お使いの用紙と用紙種類設定が異なります。	お使いの用紙とプリンタードライバーの用紙種類の設定をご確認ください。 90 ページ「プリンタードライバー (Windows)」
	バー幅の補正が行われていません。	適切なバーコード印刷を行うためには、印刷データのバー幅補正を行う必要があります。 <ul style="list-style-type: none">プリンタードライバーを使用している場合、[基本設定] タブの [詳細設定] をクリックして、[バー幅補正] のチェックボックスを有効にし、適切なレベルを設定してください。 ただし、プリンタードライバーのバー幅補正の設定が効くのは、プリンタードライバーのバーコードフォント機能を使っている場合のみであり、それ以外の場合には効きません。 107 ページ「バーコード印刷」バーコード生成を行うアプリケーションを使用している場合には、アプリケーションでバー幅補正を行う設定をしてください。設定方法についてはお使いのアプリケーションのマニュアルを参照してください。
	インク打ち込みレベルまたは黒比率補正の設定が必要です。	用紙によっては、バーコードの印刷品質を確保するためのインク量が異なることがあります。 プリンタードライバーを使用している場合には、[基本設定] タブの [詳細設定] をクリックして、[インク打ち込みレベル] あるいは [黒比率補正] のチェックボックスを有効にし、適切なレベルを設定してください。 各用紙における適切なレベルについては、プリンターを購入した販売会社にお問い合わせください。
用紙サイズと印刷領域が異なる	製品の仕様です。	プリンタードライバーを使用する場合、ラベルのサイズから上下左右 1.5 mm の余白を除いた領域が印刷可能領域となります。 ラベル全てを印刷可能領域としたい場合、台紙部分に印刷する可能性がありますので、印刷データ内で上下左右 1.5 mm の余白を取ってください。 377 ページ「印刷領域」
連続紙または全面ラベルの紙送り方向に余白ができてしまう	製品の仕様です。	連続紙または全面ラベルは紙送り方向の全ての領域に印刷できません。用紙の印刷領域を確認して印刷してください。 377 ページ「印刷領域」
用紙以外の場所にインクを吐出した	お使いの用紙と印刷領域が合っていません。	印刷領域が正しく設定されているか確認してください。 377 ページ「印刷領域」

印刷できない

状態	原因	対応方法
用紙の自動給紙が開始されない	センサーが故障しています。	今まで正常に動作していた場合はセンサーの故障が考えられます。修理を依頼してください。
	ギャップ検出器の位置が正しくありません。	ギャップ検出器の位置を確認してください。 289 ページ「ギャップ検出器の操作」
	正しく用紙検出がされません。	特殊な用紙を使用していると、自動給紙が開始されない場合があります。手動で給紙してください。 77 ページ「手動での給紙方法」
用紙検出が不安定 不安定な状態： • 印刷開始位置がばらつく • 印刷されないラベルがある • 用紙をセットしたら、用紙が送り出されてエラーになる • 正しい用紙サイズを設定しているにも関わらず、用紙サイズエラーが発生する	ギャップ検出器の位置が正しくない可能性があります。	検出器調整ツマミ（受光側）と検出器調整ツマミ（発光側）が同じ位置にあることを確認し、検出器のキャリブレーションを実施してください ギャップ検出器位置の合わせ方： 289 ページ「ギャップ検出器の操作」 検出器のキャリブレーション方法： 288 ページ「検出器の感度やラベル検出のしきい値を調整する」
	用紙ガイド幅と用紙幅が合っていません。	用紙ガイド幅が用紙幅に合っているか確認してください。 65 ページ「用紙のセット」
用紙をセットしたら、用紙が送り出されてエラーになる 用紙形態： 全面ラベル（ブラックマーク無し）	お使いの用紙と用紙検出設定が異なります。	お使いの用紙とプリンターの用紙検出設定を確認してください。 102 ページ「給紙方法・用紙検出の設定」
用紙をセットしたら、用紙が送り出されてエラーになる 用紙形態： ダイカットラベル（ギャップ基準）	お使いの用紙と用紙検出設定が異なります。	お使いの用紙とプリンターの用紙検出設定を確認してください。 102 ページ「給紙方法・用紙検出の設定」
	用紙の透過率が仕様外です。	用紙の透過率が異なり、ギャップを認識できない場合があります。ギャップ検出には赤外光を使用しており、台紙の赤外光透過率が規定値以上、ラベル部の赤外光透過率が規定値以下である必要があります。 用紙の仕様を確認し、プリンター仕様に合った用紙を使用してください。 384 ページ「紙検出方式」 また、ギャップ検出器の調整により認識できる場合があります。 操作パネルから [Menu] - [プリンターのお手入れ] - [キャリブレーションの実施] - [用紙検出（簡易）] を実施してください。解決しない場合は、[用紙検出] を実施してください。
	センサーが故障しています。	今まで正常に動作していた場合はセンサーの故障が考えられます。修理を依頼してください。

状態	原因	対応方法
用紙をセットしたら、用紙が送り出されてエラーになる 用紙形態： 全面ラベル（ブラックマーク基準）、ダイカットラベル（ブラックマーク基準）	お使いの用紙と用紙検出設定が異なります。	お使いの用紙とプリンターの用紙検出設定を確認してください。 102 ページ「給紙方法・用紙検出の設定」
	ブラックマークが仕様外です。	ブラックマークの反射率が規定値よりも高い場合、ブラックマークを認識できない場合があります。ブラックマーク検出には赤外光を使用しており、赤外光反射率が規定値以下である必要があります。 ブラックマーク印刷の仕様を確認し、プリンター仕様に合ったブラックマークを使用してください。 384 ページ「紙検出方式」 また、ブラックマーク検出器の調整により認識できる場合があります。 操作パネルから [Menu] - [プリンターのお手入れ] - [キャリブレーションの実施] - [用紙検出（簡易）] を実施してください。解決しない場合は、[用紙検出] を実施してください。
	センサーが故障しています。	今まで正常に動作していた場合はセンサーの故障が考えられます。修理を依頼してください。
用紙をセットしたら、用紙が送り出されてエラーになる 用紙形態： タグ	お使いの用紙と用紙検出設定が異なります。	お使いの用紙とプリンターの用紙検出設定を確認してください。 102 ページ「給紙方法・用紙検出の設定」
	検出用の穴、長穴、切り欠きのサイズが仕様外です。	検出用の穴、長穴、切り欠きが仕様外のサイズのため、ギャップを認識できない場合があります。 タグの仕様を確認し、プリンターの仕様に合ったタグを使用してください。 364 ページ「用紙仕様」 また、ギャップ検出器の調整により認識できる場合があります。 操作パネルから [Menu] - [プリンターのお手入れ] - [キャリブレーションの実施] - [用紙検出（簡易）] を実施してください。解決しない場合は、[用紙検出] を実施してください。
	センサーが故障しています。	今まで正常に動作していた場合はセンサーの故障が考えられます。修理を依頼してください。

連続印刷ができない

状態	原因	対応方法
印刷が途中停止する	コンピューターからのデータ待ちになっている	[プリンターのプロパティ] を開き、[詳細設定] タブの [全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンターに送る] のチェックを有効にします。
	プリンター内のデータ処理が間に合わない。(1枚印刷している間に次の印刷データを準備できない)	印刷するデータに含まれる可変な情報や画像を少なくしてください。
	ダイカットラベルのギャップの精度が悪い	寸法の精度が良いダイカットラベルを使用してください。
	ヘッドメンテナンスが実行される	ヘッドメンテナンスの設定が初期値の [間欠印刷 (きれい)] に設定されている可能性があります。[間欠印刷 (きれい)] の場合には約 20 秒に 1 回ヘッドメンテナンスのため印刷が停止します。[連続印刷 (はやい)] に設定してください。
印刷がジョブ毎に停止する	EPSON 標準のプリンタードライバー (Windows) をご使用の場合、ジョブ管理が有効になっていると連続印刷できません。	EPSON 標準のプリンタードライバー (Windows) をご使用の前には、必ず [ドライバーユーティリティ] タブの [ドライバーの動作設定] - [ジョブ管理を有効にする] のチェックボックスからチェックを外してください。

外部供給ができない

状態	原因	対応方法
ファンフォールド紙でギャップ検出が選択できません。	製品の仕様です。	ファンフォールド紙は紙詰まり防止のため、ロール紙よりも厚めの台紙を指定しています。台紙が厚いため、純正紙であってもギャップを検出できないことがあります。 プリンタードライバーの、ギャップ検出器のしきい値調整で使用可能な用紙の範囲は広がりますが、それでも全ての用紙を保証できるわけではありません。このため、ファンフォールド紙ではギャップ検出が使用できない仕様としてあります。 ロール紙の場合、ロール紙と同じ原反 / 台紙を指定しているので、ギャップ検出器が使用できる仕様としてあります。

ネットワーク接続診断のエラー

印刷した診断レポートに表示されているエラー番号を確認し、番号に応じた対処を行ってください。
印刷方法は（40ページ「ネットワークの接続状態や設定情報を確認する」）を参照してください。

エラーコード

エラー番号	対応方法
E-1	<ul style="list-style-type: none"> LAN ケーブルが、プリンターやハブなどのネットワーク機器にしっかりと差し込まれているか確認してください。 ハブなどのネットワーク機器の電源が入っているか確認してください。
E-2 E-3 E-7	<ul style="list-style-type: none"> アクセスポイントの電源が入っているか確認してください。 コンピューターやその他の機器とアクセスポイントが正常に通信できているか確認してください。 プリンターとアクセスポイントは近くに置いてください。間にある障害物は取り除いてください。 SSID を直接入力したときは、入力した SSID が正しいかを確認してください。SSID はネットワーク接続診断レポートの【ネットワーク設定情報】で確認できます。 プッシュボタン自動設定で設定するときはアクセスポイントが AOSS/WPS に対応しているか確認してください。AOSS/WPS に対応していないとプッシュボタン自動設定はできません。 SSID に ASCII 文字（半角英数字、記号）以外の文字列が使われていないか確認してください。プリンターは、ASCII 文字以外の文字列が含まれた SSID は表示できません。 アクセスポイントに接続する場合は、SSID とパスワードを事前に確認してください。もし、アクセスポイントをメーカー設定値のまま使用している場合は、SSID とパスワードはアクセスポイントのラベルなどに書かれています。SSID とパスワードがわからない場合はアクセスポイントを設定した人に確認するか、アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。 スマートデバイスなどのデザリング機能で生成した SSID に接続したい場合は、スマートデバイスのマニュアルなどで SSID とパスワードを確認してください。 無線 LAN (Wi-Fi) で突然接続できなくなったときは、以下を確認してください。当てはまるときは、インストーラーを使ってネットワーク設定をし直してください。インストーラーは以下の Web サイトから入手できます。 https://epson.jp/ <p>* お使いのネットワーク環境に、新たに別のスマートデバイスからプッシュボタン自動設定 (AOSS/WPS) で設定したか * この無線 LAN (Wi-Fi) ネットワークは、プッシュボタン自動設定以外の方法で設定されたか * 株式会社バッファロー製のアクセスポイントで、プッシュボタンで設定 (AOSS) できるタイプを使っているか</p>
E-5	<p>アクセスポイントが以下のいずれかのセキュリティ方式になっているかを確認してください。なっていない場合は、以下のセキュリティ方式を使用するようアクセスポイントの設定を変更し、プリンターのネットワーク設定をし直してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> WEP-64 bit (40 bit) WEP-128 bit (104 bit) WPA PSK (TKIP/AES)* WPA2 PSK (TKIP/AES)* WPA (TKIP/AES) WPA2 (TKIP/AES) WPA3 SAE (AES)* <p>*: WPA PSK は WPA Personal、WPA2 PSK は WPA2 Personal、WPA3 SAE は WPA3 Personal とも呼ばれます。</p>

エラー番号	対応方法
E-6	<ul style="list-style-type: none"> MACアドレスフィルタリングが無効になっていることを確認してください。有効の場合は、プリンターの MAC アドレスを登録してフィルタリングされないようにしてください。詳しくはアクセスポイントのマニュアルをご覧ください。プリンターの MAC アドレスはネットワーク接続診断レポートの [ネットワーク設定情報] で確認できます。 アクセスポイントの WEP セキュリティー方式で Shared 認証が有効になっている場合は、認証キーおよびインデックスが正しいことを確認してください。
E-8	<ul style="list-style-type: none"> プリンターの TCP/IP 設定を自動設定にしているときは、アクセスポイントの DHCP を有効にしてください。 プリンターの TCP/IP 設定を手動設定にしているときは、手動で設定した IP アドレスが有効範囲外 (0.0.0.0 など) のため、無効になっています。有効な IP アドレスをプリンターの操作パネル、または Web Config から設定してください。
E-9	<p>以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> プリンターを利用する機器の電源が入っているか プリンターを利用する機器から、インターネットへのアクセスや同じネットワーク上の他のコンピューター、ネットワーク機器にアクセスできるか <p>問題がないときは、インストーラーを使ってネットワーク設定をし直してください。インストーラーは以下の Web サイトから入手できます。 https://epson.jp/</p>
E-10	<p>以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ネットワーク上の他の機器の電源が入っているか プリンターの TCP/IP 設定を手動設定にしているときは、ネットワークアドレス (IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ) が正しいか <p>ネットワークアドレスが間違っている場合は、設定し直してください。IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイはネットワーク接続診断レポートの [ネットワーク設定情報] で確認できます。</p> <p>DHCP を有効にしているときは、プリンターの TCP/IP 設定で IP アドレスを自動設定してください。IP アドレスを手動で設定したい場合は、ネットワーク接続診断レポートの [ネットワーク設定情報] でプリンターの IP アドレスを確認し、プリンターのネットワーク設定画面で手動設定を選択して設定してください。サブネットマスクは「255.255.255.0」に設定してください。</p>
E-11	<p>以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> プリンターの TCP/IP 設定を手動設定にしたときは、プリンターに設定されたデフォルトゲートウェイのアドレスが正しいか デフォルトゲートウェイに指定した機器の電源が入っているか <p>デフォルトゲートウェイのアドレスを正しく設定してください。プリンターのデフォルトゲートウェイのアドレスはネットワーク接続診断レポートの [ネットワーク設定情報] で確認できます。</p>

エラー番号	対応方法
E-12	<p>以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ネットワーク上の他の機器の電源が入っているか 手動で設定したプリンターのネットワークアドレス (IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ) が正しいか 他の機器のネットワークアドレス (サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ) が同一になっているか 他の機器の IP アドレスと重複していないか <p>問題がないときは、以下をお試しください。</p> <ul style="list-style-type: none"> プリンターと同じネットワーク上のコンピューターで、インストーラーを使ってネットワーク設定をし直してください。インストーラーは以下の Web サイトから入手できます。 https://epson.jp/ セキュリティータイプ「WEP」は、アクセスポイントに複数のセキュリティキーを登録することができます。複数のキーが登録されているときは、最初（1 番目）のインデックスのセキュリティキーがプリンターに設定されているかを確認してください。
E-13	<p>以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ネットワーク機器（アクセスポイント、ハブ、ルーターなど）の電源が入っているか プリンター以外のネットワーク機器が手動で TCP/IP 設定されていないか（他のネットワーク機器の TCP/IP 設定が手動で、プリンターの TCP/IP 設定のみ自動設定になっていると、プリンターだけが異なるネットワークになってしまう可能性があります。） <p>問題がないときは、以下をお試しください。</p> <ul style="list-style-type: none"> プリンターが接続しているネットワーク上のコンピューターで、インストーラーを使ってネットワーク設定をし直してください。インストーラーは以下の Web サイトから入手できます。 https://epson.jp/ <p>セキュリティータイプ「WEP」は、アクセスポイントに複数のセキュリティキーを登録することができます。複数のキーが登録されているときは、最初（1 番目）のインデックスのセキュリティキーがプリンターに設定されているかを確認してください。</p>

ネットワーク環境に関するメッセージ

メッセージ	対処方法
指定のネットワーク (SSID) が複数見つかりました。ご確認ください。	複数のアクセスポイントに同じ SSID が設定されている可能性があります。アクセスポイントの設定を確認し、SSID を変更してください。
無線環境の改善が必要です。アクセスポイントの電源を入れ直してください。それでも解消しないときはアクセスポイントのマニュアルをご覧ください。	プリンターをアクセスポイントの近くに移動して、アクセスポイントの電源を入れ直します。それでも接続できない場合は、アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。
無線接続が可能な機器数の上限に達しています。機器を追加したいときは、他の機器の接続を解除してください。	Wi-Fi Direct（シンプル AP）接続で同時接続できる無線機器は 8 台までです。他のコンピューターやスマートデバイスを追加するには、プリンターを使用していないコンピューターやスマートデバイスの接続を解除してから追加してください。

ネットワークに接続できない

無線 LAN 接続でネットワーク機器に何らかの問題がある

ネットワークに接続する全ての機器の電源を切れます。約 10 秒待ってから無線 LAN ルーター（アクセスポイント）、コンピューターまたはスマートデバイス、プリンターの順に電源を入れます。電波が届きやすいように機器を無線 LAN ルーター（アクセスポイント）に近づけて、設定し直してください。

機器と無線 LAN ルーターが離れていて電波が届いていない

コンピューターまたはスマートデバイスとプリンターを無線 LAN ルーターの近くに移動して、無線 LAN ルーターの電源を入れ直してください。

無線 LAN ルーターを交換した場合、設定が新しいルーターに合っていない

新しい無線 LAN ルーターに合うように、接続設定をやり直してください。

接続している SSID がコンピューターやスマートデバイスとプリンターで異なっている

複数の無線 LAN ルーターを使用している場合や、1 台で複数の SSID を使用できる無線 LAN ルーターの場合、コンピューターやスマートデバイスが接続している SSID とプリンターが接続している SSID が異なっていると接続できません。

コンピューターやスマートデバイスを同じ SSID に接続してください。

- プリンターが接続している SSID を、ネットワーク接続診断レポートを印刷して確認してください。
- プリンターと接続したい全てのコンピューターやスマートデバイスで、接続している Wi-Fi またはネットワークの名前を確認してください。
- プリンターとコンピューターやスマートデバイスでネットワークの接続先が異なる場合は、プリンターが接続している接続先（SSID）に機器を接続し直してください。

無線 LAN ルーターのプライバシーセパレーター機能が有効になっている

ほとんどの無線 LAN ルーターには、同じ SSID 内のデバイス間の通信をブロックするセパレーター機能があります。プリンターとコンピューターまたはスマートデバイスが同じネットワークに接続されていても通信できない場合は、無線 LAN ルーターのセパレーター機能を無効にしてください。詳しくは無線 LAN ルーターのマニュアルをご覧ください。

IP アドレスが正しく割り当てられていない

IP アドレスが「169.254.XXX.XXX」、サブネットマスクが「255.255.0.0」の場合は、IP アドレスが正しく割り当てられていない可能性があります。

プリンターの操作パネルで、【設定】 - 【ネットワーク設定】 - 【詳細設定】 - 【TCP/IP 設定】の順に選択して、プリンターに割り当てられている IP アドレスとサブネットマスクを確認してください。

無線 LAN ルーターの電源を入れ直すか、プリンターのネットワークを再設定してください。

USB 3.0 ポートに接続している機器によって無線周波数干渉が起こっている

Mac の USB 3.0 ポートに機器を接続して使用していると、無線周波数干渉が起こることがあります。無線 LAN (Wi-Fi) に接続できない、または動作が不安定になる場合は以下をお試しください。

- USB 3.0 ポートに接続している機器をコンピューターから離す

コンピューター やスマートデバイスのネットワーク設定に問題がある

お使いのコンピューターまたはスマートデバイスからウェブサイトを閲覧できるか確認してください。閲覧できない場合はコンピューターまたはスマートデバイスのネットワーク設定に問題があります。

お使いのコンピューター やスマートデバイスのネットワーク接続を確認してください。詳しくはコンピューターまたはスマートデバイスのマニュアルをご覧ください。

コンピューターの画面にメッセージが表示された

以下の画面が表示された場合は、画面の指示に従って対処してください。



コンピューターから印刷できない / 急に印刷できなくなった

プリンタードライバーのインストール確認

コンピューターに必要なソフトウェア、アプリケーションがインストールされているか確認します。本製品で印刷するには、プリンタードライバーが必要です。プリンタードライバーがインストールされているかは、以下のように確認します。

- 1 [プリンターとスキャナー] を開きます。
- 2 本製品のプリンターナー名が表示されているか確認します。
表示されていない場合、プリンタードライバーがインストールされていません。
- 3 プリンタードライバーをインストールします。
([396 ページ 「ドライバー、ユーティリティー、マニュアルのダウンロード」](#))

プリンターとコンピューターを再接続

- 1 ケーブルの接続を確認します。
電源 /USB/ 有線 LAN の各ケーブルが、正しく接続されているか確認します。
無線接続している場合は、無線 LAN ユニットが正しく挿入されているかを確認します。
- 2 全ての機器を再接続します。
USB 接続の場合
 - USB ケーブルをいったん抜き、再度接続します。
 - コンピューターに複数の USB コネクターがある場合、別のコネクターに差し替えます。有線 LAN の場合
 - 有線 LAN で接続されている機器が不安定になっている可能性があるため、ネットワークを再起動します。
 - 全ての機器の電源を切ります。
 - 約 10 秒待ってからネットワーク機器、コンピューター、プリンターの順に電源を入れます。無線 LAN の場合
 - オプションの無線 LAN ユニットをいったん抜き、再度接続します。
 - 全ての機器の電源を切ります。
 - 約 10 秒待ってから無線 LAN ルーター(アクセスポイント)、コンピュータープリンターの順に電源を入れます。
- 3 コンピューターからプリンターにデータが送信されているか確認します。
確認方法は [326 ページ 「印刷データの確認」](#) を参照してください。

プリンターとスキャナーの確認

[プリンターとスキャナー] に使用するプリンターのアイコンが表示されていない場合は、デバイスを削除してしまった可能性があります。以下の方法で回復させます。

- 1** プリンターの電源を切ります。
- 2** USB ケーブルをコンピューターから抜きます。
- 3** 10 秒間待って USB ケーブルをコンピューターに接続します。
- 4** プリンターの電源を入れます。
[プリンターとスキャナー] の一覧に使用するプリンターのアイコンが表示されます。

印刷データの確認

コンピューターからプリンターに印刷データが送られていない場合、「印刷ジョブ」としてコンピューター内に残っていることや、「印刷の一時停止」、「オフライン」設定になっていることが原因として考えられます。以下の手順で確認してください。

- 1** [プリンターとスキャナー] を開きます。
- 2** 本製品を、通常使うプリンターに設定します。
使用的するプリンターのアイコンを右クリックし、通常使うプリンターに設定をクリックします。
何度もプリンタードライバーをインストールすると、プリンタードライバーのコピーが作成されることがあります。
アイコンが複数あり、「CW-C8020 (コピー 1)」などのコピーができている場合、コピーされたドライバーのアイコン上でクリックして、[削除] をクリックして削除してください。
- 3** テスト印刷して、印刷データがプリンターに送られているか確認します。
使用しているプリンターのアイコンをクリックし、[プリンターのプロパティ] をクリックします。
- 4** プリンタードライバーのプロパティ画面が表示されます。[全般] タブの [テストページの印刷] をクリックします。
テスト印刷できた場合、コンピューターからプリンターにデータが送信されていることが確認できました。
- 5** 印刷ジョブを表示します。使用しているプリンターのアイコンをクリックし、[プリンターキューを開く] をクリックします。
- 6** 画面が表示されます。印刷ジョブを確認します。
印刷データが表示されている場合、[プリンター] - [すべてのドキュメントの取り消し] をクリックします。
印刷データが削除できない場合は、コンピューターを再起動してください。
- 7** プリンターが一時停止または、プリンターをオフラインで使用する設定になっていないか確認します。
[プリンター] をクリックし、[一時停止] および [プリンターをオフラインで使用する] にチェックが入っていないか確認します。チェックが入っていた場合、チェックを外します。

電源がオンにならない

電源ケーブルが本体とコンセントに正しく接続されているか確認します。 (45ページ「電源ケーブルの接続」)

PC上で印刷キャンセルしても本体パネル表示が「印刷中」のまま動かない

コンピューター上で「印刷ジョブの表示」画面から印刷ジョブのキャンセルを行った場合、データが途中で途切れ、プリンタ一本体のパネル表示が「印刷中」のままとなる可能性があります。

この状態を解除するには、操作パネルの  (キャンセル) ボタンを押し、[すべてのフォーマット] を行ってください。

上記の操作をしてもキャンセルできない場合は、プリンターを再起動してください。

エラーを知らせるブザー音が止まらない

プリンターのエラー発生時にブザー音が鳴るように設定し、連続鳴動を有効にしている場合は、操作パネルの  (ホーム) ボタンまたは  (戻る) ボタンのいずれかのボタンを押すとブザー音が止まります。

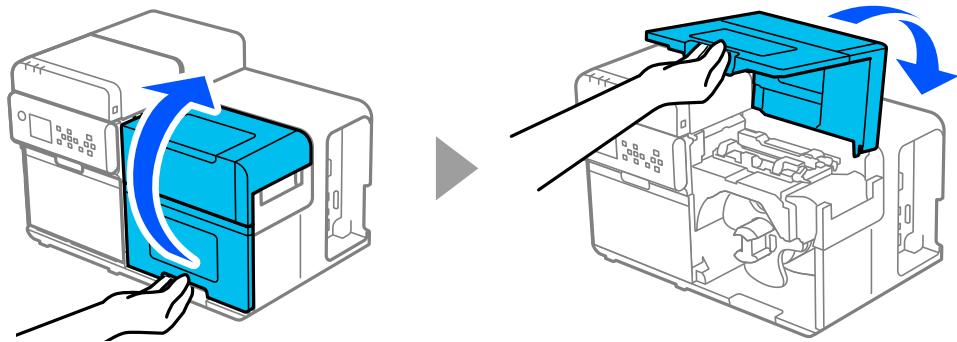
本体パネルに表示されるジョブ数(印刷枚数)が「1/1」から変わらない

- エプソン標準のプリンタードライバー (Windows) をお使いの場合
[ドライバーユーティリティー] タブの [ドライバーの動作設定] - [ジョブ管理を有効にする] のチェックボックスにチェックを入れてください。
- 市販のラベル印刷アプリケーションの専用ドライバーをお使いの場合
専用ドライバーからの印刷では、本体パネルのカウンター表示が「n/N」の形式になります。印刷するラベルの内容がラベル毎に異なる場合は「1/1」と表示されることがあります。どのような印刷内容でもカウントアップ表示させたい場合は、エプソン標準のプリンタードライバー (Windows) をお使いください。

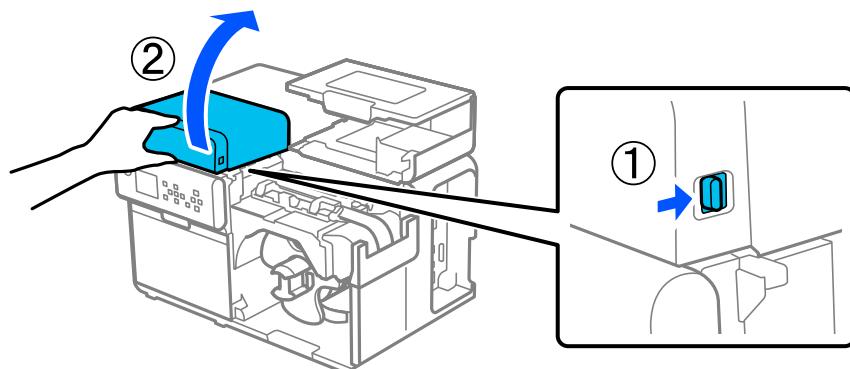
用紙が詰まった

ロール紙が詰まった

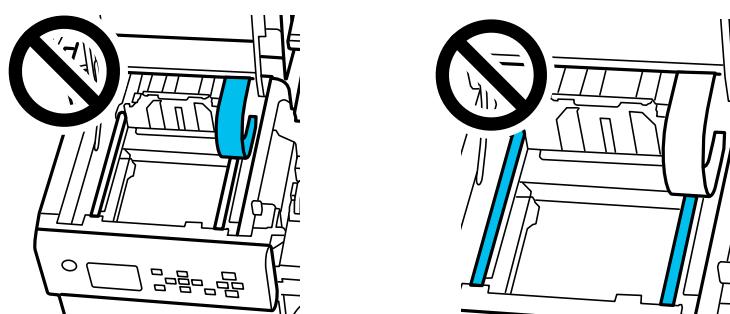
1 用紙カバーを開けます。



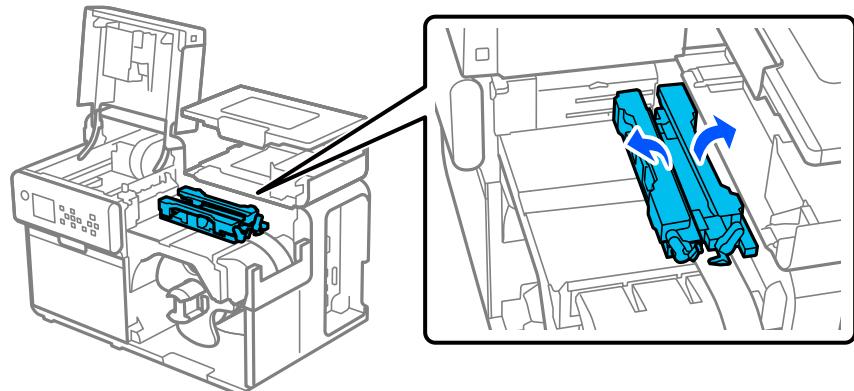
2 右側面のレバーを押して上カバーを開けます。



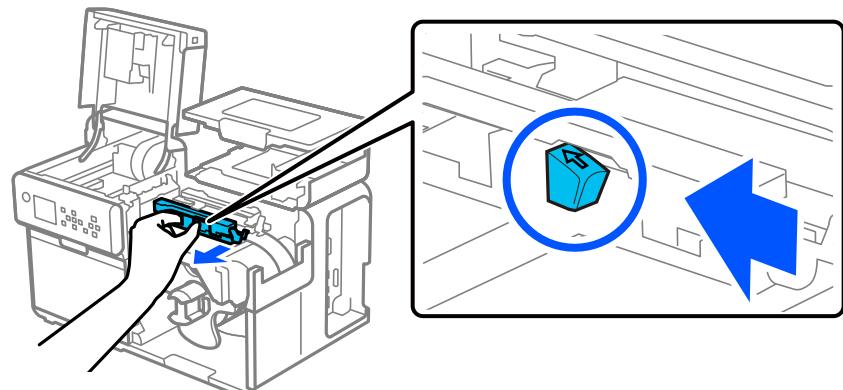
図で示した箇所には触らないでください。



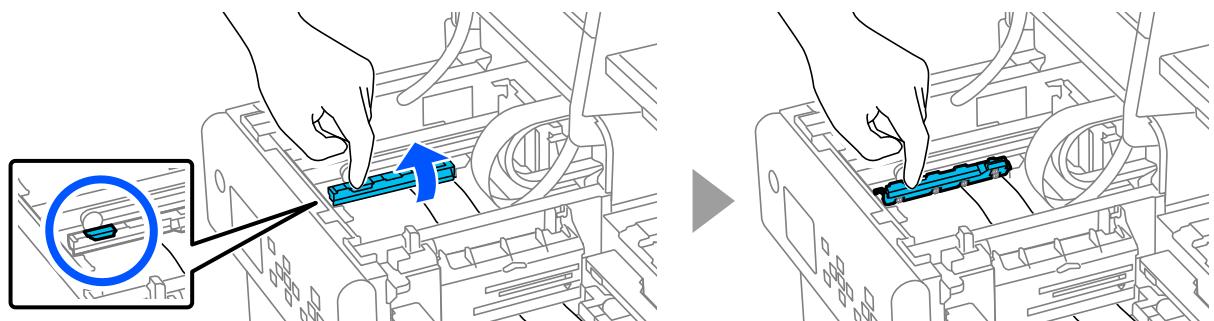
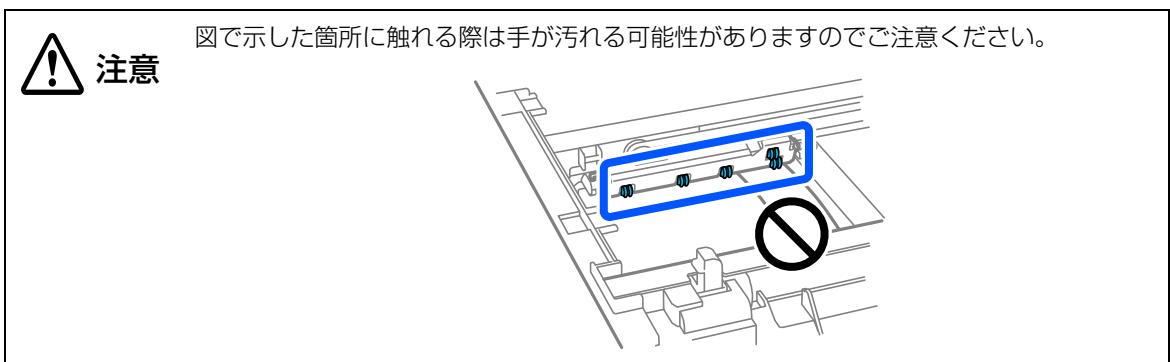
3 用紙カバー内部にある用紙押さえを開きます。



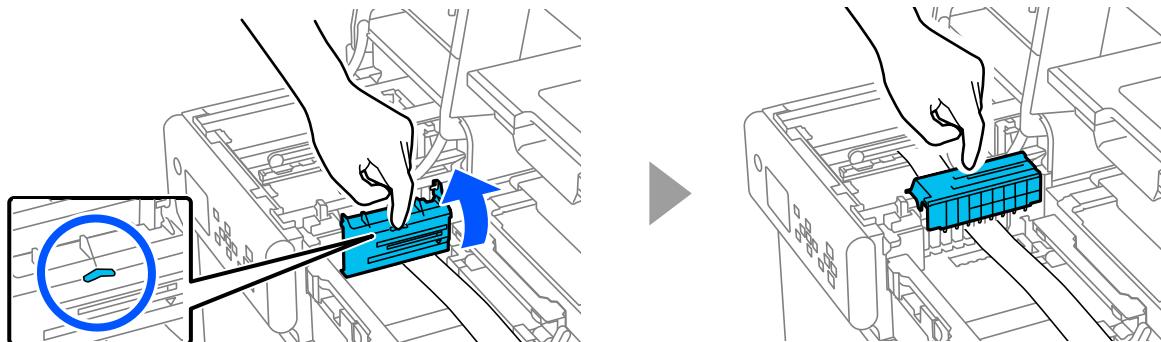
4 レバー（青）を押しながら用紙ガイド（可動）をいっぱいまで広げます。



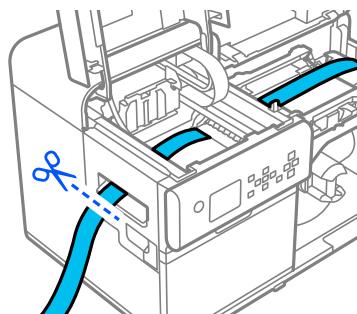
5 丸枠部分に指をかけて紙押さえユニットを引き上げ、ラベルが貼り付いていないことを確認します。



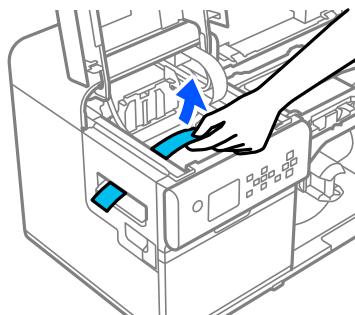
- 6 丸枠部分に指をかけて用紙挿入口カバーを引き上げ、ラベルが貼り付いていないことを確認します。



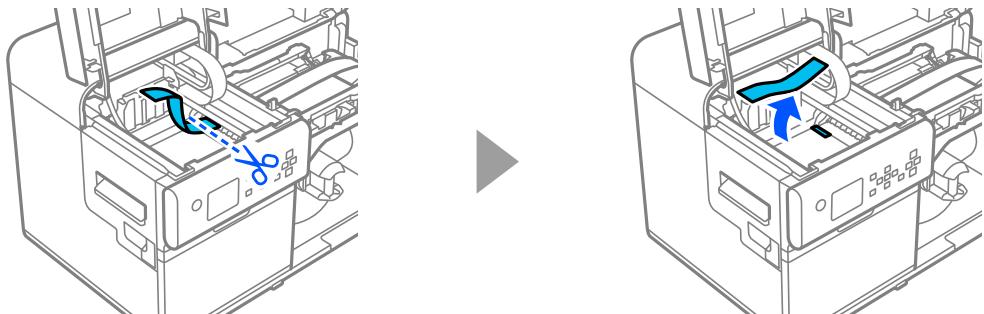
- 7 用紙を手動でカットします。



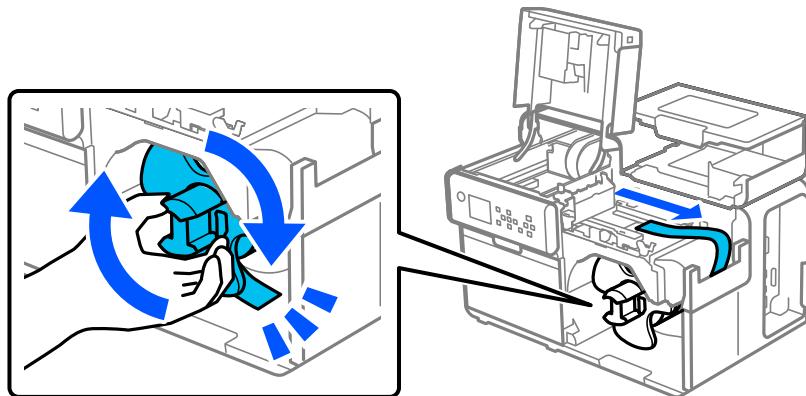
- 8 インクが手に付着しないように注意して、用紙を引き上げます。



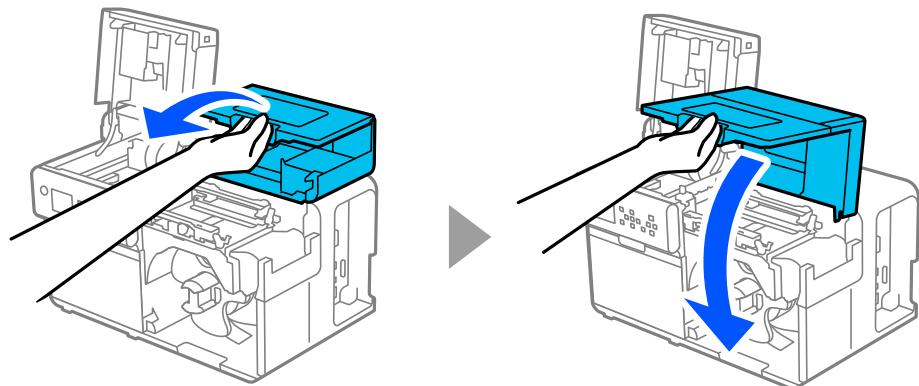
- 9 紙押さえローラー付近で用紙を手動でカットして取り除きます。



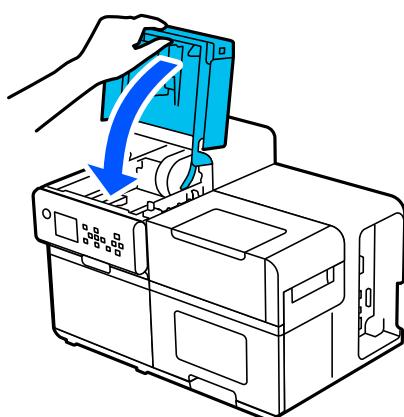
10 ロール紙フランジを矢印方向へ回して、用紙挿入口から用紙を巻き取ります。



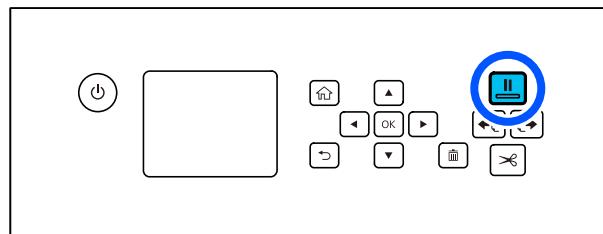
11 用紙カバーを閉めます。



12 上カバーを閉めます。



13 II(ポーズ) ボタンを押します。



引き続き用紙をセットする場合は、66 ページ「ロール紙のセット」を参照してください。



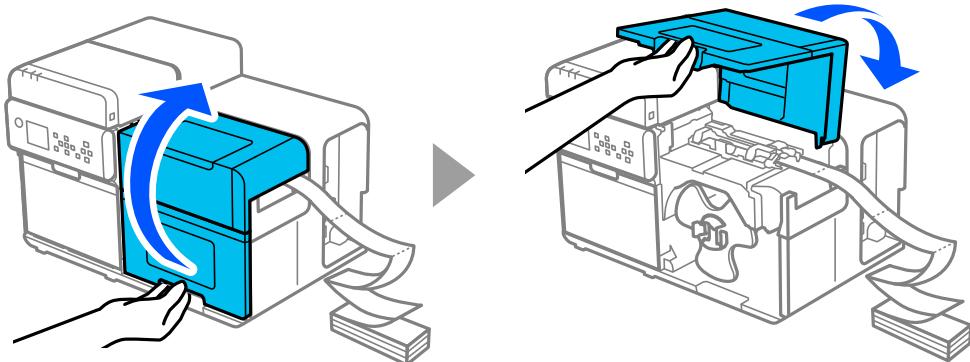
詰まった用紙を取り除いたら、プリンター内部にラベルや粘着物が残っていないか確認してください。内部にラベルや粘着物が残ったまま使用すると、用紙が詰まりやすくなったり、印刷品質が低下したりする原因になります。

☞ 297 ページ「用紙ガイドのクリーニング」

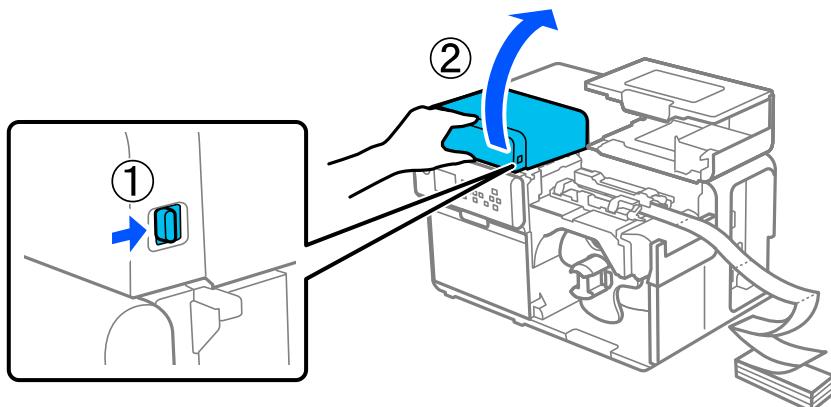
☞ 299 ページ「紙押さえローラーのクリーニング」

ファンフォールド紙が詰まった

1 用紙カバーを開けます。

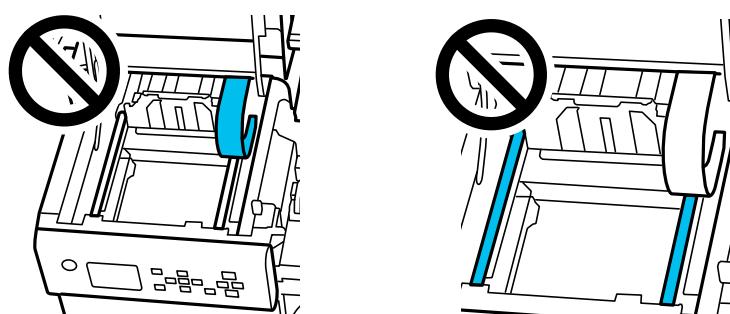


2 右側面のレバーを押して上カバーを開けます。

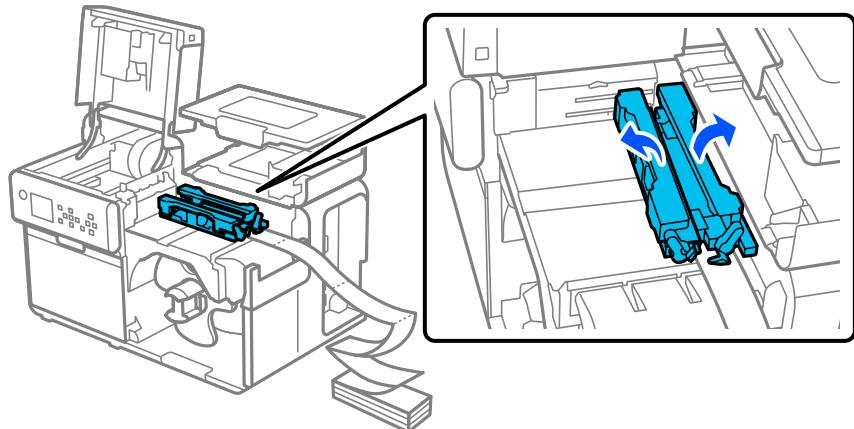


⚠ 注意

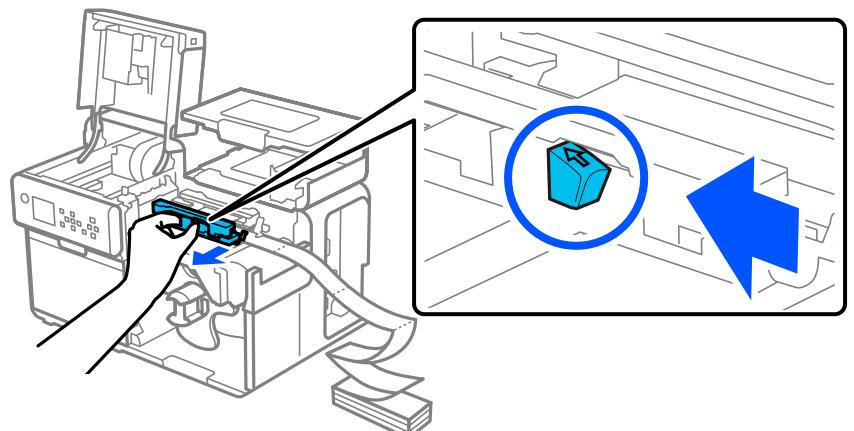
図で示した箇所には触らないでください。



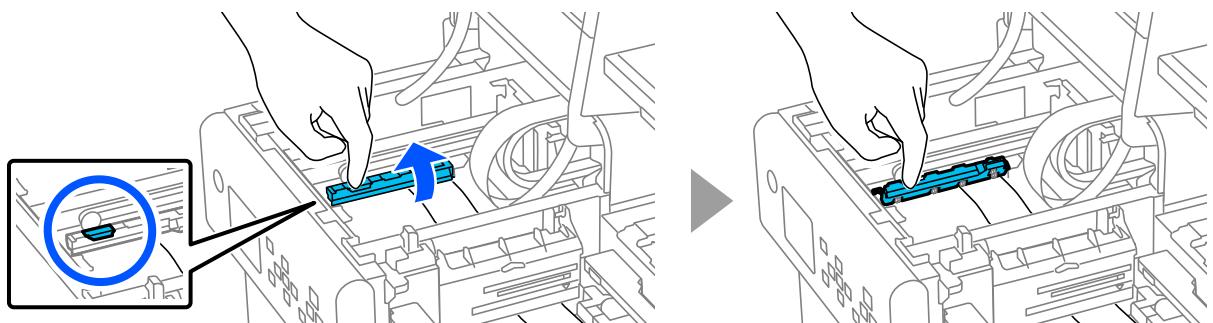
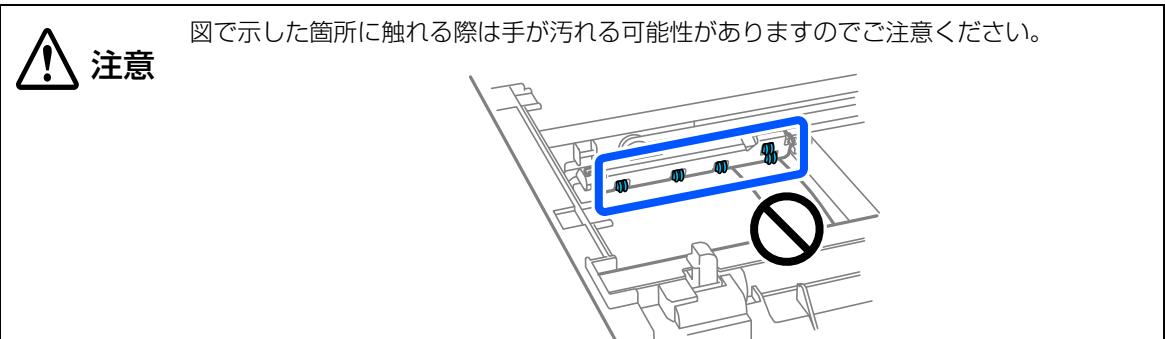
3 用紙カバー内部にある用紙押さえを開きます。



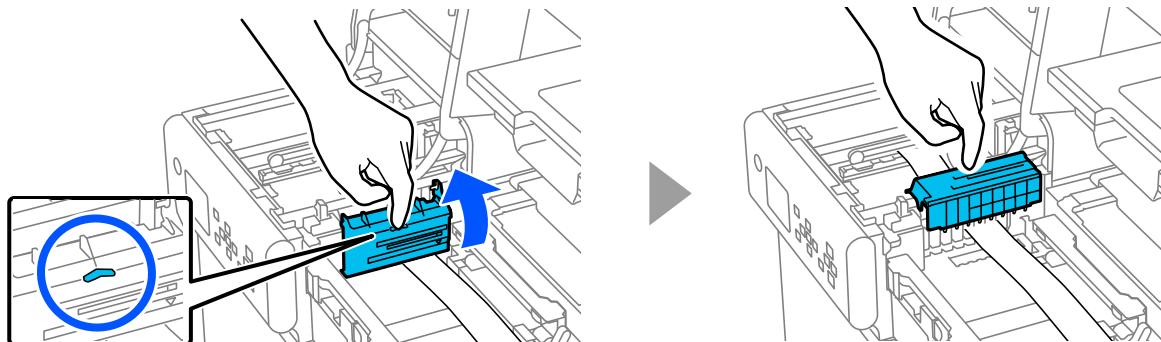
4 レバー（青）を押しながら用紙ガイド（可動）をいっぱいまで広げます。



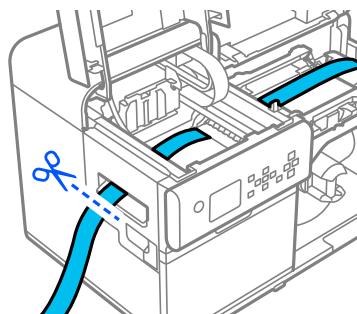
5 丸枠部分に指をかけて紙押さえユニットを引き上げ、ラベルが貼り付いていないことを確認します。



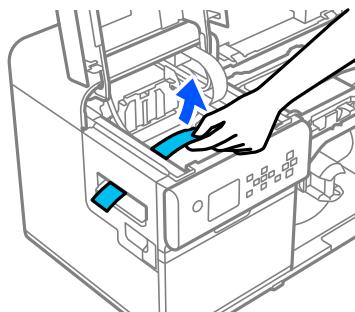
6 丸枠部分に指をかけて用紙挿入口カバーを引き上げ、ラベルが貼り付いていないことを確認します。



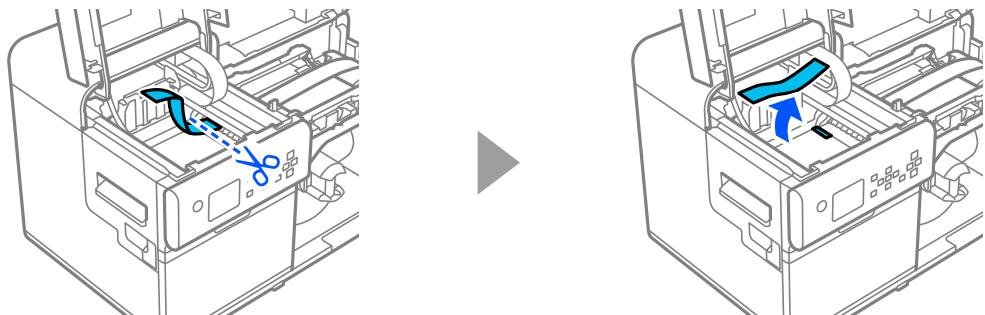
7 用紙を手動でカットします。



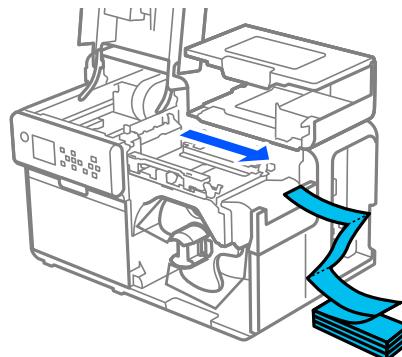
8 インクが手に付着しないように注意して、用紙を引き上げます。



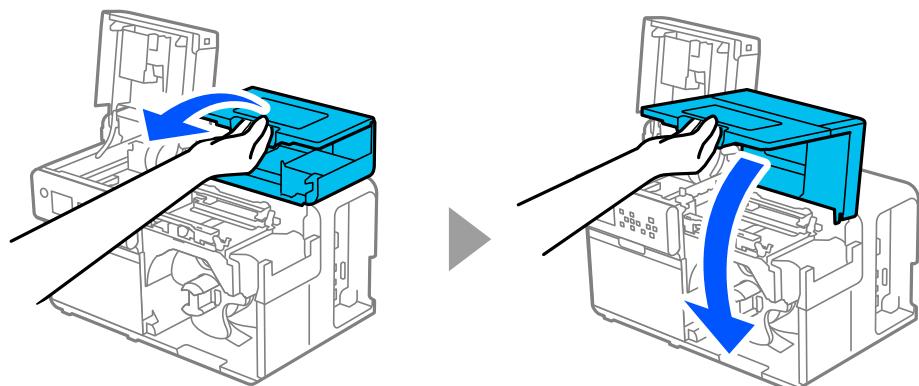
9 紙押さえローラー付近で用紙を手動でカットして取り除きます。



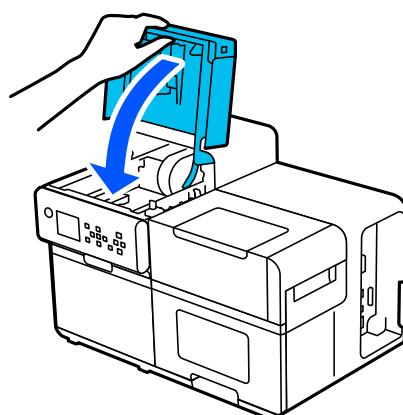
10 用紙挿入口から用紙を引き抜きます。



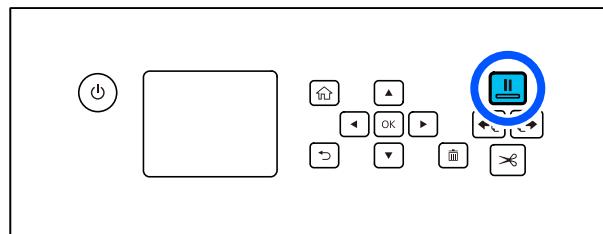
11 用紙カバーを閉めます。



12 上カバーを閉めます。



13 II(ポーズ) ボタンを押します。



引き続き用紙をセットする場合は、71ページ「ファンフォールド紙のセット」を参照してください。



詰まった用紙を取り除いたら、プリンター内部にラベルや粘着物が残っていないか確認してください。内部にラベルや粘着物が残ったまま使用すると、用紙が詰まりやすくなったり、印刷品質が低下したりする原因になります。

☞ 297ページ「用紙ガイドのクリーニング」

☞ 299ページ「紙押さえローラーのクリーニング」

アプリケーション開発情報

本章では、本製品の制御方法、および本製品を使用したアプリケーションを開発する場合に必要な情報について説明しています。

プリンターの制御方法

プリンターの制御方法は、お客様の使用環境によって異なります。

アプリケーションの仕様	制御方法	ページ
2章のセットアップ作業フローでインストールしたプリンタードライバーを使用して印刷する。	プリンタードライバーを使用	90 ページ
お客様の開発する Windows 用アプリケーションから Epson Inkjet Label Printer SDK を使用して印刷する。	Epson Inkjet Label Printer SDK を使用	340 ページ
お客様が、ESC/Label コマンドを直接制御するアプリケーションを開発して印刷する	ESC/Label コマンドを使用	341 ページ
既存のアプリケーションやドライバーなどを変更しないで、ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターから置き換える。 プレプリントシステムからオンデマンドプリントシステムに変更する。	プリンターの設定を変更して、プリンターを置き換える	342 ページ
お客様が使用するディストリビューションの Linux OS に合わせて、Linux ドライバーのソースコードを ビルドし直した Linux ドライバーを使用して印刷する。	再ビルトした Linux 用プリンタードライバーを使用	176 ページ
お客様の開発するアプリケーションに Linux ドライバーのソースコードを使用して印刷する。	Linux ドライバーのソースコードを使用	176 ページ
お客様の開発する iOS 用アプリケーションから iOS SDK を使用して印刷する。	iOS SDK を使用	341 ページ
お客様の開発する Android 用アプリケーションから Android SDK を使用して印刷する。	Android SDK を使用	341 ページ
お客様の開発する Web アプリケーションから Web アプリケーション SDK を使用して印刷する。	Web アプリケーション SDK を使用	341 ページ

Epson Inkjet Label Printer SDK を使用

お客様のアプリケーションが、エプソンのプリンタードライバーを使用して印刷するために必要な環境を、SDK として提供しています。以下のものが含まれています。

構成	説明
Epson Inkjet Label Printer SDK ユーザーズガイド	Epson Inkjet Label Printer SDK の構成の概要、エプソン製インクジェットラベルプリンターをアプリケーションから制御するために必要な機能、サンプルプログラムの使い方およびプリンタードライバーであらかじめ設定しておくことの説明をしています。
EPDI (EPSON Printer Driver Interface)	EPDI (EPSON Printer Driver Interface) は、エプソンのプリンタードライバーのアプリケーションプログラミングインターフェイスを提供しています。EPDI を利用すると、お客様が開発するアプリケーションソフトからエプソンのプリンタードライバーの設定ができます。 EPDI の説明と、これをアプリケーションプログラムで利用するために必要な技術情報については、本 SDK に同梱されている「EPDI for Inkjet Label Printer リファレンスマニュアル」を参照してください。
EpsonNet SDK	EpsonNet SDK は、エプソン製インクジェットラベルプリンターのステータスを取得するための API を提供しています。API についての説明と、これをアプリケーションプログラムで利用するために必要な技術情報については、本 SDK に同梱されている「EpsonNet SDK for Windows リファレンス」を参照してください。
Label Print Sample Program	Epson Inkjet Label Printer SDK を利用して、エプソン製インクジェットラベルプリンターから印刷をするアプリケーションの実行ファイルと、プログラムのソースファイルを提供しています。サンプルプログラムの使い方は「Epson Inkjet Label Printer SDK ユーザーズガイド」を参照してください。

動作環境

OS	付録を参照してください
ソフトウェア	プリンタードライバー 以下のウェブサイトからダウンロードしてください。 https://www.epson.jp/support/support_menu/ks/19.htm

入手方法

販売店へお問い合わせください。

iOS SDK / Android SDK / Web アプリケーション SDK を使用

Web アプリケーションやスマートデバイスのネイティブアプリケーションから ESC/Label コマンド対応のプリンターを制御するための開発用キットです。ライブラリ、マニュアル、サンプルプログラムなどが含まれます。

入手方法

下記 URL の入手方法に従ってください。

https://www.epson.jp/support/support_menu/ks/19.htm

ESC/Label コマンドを使用

お客様のアプリケーションが、プリンタードライバーを使用しないで直接印刷するためのコマンド (ESC/Label) を提供しています。

入手方法

下記 URL のマニュアルを参照してください。

https://www.epson.jp/support/support_menu/ks/19.htm

ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターからの置き換え

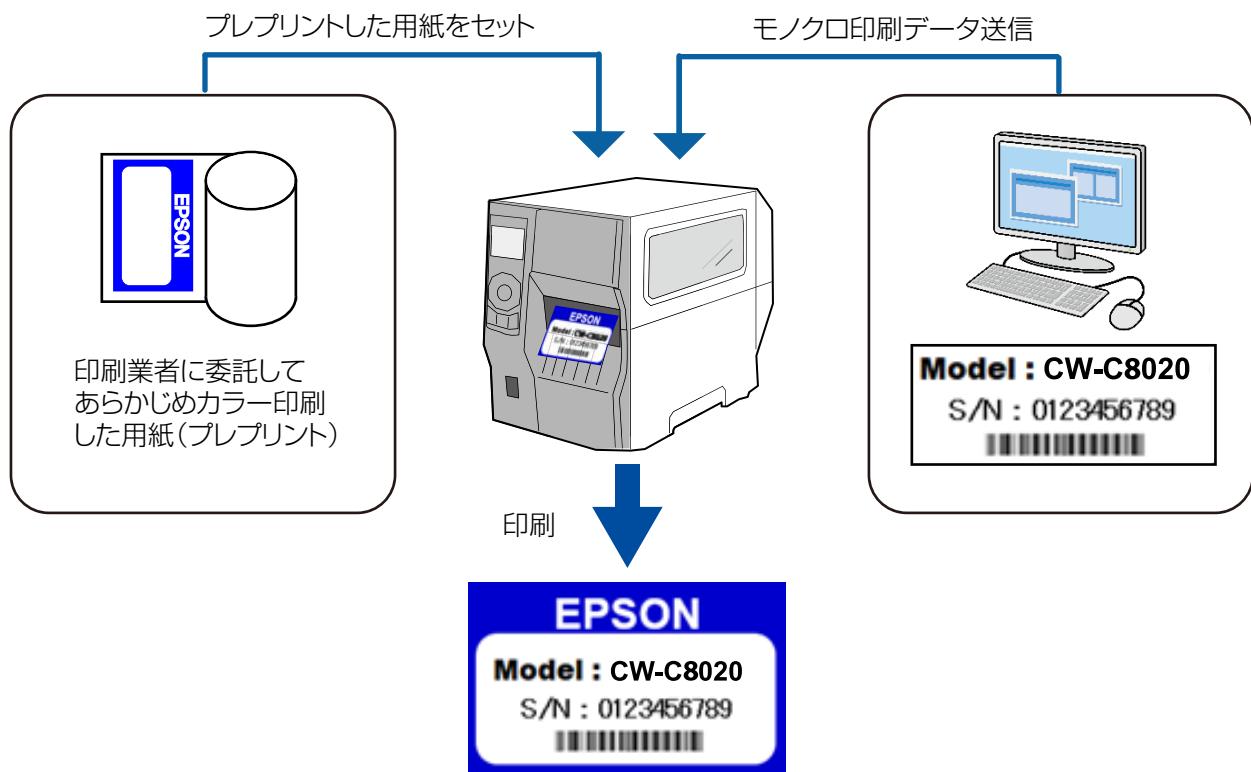
既存のアプリケーションやドライバーなどを変更しないで、ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターから置き換える場合は、プリンタ一本体の設定を ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターの設定に合わせる必要があります。

2ステップ印刷から1ステップ印刷への切り替え

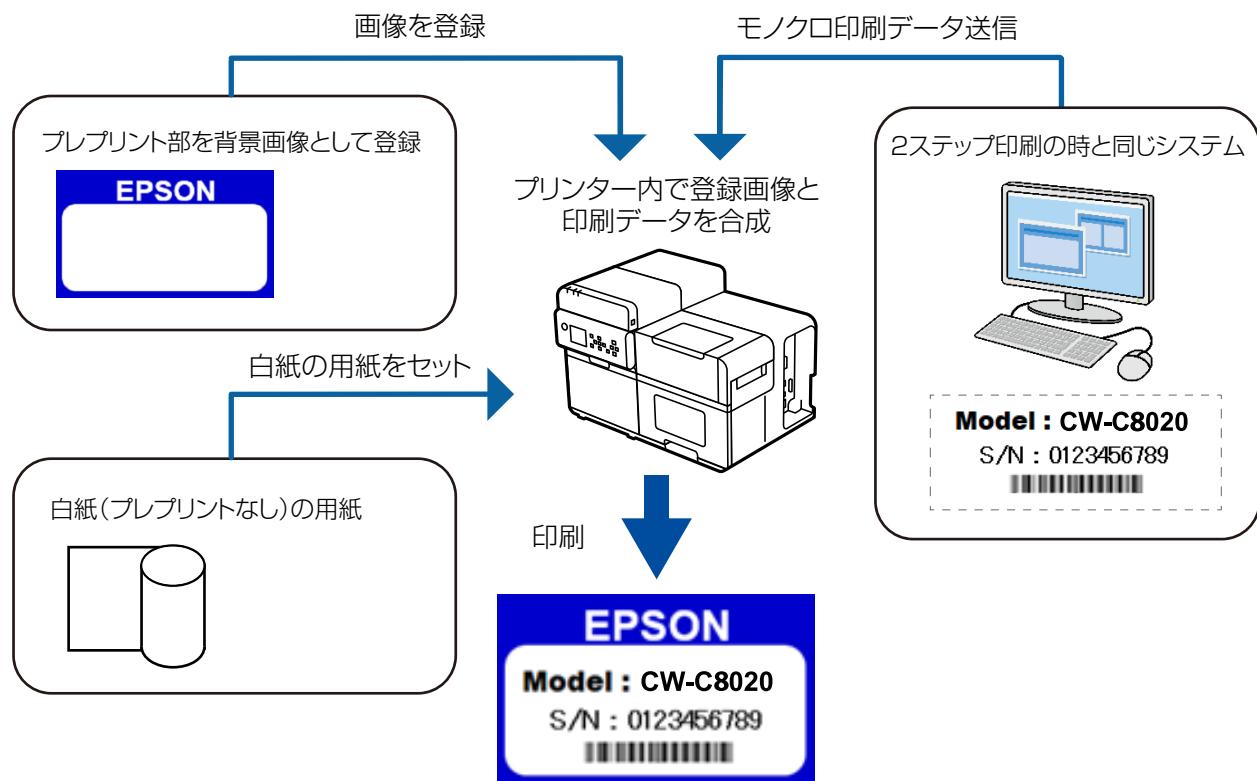
CW-C8020 は画像ファイル (PNG 形式) を登録でき、登録した画像ファイルとホスト (コンピューター) から送られてくる印刷データを重ね合わせて印刷することができます。

例えば、印刷業者があらかじめカラー印刷した用紙 (プレプリント) に、ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターで情報を追い刷りするという 2 ステップでの印刷を、ホスト側のシステムやデータを変更することなく、1 ステップでカラーラベルの印刷ができます。

従来の印刷方法(プレプリント + モノクロプリンター)

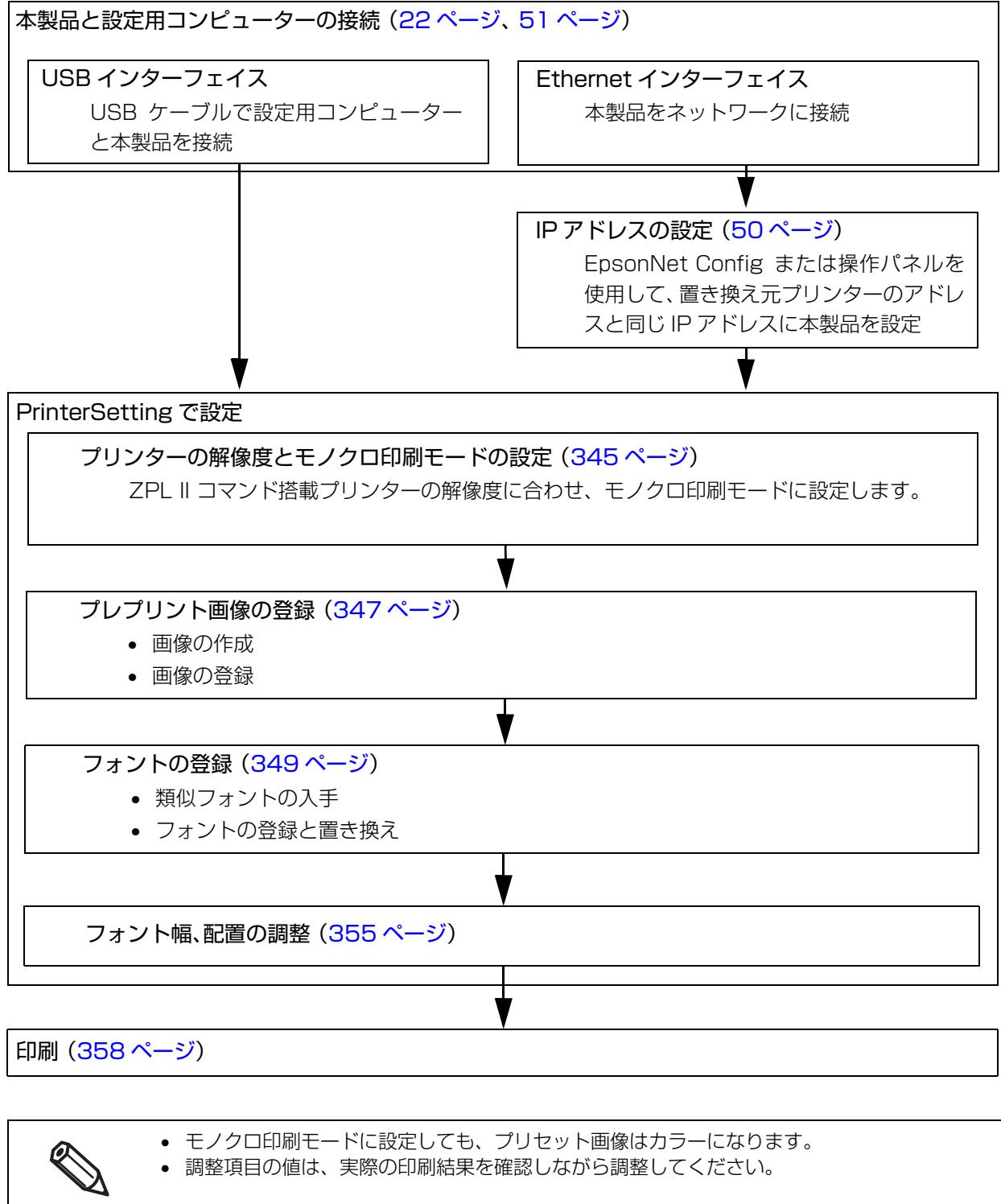


CW-8020 の 1 ステップ方式



プリンターの設定変更とプリンターの置き換え

以下の手順で設定します。



プリンターの解像度とモノクロ印刷モードの設定

- 1 PrinterSetting を起動します。
- 2 [詳細設定] の [高度な設定] 画面の [ZPL II コマンド搭載プリンターからの置き換え設定] の [実行] をクリックします。



[ZPL II コマンド搭載プリンターからの置き換え設定] 画面が表示されます。

3

[元の解像度] で解像度を設定します。

選択肢に同じ解像度がない場合は、近い解像度を選択します。例えば、今まで使っていた ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターの解像度が 203 dpi の場合には、200 dpi を選択します。



4

ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターからカラー印刷を行わない書き換えをする場合に、[モノクロ印刷モードで使用する] にチェックを付けます。



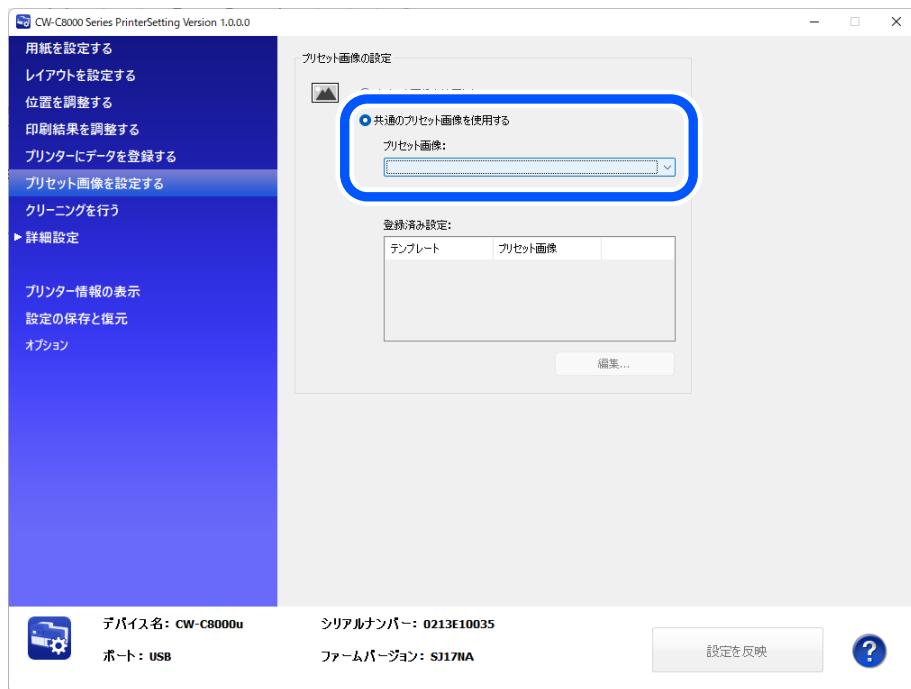
プレプリント画像の登録

- 1 プレプリント画像を作成します。
画像処理ソフトを使い、プレプリント画像をPNG形式で保存します。
画像解像度は必ず600dpiで作成してください。
- 2 PrinterSettingを起動します。
- 3 [プリンターにデータを登録する]画面の[画像]の[登録]をクリックします。
画像を登録する画面が表示されます。
- 4 登録するプレプリント画像のファイル名(PNG形式)を選択して[登録]をクリックします。



プリンターにプレプリント画像ファイルが送信されプリセット画像として保存されます。

5 [プリセット画像を設定する] 画面の [プリセット画像の設定] で、使用する画像を選択します。



フォントの登録

フォント登録機能

CW-C8020 や ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターは、プリンター内蔵フォントを搭載しています。CW-C8020 は EPSON オリジナルフォントを搭載しており、ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターとは別のフォントです。

プリンター内蔵フォントを使用した印刷を行った場合は、印刷される文字の形態（形や太さ）やフォントの余白量（余白量の違いが文字間ピッチの違いとなって表れる）は、プリンター内蔵フォントの種類に依存するため、従来使用していた ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターと CW-C8020 の印刷結果が異なる場合があります。

【例】

ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターの印刷結果



CW-C8020 の印刷結果



従来使用していた ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターの印刷結果に近づけるために、CW-C8020 にはフォント登録機能と ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターからの置き換え調整の機能があります。

類似フォントの入手

ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターの内蔵フォント（ファイル形式 TTF）に類似したフォントをご用意ください。

ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターの内蔵フォントに類似した以下のフォントがあります。文字の太さや文字間ギャップが異なる多数のフォントが存在するので、最適なフォントを選択してください。

なお、フォントの入手およびその使用ライセンスの取得はお客様の責任において実施してください。

類似フォント（代表例）

フォント名	種類例
Swiss 721	Black, Black Condensed
Helvetica	Bold, Bold Condensed

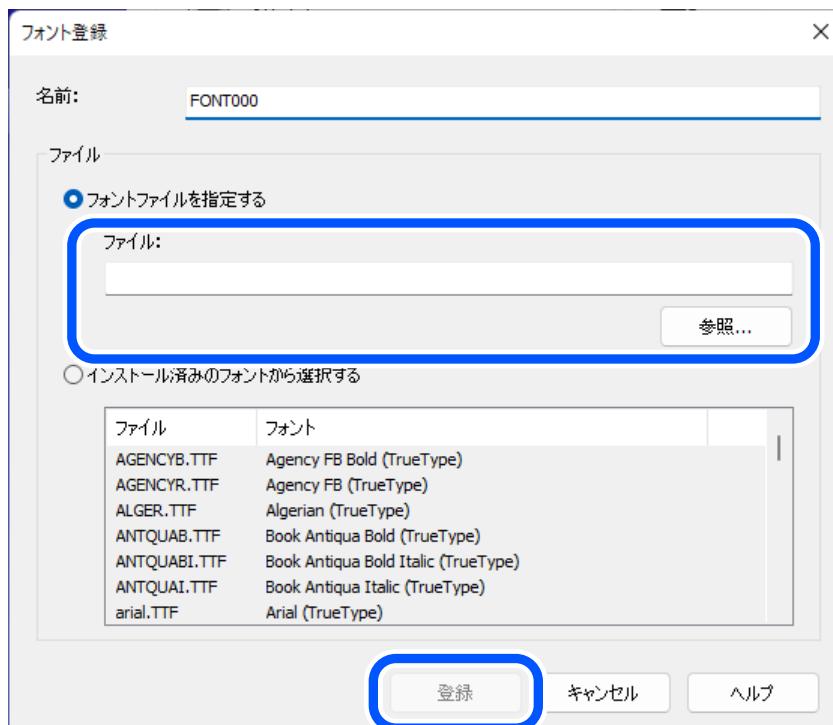
フォントの登録 / 置き換え

- 1 PrinterSetting を起動します。
- 2 [プリンターにデータを登録する] 画面の [フォント] の [登録] をクリックします。



[フォント登録] 画面が表示されます。

- 3 登録するフォントのファイル名 (TTF 形式) を選択して [登録] をクリックします。
プリンターにフォントファイルが送信され、プリンター内蔵フォントとして保存されます。



4 [詳細設定] の [高度な設定] 画面の [ZPL II コマンド搭載プリンターからの置き換え設定] の [実行] をクリックします。



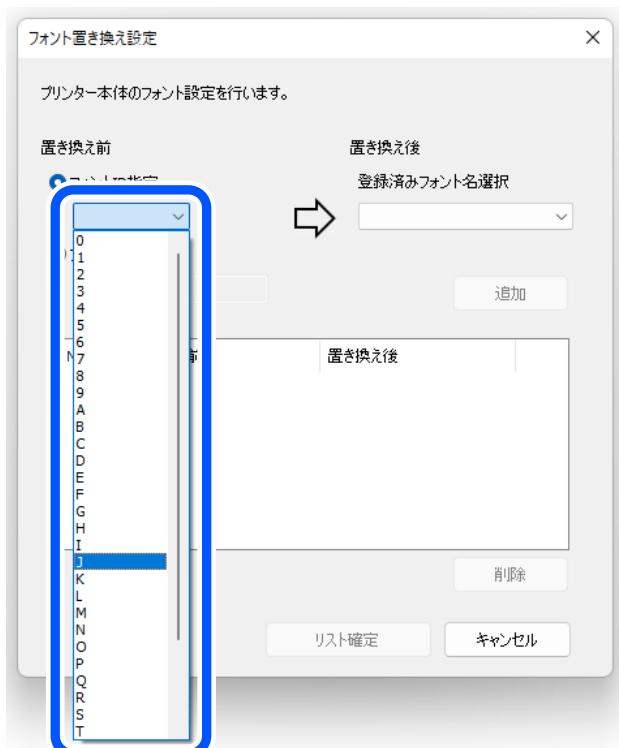
5 [フォント置き換え] にチェックを入れます。

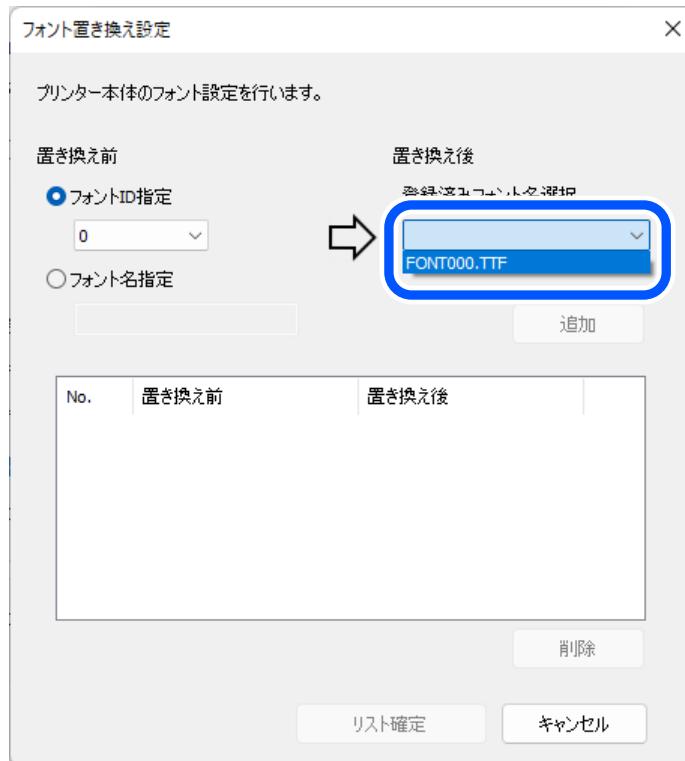
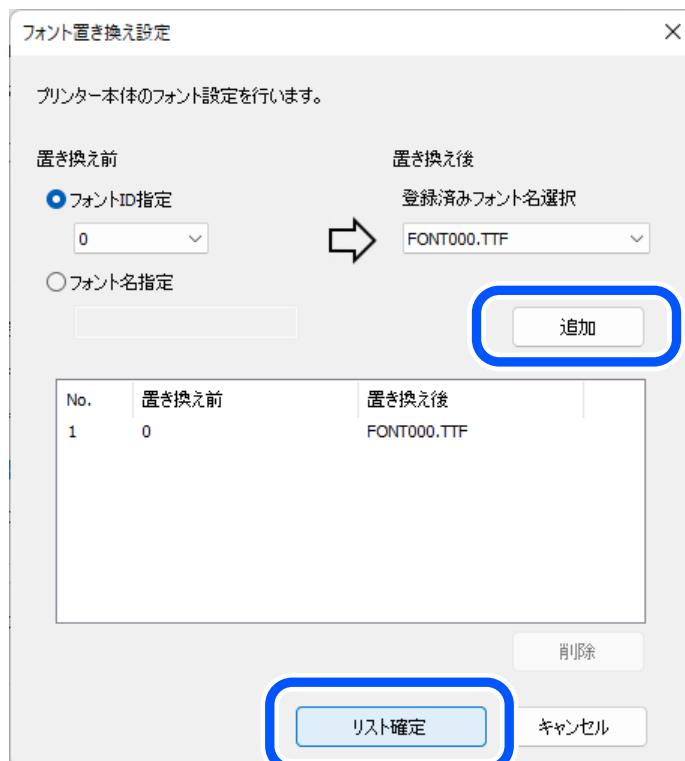


6 [設定] をクリックします。



7 置き換えるフォントに ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターで使用していたフォント ID と同じ ID を割り当てます。 リストボックスからフォント ID を選択します。



8 割り当てるフォント名を選択します。**9** [追加] をクリックすると画面内にリストが表示されます。
[リスト確定] をクリックするとリストが保存され、[ZPL II コマンド搭載プリンターからの置き換え設定] 画面に戻ります。

10 [設定を反映] をクリックします。
プリンターに設定値が保存されます。

フォント幅、配置の調整

「ZPL II コマンド搭載プリンターからの置き換え設定」には以下の調整機能があります。

フォント幅

フォントの横幅を縮小する機能です。100% 指定が原寸で、設定可能値は1～100%で1%刻みで設定可能です。縮小率が大きくなると、形状がつぶれて文字として判読できなくなります。印刷結果を確認しながら設定してください。実効性のある設定値はおおよそ80～100%と想定されます。

縦方向配置調整

1ページ内に印刷する文字列やバーコード、図形、イメージデータといった構成要素（＝オブジェクト）の縦方向の配置位置を調整する機能です。設定可能値は-5.0～+5.0%で0.1%刻みで設定可能です。

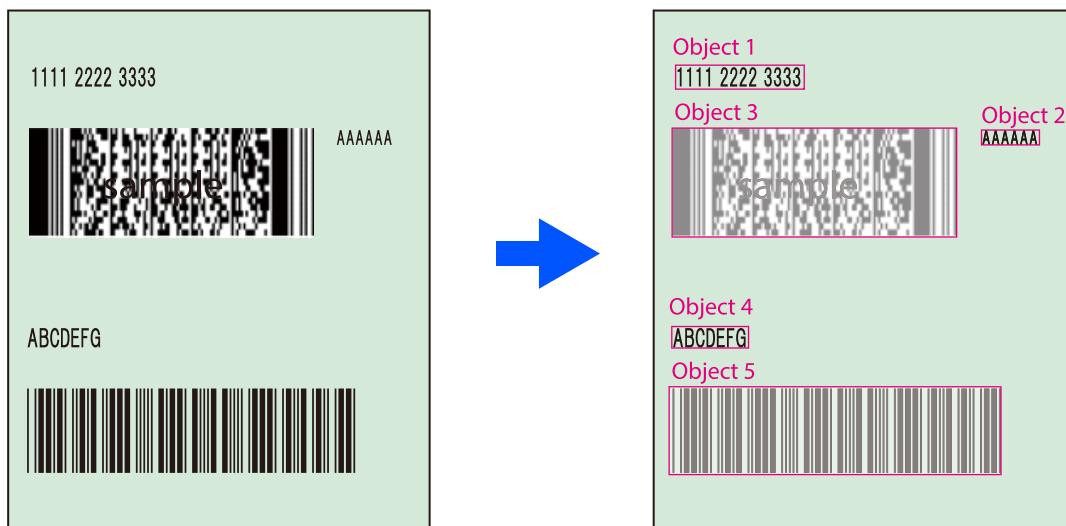
横方向配置調整

1ページ内に印刷する構成要素（＝オブジェクト）の横方向の配置位置を調整する機能です。設定可能値は-5.0～+5.0%で0.1%刻みで設定可能です。

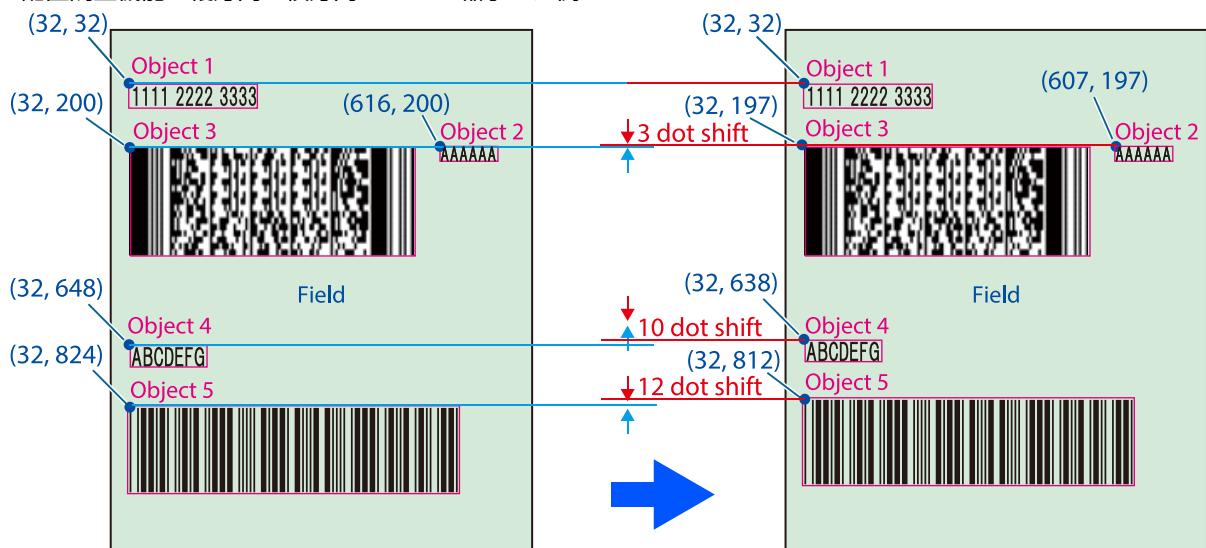
縦方向配置調整機能と横方向配置調整機能は、従来使用していたZPL IIコマンド搭載モノクロプリンターが203 dpiの場合にCW-C8020で200 dpiで印刷すると、 $203/200=1.5\%$ 印刷結果が大きくなることを補正するために使用します。ただし、本機能はページ内に印刷する構成要素（＝オブジェクト）の配置位置を補正するだけで、構成要素（＝オブジェクト）自身のサイズは調整しません。これは、オブジェクトの外観が崩れることを防ぐためです。特に、細い線が消滅したり、バーコードの読み取り精度が劣化することを防止します。

この補正方法は、ほとんどの場合実用上問題のない適切な補正をできますが、1ページのサイズに対して大きなサイズのオブジェクトが配置されている場合や、オブジェクトとオブジェクトの配置間隔が狭い場合には、オブジェクト同士が重なったりして、元のラベルデザインを維持できない場合があります。

ページの構成要素（オブジェクト）



配置調整機能で縦方向・横方向に 1.5% 縮小した例



Ex: Object 2: $616 \times 0.985 = 606.8$
 $200 \times 0.985 = 197.0$
Object 4: $32 \times 0.985 = 31.5$
 $648 \times 0.985 = 638.3$

1 PrinterSetting を起動します。

2 [詳細設定] の [高度な設定] 画面の [ZPL II コマンド搭載プリンターからの置き換え設定] で、[実行] をクリックします。



[ZPL II コマンド搭載プリンターからの置き換え設定] 画面が表示されます。

3 縦方向と横方向の調整をします。

今まで使っていたZPL IIコマンド搭載モノクロプリンターの解像度と同じ解像度を選択した場合には、縦方向配置調整と横方向配置調どちらとも「0」を指定します。

今まで使っていたZPL IIコマンド搭載モノクロプリンターの解像度が203 dpiで、上記の印刷解像度を200 dpiに指定した場合には、縦方向配置調整と横方向配置調どちらとも「-1.5%」を指定します。



フォント幅の調整をしない場合は、手順5に進みます。

4 フォント幅の調整をします。

まず「100%」を指定して、印刷結果を確認しながら調整します。



5 [設定を反映] をクリックします。

プリンターに設定値が保存されます。

印刷

実際に使用する環境で印刷し、印刷結果を確認してください。

テンプレートの活用

モノクロサーマルプリンターで使用していたテンプレートを CW-C8020 に登録して、ZPL II コマンドを直接制御するアプリケーションから使用することができます。

詳細は [342 ページ 「ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターからの置き換え」](#) を参照してください。

ESC/Label コマンドは、ZPL II コマンドとコマンドサポート範囲やテンプレートファイルの拡張子が異なりますので、ESC/Label コマンド仕様に合わせた記述の変更が必要です。ESC/Label コマンド仕様の詳細は ESC/Label コマンドリファレンスガイドを参照してください。

以下の手順で設定します。

1 画像の登録 (194 ページ)

プリンターに画像を登録してください。

2 テンプレートの登録 (195 ページ)

プリンターにテンプレートを登録してください。

ZPL II コマンドで作成したテンプレートを転用する場合、テンプレートファイルの拡張子を ESC/Label コマンドの仕様に合わせて変更してください。また、ESC/Label でサポートしていないコマンドは削除してください。

3 テンプレートと画像の連携 (199 ページ)

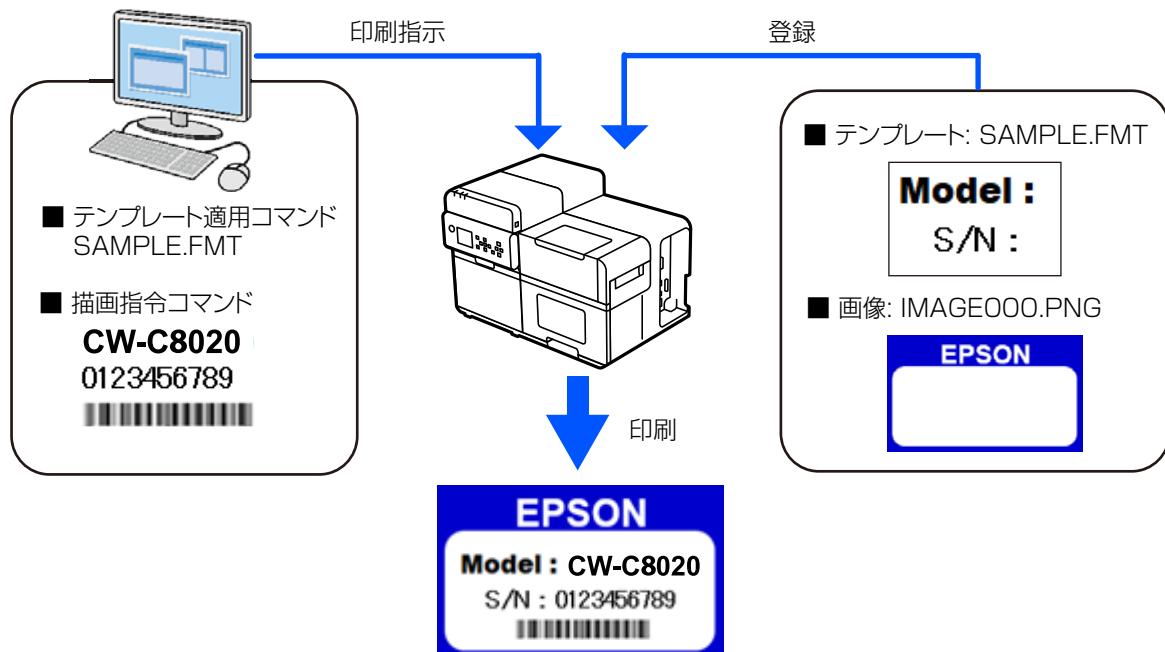
テンプレートと画像の連携を設定してください。

4 解像度の設定 (210 ページ)

[詳細設定] の [高度な設定] 画面の [ZPL II コマンド搭載プリンターからの置き換え設定] で、今まで使用していたモノクロサーマルプリンターの解像度を設定してください。

5 テンプレートの印刷

テンプレートを使用して印刷する場合は、アプリケーションから ZPL II コマンドで指定するテンプレートファイルの拡張子を ESC/Label コマンドの仕様に合わせて変更してください。アプリケーションから ZPL II コマンドで指定されるテンプレート、可変情報、画像が合成されて印刷されます。



ソフトウェアとマニュアル

下記のソフトウェアとマニュアルが用意されています。

ソフトウェア

名称	説明	提供方法
プリンタードライバー (Windows)	Windows アプリケーションから印刷するためのドライバーです。ドライバーから、プリンターの設定をするためのユーティリティー (CW-C8000 Series PrinterSetting) を起動できます。ドライバーの使用方法はヘルプや動画を参照してください。	• Web
プリンタードライバー (Mac)	Mac アプリケーションから印刷するためのドライバーです。	• Web
プリンタードライバー (Linux)	Linux アプリケーションから印刷するためのドライバーです。	• 販売店
EpsonNet Config SE	本製品の TCP/IP をはじめとした各種情報の取得と設定を行うツールです。	• Web
Color Tone Matching Assistant	印刷するイラストや文字の色調整を支援するためのユーティリティーです。イラストや文字などの特定の色が、どのような色味で出力されるかを確認できます。	• Web
SAP HVP Plugin	SAP EH & S WWI HVP システムを使用してネットワーク経由で大量の印刷を実行する場合、EPSON CW-C80x0 用の HVP プラグインを使用すると、サーバーの負荷やネットワーク内のトラフィックを減らすことができます。	• 販売店
Epson Device Admin	Epson Device Admin は、ネットワーク上のプリンターの管理を行う多機能なソフトウェアです。 (237 ページ 「Epson Device Admin」)	• Web
USB Printer Class Device Replacement Service	同機種の USB 機器を交換した場合、アプリケーションや OS の設定を変更することなく、自動的に出力先を別のプリンタードライバーに変更するツールです。	• Web

マニュアル

名称	説明	提供方法
はじめにお読みください	本製品の同梱品の確認・設置・セットアップの方法について説明しています。また、本製品を取り扱う上での注意事項も記載しています。安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、ご使用の前には必ずお読みください。	• 製品に付属 • Web

名称	説明	提供方法
ユーザーズガイド	本製品の機能や操作方法、メンテナンスに関する情報や各種トラブルの解決方法について説明しています。以下のウェブサイトから参照できます。 https://www.epson.jp/support/support_menu/ks/19.htm	• Web
CW-C8020 詳細取扱説明書（本書）	本製品のセットアップや日常的に行う作業、システム開発に必要な情報を説明しています。	• Web
メンテナンスボックス 同梱マニュアル	メンテナンスボックスに関する注意事項が記載されています。	• メンテナンスボックスに付属 • Web
TU-RC8000 Start Here	巻き取り装置に関する注意事項が記載されています。	• 巷取装置に付属 • Web
CW-C8000 Series 拡張インターフェース テクニカルリファレンスガイド	拡張インターフェースに関する開発に必要な情報を説明しています。	• Web
ESC/Label コマンド リファレンスガイド	機種共通のマニュアルです。ESC/Label のコマンド仕様を説明しています。	• Web
ESC/Label コマンド 一覧	ESC/Label コマンドの一覧です。機種毎に使用できるコマンドと、パラメータを説明しています。	• Web
ESC/Label アプリケーション開発ガイド	ESC/Label コマンドを使用した印刷方法や、機種毎の設定やメンテナンス機能の実現方法を説明しています。	• Web

付録

本章では、本製品の仕様を説明しています。

製品仕様

項目	仕様
印刷方式	ラインインクジェットドットマトリックス方式 4色カラー印字
紙送り方式	フリクションフィードによる正逆方向送り
オートカッターのカット形態	フルカット（完全切り離し）
印刷解像度	600×1200 dpi
印刷速度	150 mm/s 300 mm/s
インターフェイス	有線 LAN ¹ 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T
	無線 LAN USB コネクターにオプションの無線 LAN ユニット (OT-WL06) を接続
	USB SuperSpeed USB
質量	約 35 kg

*1 カテゴリー 5e 以上の STP (シールドツイストペア) ケーブルを使用すること。

動作環境

サポート OS	Windows 11 Windows 10 (32 bit/ 64 bit) Windows 8.1 (32 bit/ 64 bit) Windows Server 2022 Windows Server 2019 Windows Server 2016 Windows Server 2012 R2 Windows Server 2012 OS X 10.9.5 以降、macOS 10.12 以降
動作確認済み OS	CentOS 7 (x86_64) Ubuntu 20.04 (x86_64)
コンピューター	上記 OS が動作する以下のコンピューターをサポートしていること。 PC/AT 互換機
CPU	Pentium 4 2 GHz 以上のプロセッサーを搭載したコンピューターを推奨
Memory	1 GB 以上を推奨
HDD	空き容量 250 MB 以上



- 上記の要件は、サポートする OS の最小システム要件を満たしていない場合があります。その場合、OS の最小要件を満たしてください。
- Epson は上記の OS ディストリビューションとバージョンの動作を確認しました。Linux には多くのディストリビューションやバージョンが存在するため、Epson は特定のディストリビューションやバージョンでの動作保証は行いません。
上記以外の OS のバージョンやディストリビューションについては、お客様ご自身で動作確認する必要があります。

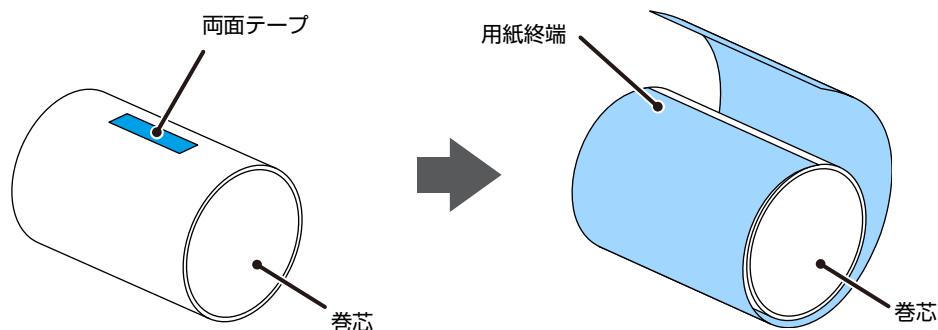
用紙仕様

本製品で使用可能な用紙は以下の通りです。

それぞれの仕様に合った用紙をお使いください。仕様外の用紙を使用すると、印刷汚れやにじみ、かすれなどが発生する場合があります。



- 仕様外の用紙を使用すると、紙送り精度 / バーコード認識率 / 印刷品質の低下、紙詰まりが発生することがあります。
- 用紙の保管環境（温度や湿度）によっては、用紙にカールが発生することがあります。これは合成紙ラベルと紙台紙とで、温度や湿度による伸縮率が異なることが原因です。カールした用紙を使用すると、プリントヘッドとのこすれによる汚れ、紙詰まりが発生する場合があります。
- テープなどでつないで延長した用紙を使用しないでください。用紙の継ぎ目による誤検出、プリントヘッドとのこすれによる汚れ、紙詰まりが発生することがあります。
- 巻芯にロール紙を巻き付けるときは、表と裏で粘着力の異なる両面テープを使用して用紙端と巻芯を留めることをお勧めします。このとき、強粘着側を巻芯に貼り付けます。この処理をすることでロール紙が適度に巻芯に固定され、給紙不良を防止できます。
- 巻芯にロール紙を直接糊付けする方法では用紙エンドが検出できなくなるため、用紙エンド時に印刷できないラベルが複数枚発生します。



以下の条件を満たすように両面テープの貼り付け位置、長さを決めてください。

(推奨テープ：用紙の巻き始めに使用する両面テープ)

ロール紙の台紙と両面テープ間の粘着力：1±0.3 N

巻芯の表面と両面テープ間の粘着力：2 N 以上

用紙形態

用紙形態	ページ
ロール紙 連続紙	366 ページ
ロール紙 連続紙（ブラックマーク基準）	366 ページ
ファンフォールド紙 連続紙（ブラックマーク基準）	367 ページ
ロール紙 全面ラベル	368 ページ
ロール紙 全面ラベル（ブラックマーク基準）	368 ページ
ロール紙 ダイカットラベル（ギャップ基準）	369 ページ
ロール紙 ダイカットラベル（ブラックマーク基準）	369 ページ
ファンフォールド紙 ダイカットラベル（ブラックマーク基準）	371 ページ
ロール紙 タグ（穴、長穴、切り欠き）	373 ページ
ファンフォールド紙 タグ（穴、長穴、切り欠き）	374 ページ

用紙種類

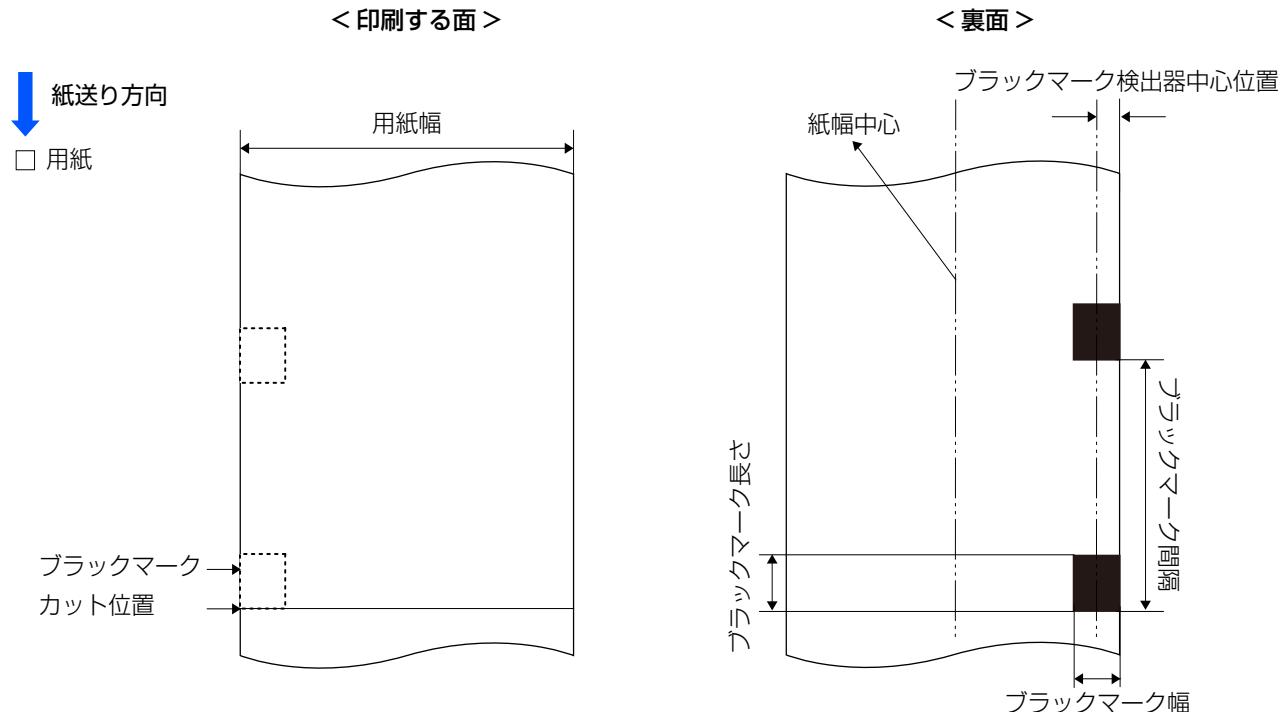
用紙種類	マットインク使用時	フォトインク使用時
普通紙	✓	-
マット紙	✓	✓
上質紙	✓	-
合成紙	✓	✓
光沢紙	-	✓
光沢フィルム	-	✓
高光沢紙	-	✓



- 仕様外の用紙を使用すると、紙送り精度 / バーコード認識率 / 印刷品質の低下、紙詰まりが発生することがあります。
- 用紙巻き始め部と巻き芯を、糊付けやテープ止めして固定すると、用紙エンドが検出できなくなるため、用紙エンド時に印刷できないラベルが複数枚発生します。
- 台紙部分が紙の合成紙ラベルや台紙部分がポリラミネートされているラベルは、保管環境や使用環境により、用紙にカールが発生することがあります。温度や湿度による伸縮率が合成紙やポリラミネートのような樹脂部分と紙部分とで異なることが原因です。カールした用紙を使用すると、プリントヘッドとのこすれによる汚れ、紙詰まりが発生する場合があります。
- テープなどでつないで延長した用紙を使用しないでください。用紙の継ぎ目による誤検出、プリントヘッドとのこすれによる汚れ、紙詰まりが発生することがあります。
- マットインク仕様の場合、印刷直後の用紙に触れるとインクが指に付着する可能性があります。
- 長さ 25.4 mm 未満のラベルをオートカットした場合、固定刃付近に留まり取り除きにくくなる場合があります。
- 用紙の材質やブラックマークの印刷状態により、用紙の誤検出が発生する場合があります。事前にお客様で評価の上、ご使用ください。
- 紙幅 50.8mm 未満におけるバックフィード後は印刷品質が低下する可能性があります。
- 給紙方法が「外部供給」かつ巻き取り装置を使用する場合は、印刷品質が低下する可能性があります。

用紙の形態・形状・サイズ

ロール紙 連續紙 / ロール紙 連續紙(ブラックマーク基準)

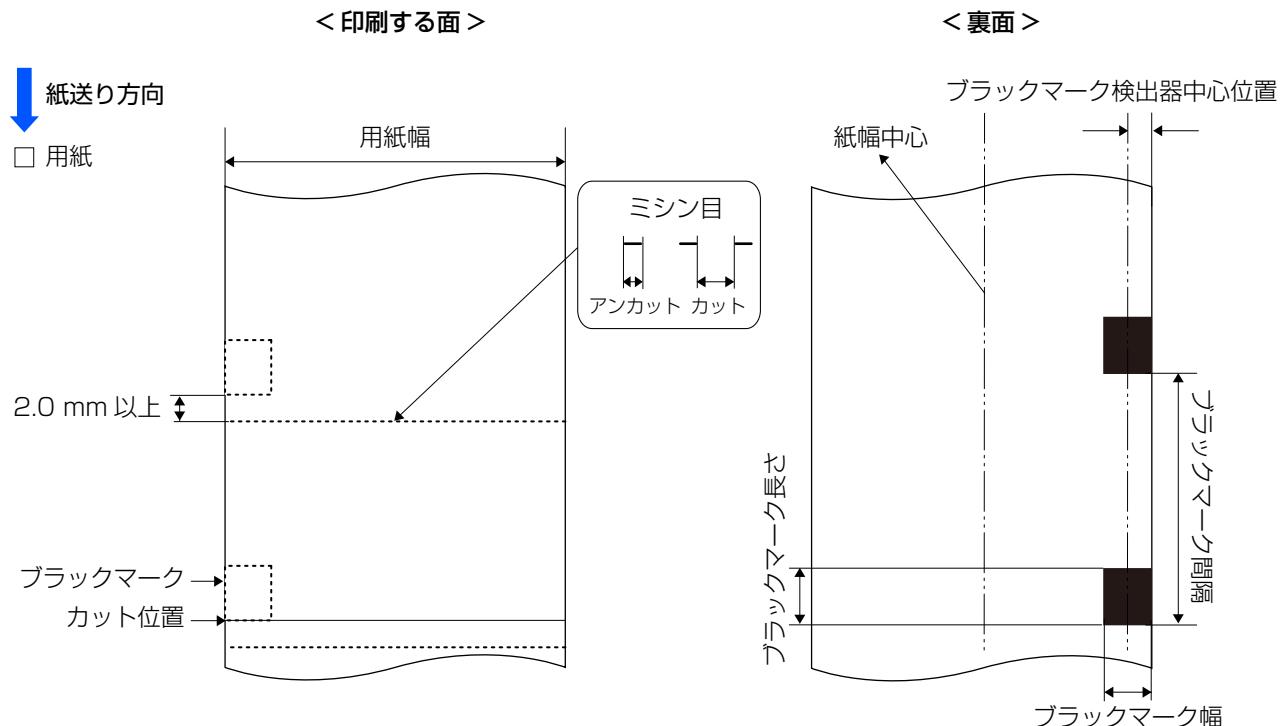


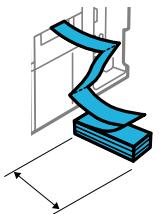
項目	仕様	
	連續紙	連續紙(ブラックマーク基準)
用紙種類	普通紙、マット紙、光沢紙	
用紙幅	25.4 ~ 112 mm (内部供給) 50 ~ 112 mm (外部供給)	
ブラックマーク配置	-	図参照
ブラックマーク幅	-	19 mm 以上
ブラックマーク長さ	-	4 ~ 25.4 mm、空白部 4 mm 以上
ブラックマーク検出器中心位置	-	12.4 mm
ブラックマーク間隔	-	11 ~ 1016 mm 用紙の長さが 15 mm 未満の場合は オートカットできません。
用紙厚	0.084 ~ 0.131 mm	
巻芯内径	76.2 ± 0.5 mm	
巻芯外径	82.2 mm 以上	
ロール紙外径	最大 203.2 mm	
巻き方向	印刷面が外側	
穴、切り欠き	不可	



ブラックマーク検出器が紙幅中心にないため、両側にブラックマークを設けると、どちらの用紙端から印刷してもブラックマークを検出できるようになります。

ファンフォールド紙 連続紙(ブラックマーク基準) 

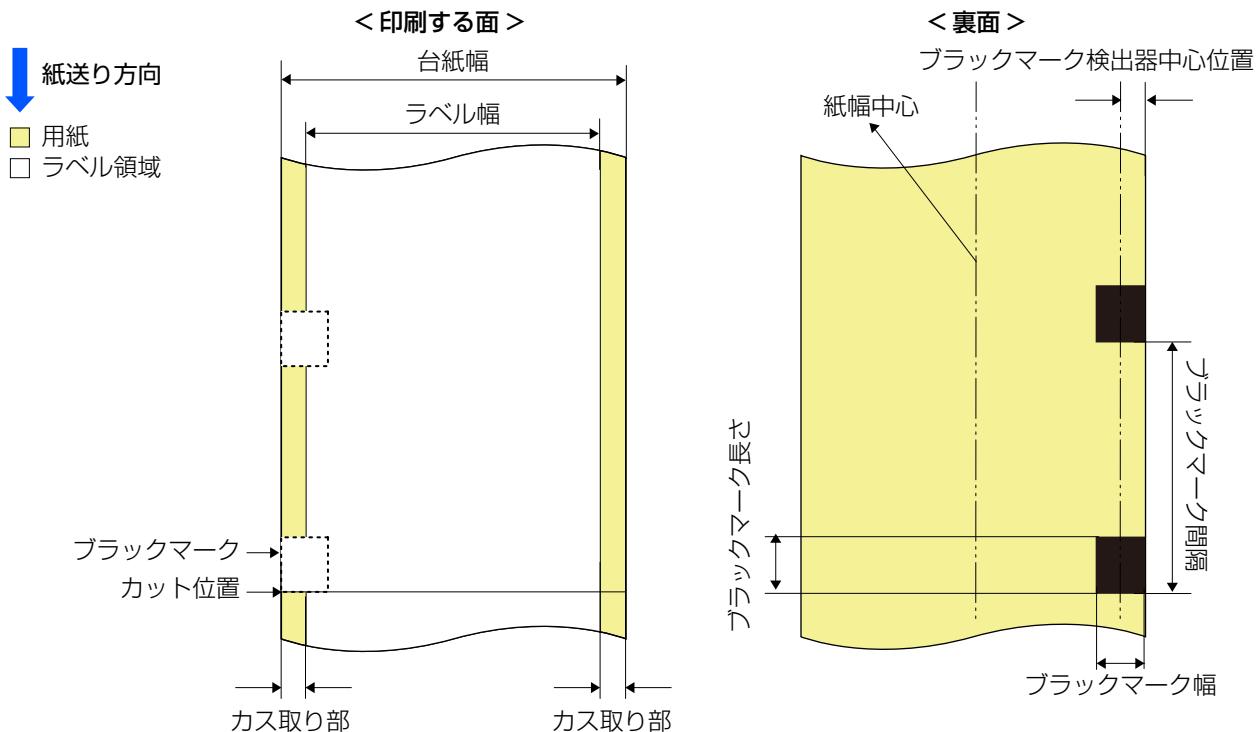


項目	仕様
用紙種類	普通紙、マット紙、光沢紙
用紙幅	50 ~ 112 mm
ブラックマーク配置	図参照。ミシン目より 2.0 mm 以上離れていること
ブラックマーク幅	19 mm 以上
ブラックマーク長さ	4 ~ 25.4 mm、空白部 4 mm 以上
ブラックマーク検出器中心位置	12.4 mm
ブラックマーク間隔	11 ~ 304.8 mm 用紙の長さが 15 mm 未満の場合はオートカットできません。
用紙厚	0.084 ~ 0.131 mm
折り間隔	152.4 ~ 304.8 mm 
折り数	750 折り以下
ミシン目形状	アンカット 1 mm、カット 3 ~ 5 mm ※ カット部が用紙両端にかかっていないこと。
穴、切り欠き	不可



- ミシン目の上をオートカットすると小さな紙片が発生し、不具合が生じる場合があります。また、ミシン目の前側をオートカットすると紙送り時に不具合を生じる可能性があります。このため、ミシン目の後ろ側を 0.5 ~ 1 mm 以上離してオートカットしてください。
- ブラックマーク検出器が紙幅中心にないため、両側にブラックマークを設けると、どちらの用紙端から印刷してもブラックマークを検出できるようになります。

ロール紙 全面ラベル / ロール紙 全面ラベル(ブラックマーク基準)

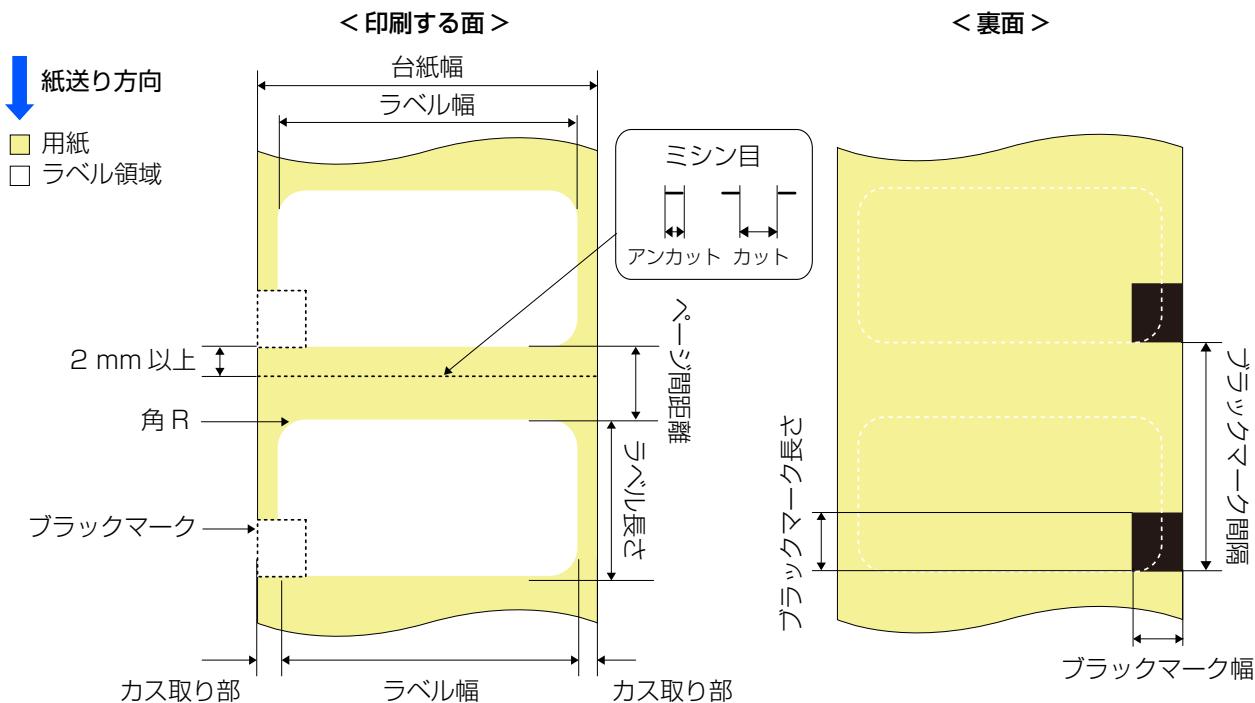


項目	仕様	
	ブラックマークなし	ブラックマークあり
用紙種類	普通紙、マット紙、合成紙、光沢紙、光沢フィルム、高光沢紙、上質紙	
台紙幅	25.4 ~ 112 mm (内部供給) 50 ~ 112 mm (外部供給)	
ラベル幅	21.4 ~ 108 mm (内部供給) 46 ~ 108 mm (外部供給)	
左右カス取り部	2 ± 0.5 mm	
ブラックマーク配置	-	図参照
ブラックマーク幅	-	19 mm 以上
ブラックマーク長さ	-	4 ~ 25.4 mm、空白部 4 mm 以上
ブラックマーク検出器中心位置	-	12.4 mm
ブラックマーク間隔	-	11 ~ 1016 mm 用紙の長さが 15 mm 未満の場合は オートカットできません。
用紙厚	0.159 ~ 0.240 mm	
巻芯内径	76.2 ± 0.5 mm	
巻芯外径	82.2 mm 以上	
ロール紙外径	最大 203.2 mm	
巻き方向	印刷面が外側	
穴、切り欠き	不可	



- ロール紙供給部への粘着剤の付着を防止するため、左右端をカス取りしたラベルを使用してください。
- ブラックマーク検出器が紙幅中心にないため、両側にブラックマークを設けると、どちらの用紙端から印刷してもブラックマークを検出できるようになります。

ロール紙 ダイカットラベル(ギャップ基準 / ブラックマーク基準)

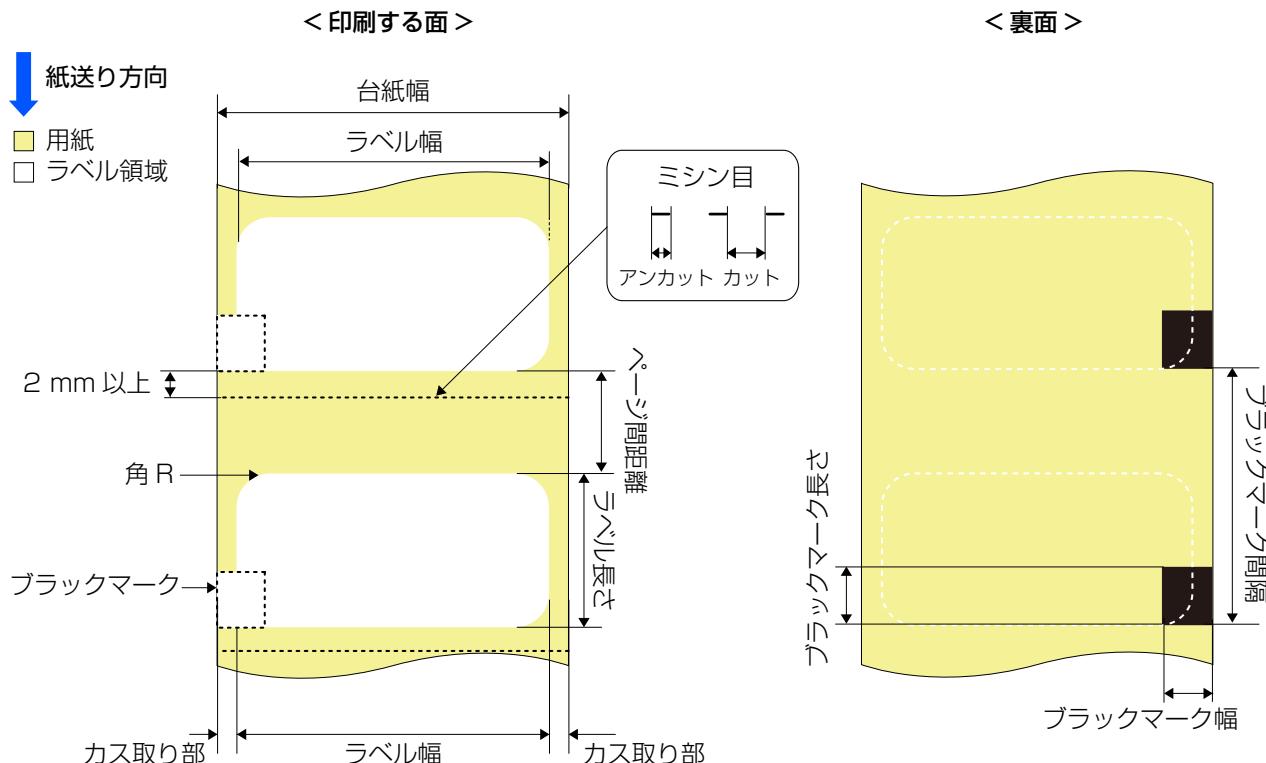


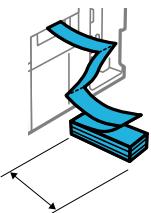
項目	仕様	
	ダイカットラベル (ギャップ基準)	ダイカットラベル (ブラックマーク基準)
用紙種類	普通紙、マット紙、合成紙、光沢紙、光沢フィルム、高光沢紙、上質紙	
台紙幅	25.4 ~ 112 mm (内部供給) 50 ~ 112 mm (外部供給)	
ラベル幅	21.4 ~ 108 mm (内部供給) 46 ~ 108 mm (外部供給)	
ラベル長さ	8 ~ 1016 mm 用紙の長さが 15 mm 未満の場合はオートカットできません。	
ページ間距離	3 ~ 6 mm	
左右カス取り部	2 ± 0.5 mm	
ラベル角 R	1.5 mm	
ブラックマーク配置	-	図参照。ブラックマーク先端とラベルの先端がそろっていること
ブラックマーク幅	-	19 mm 以上
ブラックマーク長さ	-	4 ~ 25.4 mm、空白部 4 mm 以上
ブラックマーク間隔	-	11 ~ 1016 mm (オートカットしない) 18 ~ 1016 mm (オートカットする)
用紙厚	0.159 ~ 0.240 mm	
巻芯内径	76.2 ± 0.5 mm	
巻芯外径	82.2 mm 以上	
ロール紙外径	最大 203.2 mm	
巻き方向	印刷面が外側	
ミシン目形状	アンカット 1 mm、カット 3 ~ 5 mm ※ カット部が用紙両端にかかっていないこと。	
穴、切り欠き	不可	



- ミシン目の上をオートカットすると小さな紙片が発生し、不具合が生じる場合があります。また、ミシン目の前側をオートカットすると紙送り時に不具合を生じる可能性があります。このため、ミシン目の後ろ側を0.5～1 mm以上離してオートカットしてください。
- ブラックマーク位置はミシン目より2 mm以上離してください。(ブラックマーク基準のみ)
- 透明台紙の合成紙ラベルは、ブラックマーク基準では使用できないため、ギャップ検出で使用してください。(ブラックマーク基準のみ)
- 台紙が合成紙やフィルムの場合、ミシン目があっても手切りしにくいため、その際はミシン目を使用しないでください。(ギャップ基準のみ)
- カット位置は、次に印刷するラベルのブラックマーク位置より1.5 mm以上離してください。(ブラックマーク基準のみ)
- カット位置は、次に印刷するラベルの先端位置より0.7 mm以上離してください。(ギャップ基準のみ)
- 仕様外のページ間距離の用紙は紙詰まりの原因になるため、使用しないでください。
- ブラックマーク検出器が紙幅中心にないため、両側にブラックマークを設けると、どちらの用紙端から印刷してもブラックマークを検出できるようになります。
- 型抜きされたラベルの形状や紙厚、硬さによっては、本製品の内部でラベルが台紙から剥がれてしまうおそれがあります。仕様以外のダイカットラベルを使用したい場合は、事前に販売店にお問い合わせください。

ファンフォールド紙 ダイカットラベル(ブラックマーク基準) 



項目	仕様
用紙種類	普通紙、マット紙、合成紙、光沢紙、光沢フィルム、高光沢紙、上質紙
台紙幅	50 ~ 112 mm
ラベル幅	46 ~ 108 mm
ラベル長さ	8 ~ 301.8 mm 用紙の長さが 15mm 未満の場合はオートカットできません。
ページ間距離	3 ~ 6 mm
左右カス取り部	2 ± 0.5 mm
ラベル角 R	1.5 mm
ブラックマーク配置	図参照。ブラックマーク先端とラベルの先端がそろっていること
ブラックマーク幅	19 mm 以上
ブラックマーク長さ	4 ~ 25.4 mm、空白部 4 mm 以上
ブラックマーク間隔	11 ~ 304.8 mm (オートカットしない) 18 ~ 304.8 mm (オートカットする)
用紙厚	0.159 ~ 0.240 mm
折り間隔	152.4 ~ 304.8 mm 
折り数	750 折り以下
ミシン目形状	アンカット 1 mm、カット 3 ~ 5 mm ※ カット部が用紙両端にかかっていないこと。
穴、切り欠き	不可



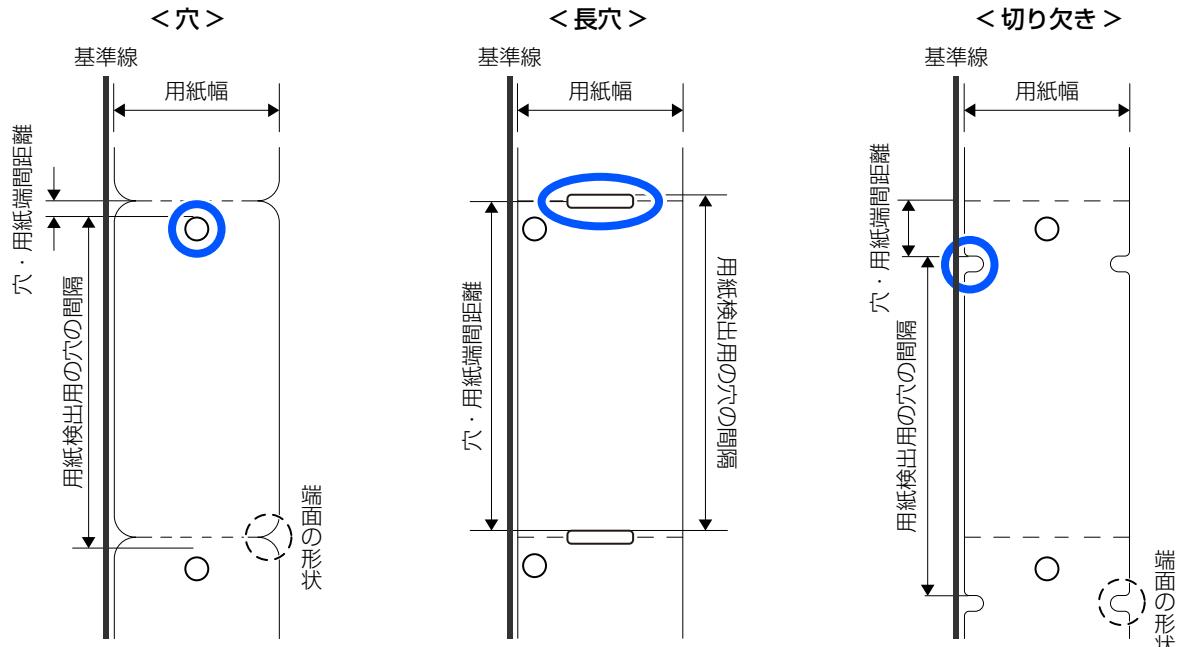
- ミシン目の上をオートカットすると小さな紙片が発生し、不具合が生じる場合があります。また、ミシン目の前側をオートカットすると紙送り時に不具合を生じる可能性があります。このため、ミシン目の後ろ側を0.5～1 mm以上離してオートカットしてください。
- ブラックマーク位置はミシン目より2 mm以上離してください。
- 台紙がフィルムの用紙は使用できません。
- カット位置は、次に印刷するラベルのブラックマーク位置より1.5 mm以上離してください。
- 仕様外のページ間距離の用紙は紙詰まりの原因になるため、使用しないでください。
- ブラックマーク検出器が紙幅中心にないため、両側にブラックマークを設けると、どちらの用紙端から印刷してもブラックマークを検出できるようになります。
- 型抜きされたラベルの形状や紙厚、硬さによっては、本製品の内部でラベルが台紙から剥がれてしまうおそれがあります。仕様以外のダイカットラベルを使用したい場合は、事前に販売店にお問い合わせください。

ロール紙 タグ(穴、長穴、切り欠き)



紙送り方向 用紙検出用の穴、長穴、または切り欠き

用紙



項目	仕様
用紙種類	普通紙、マット紙、光沢紙
用紙幅	25.4 ~ 112 mm (内部供給) 50 ~ 112 mm (外部供給)
用紙厚	最大 0.6 mm
巻芯内径	76.2 ± 0.5 mm
巻芯外径	82.2 mm 以上
ロール紙外径	最大 203.2 mm
巻き方向	印刷面が外側
用紙検出用の穴の間隔 (穴、長穴、切り欠き)	11 ~ 306 mm
用紙検出方法	穴 (用紙検出用)、長穴 (用紙検出用)、切り欠き (用紙検出用)
穴・用紙端間距離	0 ~ 306 mm (印刷開始位置から穴の上端までの距離)
用紙検出用の穴の寸法 (穴、長穴、切り欠き)	用紙の基準線からの位置により、穴の寸法が決まっています。 ただし、切り欠きは用紙の基準線からの位置に関わらず寸法が同じです。 ☞ 375 ページ「タグの穴の寸法と用紙基準線からの位置」
タグの端面の形状	R 1.5 mm 以下 C 1.5 mm 以下



- 用紙厚が 0.2 mm よりも厚い場合、巻芯によるカールでプリントヘッドと用紙がこすれる可能性があります。その場合は巻芯の直径を大きくして正常に印刷できるか確認してください。
- 用紙検出用の穴、長穴、切り欠きを検出できない場合は、センサーの感度やラベル検出のしきい値を調整すると使用可能になる場合があります。
☞ [288 ページ「検出器の感度やラベル検出のしきい値を調整する」](#)

ファンフォールド紙 タグ(穴、長穴、切り欠き)



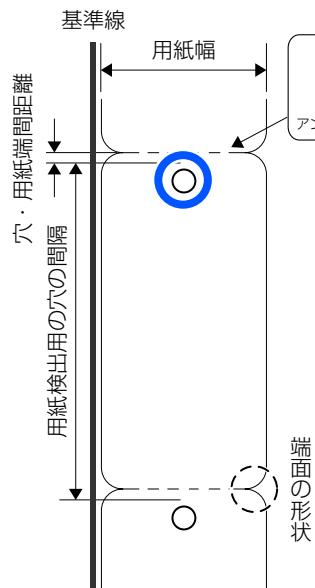
紙送り方向



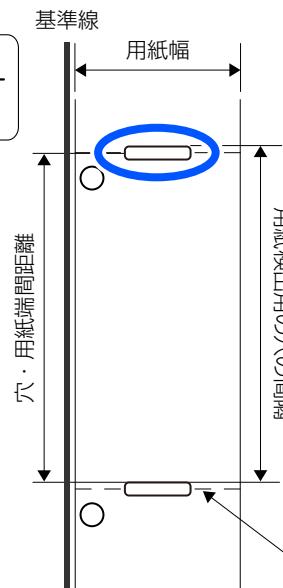
用紙検出用の穴、長穴、または切り欠き

□ 用紙

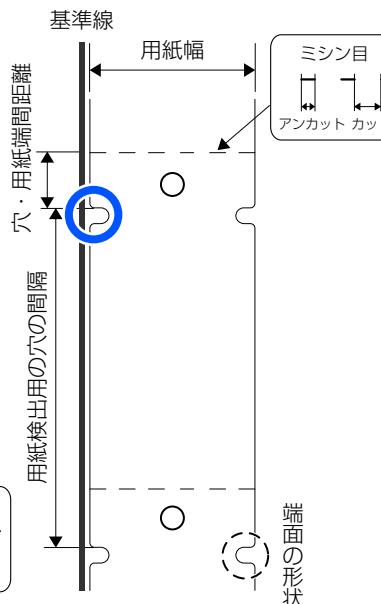
<穴>



<長穴>



<切り欠き>



項目	仕様
用紙種類	普通紙、マット紙、光沢紙
用紙幅	50 ~ 112 mm
用紙厚	最大 0.6 mm
用紙検出用の穴の間隔 (穴、長穴、切り欠き)	11 ~ 306 mm
用紙検出方法	穴 (用紙検出用)、長穴 (用紙検出用)、切り欠き (用紙検出用)
穴・用紙端間距離	0 ~ 306 mm (印刷開始位置から穴の上端までの距離)
用紙検出用の穴の寸法 (穴、長穴、切り欠き)	用紙の基準線からの位置により、穴の寸法が決まっています。 ただし、切り欠きは用紙の基準線からの位置に関わらず寸法が同じです。 ☞ 375 ページ「タグの穴の寸法と用紙基準線からの位置」
折り間隔	152.4 ~ 304.8 mm
折り数	750 折り以下
ミシン目の形状	アンカット 1 mm、カット 3 ~ 5 mm ※ カット部が用紙両端にかかっていないこと。
タグの端面の形状	R 1.5 mm 以下 C 1.5 mm 以下



用紙検出用の穴、長穴、切り欠きを検出できない場合は、センサーの感度やラベル検出のしきい値を調整すると使用可能になる場合があります。

☞ [288 ページ「検出器の感度やラベル検出のしきい値を調整する」](#)

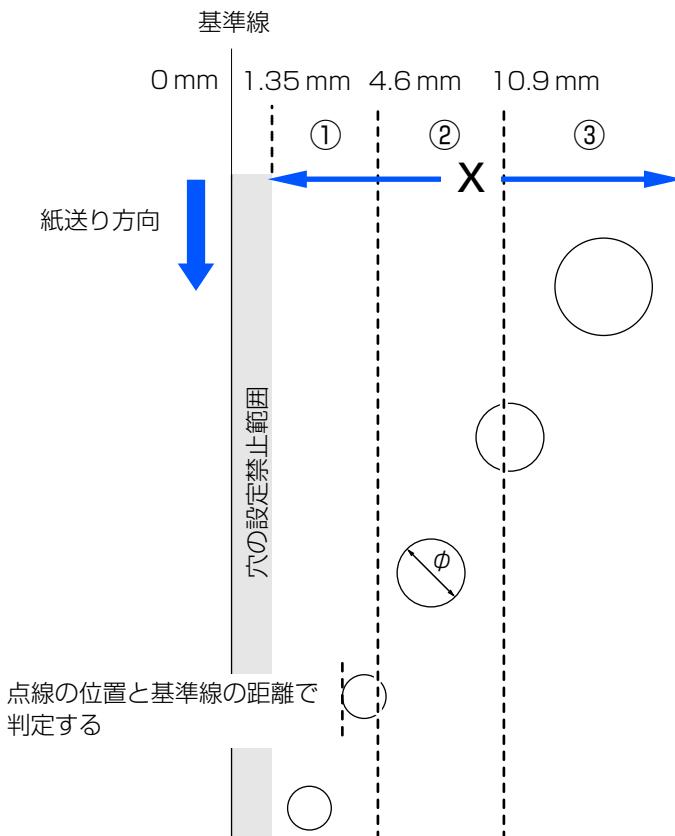
タグの穴の寸法と用紙基準線からの位置

用紙検出に使用する穴・長穴の寸法は、用紙の基準線からの位置 (X) によって異なります。
切り欠きの寸法は用紙の基準線からの位置 (X) に関わらず同じです。

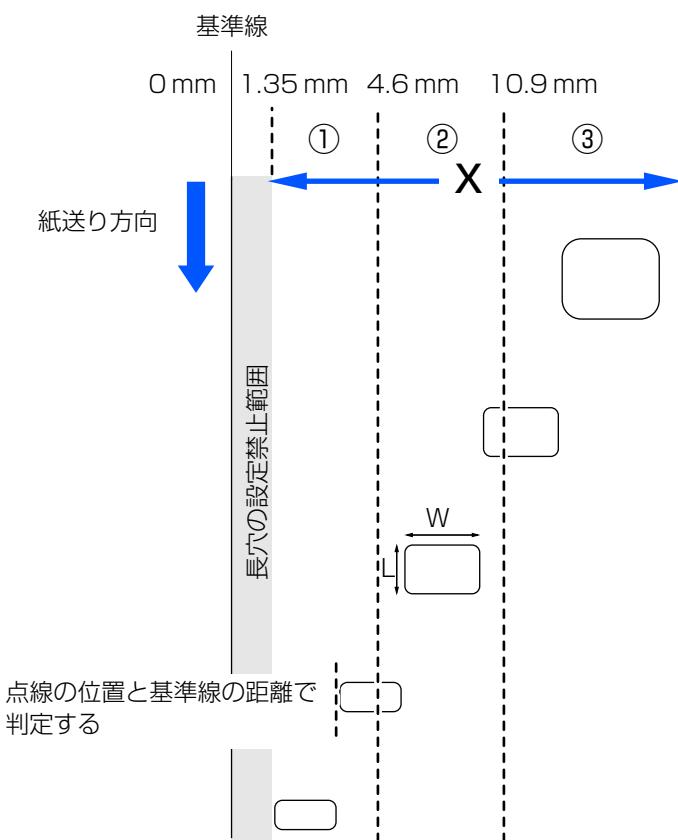
用紙の基準線からの位置 * (X) 単位 : mm								
		0 ≤ X ≤ 1.35	① 1.35 < X ≤ 4.6	② 4.6 < X ≤ 10.9	③ 10.9 < X			
用紙検出方法	穴の寸法	--	最小値	最大値	最小値	最大値	最小値	最大値
穴	直径 (ϕ)	設定禁止	3	3.5	3	9	3	12.7
	紙送り方向 (L)	設定禁止	3	3.5	3	9	3	12.7
長穴	紙幅方向 (W)	設定禁止	3	4.6	3	12.7	3	12.7
	紙送り方向 (L)	3	3	3.5	3	3.5	3	3.5
切り欠き	紙幅方向 (W)	4.35	4.35	6.35	4.35	6.35	4.35	6.35

* 用紙の基準線から、穴・長穴で最も用紙の基準線に近い位置との距離です。

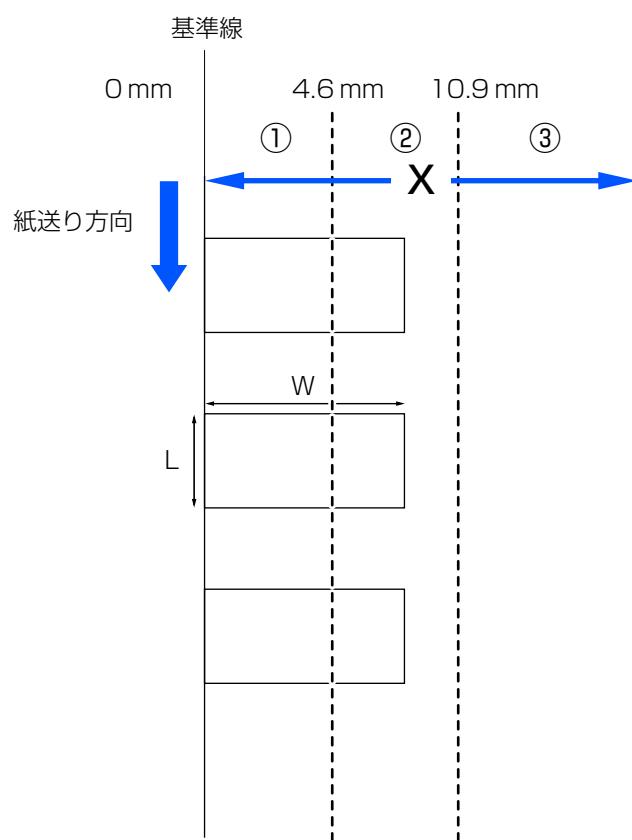
□ 穴 (用紙検出用) の場合



□ 長穴（用紙検出用）の場合

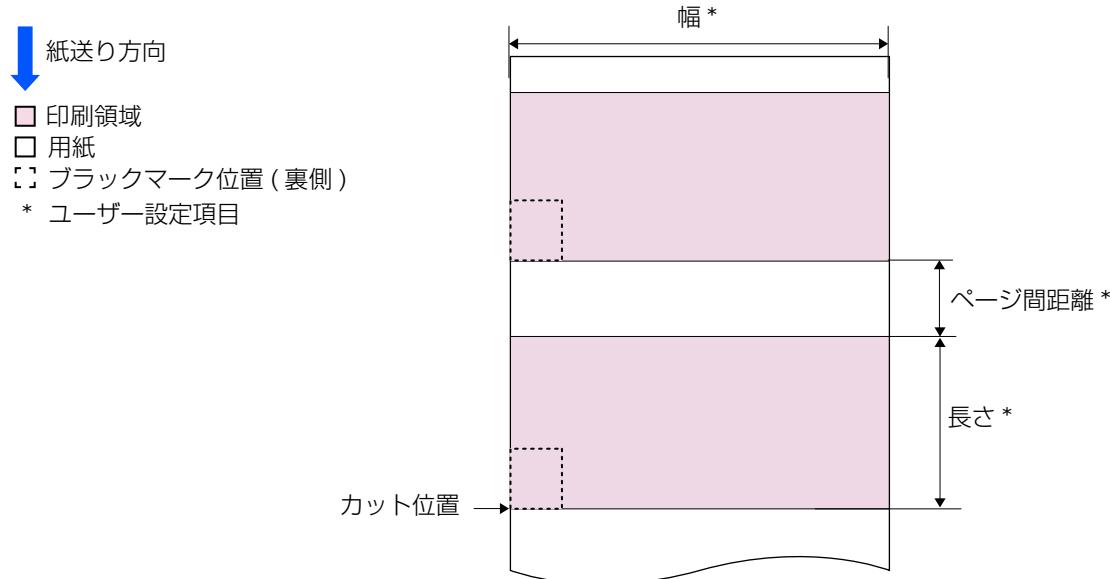


□ 切り欠き（用紙検出用）の場合



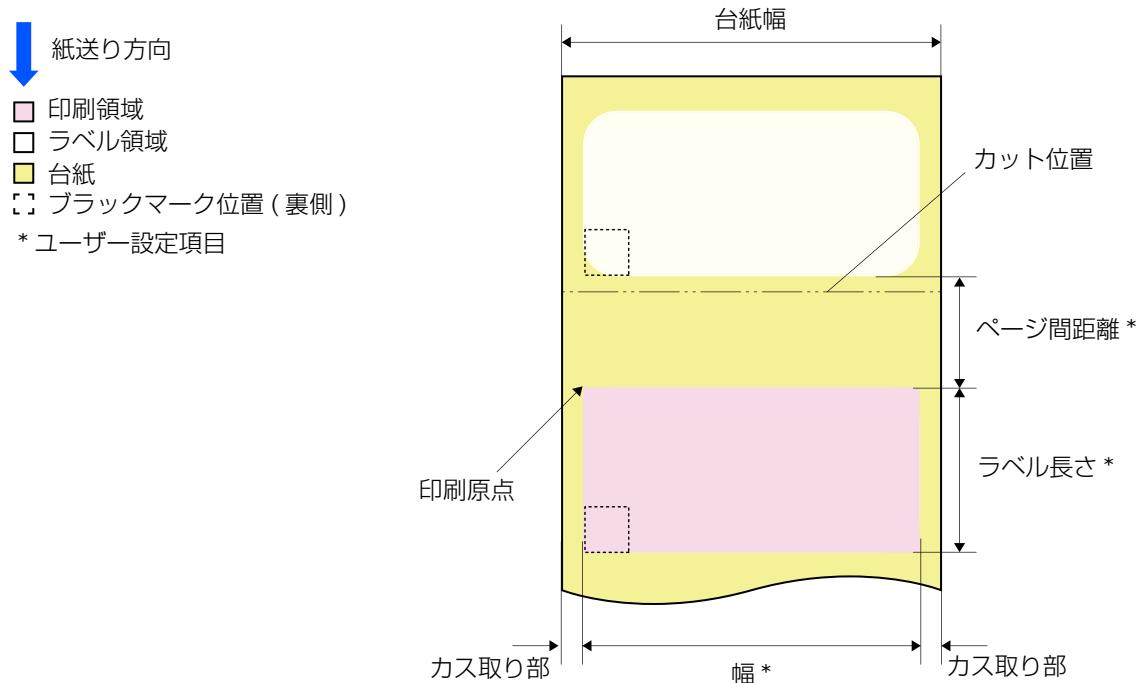
印刷領域

連續紙



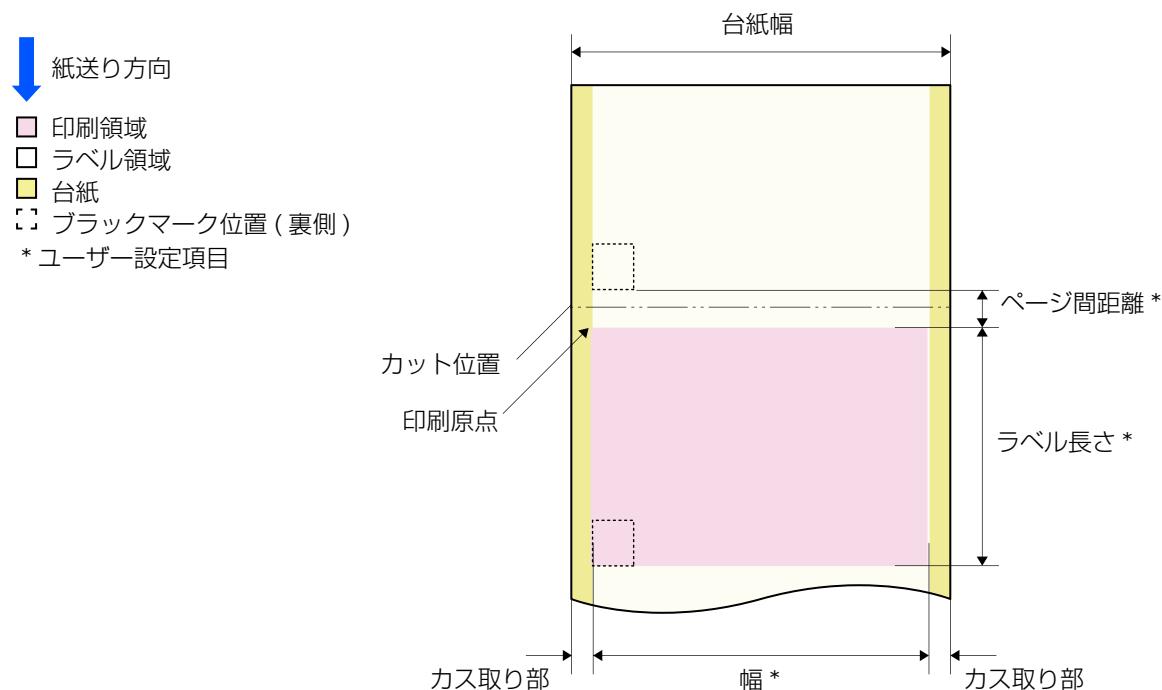
- 左右ギャップが2 mm未満の場合は、インクがラベルや手に付着して汚れることがあります。
- 印刷領域の上端に1.5 mm以上の余白を付けることで、インク汚れの発生を軽減できる場合があります。

ダイカットラベル(ブラックマーク基準)、ダイカットラベル(ブラックマークなし)



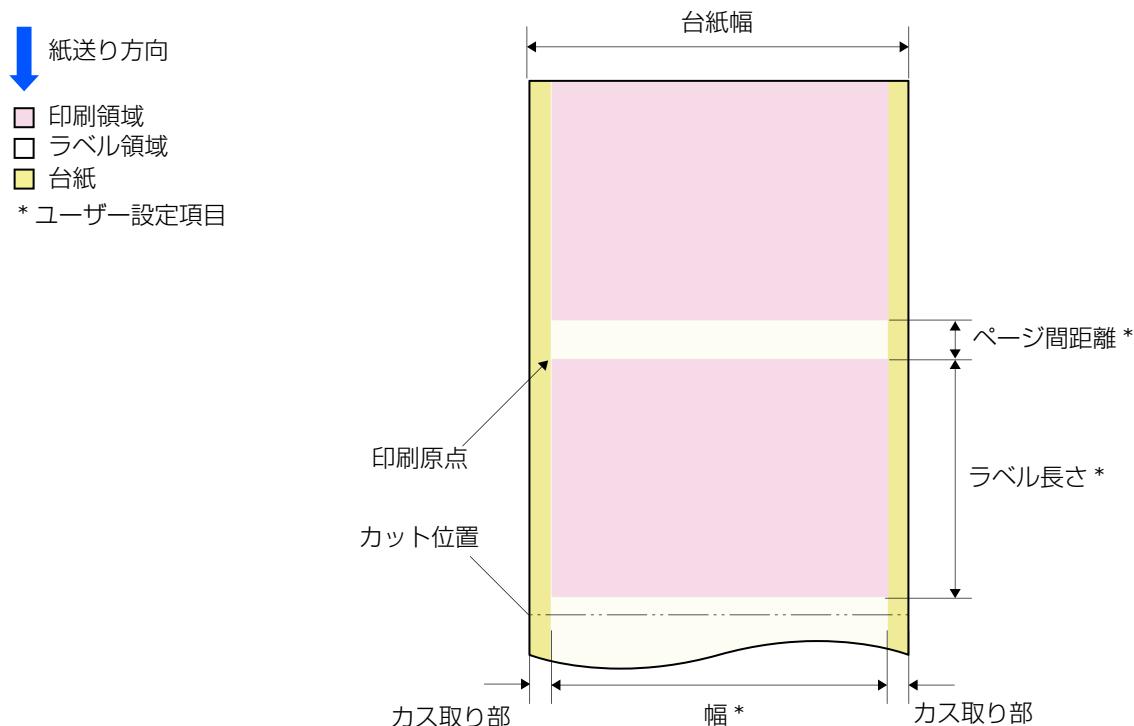
- 左右ギャップが2 mm未満の場合は、インクがラベルや手に付着して汚れることがあります。
- 印刷領域の上端に1.5 mm以上の余白を付けることで、インク汚れの発生を軽減できる場合があります。

全面ラベル(ブラックマーク基準)



- 左右ギャップが2mm未満の場合は、インクがラベルや手に付着して汚れることがあります。
- 印刷領域の上端に1.5mm以上の余白を付けることで、インク汚れの発生を軽減できる場合があります。

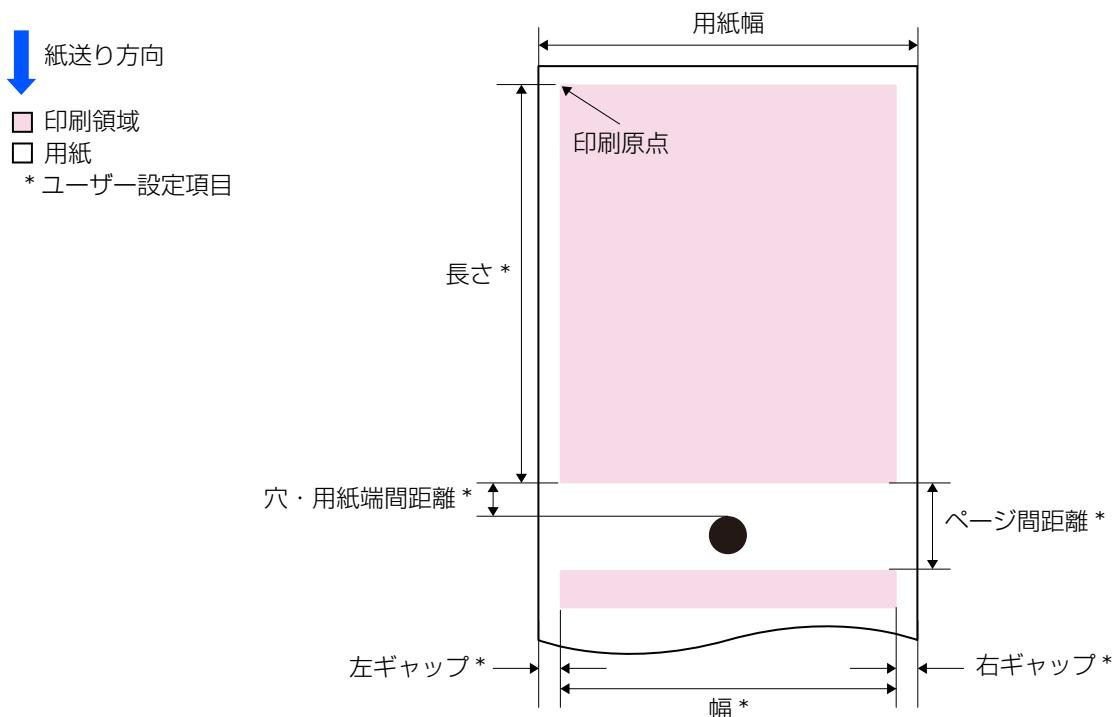
全面ラベル(ブラックマークなし)



- 左右ギャップが2 mm未満の場合は、インクがラベルや手に付着して汚れることがあります。
- 印刷領域の上端に1.5 mm以上の余白を付けることで、インク汚れの発生を軽減できる場合があります。

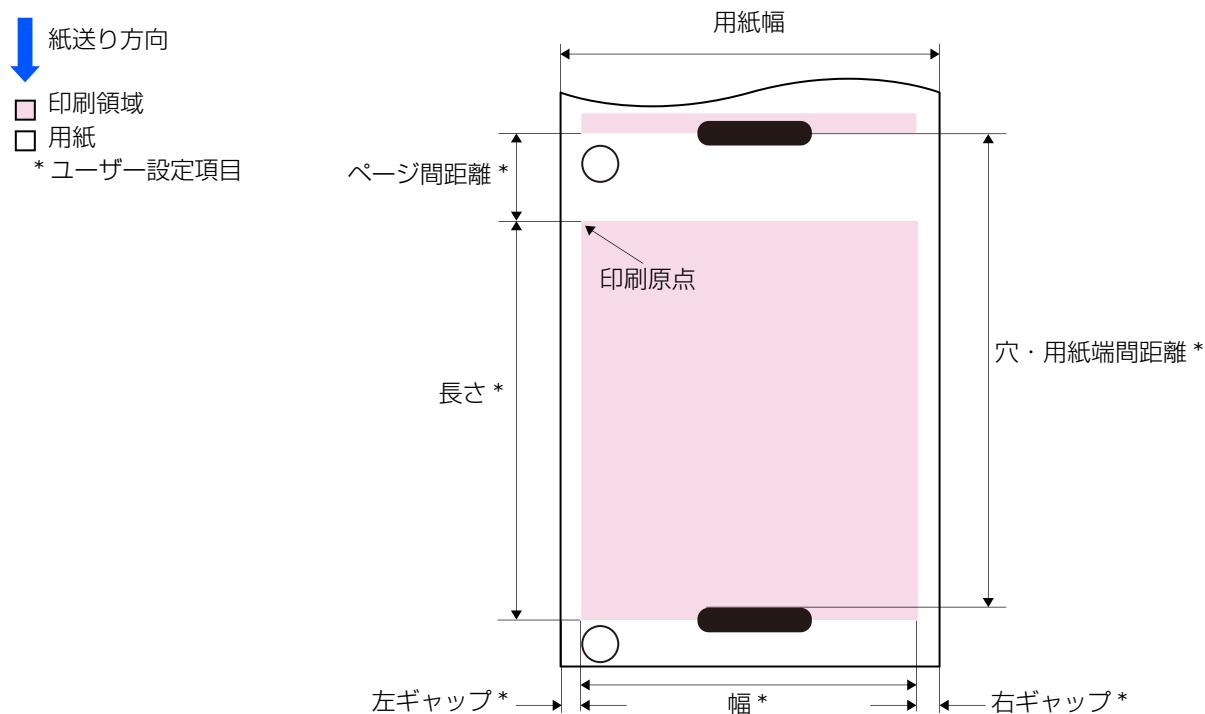
タグ(穴、長穴、切り欠き)

□ 用紙検出用の穴を使用する場合



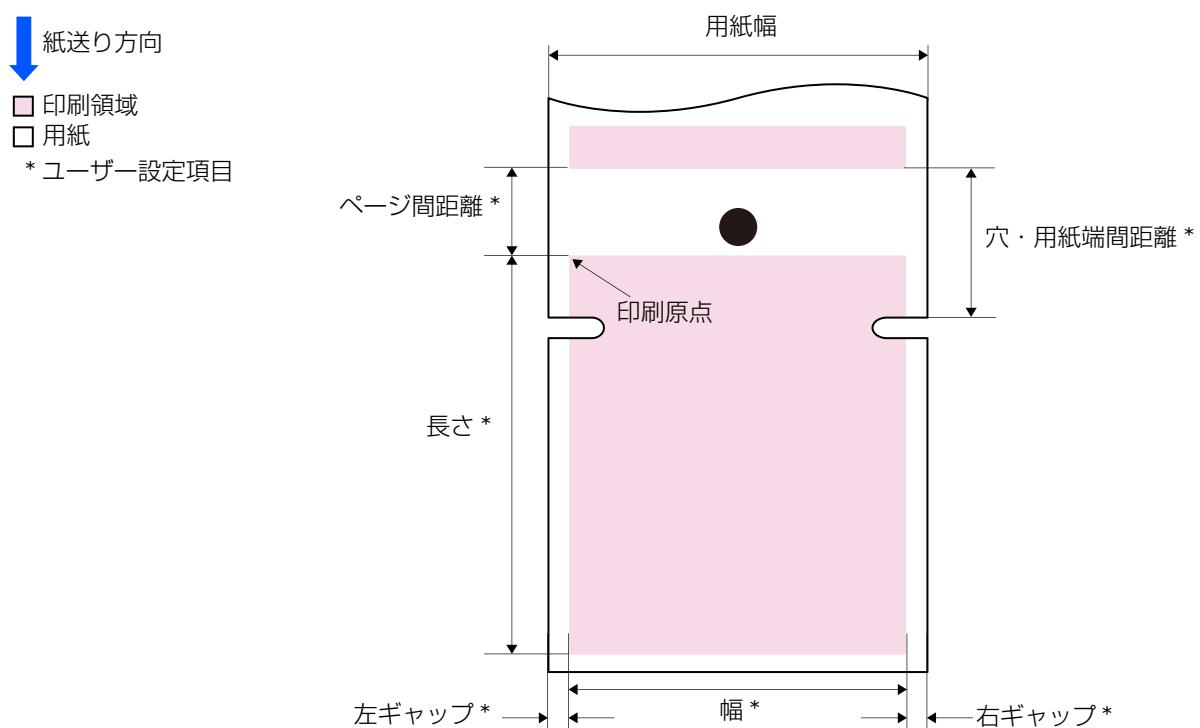
- 左右ギャップが2 mm未満の場合は、インクがラベルや手に付着して汚れることがあります。
- 印刷領域の上端に1.5 mm以上の余白を付けることで、インク汚れの発生を軽減できる場合があります。

□ 用紙検出用の長穴を使用する場合



- 左右ギャップが2 mm未満の場合は、インクがラベルや手に付着して汚れることがあります。
- 印刷領域の上端に1.5 mm以上の余白を付けることで、インク汚れの発生を軽減できる場合があります。

□ 用紙検出用の切り欠きを使用する場合



- 左右ギャップが2 mm未満の場合は、インクがラベルや手に付着して汚れることがあります。
- 印刷領域の上端に1.5 mm以上の余白を付けることで、インク汚れの発生を軽減できる場合があります。

紙検出方式

検出器	ラベル検出器（透過型フォトインタラプタ） ブラックマーク検出器（反射型フォトインタラプタ）
判定方式	ラベル検出器、およびブラックマーク検出器で位置を検出

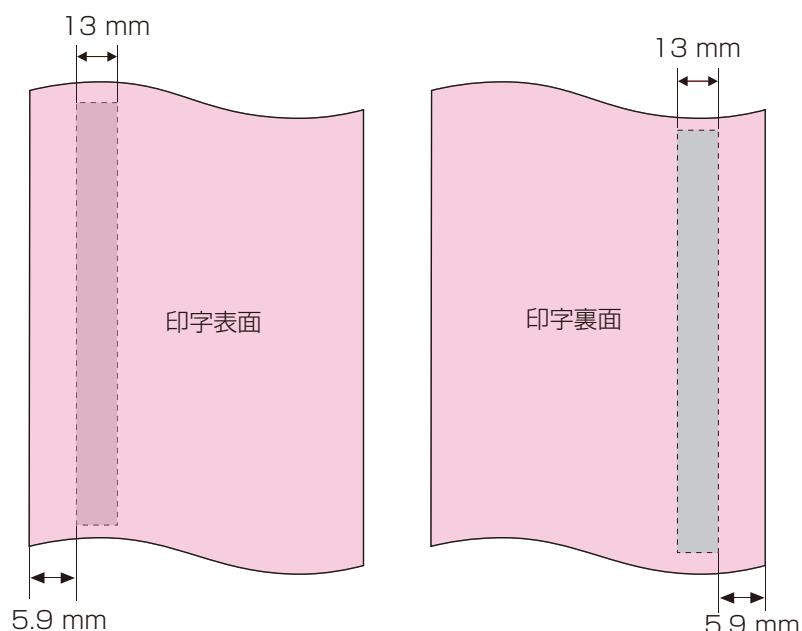


- ブラックマークなしのダイカットラベル紙を使用する場合、台紙の光透過率 40 % 以上、ラベル部の光透過率 23 % 以下の用紙を使用してください。
- ブラックマークを使用する場合、ブラックマーク反射率 10 % 以下、白反射率 70 % 以上の用紙を使用してください。
- 連續紙裏面にプリプリントする場合、検出に影響を与えるため、図に示すプリプリント禁止領域にプリプリントを行わないでください。

■ 用紙

■ プリプリント禁止領域

紙送り方向



電気的仕様

項目	仕様	
電源供給	電源コネクターによる電源供給	
定格電圧	100 ~ 240 V	
定格電流	1.4 A	
消費電力	動作時 *	平均 約 83.0 W
	待機時	平均 約 3.32 W
	電源オフ時	平均 約 0.41 W

* 動作時は、弊社動作条件による

信頼性

寿命	本体	下記いずれか短い期間	
		<ul style="list-style-type: none"> 5 年 500 km または 321 万枚 (ラベルの長さ 152.4 mm/6 in.) キャリッジパス数 150 万パス (75 万往復) バルブ動作回数 8.5 万回 流路ポンプ動作回数 90 万回 	
	オートカッター機構 (カット回数)	連続紙 (普通紙)	1,500,000 回
		連続紙 (マット紙)	700,000 回
		連続紙 (光沢紙)	700,000 回
		ダイカットラベル (普通紙)	1,500,000 回
		ダイカットラベル (上質紙)	500,000 回
		ダイカットラベル (マット紙)	1,500,000 回
		ダイカットラベル (合成紙)	500,000 回
		ダイカットラベル (光沢紙)	1,500,000 回
		ダイカットラベル (光沢フィルム)	500,000 回
		ダイカットラベル (高光沢紙)	1,500,000 回
		全面ラベル (普通紙)	750,000 回
		全面ラベル (マット紙)	500,000 回
		全面ラベル (合成紙)	100,000 回
		全面ラベル (光沢紙)	300,000 回
		全面ラベル (光沢フィルム)	100,000 回
		全面ラベル (高光沢紙)	200,000 回
		全面ラベル (上質紙)	100,000 回
		タグ (普通紙 /0.2 mm 厚以下)	100,000 回
		タグ (光沢紙 /0.2 mm 厚以下)	100,000 回



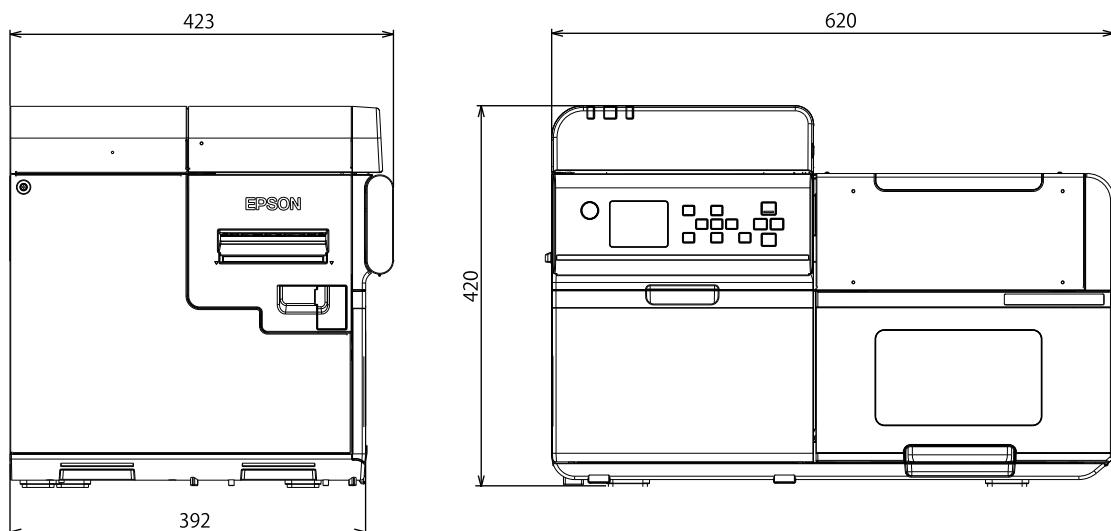
- 使用する用紙によって、信頼性が異なる場合があります。
- 用紙幅を狭い状態から広い状態へ変更すると、カッター刃の摩耗度の違いにより、信頼性は変わることがあります。

環境仕様

項目		仕様	
温度／湿度	印刷時	5 ~ 35 °C、20 ~ 80 %RH 非結露（下図の網掛け領域）	
	バーコード印刷時	15 ~ 35°C、20 ~ 80%RH 非結露	
	保管時	出荷梱包状態 (インク非充填)	-20 ~ 60 °C、5 ~ 85%RH 非結露 (-20 °Cまたは60 °Cの場合：120 時間以内)
		インク 充填状態	-15 ~ 40 °C (0 ~ 25 °Cの場合：6 か月以内) (40 °Cの場合：1 か月以内)
		マット インク仕様	-10 ~ 40 °C (0 ~ 25 °Cの場合：6 か月以内) (40 °Cの場合：1 か月以内)
標高		0 ~ 3000 m	
騒音	本体のみ	約 57 dB 弊社評価条件によります。	
	巻き取り装置 接続時	約 60 dB 弊社評価条件によります。	

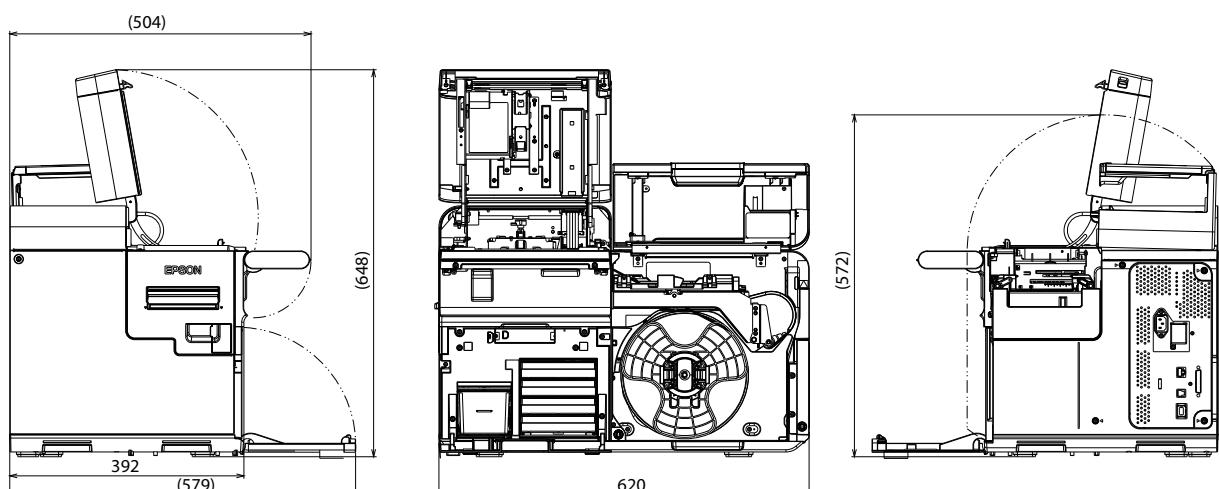
外形寸法

項目	仕様
高さ	420 mm
幅	620 mm
奥行	392 mm



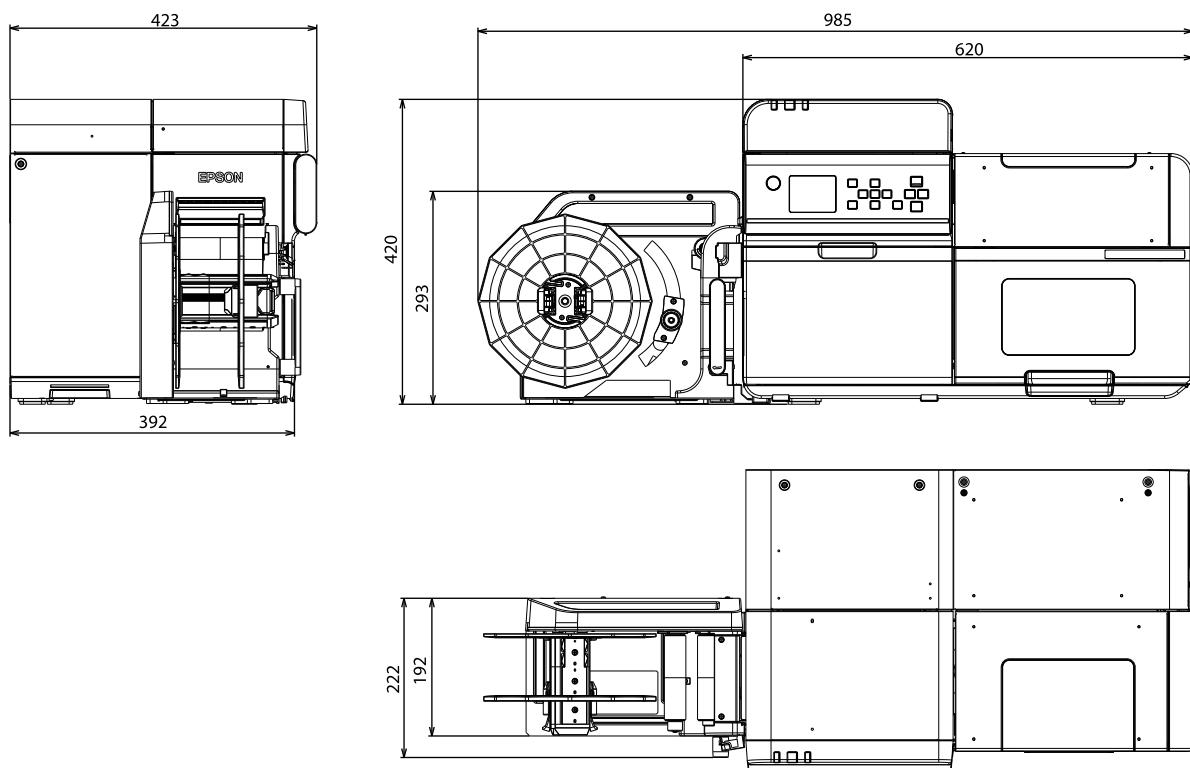
単位 : mm

- 全てのカバーを開けたとき



単位 : mm

- 巻き取り装置を接続したとき



単位: mm

消耗品仕様

インクパック

項目		仕様
型番	CW-C8020	SJIC49P-BK SJIC49P-MK SJIC49P-C SJIC49P-M SJIC49P-Y
形態		4色インク別体型専用インクパック
インク色		ブラック(フォトブラック(BK)、マットブラック(MK))、シアン(C)、マゼンタ(M)、イエロー(Y)
インク種		水性顔料インク
有効期限		プリンター装着後1年、使用期間を含めて製造日から3年
保存温度	個装輸送時	-20～60℃ (-20℃の場合は4日以内、40℃の場合は1ヵ月以内、60℃の場合は3日以内)
	個装保存時	-20～40℃ (-20℃の場合は4日以内、40℃の場合は1ヵ月以内)
	本体装着時	-20～40℃ (-20℃の場合は4日以内、40℃の場合は1ヵ月以内)



インクパックの中のインクは、-20℃以下の環境で放置すると凍結するおそれがあります。

メンテナンスボックス

項目		仕様
型番		SJMB7500
形態		廃液吸収材一体型メンテナンスボックス
保存温度	個装輸送時	-20～60℃(60℃の場合、5日以内)
	個装保存時	-20～40℃(40℃の場合、1ヵ月以内)
	本体装着時	-20～40℃(40℃の場合、1ヵ月以内)

オプション

巻き取り装置(TU-RC8000)

巻き取り装置とは、印刷された用紙をロール状に巻き取るための装置です。



巻き取り装置作動中は、手や髪の毛などが稼動部に巻き込まれないように注意してください。

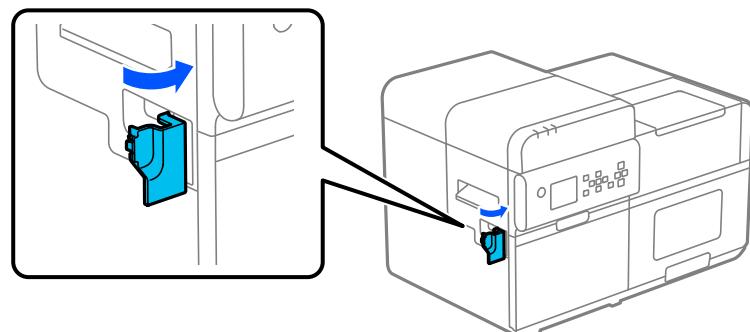
仕様

項目		仕様
外形寸法	高さ	293 mm
	幅	403 mm
	奥行	222 mm
質量		4.25 kg

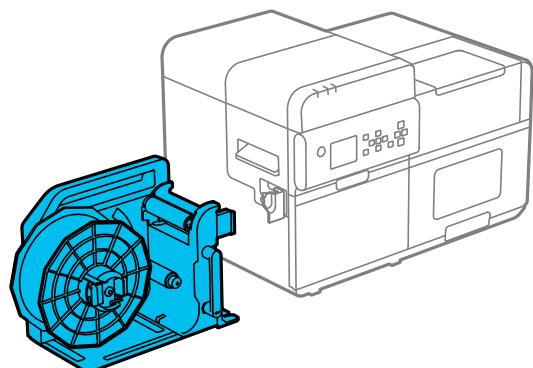
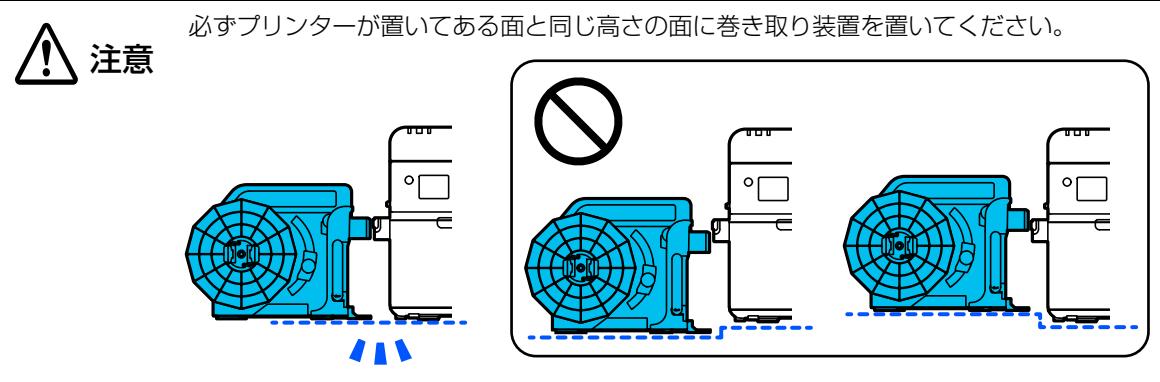
巻き取り装置の取り付け

以下の手順で、巻き取り装置を取り付けます。

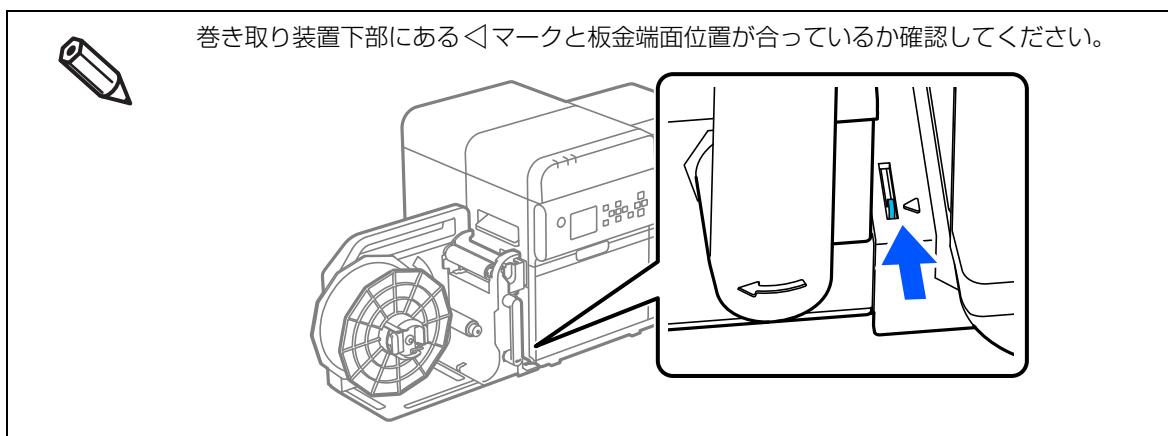
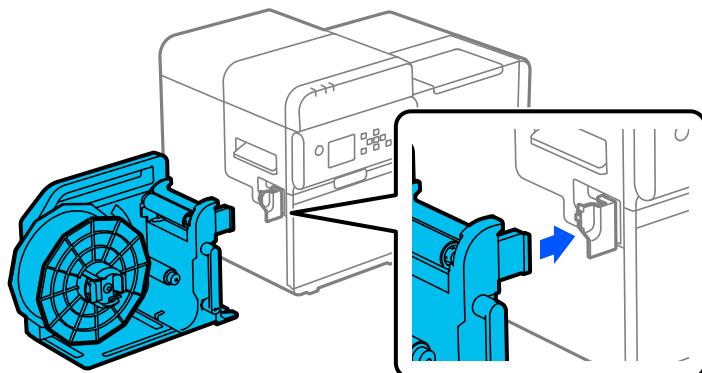
- 1 プリンター左側面にある巻き取り装置接続カバーを開けます。



2 巻き取り装置をプリンターの左側に置きます。

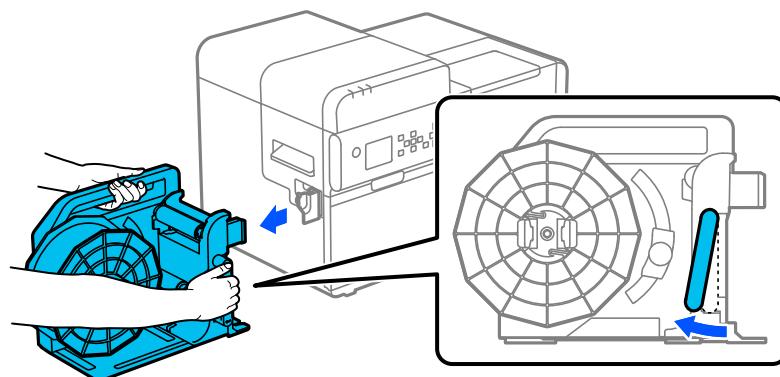


3 巻き取り装置の本体連結歯車をカバー開口部に挿入します。開口部に対して真っすぐに挿入してください。



巻き取り装置の取り外し

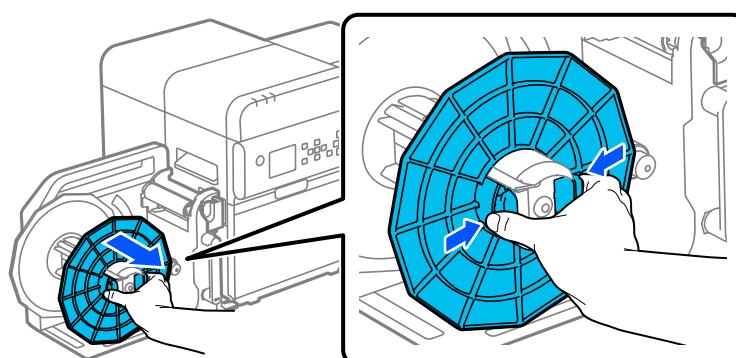
巻き取り装置のレバーを矢印の方向に引き、巻き取り装置を取り外します。



用紙の取り付け

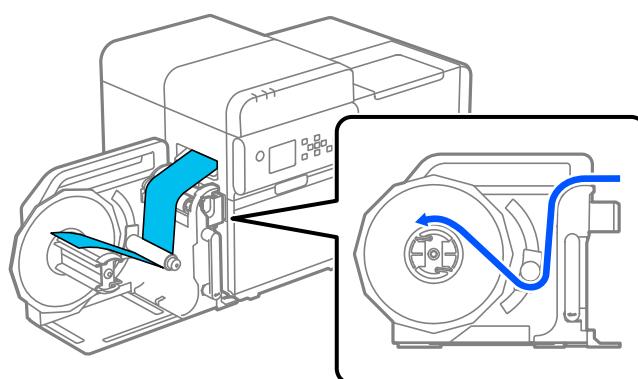
以下の手順で、用紙の巻き取り装置への取り付けをします。

- 1 レバーを内側へ押しながら、巻き取りフランジを回軸軸から取り外します。



- 2 ← (フィード) ボタンを押して、本製品から用紙を約 800 mm 出します。

- 3 用紙を下図のように通します。



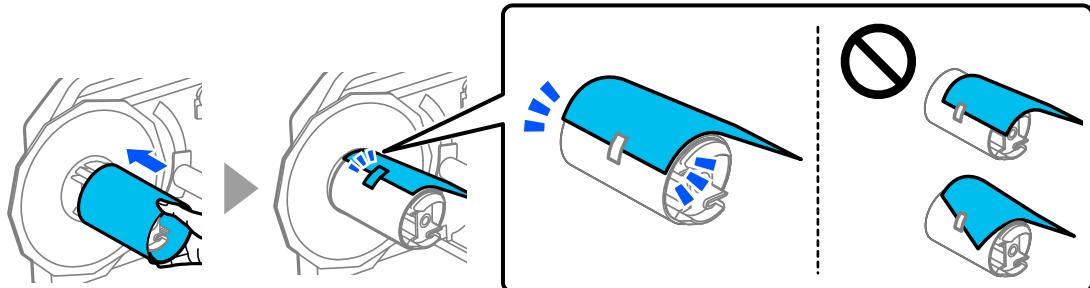
用紙の厚さや剛性によっては正常に巻き取れない場合があります。



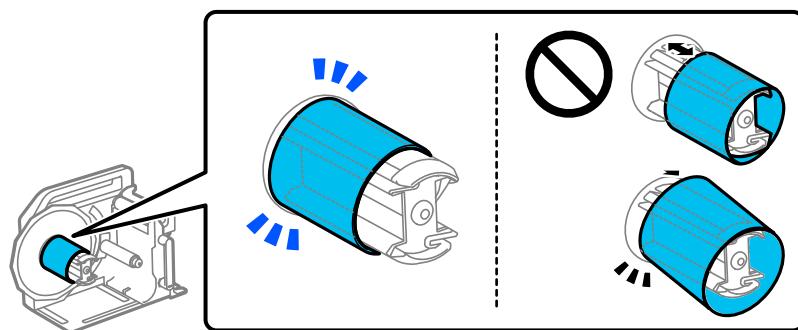
4 用紙の先端を巻芯に固定するか、回転軸の隙間に挟み込みます。

□ 巻芯を使用する場合

用紙を巻き芯の端面に揃えて、テープでまっすぐ固定します。その後、巻き取りフランジを2回ほど回転させ、たるんでいる用紙を巻き取ります。

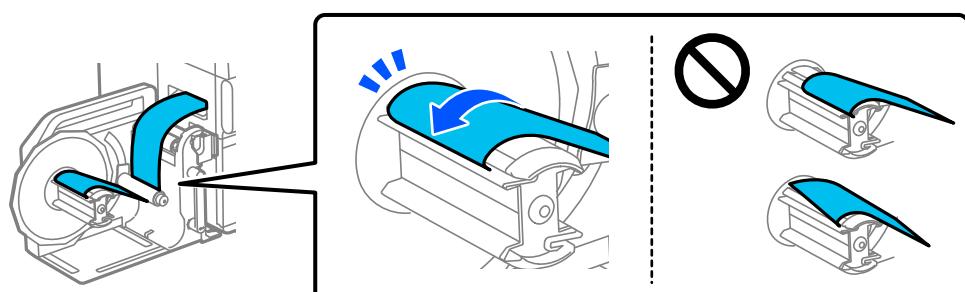


巻芯を巻き取り装置の回転軸に取り付けるときは、巻芯と巻き取り装置の間に隙間ができるないようにしてください。

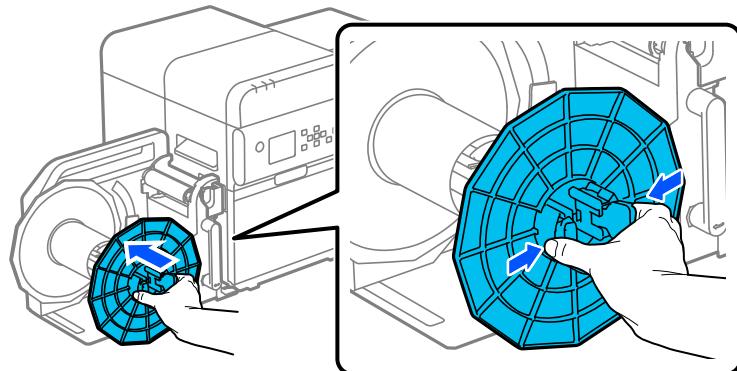


□ 巻芯を使用しない場合

用紙先端を巻き取り装置の回転軸の隙間に挟みます。その後、2回ほど回転軸を回転させ、たるんでいる用紙を巻き取ります。

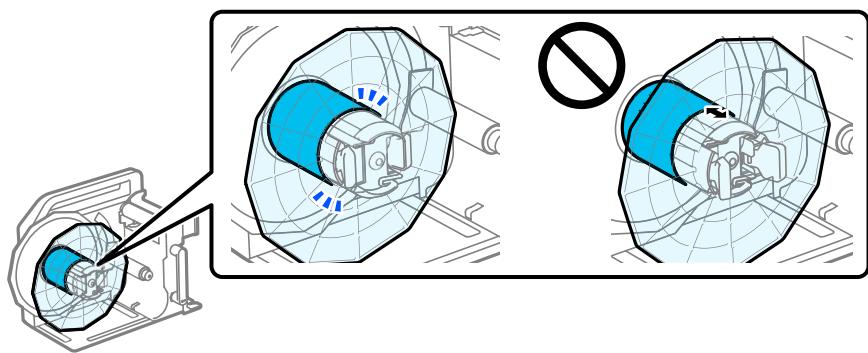


5 レバーを内側へ押しながら、巻き取りフランジを取り付けます。



注意

巻き取りフランジを巻き取り装置に取り付けるときは、巻芯と巻き取りフランジの間にすき間ができないようにしてください。



- 巻き取りフランジを取り付け忘れると、巻き戻れなどにより正常に巻き取れない場合があります。忘れずに巻き取りフランジを取り付けてください。
- 巻き取られたロール紙は、印刷前のロール紙より緩く巻かれていることがあります。後加工機に装着する場合は、ロール紙を巻き締める前処理をおこなうことを推奨します。

ドライバー、ユーティリティー、マニュアルのダウンロード

プリンタードライバー、ユーティリティー、マニュアル類の最新版は、下記 URL からダウンロードできます。

https://www.epson.jp/support/support_menu/ks/19.htm

ラベル印刷アプリケーション

市販のラベル印刷アプリケーションから本製品を容易に使えるように、各ラベル印刷アプリケーションが本製品の専用ドライバーを提供しています。これらの専用ドライバーを使うことで、アプリケーションから直接プリンターの設定や、プリンターの機能を活用できます。

これら専用ドライバーを使う場合、エプソンのプリンタードライバーを使用する必要はありません。

以下のラベル印刷用アプリケーションに対応しています。

- BarTender
- NiceLabel
- CODESOFT

入手方法

BarTender

<https://www.seagullscientific.com/>

NiceLabel

<https://www.loftware.com/>

CODESOFT

<https://www.teklynx.com/>

お問い合わせ

本製品についての技術的な質問、疑問あるいは、障害がある場合、以下の情報を確認の上、販売店またはインフォメーションセンターにお問い合わせください。

●エプソンインフォメーションセンター

製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

050-3155-7020



- 弊社への技術的な質問、疑問の問い合わせ内容については、弊社のプリンターに関するご質問に限らせていただきます。それ以外の Microsoft Corporation ないしはその他の会社が所有する技術に関する内容については、それを所有する会社にお問い合わせください。
- 障害が発生した場合、お問い合わせの前に、物理的な障害（接続、電源などの問題）がないかを確認してください。

問い合わせ分類：障害 / 質問

日付：

御社名：

部署名：

お名前：

お電話 /FAX/Email：

コンピューター情報：

- 製造メーカー
- CPU

OS(サービスパックも含む)：

対象プリンター機種名：

プリンタードライバー：インストール済み (OS 標準 /Epson カスタム) / インストールしていない

対象プリンター接続形態：USB / Ethernet / MS 共有 (クライアント / サーバー)

ファイアウォール：OS 標準 / パーソナル (製品名 /Ver) / なし

御社アプリケーション情報：

- Windows サービス動作 / 通常 EXE 動作

弊社アプリケーション動作状況：EpsonNet WebManager / EpsonNet Log Browser / Epson Monitoring Tool / EpsonNet Simple Viewer / EpsonNet SDK for Windows / PrinterSetting / その他 (名前)

障害の現象 (or 質問内容) :

システム構成：コンピューター、ネットワークなどハードウェア構成と、ソフトウェアモジュール構成

障害の再現手順：操作手順、関数実行手順、現象を発生させた関数とその引数の値

障害の再現性：再現する (回中 回) / 再現しない